

**第2期渋川市地域福祉計画・第3次渋川市地域福祉活動計画  
策定のための市民意識調査 結果報告書**

**令和5年3月**



# もくじ

I	調査実施の概要	1
1.	調査の目的	3
2.	調査設計	3
3.	調査内容	3
4.	回収結果	3
5.	地域区分	4
6.	報告書の見方	4
II	調査結果	5
1.	あなたのことについて	7
(1)	性別	7
(2)	年齢	7
(3)	職業	8
(4)	家族構成	8
(5)	子育て経験の有無	9
(6)	要介護・要支援者の有無	9
(7)	居住地区	10
(8)	居住年数	10
2.	地域でともに支え合う生活のために	12
(1)	現在の周囲との付き合い	12
(2)	今後の周囲との関わり	14
(3)	周囲の人にできること	16
(4)	周囲の人にしてもらいたいこと	18
(5)	日常生活での不安	20
(6)	日常生活での相談先	22
(7)	助け合える範囲	24
(8)	地域で取り組むべき課題	26
(9)	渋川市に必要なもの	28
3.	地域活動・ボランティア活動について	30
(1)	地域活動への参加	30
(1-1)	地域活動の内容	32
(1-2)	地域活動不参加の理由	34
(2)	ボランティア活動への関心	36
(3)	ボランティア活動への参加	38
(3-1)	ボランティア活動の内容	40
(3-2)	ボランティア活動不参加の理由	42
(4)	今後参加したいボランティア活動	44
(5)	行政・社会福祉協議会に求める支援	46
4.	地域での防災について	48
(1)	避難場所	48
(2)	地域の自主防災組織	50
(3)	災害時に避難できない人について	52

(4) 災害時の手助け .....	54
(5) 災害時の情報共有 .....	56
5. 福祉に関する情報について .....	58
(1) 福祉情報への関心 .....	58
(2) 福祉情報の満足度 .....	60
(3) 福祉情報の入手先 .....	62
6. 福祉に関する施策について .....	64
(1) 福祉に関する施策の重要度 .....	64
(2) 福祉に関する施策の満足度 .....	65
(3) 福祉に関する施策の現状の評価（今後の重要性）と（満足度）の分析.....	66
7. 地域福祉について あなたが知っていること .....	84
(1) 地域福祉施設について .....	84
(2) 地域福祉の取り組み・組織について .....	95
8. 地域福祉に関する施策について .....	106
(1) 地域福祉に関する施策の満足度 .....	106
(2) 福祉サービス・事業で良いと思うもの .....	107
(3) 地域福祉に関する施策の重要度 .....	113
(4) 地域福祉に関する施策の現状の評価（今後の重要性）と（満足度）の分析.....	114
(5) 行政と地域住民の関係 .....	132
(6) 生活での困りごと .....	134
自由回答 .....	143
アンケート調査票 .....	160

# I 調査実施の概要



## 1. 調査の目的

渋川市及び渋川市社会福祉協議会では、だれもが住みなれた地域で、安心して暮らせる「まちづくり」のため、市民・関係機関、行政が連携し、住民相互の助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりを目指して、平成 31 年度に「渋川市地域福祉計画」、「第 2 次渋川市地域福祉活動計画」を策定しました。

この計画の評価及び見直しに向けて、市民の福祉観、地域活動への参加状況などの実態を把握し、各計画策定にあたっての基礎資料とするために実施しました。

## 2. 調査設計

調査地域	渋川市全域
調査対象	市内在住の 18 歳以上の男女 3,000 人
標本抽出	住民基本台帳から無作為抽出(地区別・年代別・性別)
調査方法	郵送(郵送配布・郵送回収)
調査時期	令和4年9月8日(木)～9月30日(金)

## 3. 調査内容

- (1) あなたのことについて
- (2) 地域でともに支え合う生活のために
- (3) 地域活動・ボランティア活動について
- (4) 地域での防災について
- (5) 福祉に関する情報について
- (6) 福祉に関する施策について
- (7) 地域福祉について あなたが知っていること
- (8) 地域福祉に関する施策について

## 4. 回収結果

	全体	地区別						
		渋川	伊香保	小野上	子持	赤城	北橋	地区不明
発送	3,000 部	1,657 部	109 部	61 部	438 部	383 部	352 部	
回収	1,113 部	602 件	38 件	25 件	161 件	149 件	128 件	10 件
回収率	37.1%	36.3%	34.9%	40.9%	36.8%	38.9%	36.4%	—

## 5. 地域区分

地区毎の地域福祉に対する市民の考えや意見を把握するため、渋川市を9地区に分けて調査をしています。



## 6. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合がありますが、100.0%と表記してあります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合、100.0%に満たない場合がありますが、100.0%と表記してあります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- グラフにおいて2.0%未満の数値（クロス集計）に関しては、見やすさを考慮し、非表示とさせていただきます。
- 性別「その他・答えたくない」に関しては、回答者数が少数のため、グラフ掲載のみとさせていただきます。
- 本文中に「前回調査」とあるものは、渋川市・渋川市社会福祉協議会が平成31年度に実施した「渋川市地域福祉計画・渋川市地域福祉活動計画策定のための市民意識調査」（配布3,000件、回収1,069件、回収率35.6%）の結果を示しています。

## II 調査結果

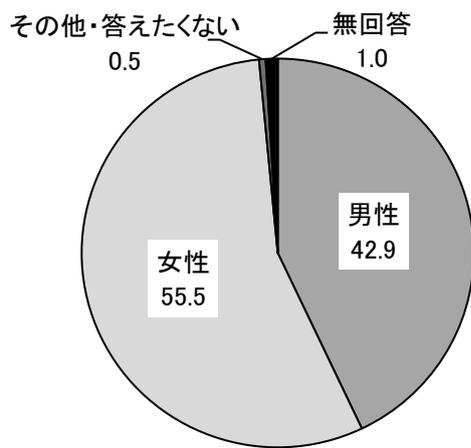


# 1. あなたのことについて

## (1)性別

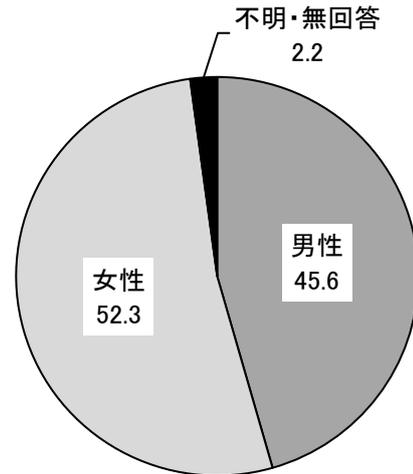
問1 あなたの性別を教えてください。

項目	件数	構成比(%)
男性	478	42.9
女性	618	55.5
その他・答えたくない	6	0.5
無回答	11	1.0
計	1,113	100.0



【前回調査】

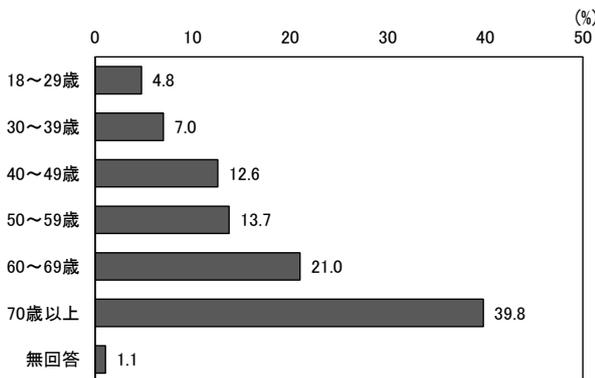
項目	件数	構成比(%)
男性	487	45.6
女性	559	52.3
不明・無回答	23	2.2
計	1,069	100.0



## (2)年齢

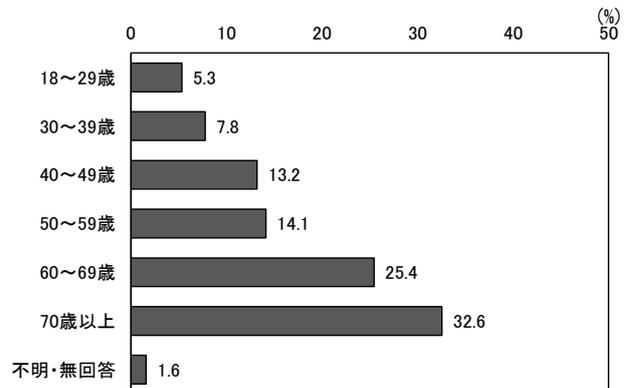
問2 あなたの年齢を教えてください。

項目	件数	構成比(%)
18～29歳	53	4.8
30～39歳	78	7.0
40～49歳	140	12.6
50～59歳	153	13.7
60～69歳	234	21.0
70歳以上	443	39.8
無回答	12	1.1
計	1,113	100.0



【前回調査】

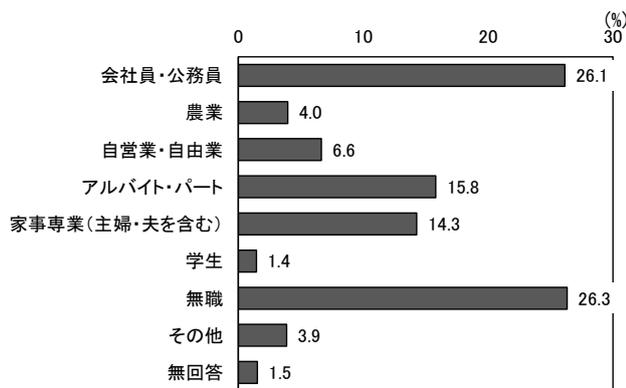
項目	件数	構成比(%)
18～29歳	57	5.3
30～39歳	83	7.8
40～49歳	141	13.2
50～59歳	151	14.1
60～69歳	272	25.4
70歳以上	348	32.6
不明・無回答	17	1.6
計	1,069	100.0



### (3)職業

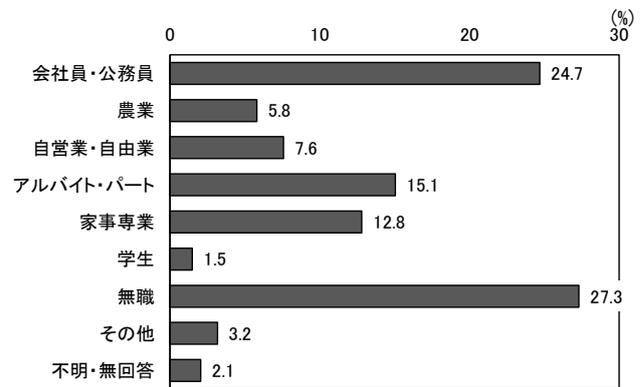
問3 あなたの職業を教えてください。(1つに○)

項目	件数	構成比(%)
会社員・公務員	291	26.1
農業	44	4.0
自営業・自由業	74	6.6
アルバイト・パート	176	15.8
家事専業(主婦・夫を含む)	159	14.3
学生	16	1.4
無職	293	26.3
その他	43	3.9
無回答	17	1.5
計	1,113	100.0



【前回調査】

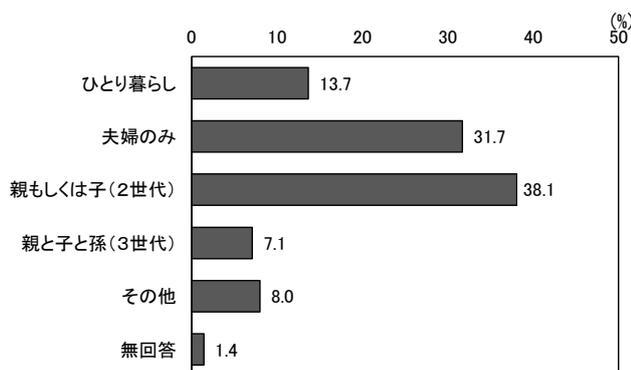
項目	件数	構成比(%)
会社員・公務員	264	24.7
農業	62	5.8
自営業・自由業	81	7.6
アルバイト・パート	161	15.1
家事専業	137	12.8
学生	16	1.5
無職	292	27.3
その他	34	3.2
不明・無回答	22	2.1
計	1,069	100.0



### (4)家族構成

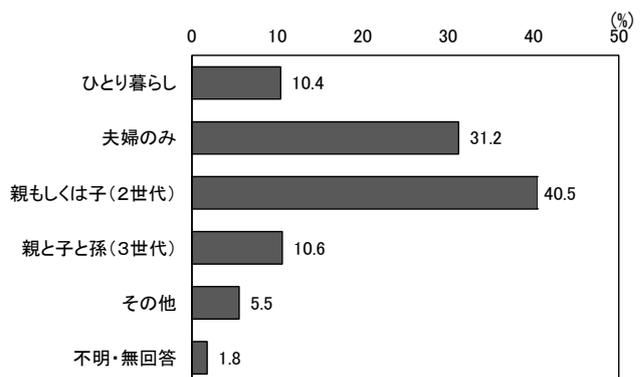
問4 あなたの現在の家族構成を教えてください。

項目	件数	構成比(%)
ひとり暮らし	152	13.7
夫婦のみ	353	31.7
親もしくは子(2世代)	424	38.1
親と子と孫(3世代)	79	7.1
その他	89	8.0
無回答	16	1.4
計	1,113	100.0



【前回調査】

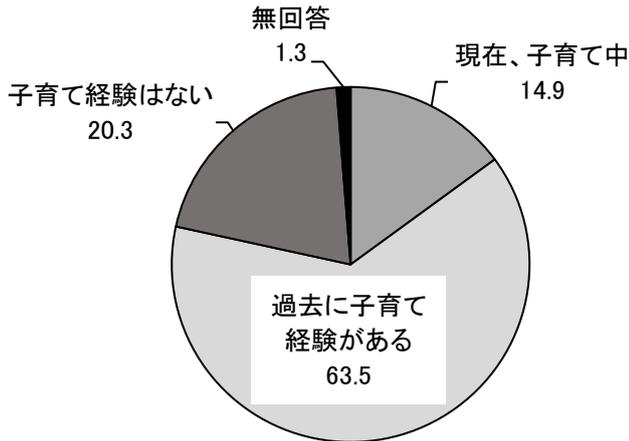
項目	件数	構成比(%)
ひとり暮らし	111	10.4
夫婦のみ	334	31.2
親もしくは子(2世代)	433	40.5
親と子と孫(3世代)	113	10.6
その他	59	5.5
不明・無回答	19	1.8
計	1,069	100.0



(5)子育て経験の有無

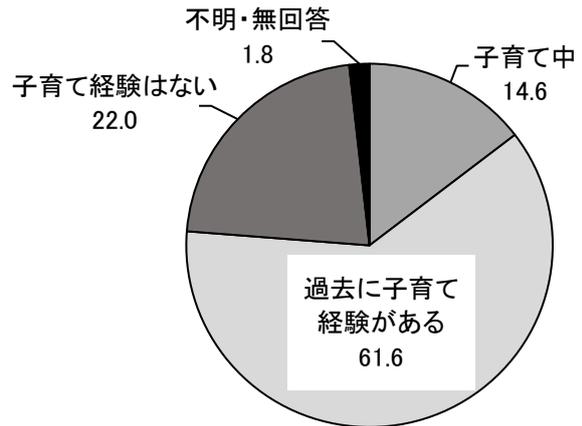
問5 あなたは子育ての経験がありますか。

項目	件数	構成比(%)
現在、子育て中	166	14.9
過去に子育て経験がある	707	63.5
子育て経験はない	226	20.3
無回答	14	1.3
計	1,113	100.0



【前回調査】

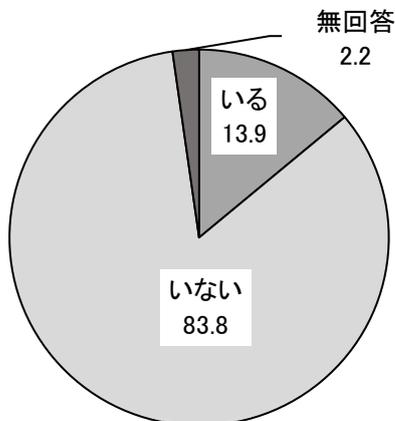
項目	件数	構成比(%)
子育て中	156	14.6
過去に子育て経験がある	659	61.6
子育て経験はない	235	22.0
不明・無回答	19	1.8
計	1,069	100.0



(6)要介護・要支援者の有無

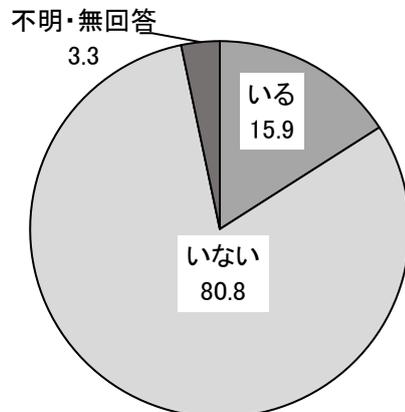
問6 同居のご家族に介護や日常生活の支援が必要な方はいますか。

項目	件数	構成比(%)
いる	155	13.9
いない	933	83.8
無回答	25	2.2
計	1,113	100.0



【前回調査】

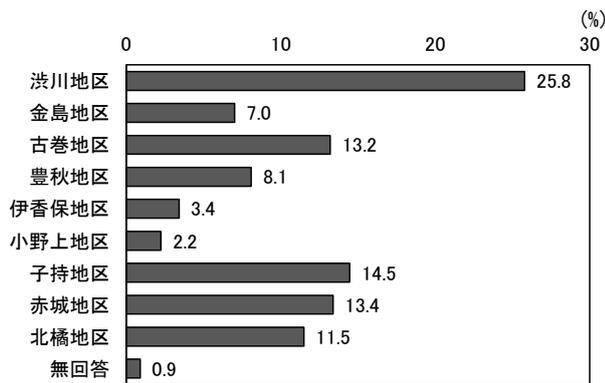
項目	件数	構成比(%)
いる	170	15.9
いない	864	80.8
不明・無回答	35	3.3
計	1,069	100.0



## (7)居住地区

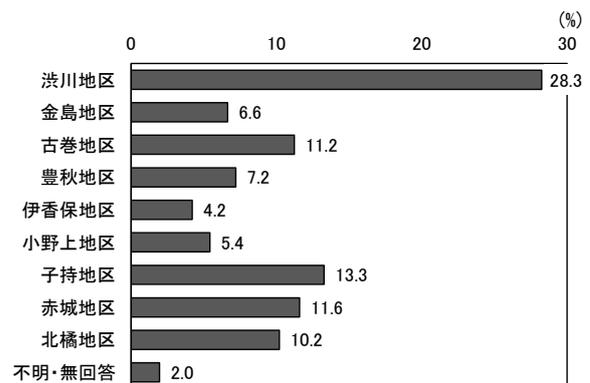
問7あなたのお住まいの地区を教えてください。

項目	件数	構成比(%)
渋川地区	287	25.8
金島地区	78	7.0
古巻地区	147	13.2
豊秋地区	90	8.1
伊香保地区	38	3.4
小野上地区	25	2.2
子持地区	161	14.5
赤城地区	149	13.4
北橋地区	128	11.5
無回答	10	0.9
計	1,113	100.0



【前回調査】

項目	件数	構成比(%)
渋川地区	302	28.3
金島地区	71	6.6
古巻地区	120	11.2
豊秋地区	77	7.2
伊香保地区	45	4.2
小野上地区	58	5.4
子持地区	142	13.3
赤城地区	124	11.6
北橋地区	109	10.2
不明・無回答	21	2.0
計	1,069	100.0



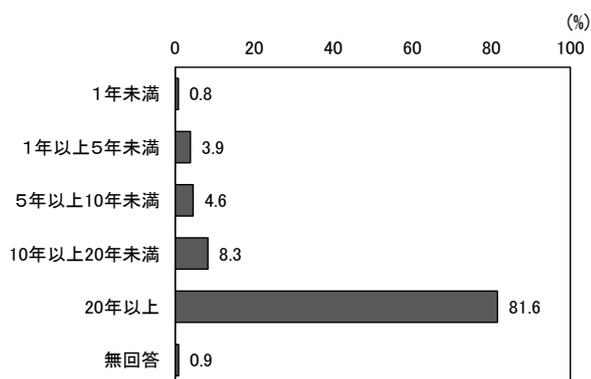
## (8)居住年数

問8 あなたは渋川市にお住まいになって何年ですか。

市町村合併で渋川市になった場合は

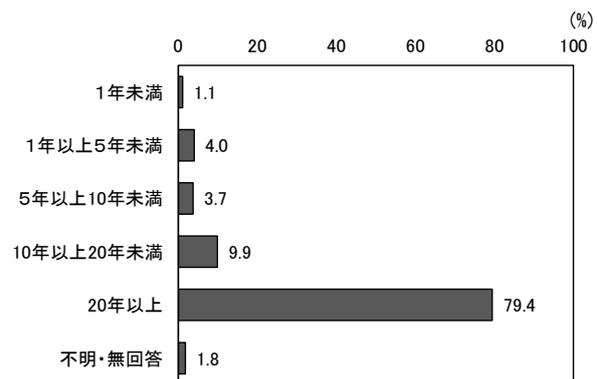
旧町村の頃も含めてください。

項目	件数	構成比(%)
1年未満	9	0.8
1年以上5年未満	43	3.9
5年以上10年未満	51	4.6
10年以上20年未満	92	8.3
20年以上	908	81.6
無回答	10	0.9
計	1,113	100.0



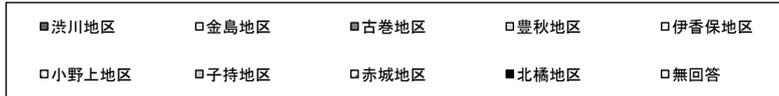
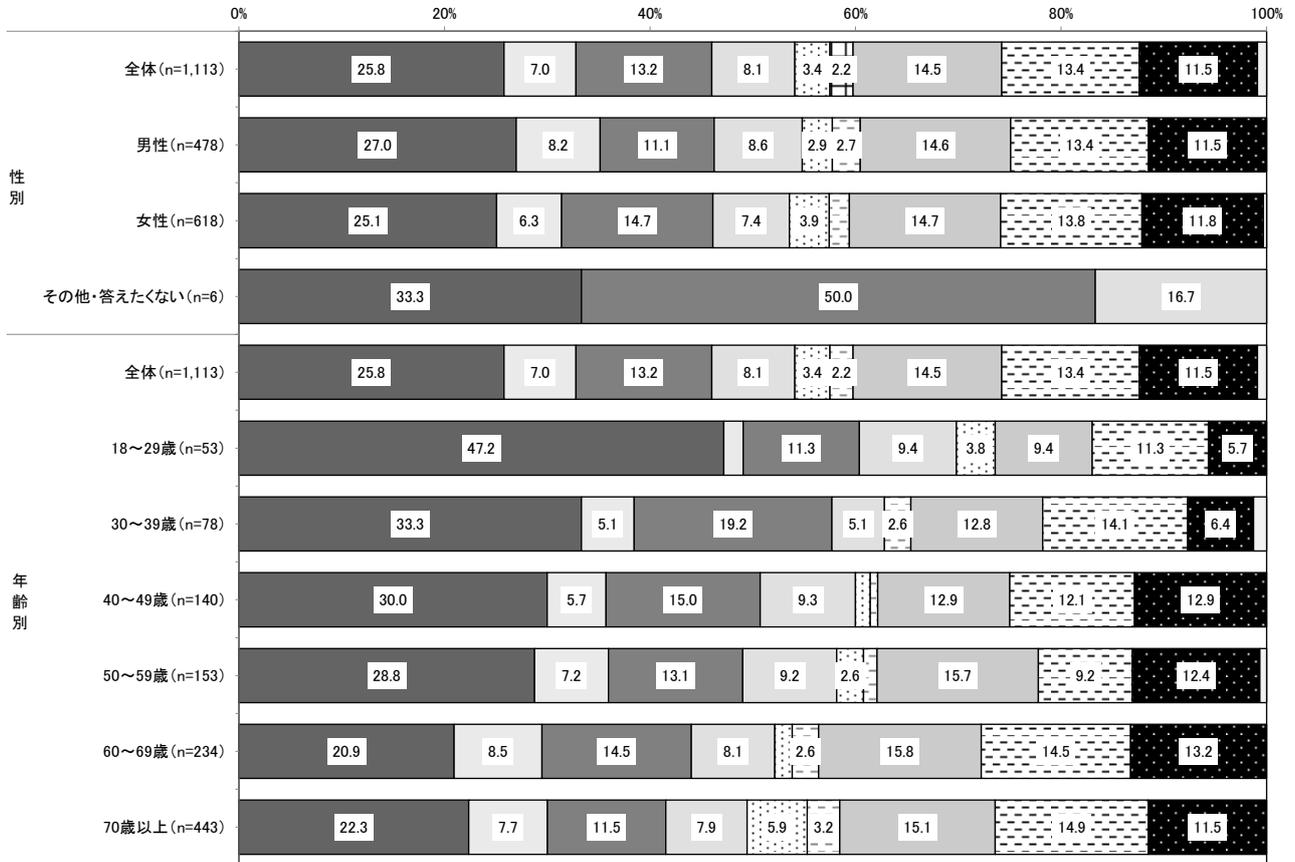
【前回調査】

項目	件数	構成比(%)
1年未満	12	1.1
1年以上5年未満	43	4.0
5年以上10年未満	40	3.7
10年以上20年未満	106	9.9
20年以上	849	79.4
不明・無回答	19	1.8
計	1,069	100.0



## 【居住地区 性別・年代別】

性別・年齢別ともに、「渋川地区」が他の地区に比べて多くなっています。



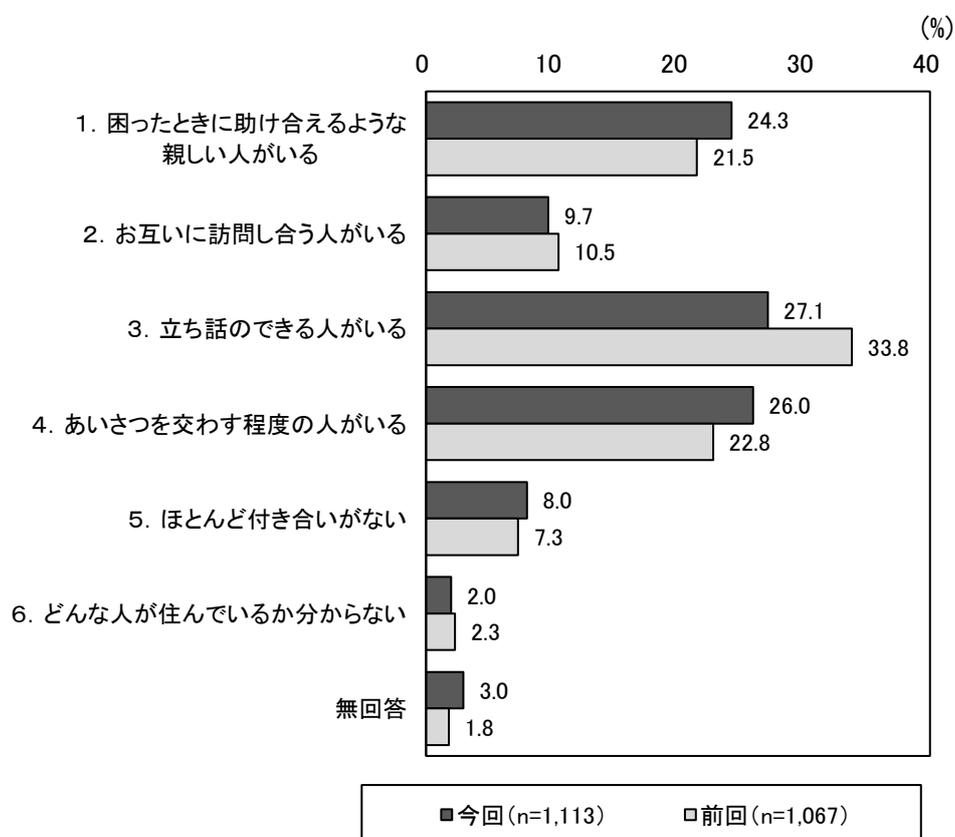
## 2. 地域でともに支え合う生活のために

### (1)現在の周囲との付き合い

現在周囲にお住まいの人とどのような付き合いをしているかについては、「立ち話のできる人がいる」が27.1%で最も多く、次いで「あいさつを交わす程度の人がある」が26.0%、「困ったときに助け合えるような親しい人がいる」が24.3%となっています。

前回調査と比較すると、「立ち話のできる人がいる」が6.7ポイント減少し、「あいさつを交わす程度の人がある」が3.2ポイント増加しています。

#### 問9 あなたは、現在周囲にお住まいの人とどのような付き合いをしていますか。(1つに〇)

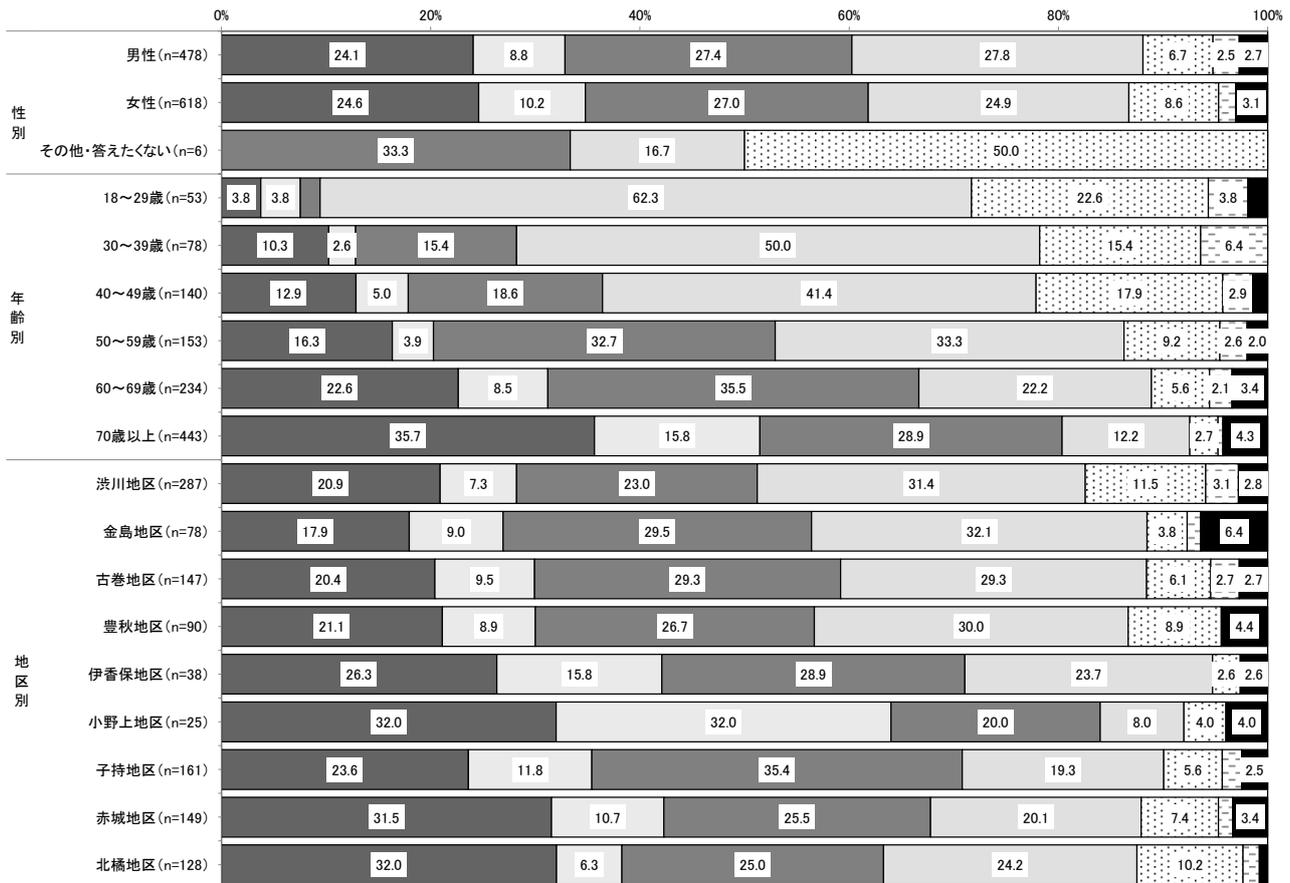


### 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、「立ち話のできる人がいる」と「あいさつを交わす程度の人がいる」が多くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにしたがって、「立ち話のできる人がいる」が多くなり、「あいさつを交わす程度の人がいる」が少なくなる傾向が見られます。

地区別でみると、小野上地区と北橋地区の「困ったときに助け合えるような親しい人がいる」が32.0%と他の地区



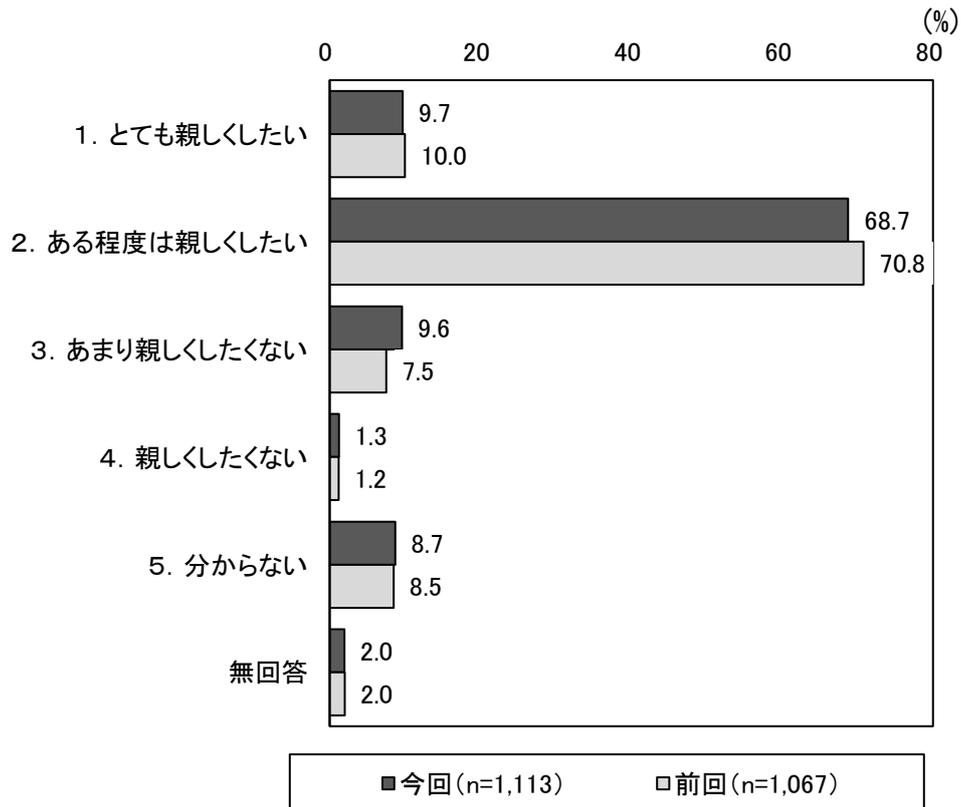
- 困ったときに助け合えるような親しい人がいる
- お互いに訪問し合う人がいる
- 立ち話のできる人がいる
- あいさつを交わす程度の人がいる
- ほとんど付き合いがない
- どんな人が住んでいるか分からない
- 無回答

## (2)今後の周囲との関わり

今後周囲との関わりをどのようにしたいかについては、「ある程度は親しくしたい」が68.7%で最も多く、次いで「とても親しくしたい」が9.7%、「あまり親しくしたくない」が9.6%となっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

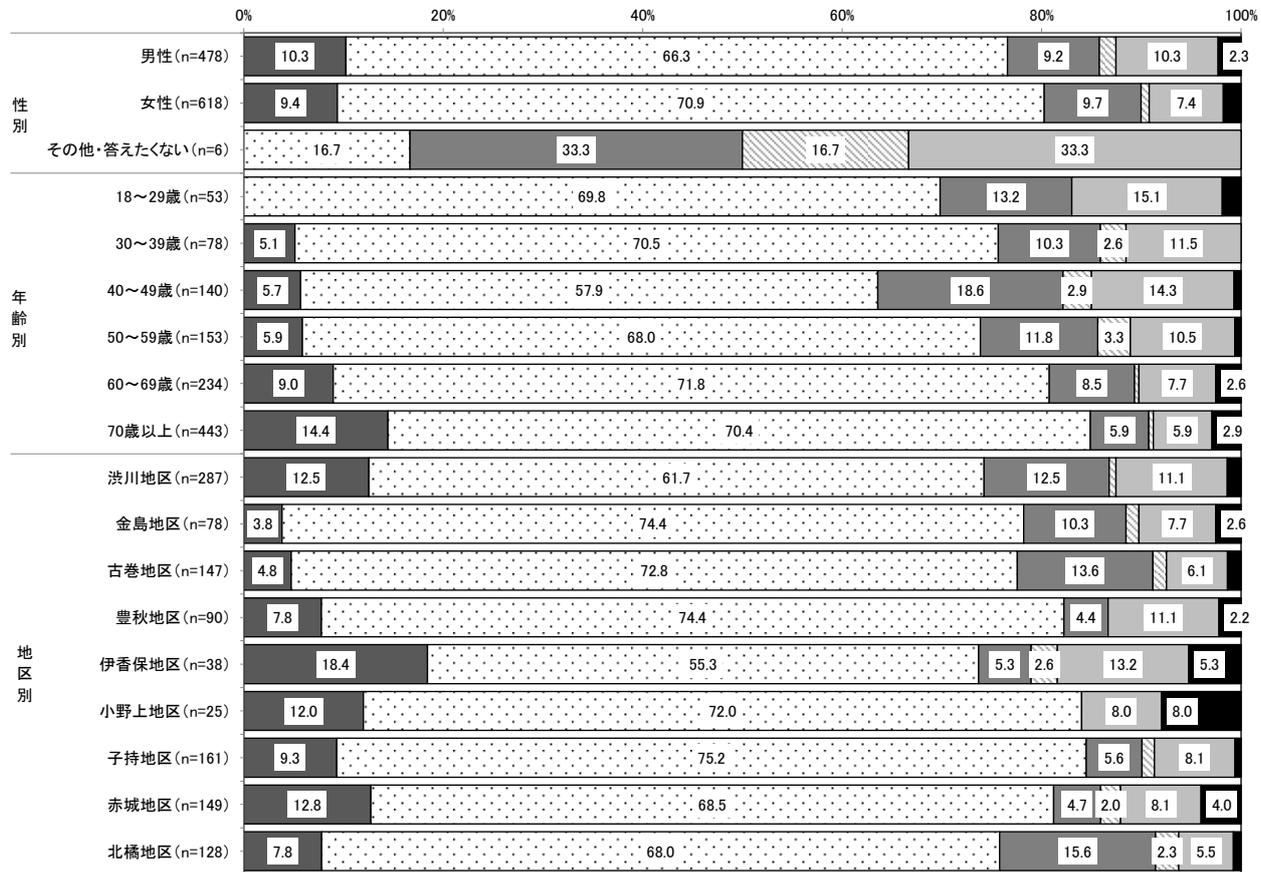
### 問 10 あなたは、今後周囲にお住まいの人との関わりをどのようにしたいですか。(1つに〇)



### 【性別・年代別・地区別】

性別で見ると、「ある程度は親しくしたい」が男性で66.3%、女性で70.9%と最も多くなっています。

年齢別・地区別ともに、「ある程度は親しくしたい」が最も多くなっています。



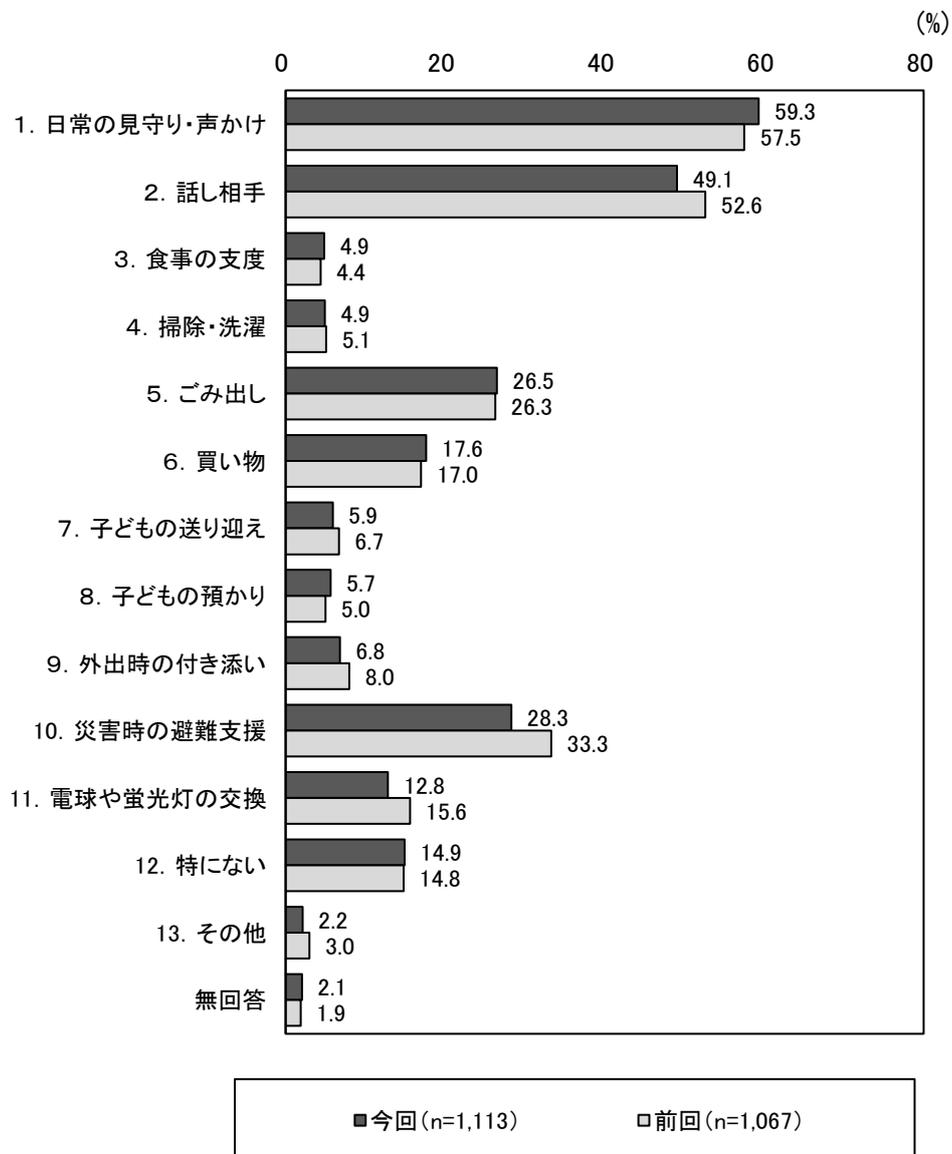
とても親しくしたい   
  ある程度は親しくしたい   
  あまり親しくしたくない   
  親しくしたくない   
  分からない   
  無回答

### (3) 周囲の人にできること

周囲にお住まいの人が困っている時に、あなたができることについては、「日常の見守り・声かけ」が59.3%で最も多く、次いで「話し相手」が49.1%、「災害時の避難支援」が28.3%となっています。

前回調査と比較すると、「日常の見守り・声かけ」が1.8ポイント増加し、「災害時の避難支援」が5ポイント、「話し相手」が3.5ポイント減少しています。

問 11 あなたの周囲にお住まいの人が困っている時に、あなたができるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)



【性別・年代別・地区別】

性別でみると、「話し相手」が女性で 55.3%と男性と比べて多くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢でも「日常の見守り・声かけ」が 50%以上と多くなっています。

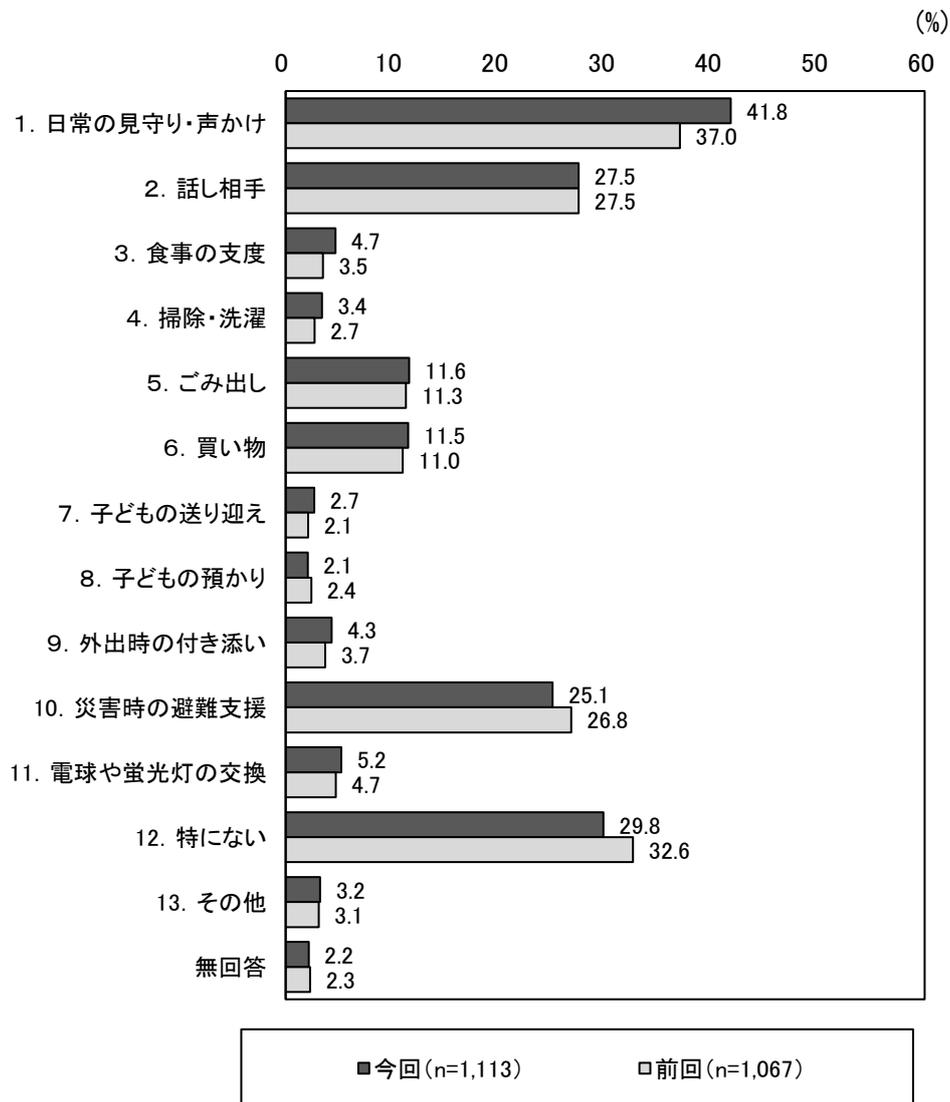
地区別でみると、金島地区の「ごみ出し」が 37.2%と他の地区に比べて多くなっています。

	n: 回答者数 / 単位: %	日常の見守り・声かけ	話し相手	食事の支度	掃除・洗濯	ごみ出し	買い物	子どもの送り迎え	子どもの預かり	外出時の付き添い	災害時の避難支援	電球や蛍光灯の交換	特にない	その他	無回答
性別	男性(n=478)	56.9	41.6	1.7	2.1	22.8	10.5	3.1	2.9	4.6	33.1	22.2	17.8	1.7	2.5
	女性(n=618)	61.7	55.3	7.3	7.1	29.1	23.1	8.3	7.8	8.4	24.6	5.5	12.6	2.4	1.8
	その他・答えたくない(n=6)	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0
年齢別	18～29歳(n=53)	56.6	49.1	0.0	0.0	13.2	5.7	1.9	1.9	0.0	26.4	5.7	15.1	1.9	1.9
	30～39歳(n=78)	62.8	46.2	5.1	2.6	20.5	16.7	16.7	14.1	5.1	38.5	15.4	20.5	0.0	0.0
	40～49歳(n=140)	57.9	39.3	4.3	3.6	25.7	15.7	10.0	11.4	7.9	35.0	15.0	18.6	2.1	0.7
	50～59歳(n=153)	58.8	34.0	3.3	5.2	26.8	16.3	4.6	6.5	2.6	35.9	15.7	14.4	2.0	0.7
	60～69歳(n=234)	66.2	47.4	3.8	5.1	32.1	20.1	6.4	6.0	6.8	30.3	13.7	14.5	2.1	1.7
	70歳以上(n=443)	56.2	58.7	6.3	5.9	25.7	18.5	3.4	2.3	8.4	20.8	11.1	13.1	2.7	3.6
地区別	渋川地区(n=287)	55.7	44.3	5.6	4.2	26.8	12.9	5.2	5.6	6.6	25.4	12.5	18.5	2.1	2.4
	金島地区(n=78)	59.0	50.0	1.3	7.7	37.2	20.5	6.4	5.1	9.0	28.2	16.7	14.1	2.6	3.8
	古巻地区(n=147)	64.6	57.1	3.4	3.4	27.9	19.0	6.1	6.1	5.4	30.6	12.9	12.2	1.4	0.7
	豊秋地区(n=90)	56.7	43.3	2.2	1.1	27.8	14.4	5.6	3.3	2.2	31.1	14.4	13.3	0.0	1.1
	伊香保地区(n=38)	52.6	42.1	5.3	7.9	13.2	2.6	0.0	0.0	0.0	21.1	2.6	13.2	5.3	10.5
	小野上地区(n=25)	80.0	60.0	4.0	0.0	8.0	24.0	0.0	0.0	4.0	40.0	12.0	8.0	4.0	0.0
	子持地区(n=161)	66.5	52.8	4.3	8.7	29.8	19.9	8.1	6.8	8.1	27.3	13.0	11.2	1.2	0.6
	赤城地区(n=149)	56.4	51.7	8.7	6.7	26.2	25.5	6.0	6.0	10.1	31.5	12.1	12.1	2.0	3.4
北橋地区(n=128)	56.3	46.9	5.5	3.1	19.5	17.2	7.8	7.8	7.0	27.3	13.3	21.9	4.7	0.8	

#### (4)周囲の人にしてもらいたいこと

困っている時に、周囲にお住まいの人にしてもらいたいことについては、「日常の見守り・声かけ」が41.8%で最も多く、次いで「特にない」が29.8%、「話し相手」が27.5%となっています。前回調査と比較すると、「日常の見守り・声かけ」が4.8ポイント増加し、「災害時の避難支援」が1.7ポイント減少しています。

問 12 あなたが困っている時に、周囲にお住まいの人にしてもらいたいことはどのようなことですか。  
(あてはまるものすべてに○)



## 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、「日常の見守り・声かけ」が男性・女性ともに最も多くなっています。

年齢別でみると、「話し相手」が70歳以上で35.0%と他の年齢に比べて多くなっています。「話し相手」については18～29歳で26.4%と多い傾向となっています。

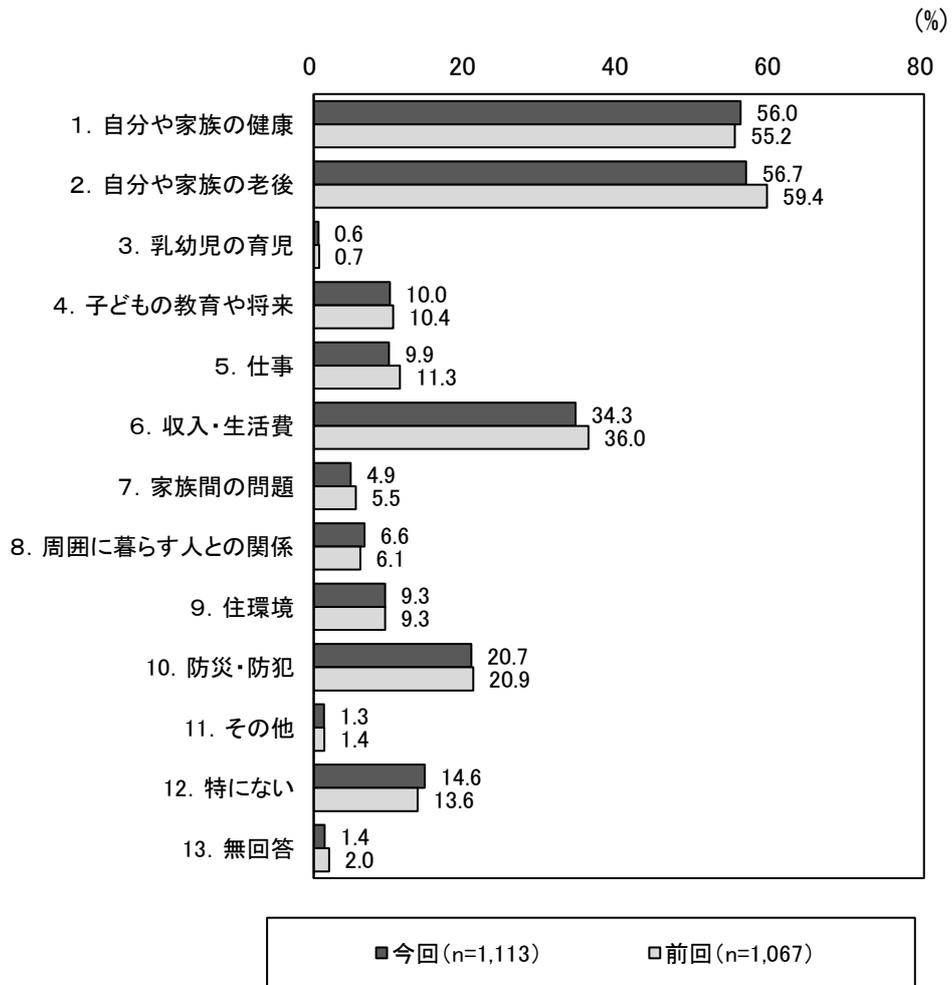
地区別でみると、小野上地区の「災害時の避難支援」が36.0%と他の地区に比べて多くなっています。

n: 回答者数 / 単位: %		日常の見守り・声かけ	話し相手	食事の支度	掃除・洗濯	ごみ出し	買い物	子どもの送り迎え	子どもの預かり	外出時の付き添い	災害時の避難支援	電球や蛍光灯の交換	特にない	その他	無回答
性別	男性(n=478)	40.4	24.3	4.0	2.9	9.4	8.4	1.3	1.7	2.7	21.8	3.8	35.4	2.1	2.3
	女性(n=618)	43.4	30.1	5.3	3.7	13.1	13.9	3.7	2.4	5.7	27.5	6.0	25.6	4.2	2.1
	その他・答えたくない(n=6)	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	66.7	0.0	0.0
年齢別	18～29歳(n=53)	30.2	26.4	0.0	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	22.6	0.0	41.5	1.9	1.9
	30～39歳(n=78)	41.0	19.2	3.8	1.3	3.8	9.0	14.1	14.1	1.3	32.1	1.3	30.8	2.6	1.3
	40～49歳(n=140)	31.4	15.0	2.1	2.1	5.0	5.7	10.0	6.4	3.6	25.7	2.1	37.1	4.3	1.4
	50～59歳(n=153)	35.9	23.5	2.6	2.0	5.2	5.9	0.7	0.7	1.3	27.5	3.3	36.6	4.6	2.0
	60～69歳(n=234)	45.3	25.6	4.7	2.1	11.5	11.1	0.9	0.4	3.8	18.4	3.0	32.5	3.4	2.6
	70歳以上(n=443)	46.7	35.0	6.8	5.4	17.6	16.9	0.2	0.0	6.8	26.2	9.0	23.0	2.7	2.5
地区別	渋川地区(n=287)	35.2	22.3	3.5	3.1	9.4	9.8	2.1	2.8	3.5	24.0	5.9	35.2	2.8	2.4
	金島地区(n=78)	37.2	26.9	6.4	6.4	10.3	12.8	1.3	0.0	3.8	19.2	3.8	35.9	1.3	5.1
	古巻地区(n=147)	44.2	30.6	0.7	0.7	10.2	8.2	3.4	2.7	3.4	27.9	2.0	25.9	4.8	1.4
	豊秋地区(n=90)	45.6	20.0	2.2	1.1	12.2	5.6	1.1	1.1	3.3	27.8	5.6	33.3	1.1	3.3
	伊香保地区(n=38)	44.7	36.8	7.9	10.5	23.7	18.4	2.6	0.0	5.3	26.3	5.3	23.7	0.0	5.3
	小野上地区(n=25)	56.0	32.0	4.0	0.0	4.0	20.0	0.0	0.0	0.0	36.0	4.0	28.0	4.0	0.0
	子持地区(n=161)	46.0	26.1	6.8	3.7	12.4	9.3	3.1	2.5	4.3	24.2	5.0	27.3	2.5	1.2
	赤城地区(n=149)	46.3	34.2	7.4	4.0	14.8	19.5	2.7	2.0	8.1	27.5	8.1	22.1	3.4	2.7
	北橋地区(n=128)	40.6	31.3	6.3	3.9	10.9	11.7	4.7	2.3	4.7	19.5	3.9	32.0	7.0	0.0

### (5)日常生活での不安

日常生活で不安を感じていることについては、「自分や家族の老後」が56.7%で最も多く、次いで「自分や家族の健康」が56.0%、「収入・生活費」が34.3%となっています。前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

問 13 あなたは日常生活で不安を感じていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)



### 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、「自分や家族の健康」と「自分や家族の老後」が男性・女性ともに50%台と最も多くなっています。

年齢別でみると、「自分や家族の老後」が50～59歳と60～69歳で60%台と他の年齢に比べて多くなっています。

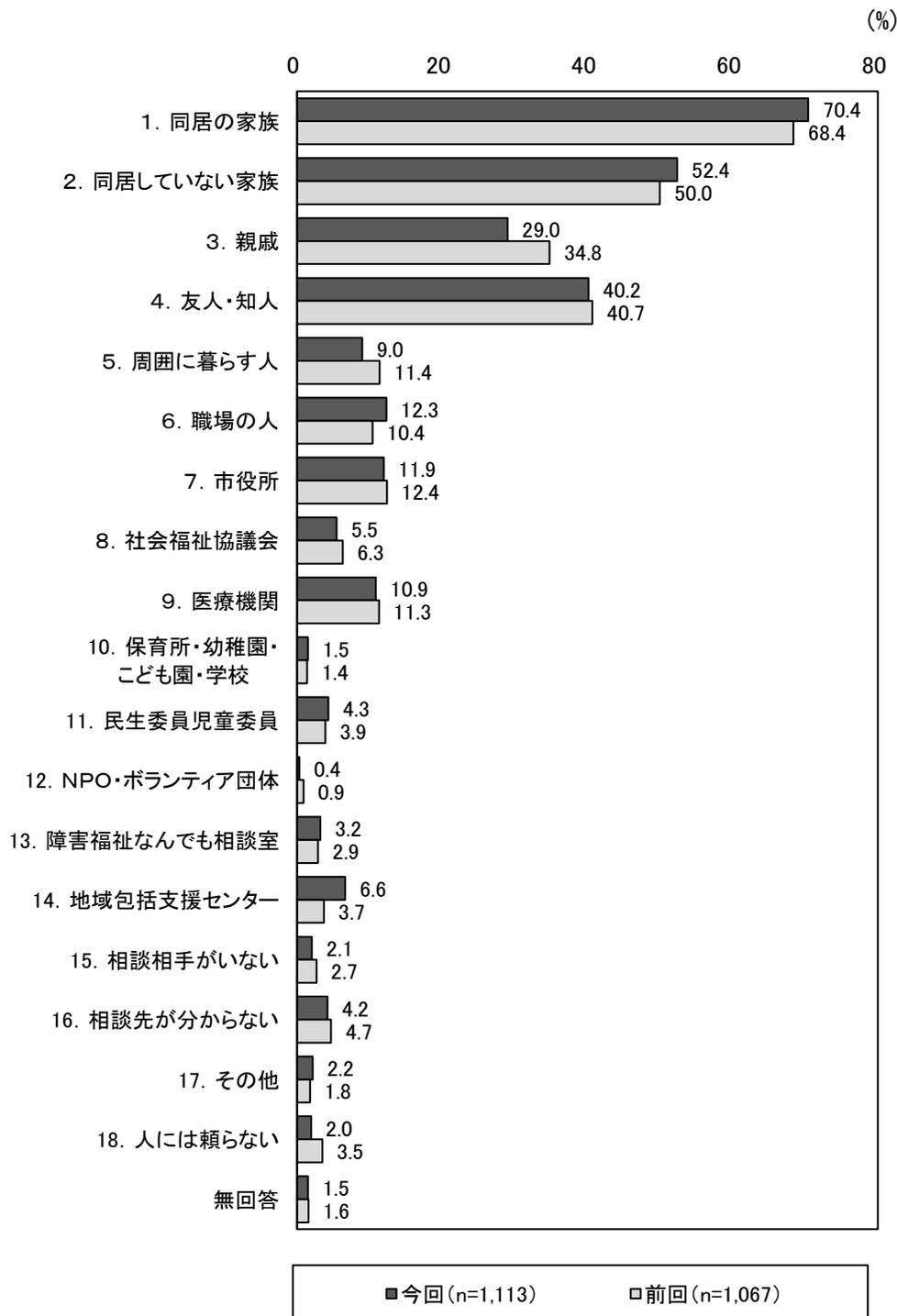
地区別でみると、渋川地区の「収入・生活費」が40.4%と他の地区に比べて多くなっています。

	n: 回答者数 / 単位: %	自分や家族の健康	自分や家族の老後	乳幼児の育児	子どもの教育や将来	仕事	収入・生活費	家族間の問題	周囲に暮らす人との関係	住環境	防災・防犯	その他	特にない	無回答
性別	男性(n=478)	56.7	54.0	0.4	7.9	10.3	35.1	4.4	7.3	9.2	18.0	2.3	15.5	1.7
	女性(n=618)	55.3	59.1	0.8	11.7	9.5	33.7	5.2	6.1	9.4	22.8	0.6	13.6	1.3
	その他・答えたくない(n=6)	83.3	50.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0
年齢別	18～29歳(n=53)	30.2	37.7	5.7	5.7	24.5	35.8	5.7	1.9	11.3	22.6	1.9	28.3	1.9
	30～39歳(n=78)	38.5	35.9	3.8	38.5	25.6	42.3	5.1	7.7	10.3	19.2	3.8	14.1	0.0
	40～49歳(n=140)	49.3	56.4	0.7	29.3	20.7	44.3	6.4	6.4	12.9	15.7	0.7	11.4	0.7
	50～59歳(n=153)	46.4	68.6	0.0	11.8	13.1	37.9	8.5	2.6	9.2	19.0	1.3	14.4	1.3
	60～69歳(n=234)	61.5	64.5	0.0	3.4	6.4	37.6	4.3	3.0	9.0	21.4	1.3	12.8	1.7
	70歳以上(n=443)	64.6	55.1	0.0	2.3	2.5	26.9	3.2	10.6	8.1	22.6	1.1	14.4	1.8
地区別	渋川地区(n=287)	48.8	51.9	1.0	10.5	12.9	40.4	3.8	7.0	8.4	21.6	1.4	15.3	1.4
	金島地区(n=78)	55.1	53.8	0.0	6.4	5.1	29.5	3.8	6.4	7.7	15.4	0.0	17.9	2.6
	古巻地区(n=147)	55.1	52.4	1.4	14.3	8.8	25.9	6.1	5.4	10.9	21.8	1.4	17.0	1.4
	豊秋地区(n=90)	58.9	68.9	0.0	8.9	1.1	32.2	2.2	15.6	11.1	23.3	2.2	13.3	1.1
	伊香保地区(n=38)	60.5	47.4	0.0	0.0	5.3	26.3	0.0	5.3	10.5	26.3	5.3	13.2	5.3
	小野上地区(n=25)	56.0	64.0	0.0	8.0	12.0	36.0	0.0	0.0	12.0	24.0	4.0	12.0	0.0
	子持地区(n=161)	61.5	58.4	0.6	14.9	11.2	34.2	6.8	3.7	8.1	16.1	0.6	13.0	0.6
	赤城地区(n=149)	56.4	61.1	0.0	4.7	12.8	36.2	4.7	6.0	10.1	23.5	1.3	11.4	2.0
北橋地区(n=128)	62.5	60.2	0.8	10.2	9.4	35.2	7.0	7.8	9.4	18.8	0.8	14.8	0.8	

## (6)日常生活での相談先

日常生活で困った時、相談するのはどなた（どこ）かについては、「同居の家族」が70.4%で最も多く、次いで「同居していない家族」が52.4%、「友人・知人」が40.2%となっています。前回調査と比較すると、「親戚」が5.8ポイント減少しています。なお、民生委員児童委員や地域包括支援センターが前回調査より増加しており、地域での認知度が向上している傾向となっています。

問 14あなたが日常生活で困った時、相談するのはどなた(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)



## 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、「同居していない家族」が女性で59.5%、「友人・知人」が女性で47.1%と男性に比べて多くなっています。

年齢別でみると、「市役所」が70歳以上で14.9%と他の年齢に比べて多くなっています。

地区別でみると、小野上地区の「周囲に暮らす人」が28.0%と他の地区に比べて多くなっています。

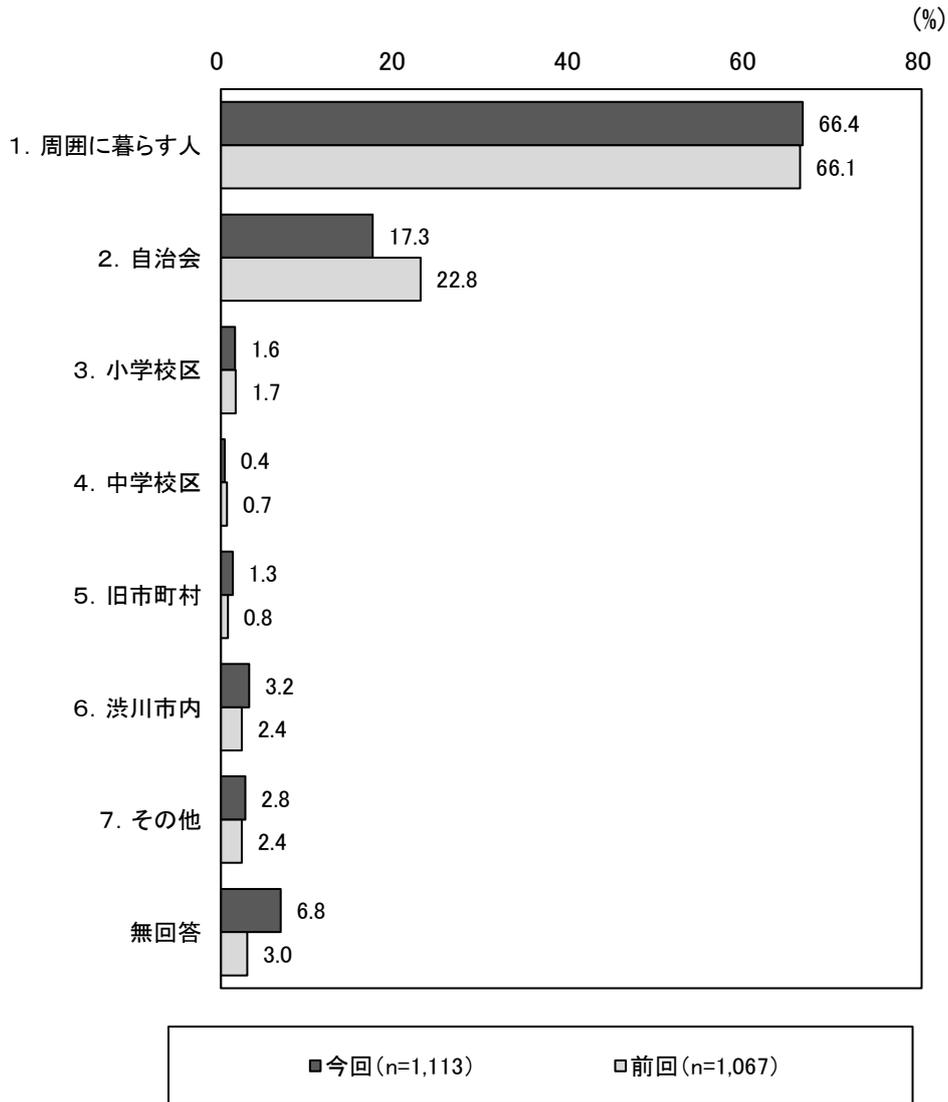
	n: 回答者数 / 単位: %	同居の家族	同居していない家族	親戚	友人・知人	周囲に暮らす人	職場の人	市役所	社会福祉協議会	医療機関	保育所・幼稚園・こども園・学校	民生委員児童委員	NPO・ボランティア団体	障害福祉なんでも相談室	地域包括支援センター	相談相手がいらない	相談先が分からない	その他	人には頼らない	無回答
性別	男性(n=478)	68.2	43.3	30.8	31.6	10.0	12.6	13.0	5.4	12.1	0.8	3.6	0.4	2.9	5.9	2.3	5.0	2.9	2.7	1.9
	女性(n=618)	72.2	59.5	28.0	47.1	7.9	12.1	10.7	5.7	9.9	2.1	4.9	0.3	3.6	7.4	1.8	3.4	1.6	1.1	1.3
	その他・答えたくない(n=6)	83.3	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	33.3	0.0
年齢別	18～29歳(n=53)	75.5	34.0	9.4	60.4	0.0	28.3	3.8	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9	0.0	0.0	1.9
	30～39歳(n=78)	74.4	61.5	15.4	53.8	1.3	33.3	5.1	0.0	5.1	7.7	0.0	0.0	1.3	1.3	2.6	1.3	0.0	2.6	0.0
	40～49歳(n=140)	84.3	45.7	12.9	48.6	2.1	25.0	7.1	1.4	5.7	4.3	0.7	0.0	4.3	3.6	2.1	2.1	0.7	0.7	0.7
	50～59歳(n=153)	77.1	50.3	23.5	42.5	5.2	20.9	9.2	3.3	7.8	2.0	2.0	0.0	2.6	2.6	3.9	5.9	3.3	2.6	0.7
	60～69歳(n=234)	75.6	54.3	32.1	43.2	7.3	8.1	13.2	4.3	9.4	0.0	0.9	0.0	3.0	2.1	1.3	5.6	3.4	2.6	1.7
	70歳以上(n=443)	59.4	54.9	38.6	30.0	15.6	1.8	14.9	9.7	16.3	0.5	9.5	0.9	4.1	13.1	1.8	4.5	2.3	2.0	2.3
地区別	渋川地区(n=287)	64.1	50.5	23.3	40.1	5.2	15.7	13.6	4.9	10.5	1.4	4.9	0.3	3.5	6.6	3.5	6.3	2.8	2.1	1.4
	金島地区(n=78)	69.2	57.7	26.9	38.5	10.3	12.8	14.1	6.4	12.8	1.3	1.3	0.0	1.3	5.1	1.3	2.6	2.6	1.3	3.8
	古巻地区(n=147)	76.2	49.0	23.1	47.6	6.1	9.5	11.6	2.7	13.6	1.4	1.4	0.0	2.7	4.8	1.4	4.1	0.7	2.0	2.0
	豊秋地区(n=90)	76.7	50.0	30.0	37.8	10.0	15.6	15.6	5.6	8.9	1.1	5.6	0.0	2.2	12.2	0.0	4.4	2.2	1.1	1.1
	伊香保地区(n=38)	63.2	52.6	21.1	28.9	7.9	5.3	7.9	5.3	7.9	0.0	5.3	0.0	5.3	5.3	5.3	2.6	5.3	2.6	2.6
	小野上地区(n=25)	76.0	60.0	40.0	48.0	28.0	12.0	8.0	8.0	12.0	4.0	8.0	0.0	0.0	12.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0
	子持地区(n=161)	74.5	60.9	39.8	39.8	8.7	11.8	12.4	9.9	8.1	2.5	6.2	0.0	3.7	9.3	0.6	3.1	1.9	3.7	0.6
	赤城地区(n=149)	69.1	45.0	29.5	38.3	14.8	14.1	6.0	4.7	13.4	1.3	4.0	1.3	3.4	4.7	1.3	4.7	1.3	0.0	2.0
北橘地区(n=128)	71.9	53.9	35.2	37.5	8.6	5.5	10.9	4.7	9.4	1.6	4.7	0.8	3.9	4.7	3.9	3.1	3.1	1.6	0.8	

### (7)助け合える範囲

住民同士がお互いに助け合える範囲については、「周囲に暮らす人」が66.4%で最も多く、次いで「自治会」が17.3%となっています。

前回調査と比較すると、「自治会」が5.5ポイント減少しています。

問 15 住民同士がお互いに助け合えるのは、どの範囲だと思いますか。(1つに○)

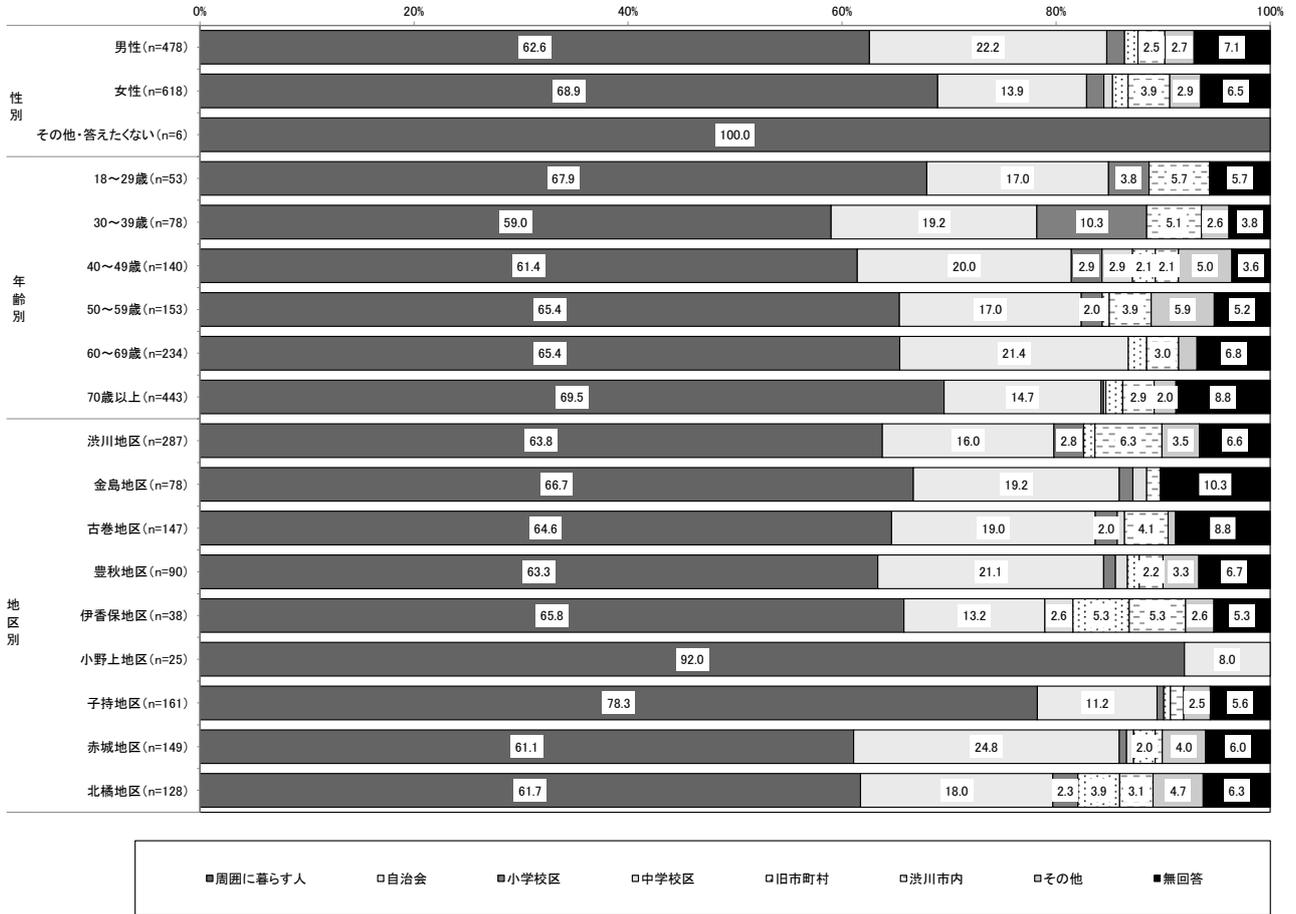


## 【性別・年代別・地区別】

性別で見ると、「自治会」が男性で22.2%と女性に比べて多くなっています。

年齢別で見ると、「小学校区」が30～39歳で10.3%と他の年齢に比べて多くなっています。

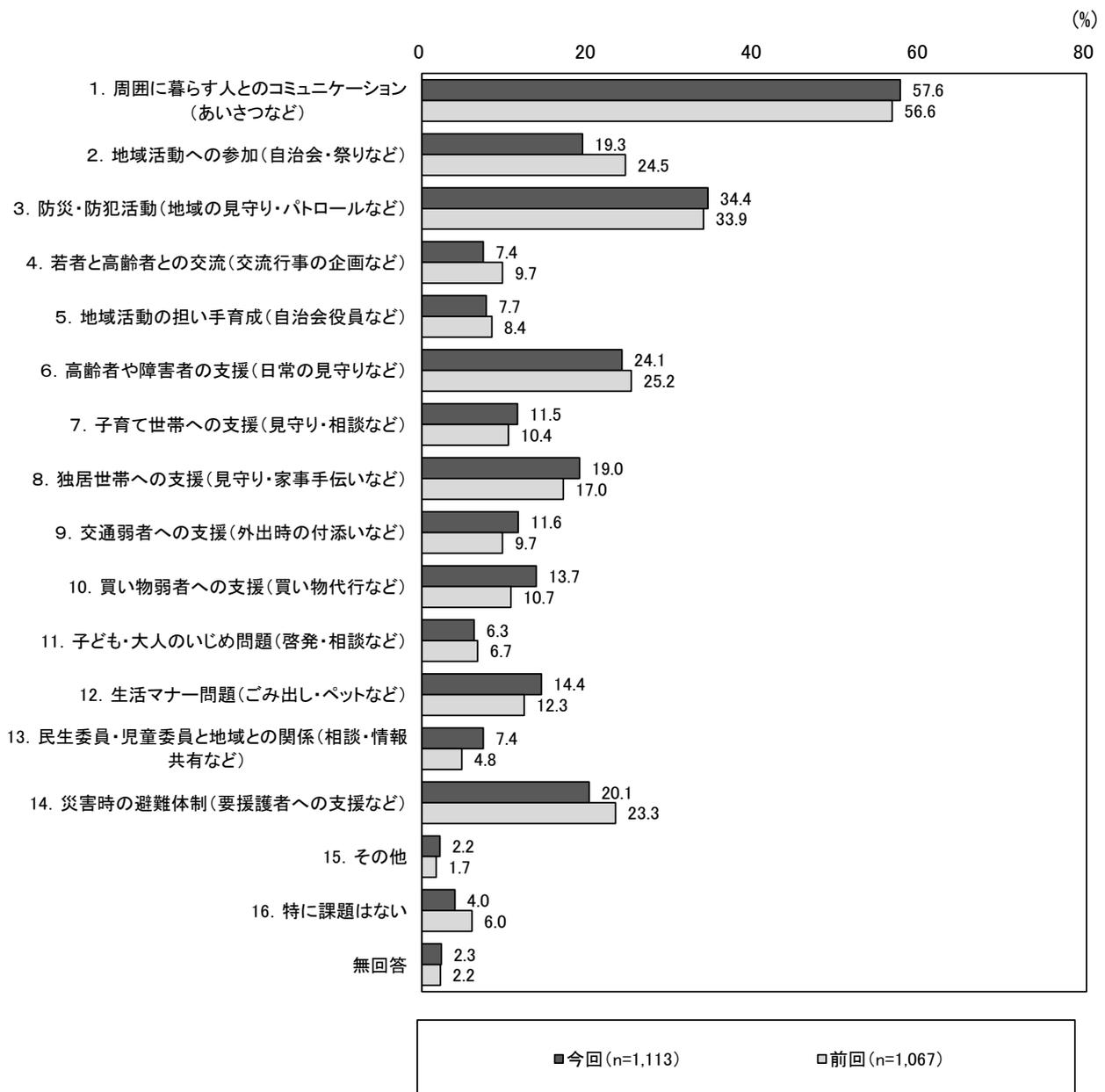
地区別で見ると、赤城地区の「自治会」が24.8%と他の地区に比べて多くなっています。



### (8)地域で取り組むべき課題

特に地域で取り組むべき課題については、「周囲に暮らす人とのコミュニケーション（あいさつなど）」が57.6%で最も多く、次いで「防災・防犯活動（地域の見守り・パトロールなど）」が34.4%、「高齢者や障害者の支援（日常の見守りなど）」が24.1%となっています。前回調査と比較すると、「地域活動への参加（自治会・祭りなど）」が5.2ポイント減少しています。

問 16 今後、地域のだれもが安心して生活するために、特に地域で取り組むべき課題は、どのようなものがあると思いますか。(上位3つまでに○)



【性別・年代別・地区別】

性別でみると、「高齢者や障害者の支援（日常の見守りなど）」が女性で25.7%と男性に比べて多くなっています。

年齢別でみると、「子育て世帯への支援（見守り・相談など）」が18～29歳と30～39歳で30%台、40～49歳で20%台と他の年齢に比べて多くなっています。

地区別でみると、古巻地区の「防災・防犯活動（地域の見守り・パトロールなど）」が46.9%と他の地区に比べて多くなっています。

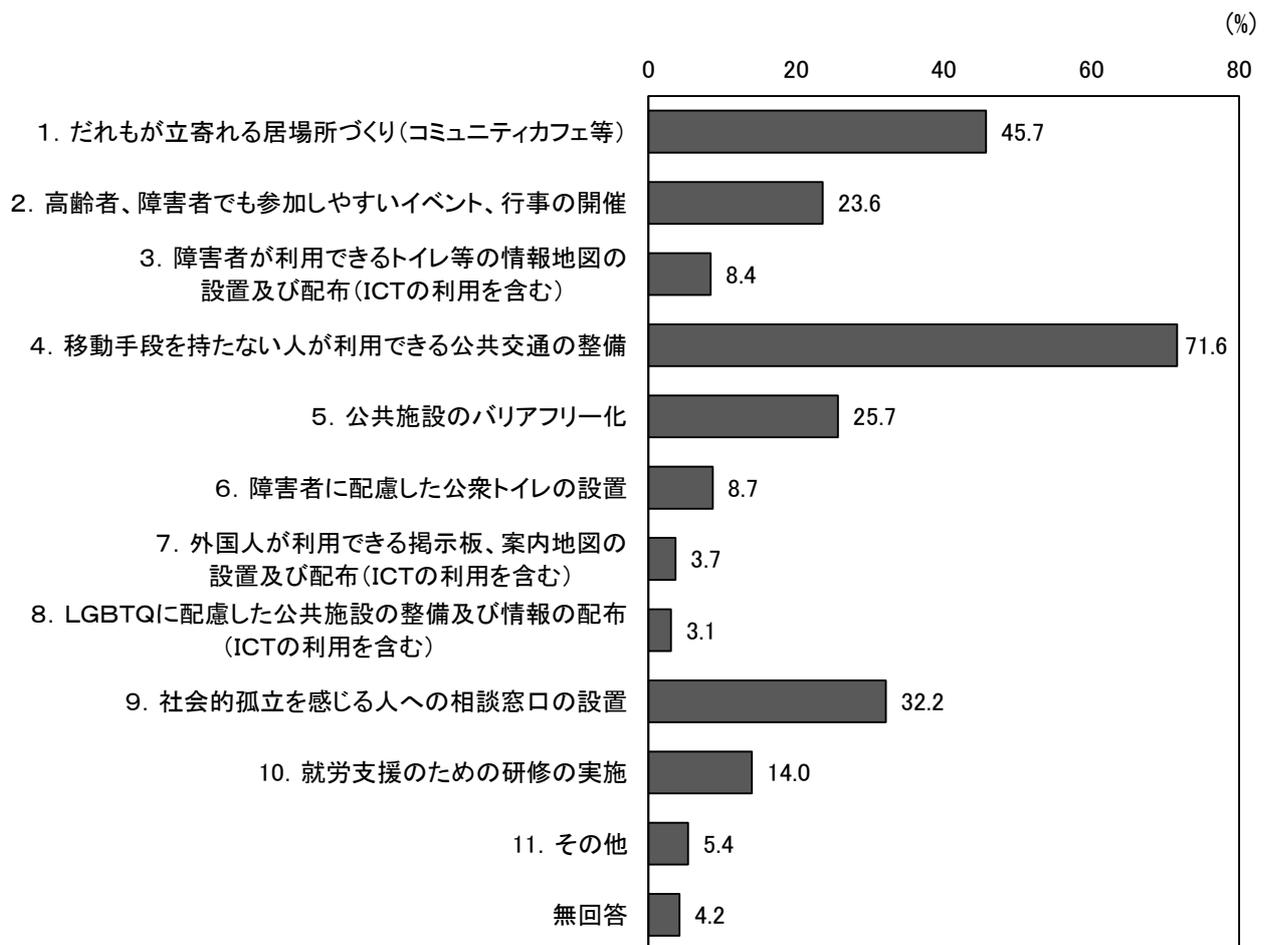
	n:回答者数 / 単位:%	周囲に暮らす人とのコミュニケーション（あいさつなど）	地域活動への参加（自治会・祭りなど）	防災・防犯活動（地域の見守り・パトロールなど）	若者と高齢者との交流（交流行事の企画など）	地域活動の担い手育成（自治会役員など）	高齢者や障害者の支援（日常の見守りなど）	子育て世帯への支援（見守り・相談など）	同居世帯への支援（見守り・家事手伝いなど）	交通弱者への支援（外出時の付添いなど）
性別	男性(n=478)	59.6	26.6	36.6	6.5	10.7	21.8	10.0	16.1	8.4
	女性(n=618)	56.1	13.9	33.0	7.9	5.5	25.7	12.6	21.2	14.1
	その他・答えたくない(n=6)	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	33.3
年齢別	18～29歳(n=53)	49.1	17.0	43.4	7.5	5.7	26.4	32.1	13.2	3.8
	30～39歳(n=78)	43.6	12.8	39.7	6.4	3.8	20.5	33.3	12.8	11.5
	40～49歳(n=140)	46.4	13.6	37.1	3.6	9.3	25.0	27.9	19.3	10.7
	50～59歳(n=153)	53.6	13.1	34.0	9.2	3.3	29.4	6.5	21.6	11.1
	60～69歳(n=234)	60.3	21.8	37.2	8.5	7.3	23.1	7.3	20.9	10.7
	70歳以上(n=443)	64.3	23.3	30.2	7.7	9.5	22.6	3.8	18.7	13.8
地区別	渋川地区(n=287)	56.4	17.8	37.3	7.0	6.3	24.0	14.3	17.8	8.4
	金島地区(n=78)	59.0	20.5	32.1	2.6	3.8	28.2	6.4	21.8	11.5
	古巻地区(n=147)	53.7	13.6	46.9	8.8	11.6	19.0	14.3	20.4	11.6
	豊秋地区(n=90)	60.0	16.7	31.1	14.4	4.4	23.3	10.0	18.9	11.1
	伊香保地区(n=38)	52.6	13.2	26.3	7.9	5.3	23.7	5.3	21.1	10.5
	小野上地区(n=25)	64.0	24.0	32.0	12.0	8.0	20.0	12.0	20.0	16.0
	子持地区(n=161)	64.0	23.6	28.6	5.6	10.6	25.5	12.4	21.1	13.0
	赤城地区(n=149)	59.7	28.2	32.9	8.1	9.4	22.1	10.1	20.1	15.4
	北橋地区(n=128)	52.3	17.2	29.7	5.5	6.3	27.3	8.6	13.3	12.5
性別	男性(n=478)	9.4	5.6	15.5	6.7	18.8	1.7	4.6	2.7	
	女性(n=618)	17.2	6.8	13.6	7.4	21.2	2.4	3.4	2.1	
	その他・答えたくない(n=6)	0.0	16.7	33.3	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	
年齢別	18～29歳(n=53)	5.7	13.2	13.2	1.9	17.0	1.9	3.8	1.9	
	30～39歳(n=78)	10.3	12.8	16.7	3.8	25.6	5.1	1.3	0.0	
	40～49歳(n=140)	12.9	11.4	13.6	5.0	21.4	2.9	4.3	0.7	
	50～59歳(n=153)	11.1	5.9	18.3	7.2	22.2	3.9	7.8	2.6	
	60～69歳(n=234)	12.8	5.6	15.4	4.7	25.6	1.3	4.3	1.7	
	70歳以上(n=443)	16.9	3.4	12.9	10.4	15.6	1.4	2.9	3.6	
地区別	渋川地区(n=287)	13.2	9.4	15.3	8.0	23.7	2.1	2.4	1.7	
	金島地区(n=78)	17.9	6.4	14.1	7.7	14.1	0.0	0.0	6.4	
	古巻地区(n=147)	11.6	5.4	19.7	4.1	22.4	2.0	4.8	2.7	
	豊秋地区(n=90)	14.4	5.6	15.6	8.9	17.8	2.2	2.2	3.3	
	伊香保地区(n=38)	13.2	5.3	15.8	18.4	15.8	5.3	0.0	5.3	
	小野上地区(n=25)	4.0	8.0	8.0	4.0	32.0	0.0	4.0	4.0	
	子持地区(n=161)	11.2	5.6	13.7	6.8	19.3	0.6	3.1	1.2	
	赤城地区(n=149)	16.8	0.7	11.4	7.4	14.8	2.0	6.0	2.0	
	北橋地区(n=128)	14.8	8.6	11.7	4.7	20.3	5.5	10.2	0.8	

### (9) 渋川市に必要なもの

安心して生活するために、渋川市に必要なものについては、「移動手段を持たない人が利用できる公共交通の整備」が71.6%で最も多く、次いで「だれもが立寄れる居場所づくり（コミュニティカフェ等）」が45.7%、「社会的孤立を感じる人への相談窓口の設置」が32.2%となっています。

※新設項目のため、今回データのみ掲載しています。

問 17 今後、地域のだれもが安心して生活するために、渋川市に必要なものには、どのようなものがあると思いますか。（上位3つまでに○）



【性別・年代別・地区別】

性別でみると、「社会的孤立を感じる人への相談窓口の設置」が女性で 35.3%と男性に比べて多くなっています。

年齢別でみると、「公共施設のバリアフリー化」が 18～29 歳で 41.5%、「社会的孤立を感じる人への相談窓口の設置」が 40～49 歳で 45.0%と他の年齢に比べて多くなっています。

地区別でみると、「社会的孤立を感じる人への相談窓口の設置」が古巻地区と赤城地区で 30%台後半と、他の地区に比べて多くなっています。

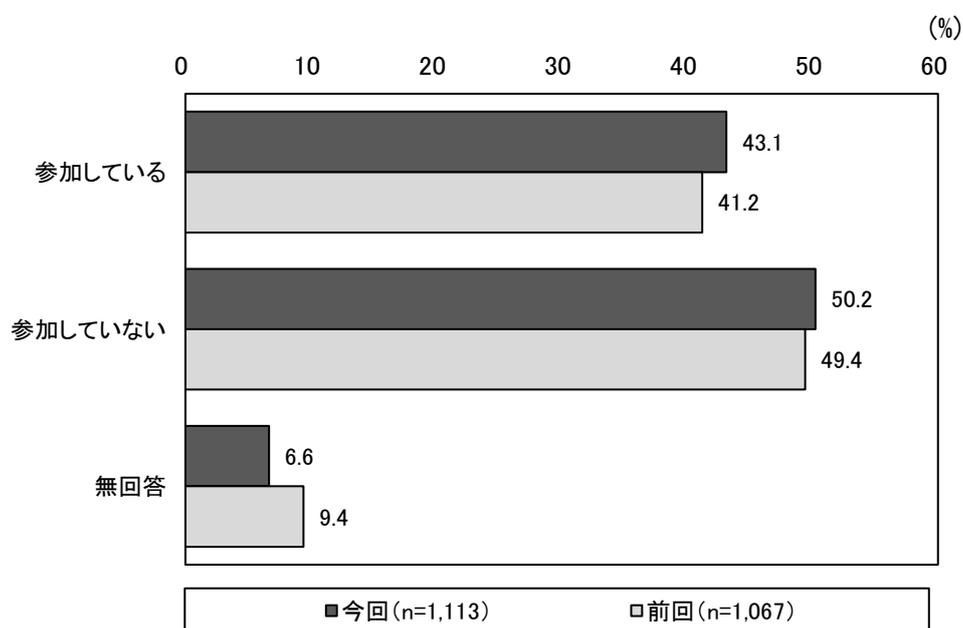
	n: 回答者数 / 単位: %	テ 所 だ い カ フ リ エ 等 )	加 高 利 用 を 含 む )	置 イ 障 の 整 備 が 移 動 手 段 を 持 た な い 通 人	リ 公 共 施 設 の バ リ ア フ リ 化	ト 障 害 者 に 配 慮 し た 公 衆		
性別	男性 (n=478)	46.2	26.6	10.3	71.1	23.0	9.8	
	女性 (n=618)	45.5	22.0	7.3	71.7	27.8	8.1	
	その他・答えたくない (n=6)	16.7	0.0	0.0	100.0	16.7	0.0	
年齢別	18～29歳 (n=53)	49.1	18.9	3.8	66.0	41.5	1.9	
	30～39歳 (n=78)	42.3	15.4	15.4	66.7	33.3	6.4	
	40～49歳 (n=140)	37.9	10.0	2.9	76.4	24.3	7.9	
	50～59歳 (n=153)	34.0	19.0	8.5	76.5	24.8	8.5	
	60～69歳 (n=234)	50.9	25.2	8.5	69.7	28.2	7.7	
	70歳以上 (n=443)	49.0	30.9	9.7	70.9	21.9	11.1	
地区別	渋川地区 (n=287)	43.9	20.6	9.1	70.7	29.3	10.5	
	金島地区 (n=78)	43.6	25.6	7.7	71.8	19.2	5.1	
	古巻地区 (n=147)	43.5	23.8	10.9	68.7	25.2	7.5	
	豊秋地区 (n=90)	46.7	21.1	10.0	70.0	26.7	8.9	
	伊香保地区 (n=38)	36.8	31.6	13.2	63.2	18.4	2.6	
	小野上地区 (n=25)	52.0	44.0	8.0	72.0	16.0	8.0	
	子持地区 (n=161)	56.5	23.6	6.8	75.8	29.2	7.5	
	赤城地区 (n=149)	42.3	22.8	7.4	75.8	21.5	12.8	
	北橘地区 (n=128)	44.5	27.3	4.7	68.8	25.8	7.0	
	n: 回答者数 / 単位: %	用 及 び 配 布 を 含 む )	示 外 国 人 が 利 用 で き る 設 置 掲	報 公 共 施 設 の 整 備 及 慮 の 情 報	へ 社 会 的 孤 立 を 感 じ る 人	の 就 労 支 援 の た め の 研 修	そ の 他	無 回 答
性別	男性 (n=478)	3.8	2.3	28.0	14.9	6.3	4.4	
	女性 (n=618)	3.4	3.2	35.3	13.3	4.7	4.2	
	その他・答えたくない (n=6)	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	
年齢別	18～29歳 (n=53)	7.5	9.4	32.1	11.3	3.8	1.9	
	30～39歳 (n=78)	9.0	3.8	35.9	19.2	11.5	2.6	
	40～49歳 (n=140)	2.9	5.7	45.0	25.7	5.0	2.9	
	50～59歳 (n=153)	4.6	3.9	36.6	15.0	8.5	4.6	
	60～69歳 (n=234)	1.7	3.4	30.8	19.2	4.7	3.4	
	70歳以上 (n=443)	3.2	0.9	26.2	6.3	4.1	5.6	
地区別	渋川地区 (n=287)	4.5	4.2	31.4	17.1	4.2	3.1	
	金島地区 (n=78)	3.8	6.4	30.8	12.8	0.0	6.4	
	古巻地区 (n=147)	3.4	2.0	39.5	10.2	9.5	5.4	
	豊秋地区 (n=90)	3.3	1.1	32.2	11.1	5.6	3.3	
	伊香保地区 (n=38)	7.9	0.0	26.3	5.3	5.3	7.9	
	小野上地区 (n=25)	8.0	4.0	24.0	24.0	4.0	4.0	
	子持地区 (n=161)	1.2	3.1	31.1	9.3	5.6	4.3	
	赤城地区 (n=149)	3.4	1.3	37.6	12.8	3.4	6.0	
	北橘地区 (n=128)	3.1	3.9	24.2	21.9	9.4	1.6	

### 3. 地域活動・ボランティア活動について

#### (1) 地域活動への参加

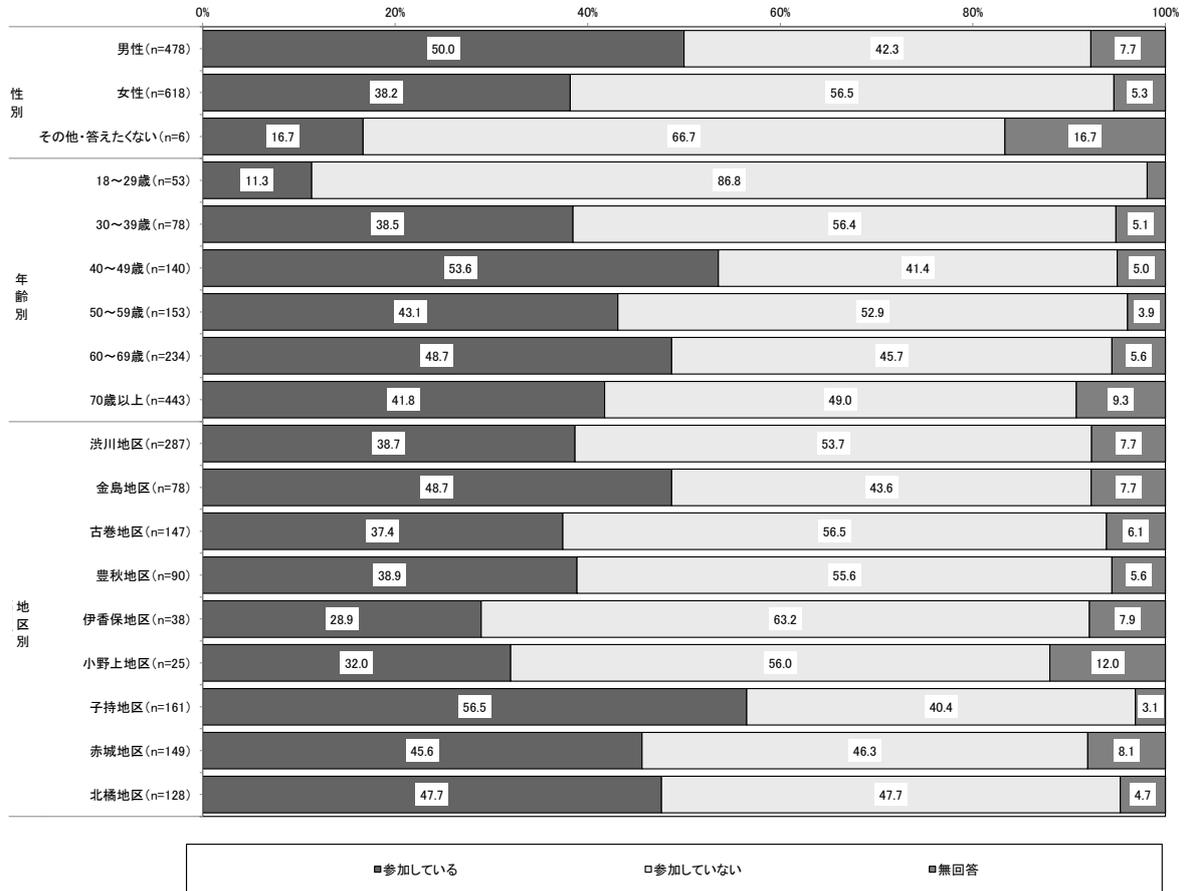
地域活動（自治会・子ども会育成会など）に参加しているかについては、「参加していない」が50.2%で、「参加している」の43.1%を上回っています。  
前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

問 18 あなたは現在、地域活動(自治会・子ども会育成会など)に参加していますか。(1つに○)



## 【性別・年代別・地区別】

性別で見ると、「参加していない」が女性で56.5%と男性に比べて多くなっています。  
 年齢別で見ると、「参加している」が40～49歳で53.6%と他の年齢に比べて多くなっています。  
 地区別で見ると、「参加している」が子持地区で56.5%と他の地区に比べて多くなっています。

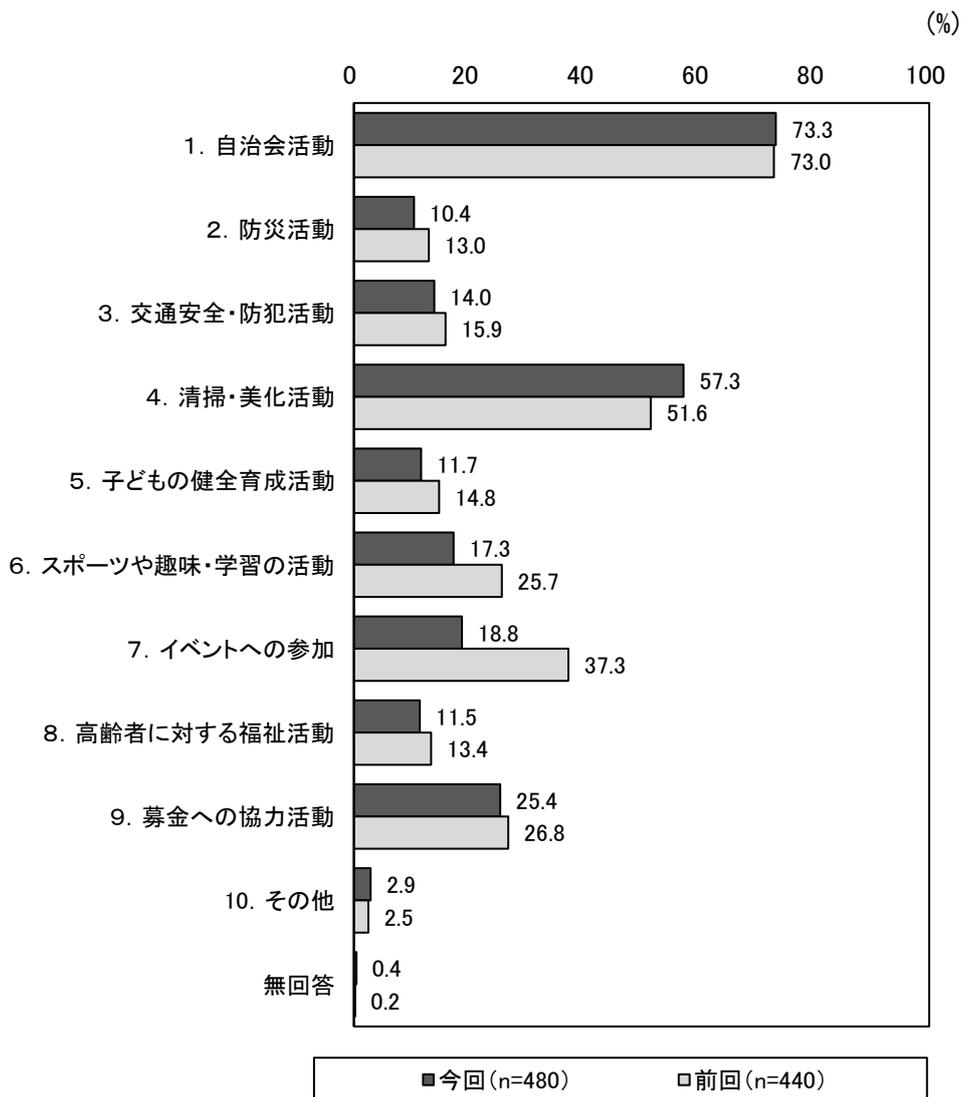


### (1-1)地域活動の内容

どのような地域活動に参加しているかについては、「自治会活動」が73.3%で最も多く、次いで「清掃・美化活動」が57.3%、「募金への協力活動」が25.4%となっています。

前回調査と比較すると、「清掃・美化活動」が5.7ポイント増加し、「イベントへの参加」が18.5ポイント、「スポーツや趣味・学習の活動」が8.4ポイント減少しています。

問 18-1 どのような地域活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)



### 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、「自治会活動」が男性で81.2%と女性に比べて多くなっています。

年齢別でみると、「子どもの健全育成活動」が40～49歳で34.7%と他の年齢に比べて多くなっています。

地区別でみると、「自治会活動」が全ての地区で60%以上となっています。

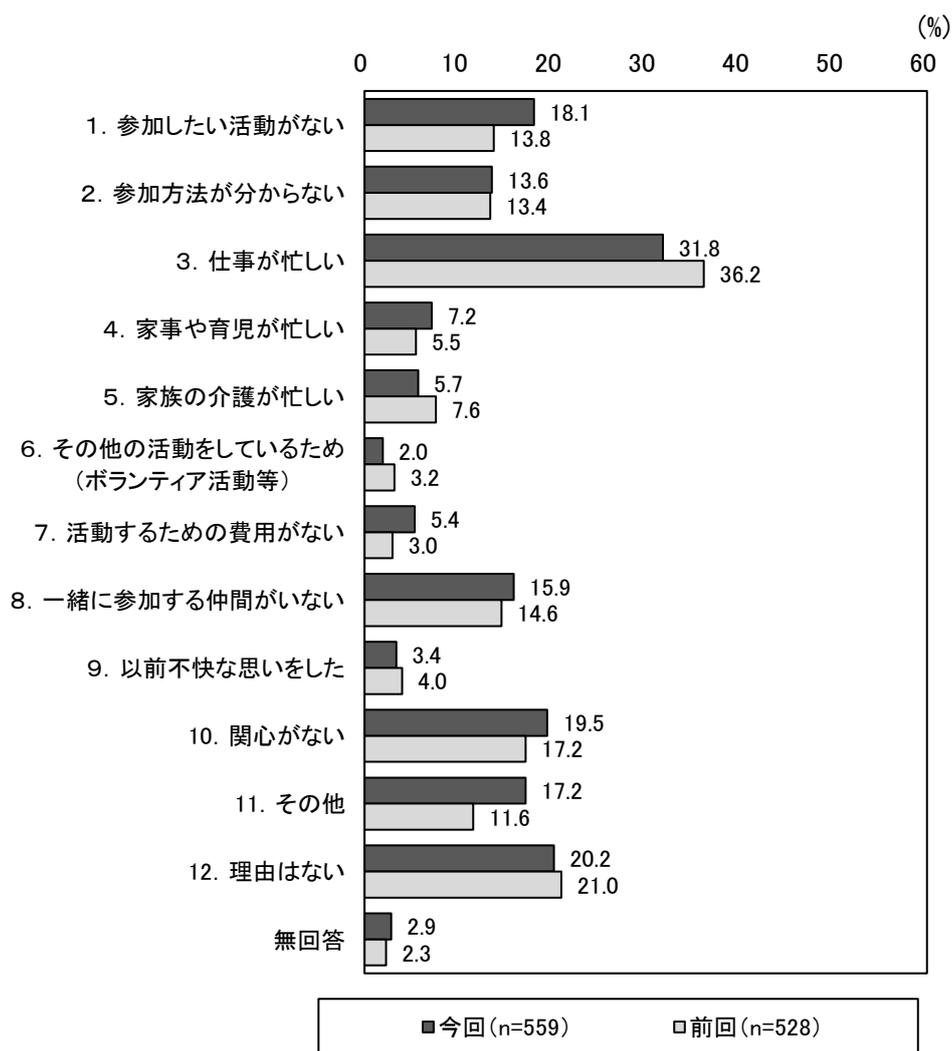
n: 回答者数 / 単位: %		自治会活動	防災活動	交通安全・防犯活動	清掃・美化活動	子どもの健全育成活動	スポーツや趣味・学習の活動	イベントへの参加	高齢者に対する福祉活動	募金への協力活動	その他	無回答
性別	男性(n=239)	81.2	15.1	16.7	62.8	10.5	16.3	20.9	10.0	27.2	3.8	0.4
	女性(n=236)	65.3	5.5	11.0	52.5	13.1	18.6	16.9	12.7	23.7	2.1	0.4
	その他・答えたくない(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢別	18～29歳(n=6)	66.7	16.7	33.3	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳(n=30)	76.7	3.3	10.0	43.3	30.0	13.3	10.0	0.0	13.3	0.0	0.0
	40～49歳(n=75)	54.7	4.0	10.7	50.7	34.7	2.7	14.7	1.3	16.0	2.7	0.0
	50～59歳(n=66)	74.2	13.6	6.1	60.6	7.6	10.6	19.7	3.0	31.8	0.0	0.0
	60～69歳(n=114)	78.1	8.8	12.3	57.9	5.3	18.4	18.4	7.0	30.7	4.4	0.0
	70歳以上(n=185)	76.8	13.5	19.5	60.5	4.3	26.5	22.7	23.2	27.0	3.8	1.1
地区別	渋川地区(n=111)	70.3	10.8	9.0	62.2	9.0	18.9	14.4	7.2	32.4	1.8	0.0
	金島地区(n=38)	73.7	5.3	18.4	68.4	15.8	15.8	7.9	13.2	39.5	2.6	2.6
	古巻地区(n=55)	70.9	12.7	20.0	40.0	9.1	5.5	20.0	12.7	25.5	5.5	0.0
	豊秋地区(n=35)	65.7	14.3	22.9	68.6	17.1	22.9	31.4	11.4	31.4	8.6	0.0
	伊香保地区(n=11)	72.7	9.1	9.1	54.5	0.0	9.1	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0
	小野上地区(n=8)	75.0	12.5	25.0	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	37.5	0.0	0.0
	子持地区(n=91)	75.8	12.1	15.4	58.2	18.7	19.8	27.5	12.1	18.7	2.2	1.1
	赤城地区(n=68)	77.9	11.8	10.3	51.5	4.4	22.1	17.6	13.2	16.2	1.5	0.0
	北橋地区(n=61)	75.4	4.9	11.5	59.0	13.1	16.4	16.4	11.5	23.0	1.6	0.0

### (1-2)地域活動不参加の理由

地域活動に参加していない理由については、「仕事が忙しい」が31.8%で最も多く、次いで「理由はない」が20.2%、「関心がない」が19.5%となっています。

前回調査と比較すると、「参加したい活動がない」が4.3ポイント増加し、「仕事が忙しい」が4.4ポイント減少しています。

問 18-2 地域活動に参加していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)



【性別・年代別・地区別】

性別でみると、ほぼ同様の傾向となっています。

年齢別でみると、「仕事が忙しい」が40～49歳で53.4%と他の年齢に比べて多くなっています。

地区別でみると、「参加したい活動がない」が小野上地区で50%以上と他の地区に比べて多くなっています。

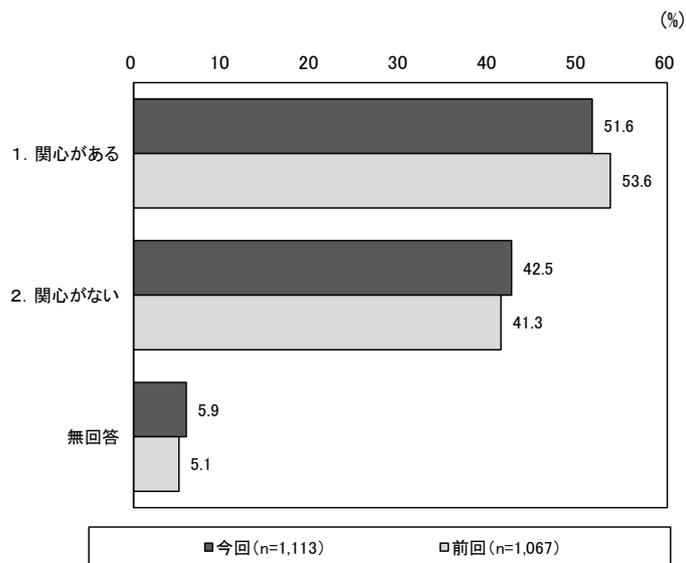
	n: 回答者数 / 単位: %	参加したい活動がない	参加方法が分からない	仕事が忙しい	家事や育児が忙しい	家族の介護が忙しい	その他の活動をしているため (ボランティア活動等)	活動するための費用がない	一緒に参加する仲間がいない	以前不快な思いをした	関心がない	その他	理由はない	無回答
性別	男性(n=202)	20.8	12.4	34.2	4.0	5.9	1.5	5.9	15.8	4.5	23.8	17.3	20.3	1.0
	女性(n=349)	16.3	13.8	29.8	8.6	5.7	2.3	4.6	15.2	2.6	16.9	17.2	20.6	4.0
	その他・答えたくない(n=4)	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
年齢別	18～29歳(n=46)	17.4	17.4	47.8	8.7	0.0	0.0	8.7	30.4	2.2	21.7	6.5	17.4	0.0
	30～39歳(n=44)	9.1	25.0	47.7	31.8	0.0	2.3	11.4	18.2	0.0	20.5	9.1	6.8	2.3
	40～49歳(n=58)	22.4	19.0	53.4	15.5	3.4	1.7	6.9	17.2	6.9	31.0	10.3	13.8	0.0
	50～59歳(n=81)	12.3	8.6	48.1	0.0	9.9	0.0	3.7	13.6	3.7	25.9	12.3	23.5	0.0
	60～69歳(n=107)	25.2	14.0	34.6	4.7	5.6	4.7	6.5	18.7	2.8	20.6	13.1	18.7	0.9
	70歳以上(n=217)	17.1	9.7	10.6	2.8	7.4	1.8	3.2	11.1	3.7	13.4	26.7	24.9	6.5
地区別	渋川地区(n=154)	15.6	16.9	34.4	6.5	4.5	0.6	7.8	17.5	4.5	24.0	17.5	22.7	1.9
	金島地区(n=34)	8.8	20.6	23.5	2.9	8.8	2.9	0.0	8.8	0.0	20.6	20.6	23.5	0.0
	古巻地区(n=83)	21.7	14.5	22.9	16.9	4.8	4.8	3.6	16.9	3.6	18.1	14.5	18.1	2.4
	豊秋地区(n=50)	14.0	10.0	36.0	6.0	16.0	2.0	4.0	16.0	8.0	12.0	12.0	18.0	4.0
	伊香保地区(n=24)	12.5	4.2	25.0	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	16.7	16.7	33.3	4.2
	小野上地区(n=14)	57.1	7.1	35.7	14.3	14.3	0.0	14.3	7.1	0.0	28.6	7.1	21.4	0.0
	子持地区(n=65)	16.9	9.2	35.4	4.6	3.1	1.5	3.1	20.0	1.5	13.8	20.0	15.4	4.6
	赤城地区(n=69)	18.8	11.6	43.5	0.0	4.3	0.0	2.9	18.8	2.9	20.3	17.4	14.5	4.3
北橘地区(n=61)	19.7	13.1	19.7	6.6	3.3	4.9	11.5	13.1	1.6	19.7	23.0	24.6	3.3	

## (2) ボランティア活動への関心

ボランティア活動に関心があるかについては、「関心がある」が 51.6%で、「関心がない」の 42.5%を上回っています。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

### 問 19 あなたは、ボランティア活動に関心がありますか。(1つに○)

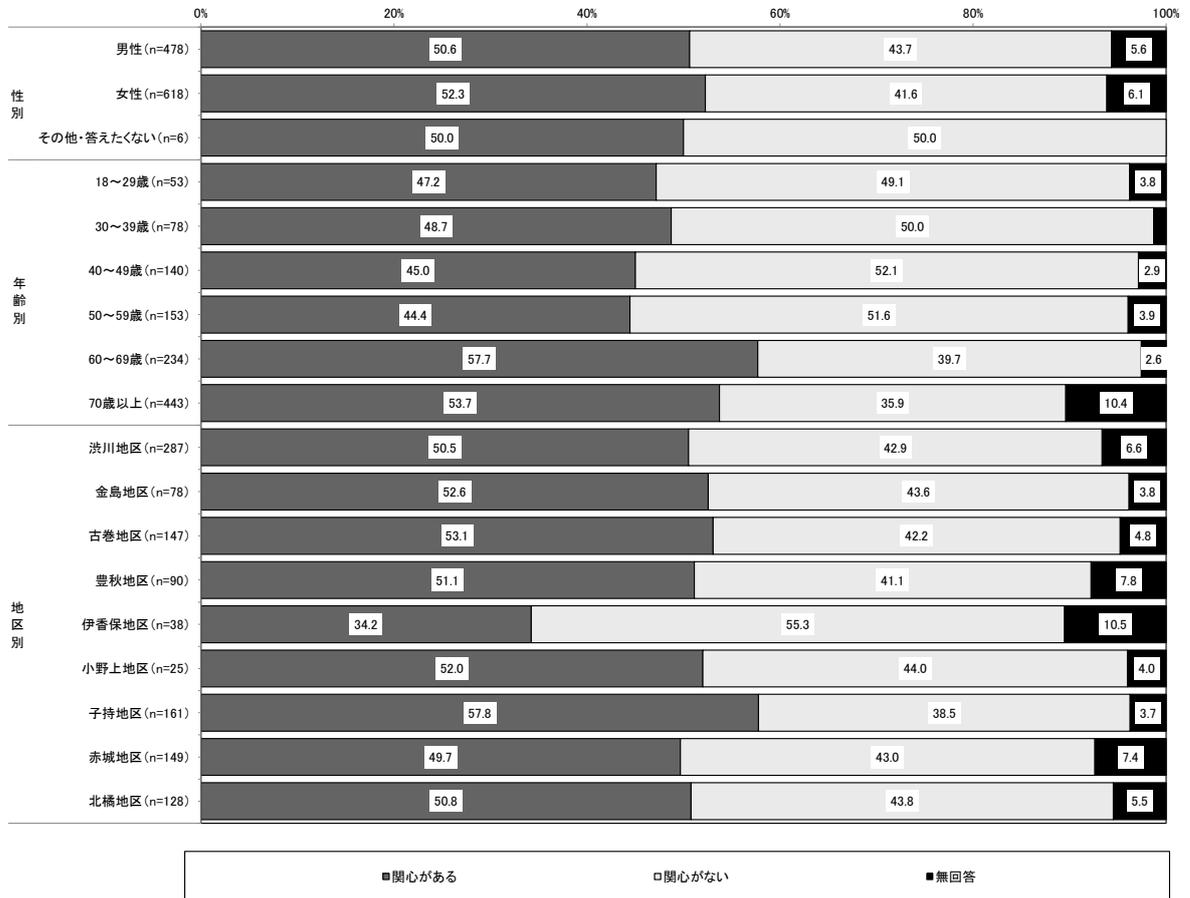


## 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、ほぼ同様の傾向となっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにしたがって関心も高くなる傾向が見られます。

地区別でみると、「関心がない」が伊香保地区で50%以上と他の地区に比べて多くなっています。

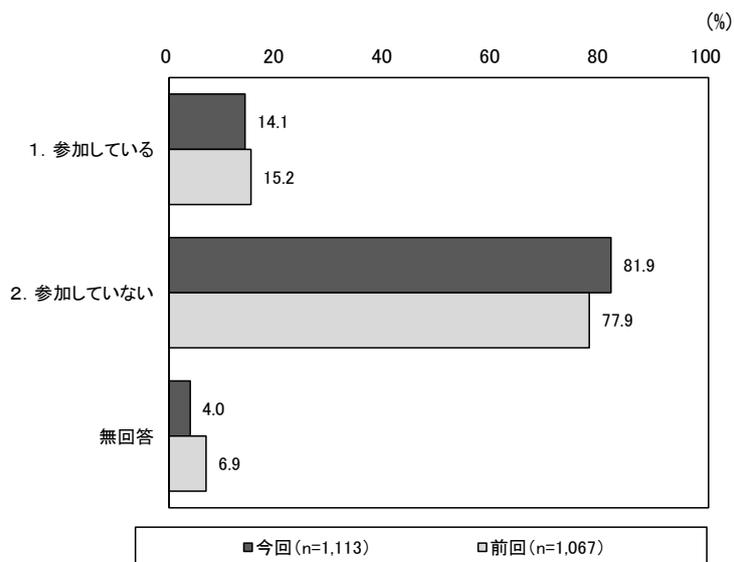


### (3) ボランティア活動への参加

ボランティア活動に参加しているかについては、「参加していない」が81.9%で、「参加している」の14.1%を上回っています。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

問 20 あなたは現在、ボランティア活動に参加していますか。

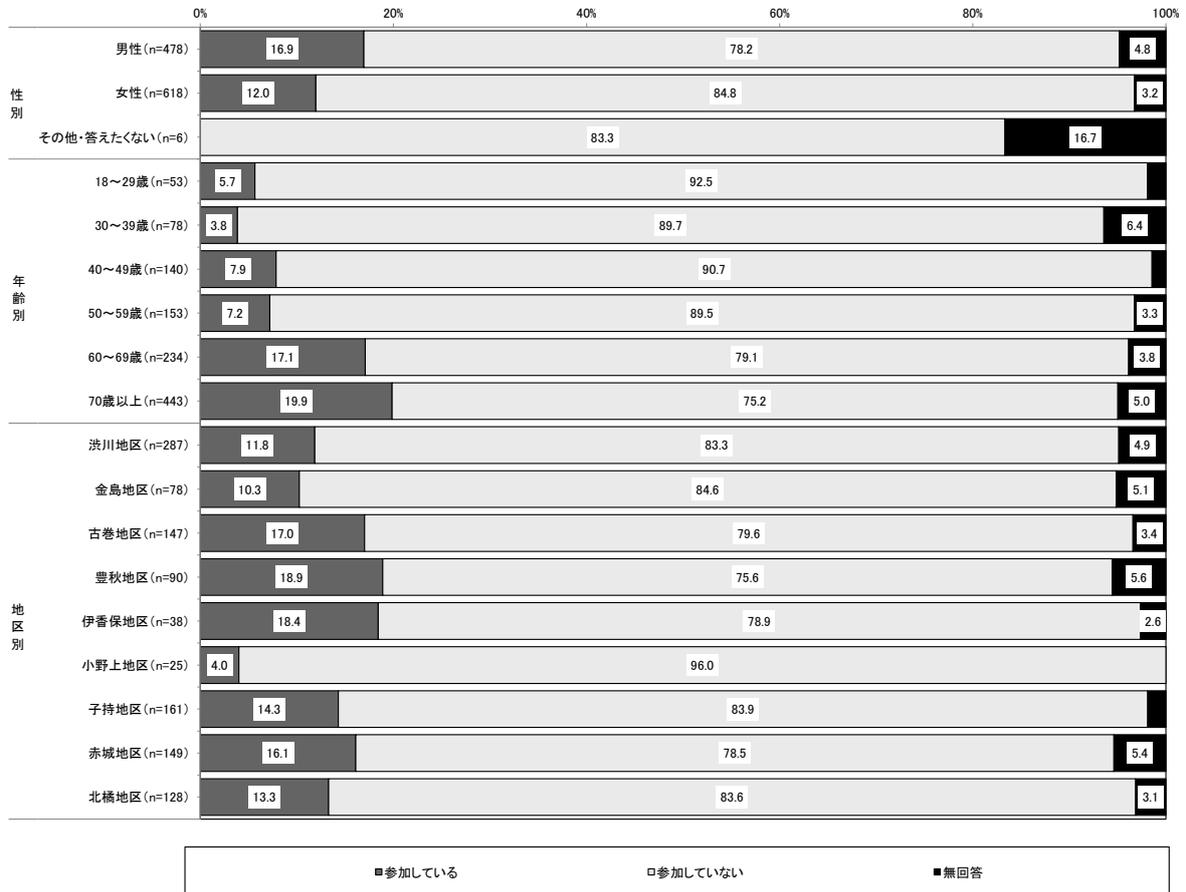


## 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、ほぼ同様の傾向となっています。

年齢別でみると、「参加している」が70歳以上で約20%と他の年齢に比べて多くなっています。

地区別でみると、「参加している」が豊秋地区と伊香保地区で18%以上と他の地区に比べて多くなっています。

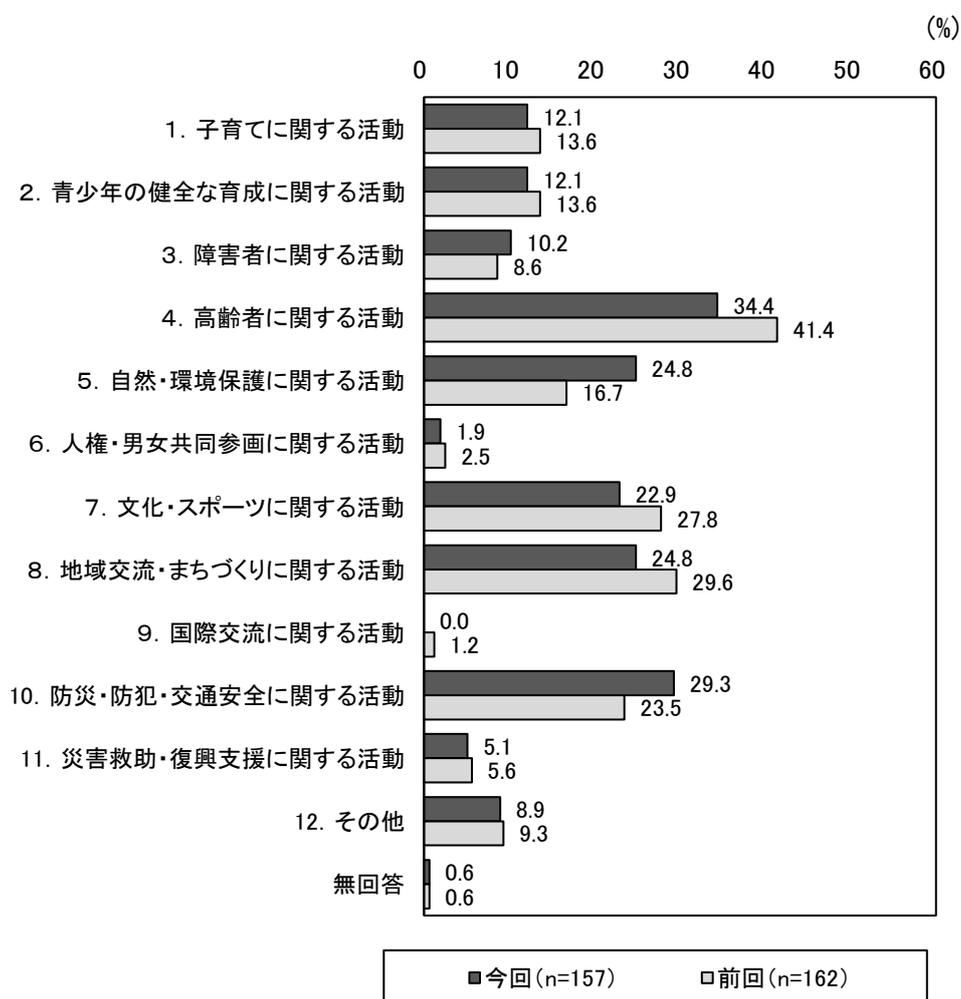


### (3-1) ボランティア活動の内容

どのようなボランティア活動に参加しているかについては、「高齢者に関する活動」が 34.4%で最も多く、次いで「防災・防犯・交通安全に関する活動」が 29.3%、「自然・環境保護に関する活動」と「地域交流・まちづくりに関する活動」が、ともに 24.8%となっています。

前回調査と比較すると、「自然・環境保護に関する活動」が 8.1 ポイント、「防災・防犯・交通安全に関する活動」が 5.8 ポイント増加し、「高齢者に関する活動」が 7.0 ポイント減少しています。

問 20-1 どのようなボランティア活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)



### 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、「高齢者に関する活動」が女性で44.6%と男性に比べて多くなっています。

年齢別でみると、「子育てに関する活動」が40～49歳で45.5%、「高齢者に関する活動」が70歳以上で45.5%と他の年齢に比べて多くなっています。

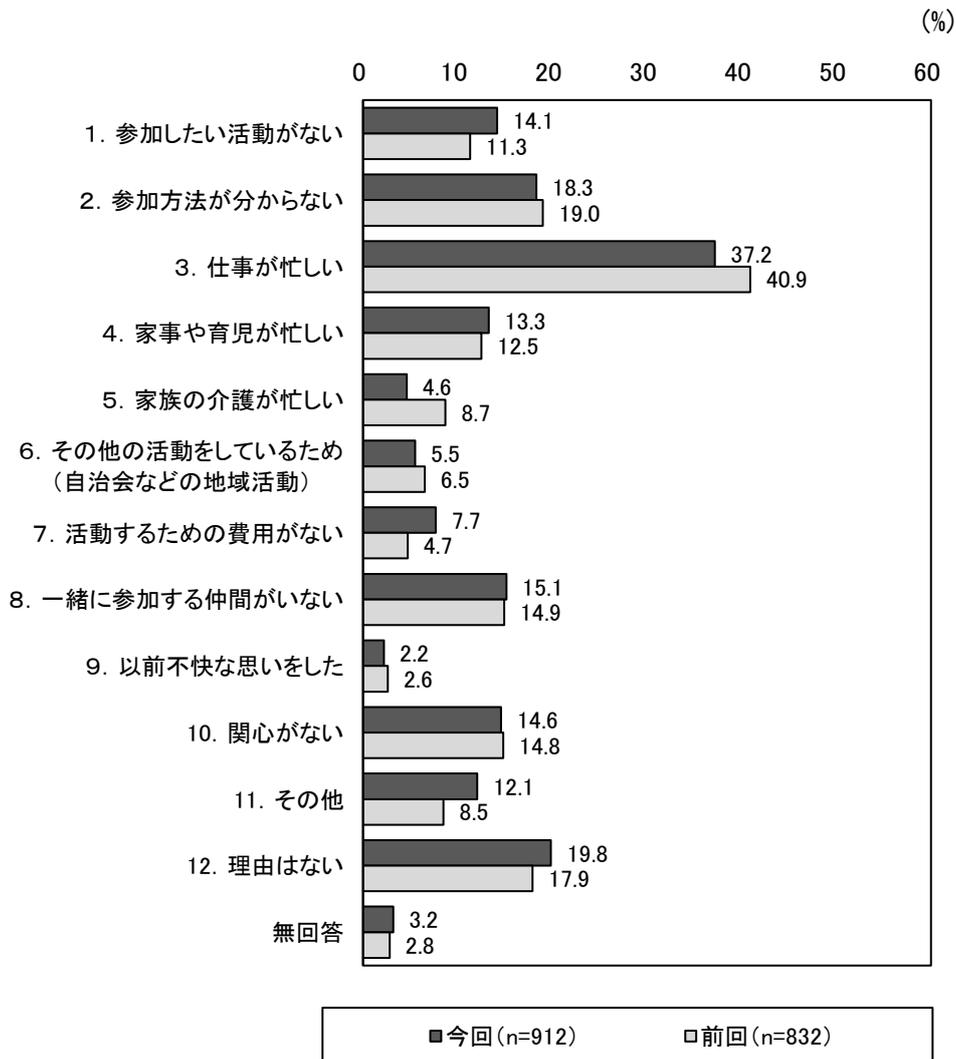
地区別でみると、「防災・防犯・交通安全に関する活動」が金島地区で75.0%と他の地区に比べて多くなっています。

	n:回答者数 / 単位:%	子育てに関する活動	青少年の健全な育成に関する活動	障害者に関する活動	高齢者に関する活動	自然・環境保護に関する活動	人権・男女共同参画に関する活動	文化・スポーツに関する活動	地域交流・まちづくりに関する活動	国際交流に関する活動	防災・防犯・交通安全に関する活動	災害救助・復興支援に関する活動	その他	無回答
性別	男性(n=81)	9.9	12.3	11.1	25.9	30.9	2.5	33.3	25.9	0.0	37.0	8.6	7.4	1.2
	女性(n=74)	14.9	10.8	9.5	44.6	17.6	1.4	12.2	21.6	0.0	20.3	1.4	10.8	0.0
	その他・答えたくない(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～29歳(n=3)	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	30～39歳(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	40～49歳(n=11)	45.5	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	18.2	0.0	9.1	0.0
	50～59歳(n=11)	27.3	9.1	9.1	9.1	18.2	0.0	36.4	27.3	0.0	36.4	9.1	27.3	0.0
	60～69歳(n=40)	12.5	17.5	17.5	30.0	20.0	0.0	17.5	20.0	0.0	20.0	5.0	12.5	0.0
	70歳以上(n=88)	5.7	9.1	8.0	45.5	30.7	3.4	25.0	28.4	0.0	35.2	5.7	3.4	1.1
地区別	渋川地区(n=34)	11.8	11.8	11.8	26.5	14.7	0.0	17.6	35.3	0.0	29.4	11.8	8.8	0.0
	金島地区(n=8)	0.0	12.5	25.0	50.0	37.5	12.5	25.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	古巻地区(n=25)	12.0	16.0	0.0	36.0	20.0	4.0	0.0	20.0	0.0	36.0	0.0	20.0	0.0
	豊秋地区(n=17)	23.5	11.8	0.0	17.6	41.2	0.0	29.4	35.3	0.0	41.2	5.9	0.0	0.0
	伊香保地区(n=7)	0.0	0.0	14.3	57.1	28.6	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
	小野上地区(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子持地区(n=23)	17.4	8.7	8.7	43.5	26.1	4.3	26.1	17.4	0.0	13.0	4.3	4.3	0.0
	赤城地区(n=24)	12.5	12.5	16.7	37.5	16.7	0.0	45.8	16.7	0.0	33.3	4.2	4.2	4.2
	北橘地区(n=17)	5.9	11.8	17.6	35.3	35.3	0.0	23.5	23.5	0.0	11.8	5.9	23.5	0.0

### (3-2) ボランティア活動不参加の理由

ボランティア活動に参加していない理由については、「仕事が忙しい」が37.2%で最も多く、次いで「理由はない」が19.8%、「参加方法が分からない」が18.3%となっています。前回調査と比較すると、「活動するための費用がない」が3.0ポイント増加し、「家族の介護が忙しい」が4.1ポイント減少しています。

#### 問 20-2 ボランティア活動に参加していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)



【性別・年代別・地区別】

性別でみると、「家事や育児が忙しい」が女性で16.8%と男性に比べて多くなっています。  
 年齢別でみると、「仕事が忙しい」が40～49歳で65.4%と他の年齢に比べて多くなっています。  
 地区別でみると、「仕事が忙しい」が豊秋地区で41.2%と他の地区に比べて多くなっています。

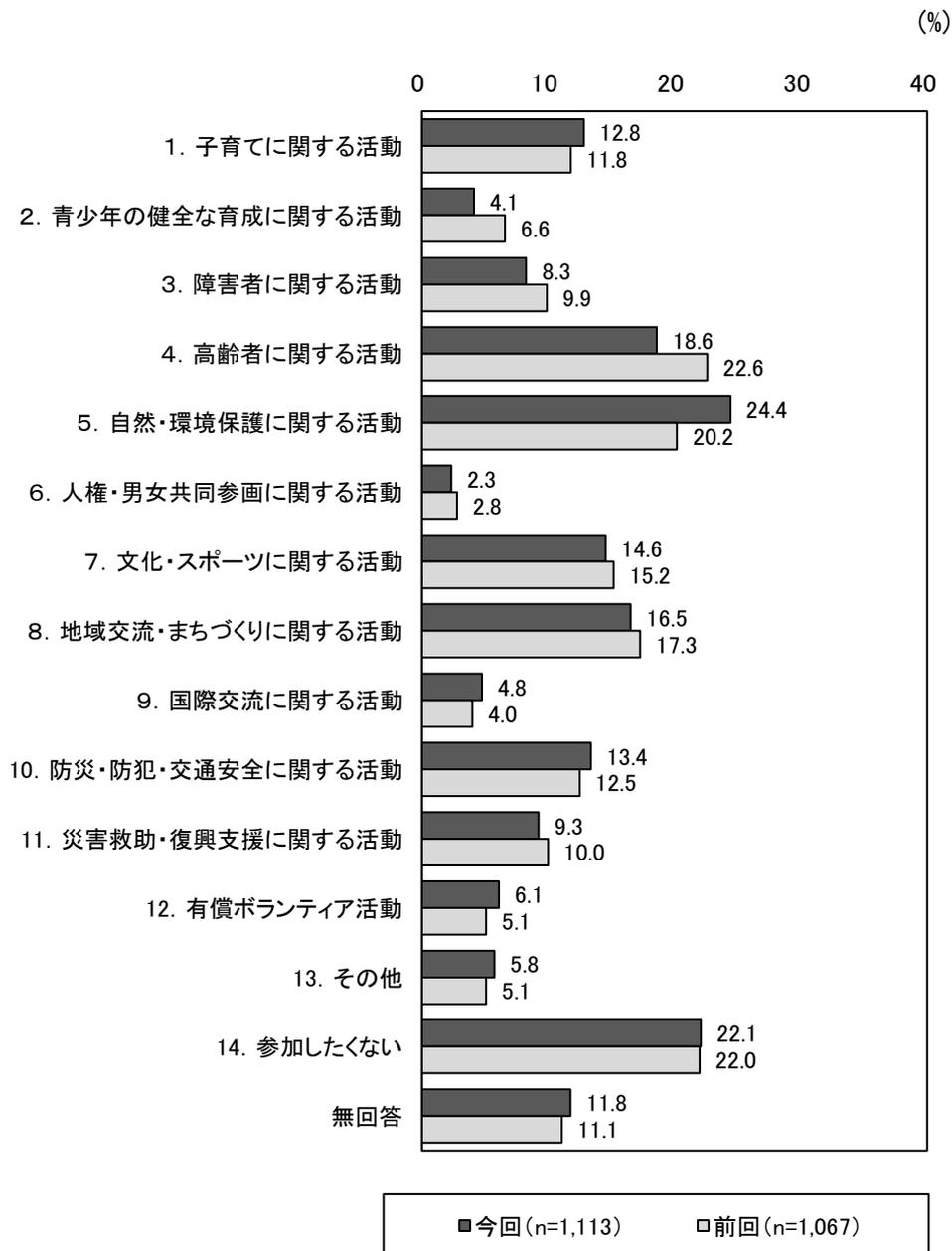
	n: 回答者数 / 単位: %	参加したい活動がない	参加方法が分からない	仕事が忙しい	家事や育児が忙しい	家族の介護が忙しい	その他の活動をしているため (自治会などの地域活動)	活動するための費用がない	一緒に参加する仲間がない	以前不快な思いをした	関心がない	その他	理由はない	無回答
性別	男性(n=374)	17.1	18.4	38.5	8.3	3.7	7.0	9.6	14.2	2.7	18.7	10.7	19.3	1.9
	女性(n=524)	12.0	17.9	36.1	16.8	5.3	4.2	6.1	15.3	1.7	11.6	13.2	20.6	3.8
	その他・答えたくない(n=5)	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0
年齢別	18～29歳(n=49)	16.3	24.5	44.9	14.3	0.0	4.1	8.2	28.6	0.0	18.4	0.0	22.4	0.0
	30～39歳(n=70)	8.6	30.0	50.0	51.4	0.0	1.4	11.4	20.0	0.0	15.7	4.3	7.1	0.0
	40～49歳(n=127)	8.7	21.3	65.4	34.6	3.1	4.7	11.8	18.9	3.9	21.3	3.9	12.6	0.0
	50～59歳(n=137)	10.9	15.3	56.2	9.5	9.5	8.0	7.3	13.9	2.2	17.5	7.3	14.6	0.0
	60～69歳(n=185)	22.2	25.9	40.0	4.3	5.4	8.1	9.7	14.6	2.7	13.0	8.1	17.8	0.5
	70歳以上(n=333)	13.8	11.1	12.6	3.0	4.5	4.2	4.2	11.4	2.1	11.1	22.8	28.5	7.8
地区別	洪川地区(n=239)	9.6	20.1	39.7	13.8	3.3	3.3	10.9	15.1	1.7	14.6	13.0	20.9	2.9
	金島地区(n=66)	7.6	15.2	36.4	10.6	6.1	7.6	6.1	9.1	0.0	16.7	15.2	22.7	4.5
	古巻地区(n=117)	14.5	23.1	32.5	18.8	2.6	6.0	6.0	17.9	0.9	16.2	7.7	23.1	1.7
	豊秋地区(n=68)	13.2	14.7	41.2	10.3	11.8	4.4	1.5	20.6	7.4	8.8	13.2	16.2	2.9
	伊香保地区(n=30)	6.7	6.7	26.7	3.3	0.0	3.3	0.0	10.0	0.0	10.0	20.0	36.7	6.7
	小野上地区(n=24)	20.8	12.5	33.3	8.3	8.3	4.2	4.2	8.3	0.0	12.5	12.5	16.7	8.3
	子持地区(n=135)	12.6	17.0	39.3	17.0	7.4	10.4	9.6	14.8	1.5	14.1	11.1	17.0	3.0
	赤城地区(n=117)	20.5	17.9	39.3	7.7	3.4	7.7	8.5	16.2	5.1	16.2	12.0	17.9	2.6
	北橋地区(n=107)	23.4	20.6	32.7	14.0	1.9	0.9	7.5	13.1	1.9	16.8	12.1	17.8	2.8

#### (4)今後参加したいボランティア活動

どんなボランティア活動に参加したいかについては、「自然・環境保護に関する活動」が24.4%で最も多く、次いで「参加したくない」が22.1%、「高齢者に関する活動」が18.6%となっています。

前回調査と比較すると、「自然・環境保護に関する活動」が4.2ポイント増加し、「高齢者に関する活動」が4.0ポイント減少しています。

#### 問 21 今後、どんなボランティア活動に参加したいですか。(あてはまるものすべてに○)



【性別・年代別・地区別】

性別でみると、「子育てに関する活動」が女性で17.3%と男性に比べて多くなっています。

年齢別でみると、「子育てに関する活動」が30～39歳で44.9%、「自然・環境保護に関する活動」が60～69歳で34.6%と他の年齢に比べて多くなっています。

地区別でみると、「自然・環境保護に関する活動」が小野上地区で40.0%と他の地区に比べて多くなっています。

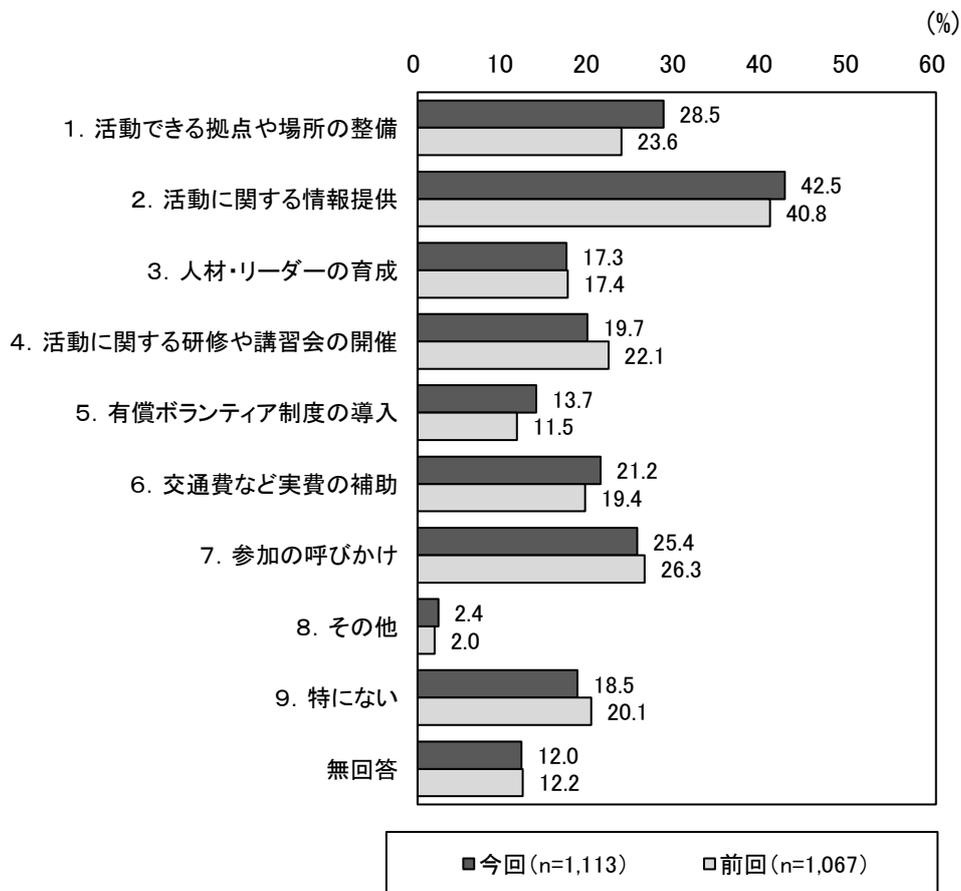
	n: 回答者数 / 単位: %	子育てに関する活動	青少年の健全な育成に関する活動	障害者に関する活動	高齢者に関する活動	自然・環境保護に関する活動	人権・男女共同参画に関する活動	文化・スポーツに関する活動	地域交流・まちづくりに関する活動	国際交流に関する活動	防災・防犯・交通安全に関する活動	災害救助・復興支援に関する活動	有償ボランティア活動	その他	参加したくない	無回答
性別	男性(n=478)	7.1	5.4	7.1	18.0	26.4	2.3	18.2	17.8	4.4	18.0	13.0	5.6	4.0	21.8	10.7
	女性(n=618)	17.3	3.2	9.1	19.1	22.8	2.3	12.0	15.2	5.2	9.7	6.3	6.1	7.1	22.3	12.1
	その他・答えたくない(n=6)	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7	33.3	0.0	16.7	33.3	33.3	0.0	33.3	16.7
年齢別	18～29歳(n=53)	17.0	1.9	5.7	7.5	24.5	5.7	26.4	11.3	17.0	13.2	11.3	7.5	1.9	26.4	1.9
	30～39歳(n=78)	44.9	7.7	12.8	6.4	28.2	2.6	24.4	23.1	10.3	14.1	7.7	11.5	5.1	15.4	1.3
	40～49歳(n=140)	25.0	7.9	9.3	12.1	21.4	4.3	14.3	11.4	6.4	15.7	11.4	12.9	2.1	30.0	4.3
	50～59歳(n=153)	15.0	5.2	7.8	13.7	25.5	2.0	14.4	17.0	7.8	13.1	16.3	7.8	3.3	24.8	5.2
	60～69歳(n=234)	9.4	4.3	11.1	18.8	34.6	1.7	17.5	21.4	3.4	15.0	10.7	4.7	3.4	18.8	5.6
	70歳以上(n=443)	3.6	2.3	5.9	25.7	19.2	1.8	10.4	14.7	1.4	11.7	5.4	2.9	9.5	21.0	22.3
地区別	洪川地区(n=287)	14.3	3.1	10.8	17.8	23.0	3.1	16.4	15.7	5.9	11.5	11.8	8.0	5.9	22.6	11.5
	金島地区(n=78)	14.1	3.8	2.6	19.2	20.5	0.0	14.1	15.4	2.6	12.8	7.7	3.8	6.4	20.5	16.7
	古巻地区(n=147)	17.7	7.5	8.2	20.4	23.1	4.1	15.0	17.7	6.1	15.6	8.2	5.4	6.8	25.2	7.5
	豊秋地区(n=90)	8.9	3.3	2.2	17.8	26.7	3.3	21.1	18.9	3.3	18.9	8.9	7.8	4.4	15.6	12.2
	伊香保地区(n=38)	2.6	0.0	5.3	13.2	15.8	0.0	10.5	2.6	5.3	7.9	2.6	7.9	15.8	21.1	23.7
	小野上地区(n=25)	4.0	8.0	0.0	12.0	40.0	0.0	8.0	8.0	4.0	12.0	4.0	4.0	4.0	20.0	24.0
	子持地区(n=161)	15.5	5.6	7.5	19.3	25.5	1.2	13.0	18.6	3.7	13.7	12.4	4.3	3.7	18.6	12.4
	赤城地区(n=149)	8.1	2.7	8.1	20.8	28.2	0.7	13.4	20.8	5.4	14.1	6.7	5.4	4.7	21.5	10.7
	北橋地区(n=128)	12.5	3.9	12.5	18.0	23.4	3.1	12.5	14.1	3.9	12.5	8.6	5.5	5.5	28.1	7.8

### (5)行政・社会福祉協議会に求める支援

活動に参加するうえで、行政または社会福祉協議会に支援してほしいことについては、「活動に関する情報提供」が42.5%で最も多く、次いで「活動できる拠点や場所の整備」が28.5%、「参加の呼びかけ」が25.4%となっています。

前回調査と比較すると、「活動できる拠点や場所の整備」が4.9ポイント増加し、「活動に関する研修や講習会の開催」が2.4ポイント減少しています。

**問 22 地域活動やボランティア活動に参加するうえで、行政または社会福祉協議会に支援してほしいことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)**



### 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、「活動できる拠点や場所の整備」が男性で32.2%と女性に比べて多くなっています。

年齢別でみると、「活動に関する情報提供」が30～39歳と60～69歳で50%以上と他の年齢に比べて多くなっています。

地区別でみると、ほとんどの地区で「活動に関する情報提供」が多い傾向となっています。

n: 回答者数 / 単位: %		活動できる拠点や場所の整備	活動に関する情報提供	人材・リーダーの育成	活動に関する研修や講習会の開催	有償ボランティア制度の導入	交通費など実費の補助	参加の呼びかけ	その他	特にない	無回答
性別	男性(n=478)	32.2	42.7	18.6	19.5	15.3	22.0	22.4	2.5	18.8	9.8
	女性(n=618)	25.2	42.2	16.2	19.9	12.5	20.4	28.0	2.4	18.4	13.3
	その他・答えたくない(n=6)	33.3	50.0	0.0	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0	33.3	16.7
年齢別	18～29歳(n=53)	32.1	37.7	7.5	18.9	22.6	32.1	18.9	1.9	18.9	1.9
	30～39歳(n=78)	39.7	53.8	24.4	16.7	20.5	32.1	32.1	1.3	10.3	2.6
	40～49歳(n=140)	33.6	47.9	20.0	20.0	20.7	30.0	25.7	4.3	20.7	2.9
	50～59歳(n=153)	29.4	43.1	16.3	12.4	17.0	25.5	17.6	2.0	19.6	8.5
	60～69歳(n=234)	34.2	53.0	20.1	25.6	16.7	23.5	29.9	1.7	13.7	6.0
	70歳以上(n=443)	20.5	33.2	14.9	19.2	6.5	12.4	25.1	2.7	21.9	22.1
地区別	渋川地区(n=287)	28.2	42.9	17.4	18.5	15.7	24.0	24.4	1.4	19.9	11.1
	金島地区(n=78)	28.2	46.2	14.1	21.8	10.3	16.7	25.6	1.3	10.3	17.9
	古巻地区(n=147)	34.7	40.8	17.0	22.4	10.9	14.3	27.2	3.4	22.4	7.5
	豊秋地区(n=90)	34.4	43.3	21.1	18.9	18.9	17.8	27.8	0.0	8.9	16.7
	伊香保地区(n=38)	13.2	15.8	2.6	5.3	10.5	10.5	21.1	5.3	34.2	21.1
	小野上地区(n=25)	24.0	44.0	12.0	20.0	16.0	16.0	24.0	0.0	16.0	16.0
	子持地区(n=161)	26.1	46.6	23.0	19.9	14.9	18.0	26.7	3.1	18.6	11.8
	赤城地区(n=149)	24.8	42.3	14.1	22.1	10.7	31.5	24.2	1.3	16.1	14.8
	北橋地区(n=128)	29.7	43.0	18.0	19.5	14.1	24.2	25.8	5.5	21.1	5.5

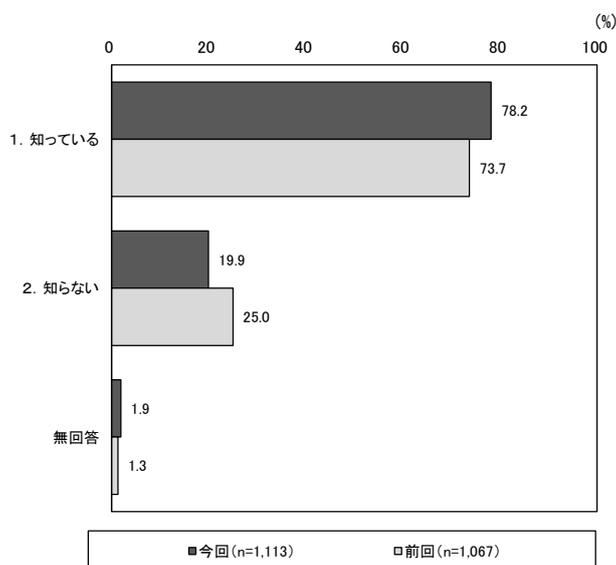
## 4. 地域での防災について

### (1) 避難場所

災害時の避難場所を知っているかについては、「知っている」が78.2%で、「知らない」の19.9%を上回っています。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

問 23 あなたは、災害時の避難場所を知っていますか。(1つに○)

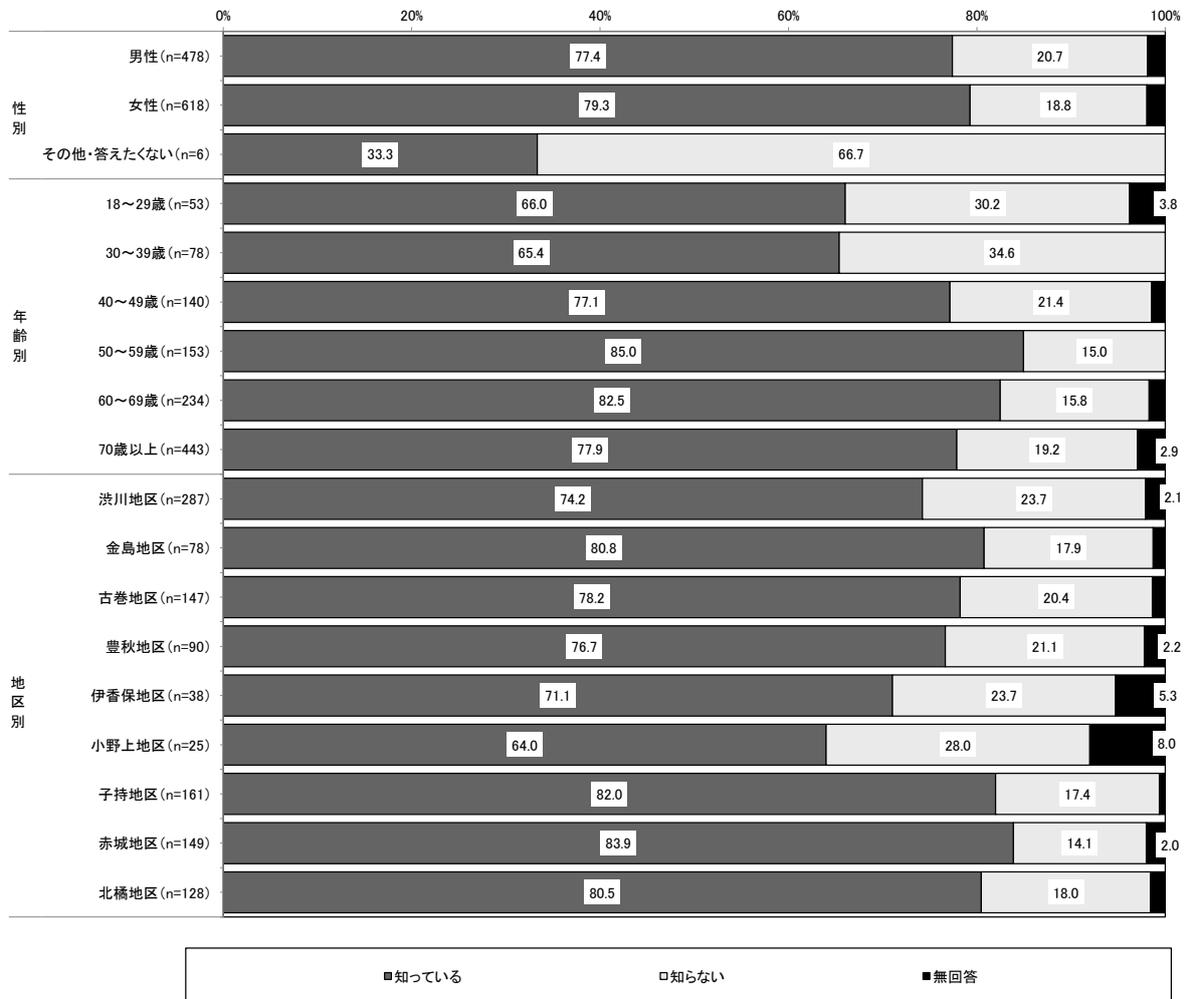


### 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、ほぼ同様の傾向となっています。

年齢別でみると、「知らない」が18～29歳と30～39歳で30%以上と他の年齢に比べて多くなっています。

地区別でみると、「知らない」が小野上地区で28.0%と他の地区と比べて多くなっています。

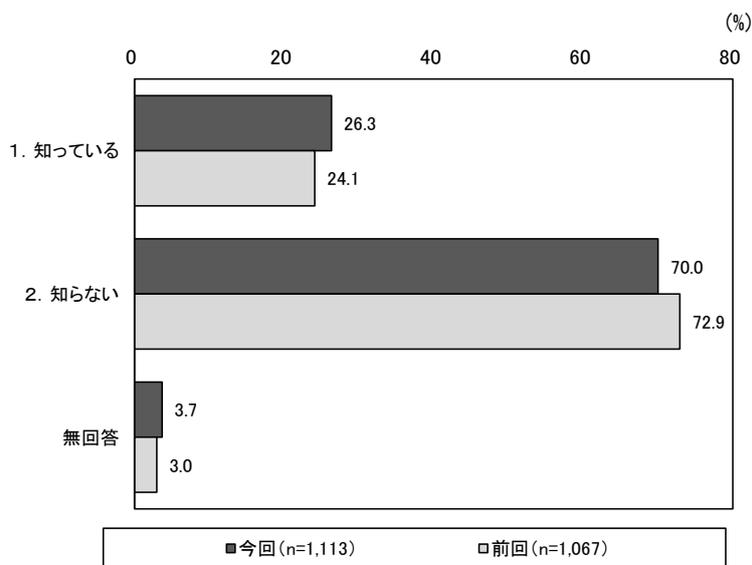


## (2)地域の自主防災組織

地域の自主防災組織を知っているかについては、「知らない」が70.0%で、「知っている」の26.3%を上回っています。

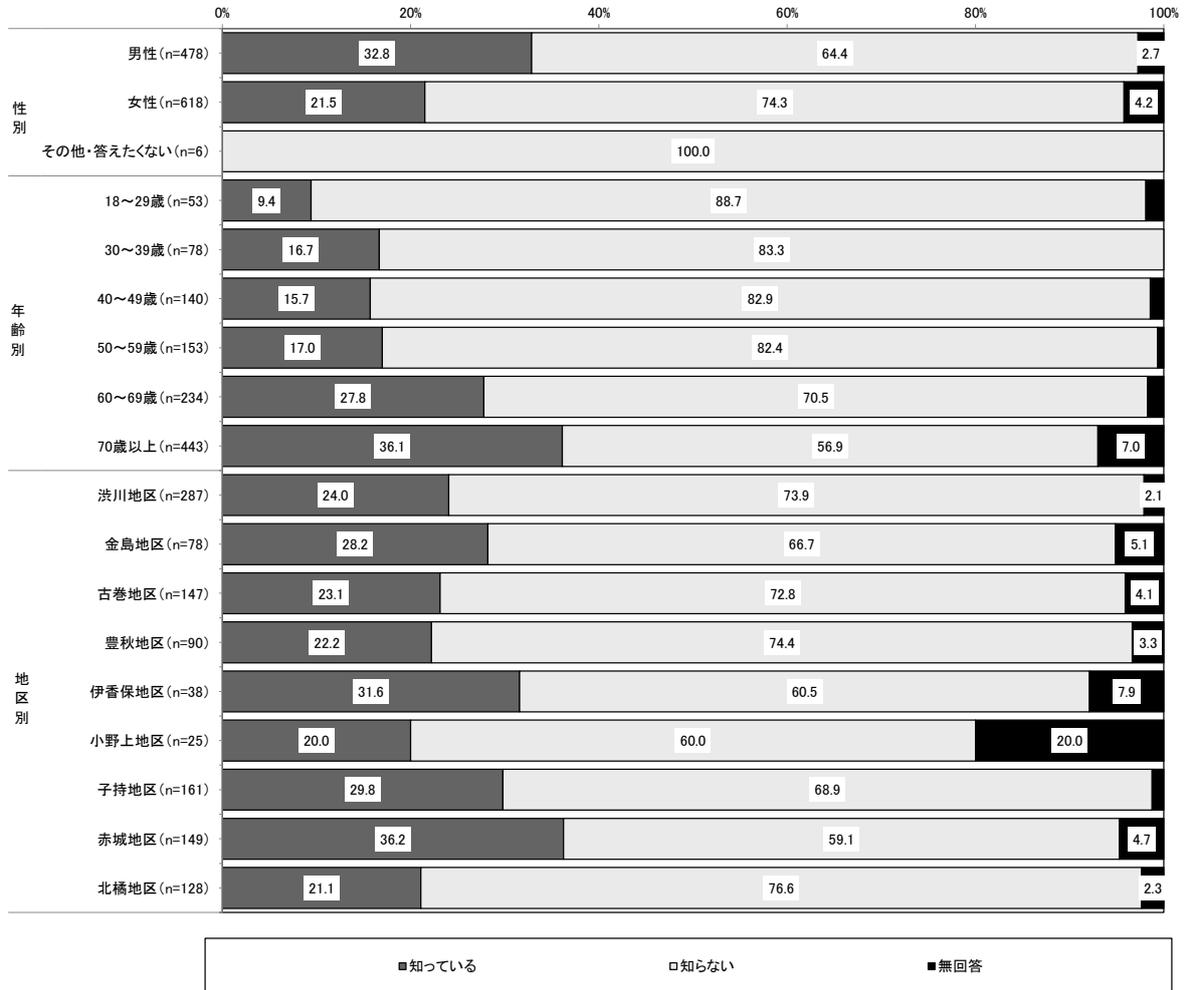
前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

問 24 あなたは、地域の自主防災組織を知っていますか。(1つに○)



### 【性別・年代別・地区別】

性別で見ると、「知っている」が男性で32.8%と女性に比べて多くなっています。  
 年齢別で見ると、「知っている」が70歳以上で36.1%と他の年齢に比べて多くなっています。  
 地区別で見ると、「知らない」が北橘地区で76.6%と他の地区と比べて多くなっています。

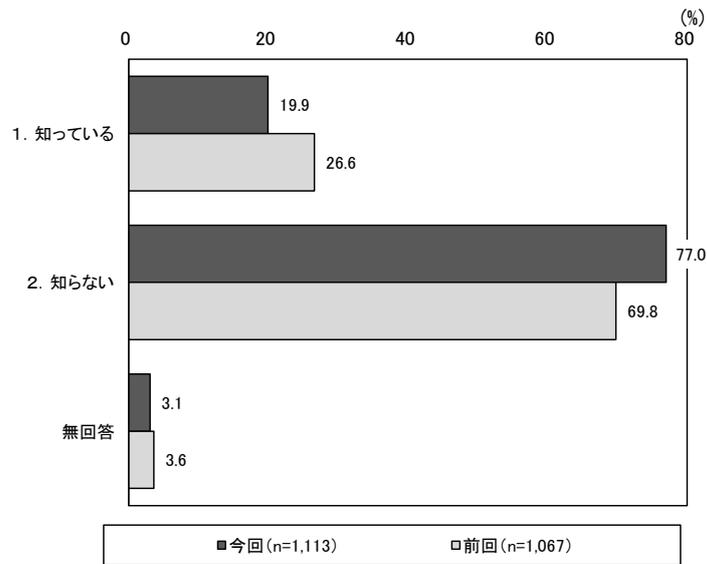


### (3)災害時に避難できない人について

災害時に避難することができない人を知っているかについては、「知らない」が77.0%で、「知っている」の19.9%を上回っています。

前回調査と比較すると、「知っている」は6.7ポイント減少し、「知らない」は7.2ポイント増加となっています。

問 25 あなたは、周囲に暮らす人で、災害時に避難することができない人を知っていますか。  
(1つに○)

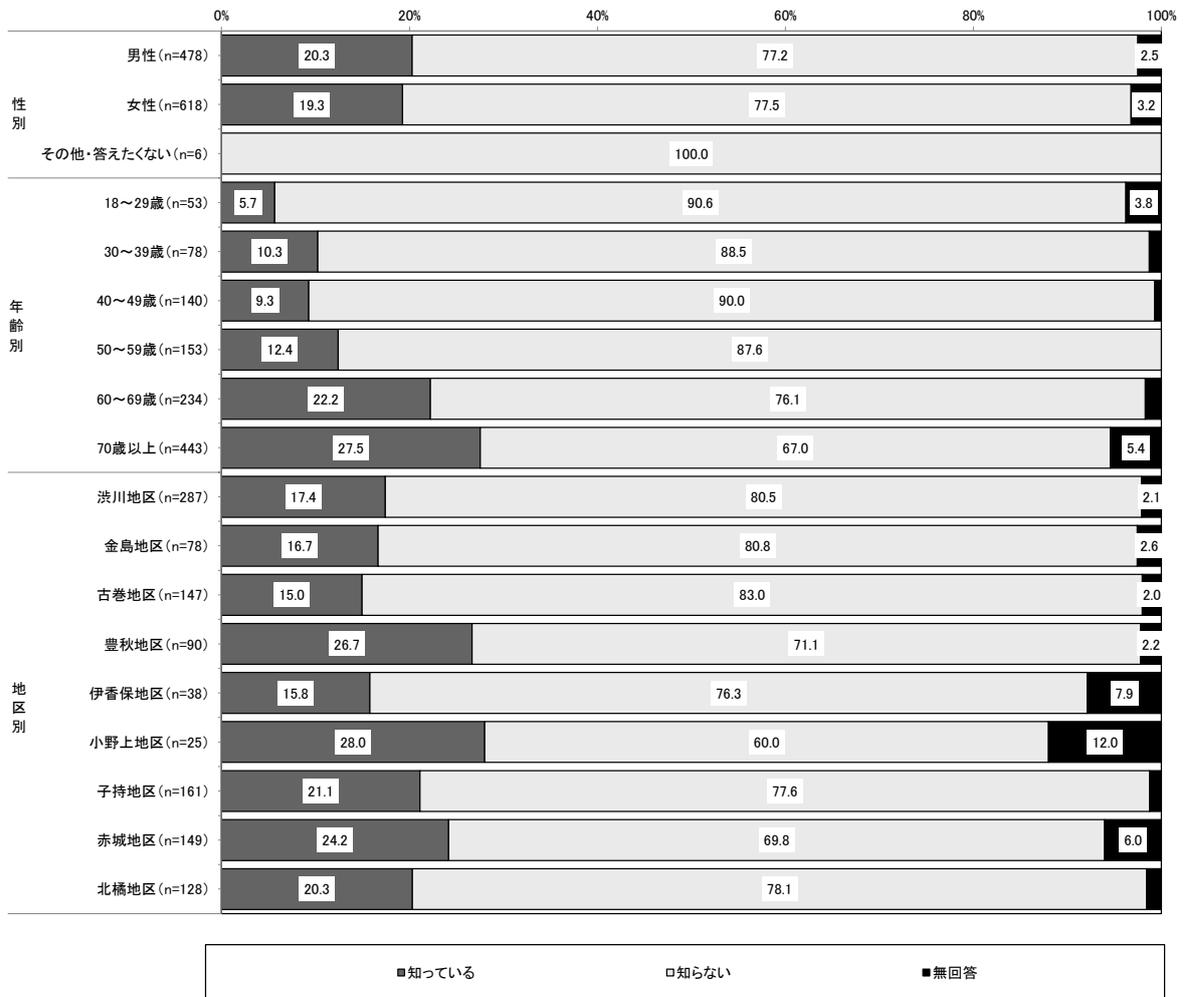


## 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、ほぼ同様の傾向となっています。

年齢別でみると、「知っている」が60～69歳と70歳以上で20%以上と他の年齢に比べて多くなっています。

地区別でみると、「知っている」が豊秋地区と小野上地区で25%以上と他の地区と比べて多くなっています。

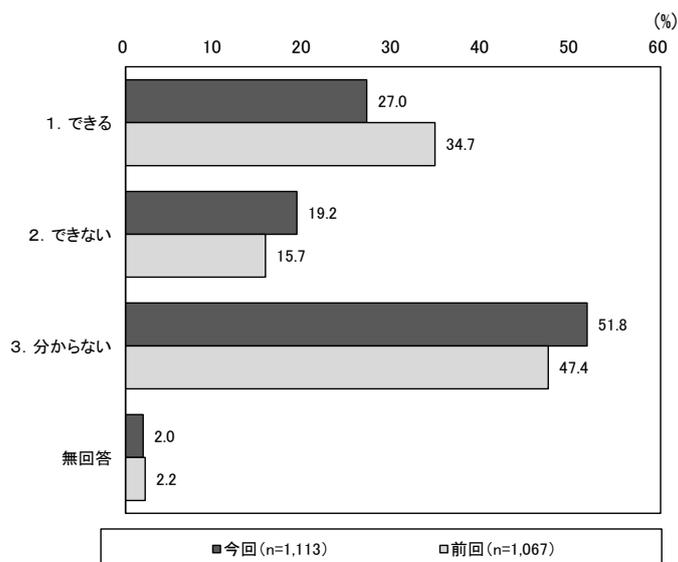


#### (4)災害時の手助け

災害時に避難支援が必要な人の手助けができていないかについては、「分からない」が51.8%で最も多く、次いで「できる」が27.0%、「できない」が19.2%となっています。

前回調査と比較すると、「できる」が7.7ポイント減少しています。

問 26 あなたは、周囲に暮らす人で、災害時に避難支援が必要な人の手助けができますか。  
(1つに○)

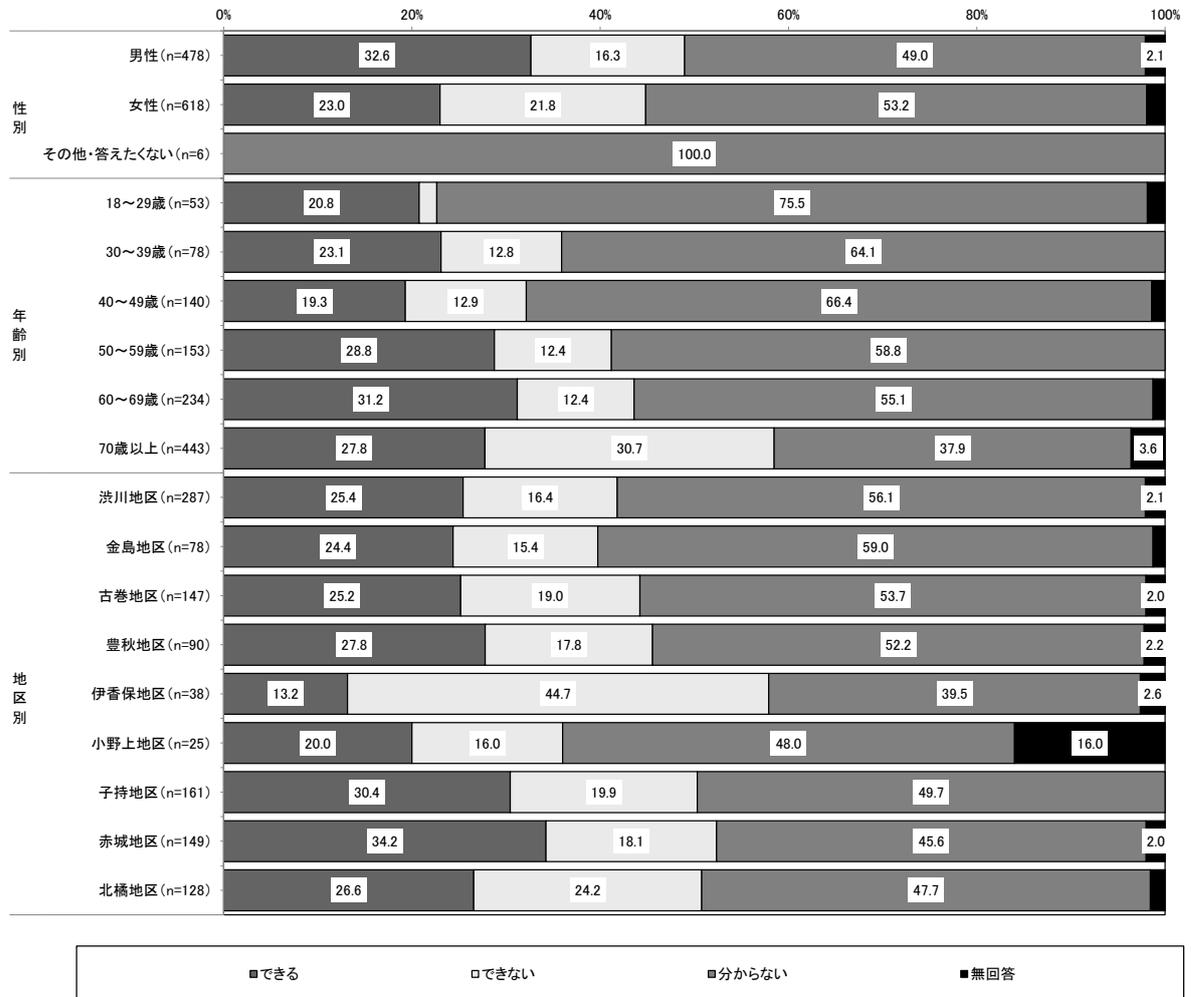


### 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、「できる」が男性で 32.6%と女性に比べて多くなっています。

年齢別でみると、「できない」が 70 歳以上で 30.7%と他の年齢に比べて多くなっています。

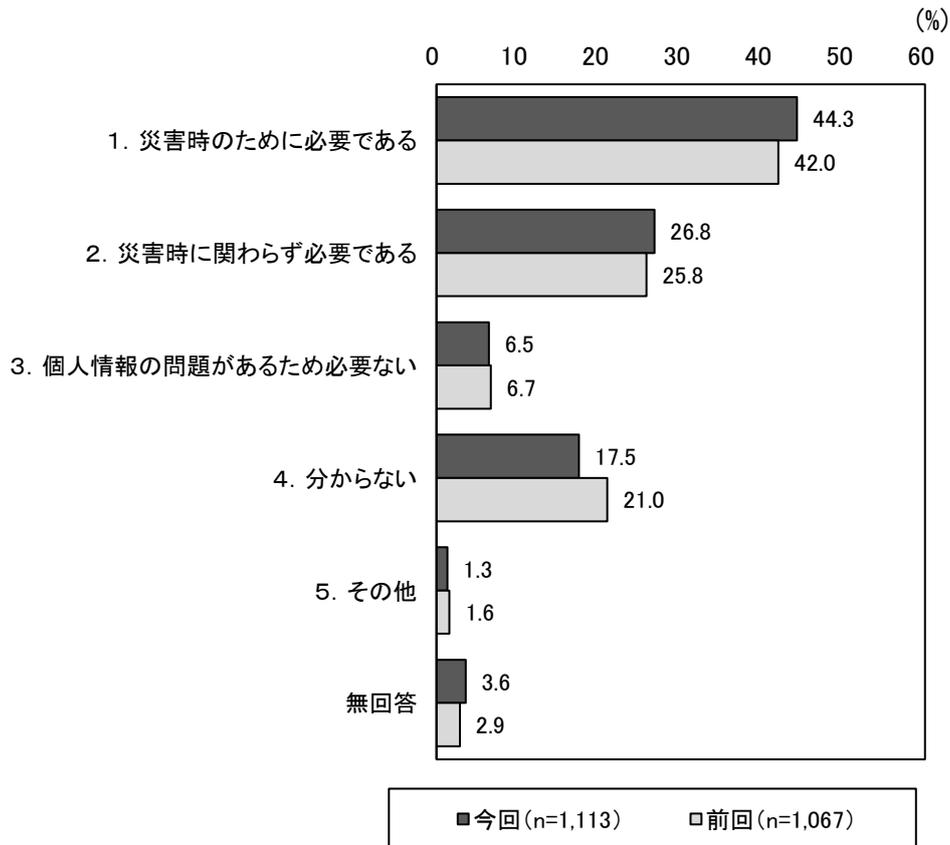
地区別でみると、「できる」が子持地区と赤城地区で 30%以上と他の地区と比べて多くなっています。



### (5)災害時の情報共有

災害時のための個人情報共有については、「災害時のために必要である」が44.3%で最も多く、次いで「災害時に関わらず必要である」が26.8%、「分からない」が17.5%となっています。前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

問 27 災害時の支援や安否確認のために、プライバシーの保護に配慮しながら、個人の情報を地域で共有する必要性が高まっていますが、あなたはどのように考えますか。(1つに○)

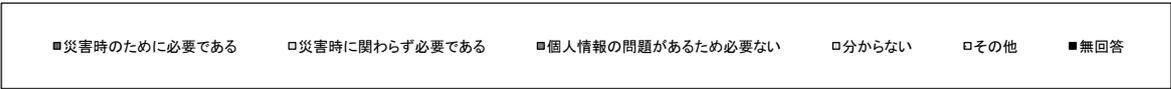
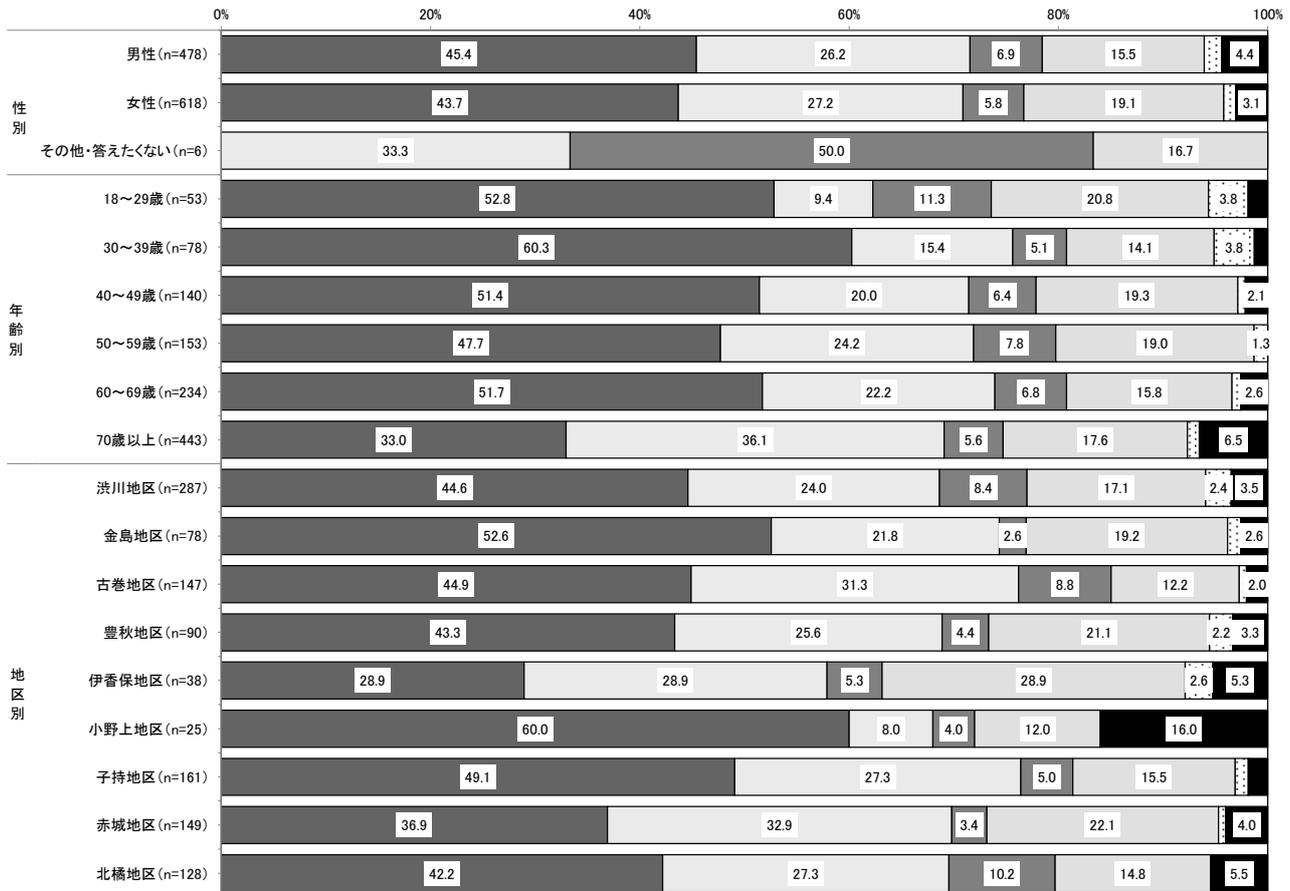


## 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、ほぼ同様の傾向となっています。

年齢別でみると、「災害時に関わらず必要である」が70歳以上で36.1%と他の年齢に比べて多くなっています。

地区別でみると、「災害時のために必要である」が金島地区で52.6%、小野上地区で60.0%と他の地区と比べて多くなっています。



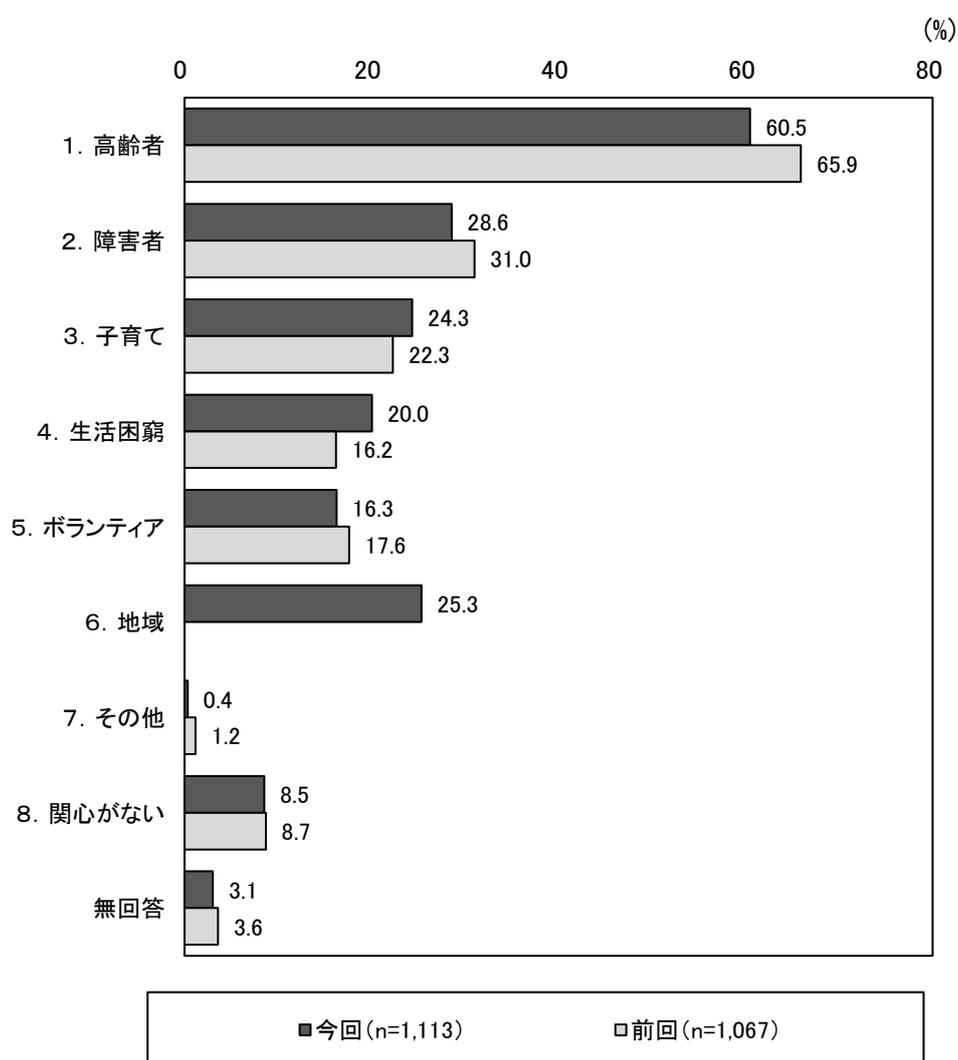
## 5. 福祉に関する情報について

### (1)福祉情報への関心

どのような福祉の情報に関心があるかについては、「高齢者」が60.5%で最も多く、次いで「障害者」が28.6%、「地域」が25.3%となっています。

前回調査と比較すると、「高齢者」が5.4ポイント減少し、「生活困窮」が3.8ポイント増加しています。

問 28 あなたは、どのような福祉の情報に関心がありますか。(1つに○)



### 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、「子育て」が女性で28.8%と男性に比べて多くなっています。

年齢別でみると、「子育て」が30～39歳で70.5%、「高齢者」が70歳以上で77.0%と他の年齢に比べて多くなっています。

地区別でみると、「障害者」が伊香保地区で36.8%と他の地区と比べて多くなっています。

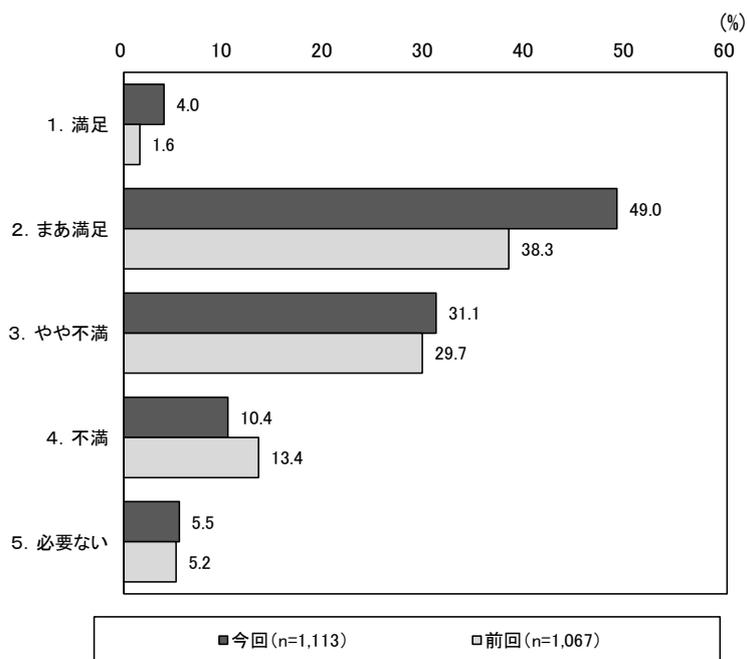
	n: 回答者数 / 単位: %	高齢者	障害者	子育て	生活困窮	ボランティア	地域	その他	関心がない	無回答
性別	男性(n=478)	59.2	26.2	18.8	17.2	14.2	26.2	0.0	10.9	3.1
	女性(n=618)	61.3	30.3	28.8	21.4	17.2	24.3	0.5	6.8	3.1
	その他・答えたくない(n=6)	50.0	33.3	0.0	50.0	50.0	66.7	16.7	16.7	0.0
年齢別	18～29歳(n=53)	37.7	20.8	39.6	17.0	26.4	17.0	0.0	17.0	1.9
	30～39歳(n=78)	32.1	26.9	70.5	21.8	14.1	16.7	0.0	9.0	0.0
	40～49歳(n=140)	38.6	27.9	49.3	20.0	10.7	27.1	0.0	10.0	2.1
	50～59歳(n=153)	49.7	24.8	24.2	19.0	14.4	24.2	0.7	13.7	1.3
	60～69歳(n=234)	63.2	29.5	20.1	21.8	19.7	24.8	0.0	6.4	2.1
	70歳以上(n=443)	77.0	30.7	8.6	18.7	15.6	28.0	0.7	6.3	5.2
地区別	渋川地区(n=287)	56.4	26.8	29.3	22.0	16.0	20.2	0.0	8.7	3.5
	金島地区(n=78)	65.4	24.4	16.7	12.8	11.5	29.5	1.3	10.3	3.8
	古巻地区(n=147)	61.2	28.6	32.0	20.4	20.4	27.9	1.4	7.5	2.0
	豊秋地区(n=90)	60.0	30.0	24.4	17.8	15.6	31.1	0.0	4.4	1.1
	伊香保地区(n=38)	65.8	36.8	7.9	5.3	7.9	23.7	2.6	10.5	7.9
	小野上地区(n=25)	56.0	24.0	16.0	20.0	20.0	28.0	0.0	8.0	8.0
	子持地区(n=161)	63.4	28.0	23.6	19.3	16.8	24.8	0.0	6.8	1.9
	赤城地区(n=149)	65.1	34.2	18.1	25.5	15.4	28.9	0.0	9.4	4.0
	北橘地区(n=128)	56.3	25.0	23.4	18.0	15.6	23.4	0.0	12.5	2.3

## (2)福祉情報の満足度

福祉の情報についてどの程度満足しているかについては、「まあ満足」が49.0%で最も多く、次いで「やや不満」が31.1%、「不満」が10.4%となっています。

前回調査と比較すると、「まあ満足」が10.7ポイント増加しています。

### 問 29 あなたは、福祉の情報についてどの程度満足していますか。(1つに○)

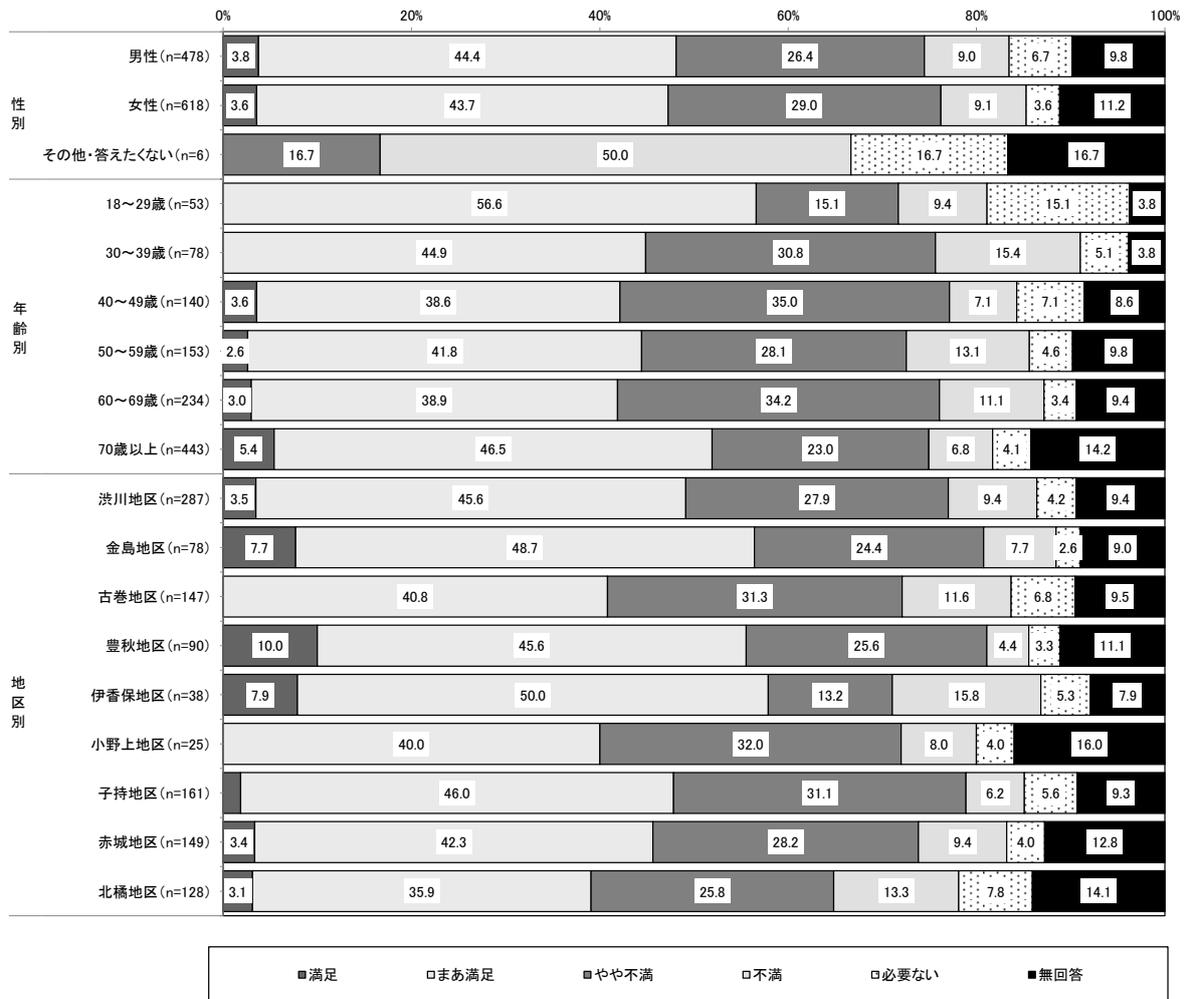


### 【性別・年代別・地区別】

性別で見ると、ほぼ同様の傾向となっています。

年齢別で見ると、ほとんどの年齢で『不満』（「やや不満」と「不満」の合計）が30%以上となっています。

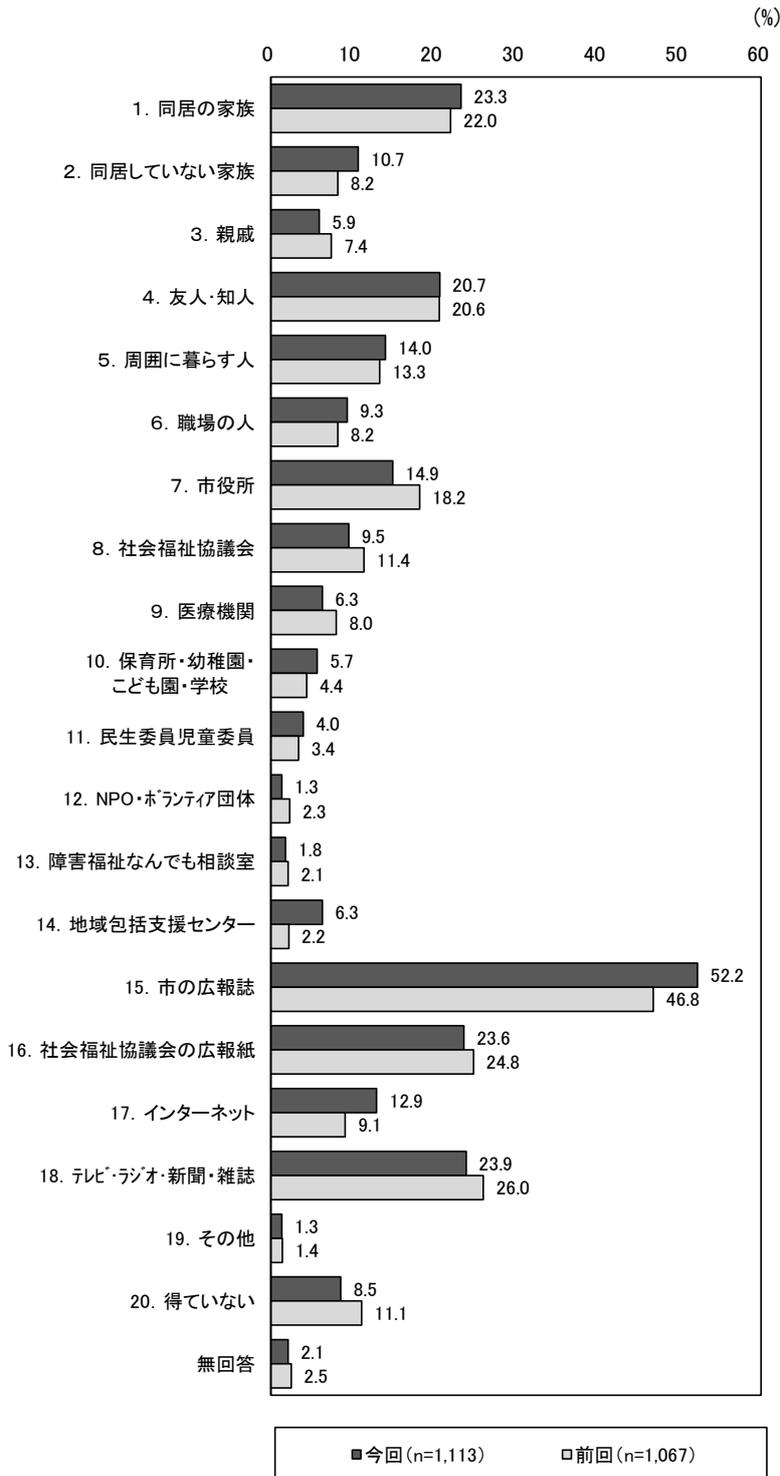
地区別で見ると、『満足』（「満足」と「やや満足」の合計）が金島地区、豊秋地区、伊香保地区で50%以上と他の地区と比べて多くなっています。



### (3)福祉情報の入手先

福祉の情報をどこから得ているかについては、「市の広報誌」が52.2%で最も多く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」が23.9%、「社会福祉協議会の広報紙」が23.6%となっています。前回調査と比較すると、「市の広報誌」が5.4ポイント、「地域包括支援センター」が4.1ポイント増加しています。

問 30 あなたは、福祉の情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)



【性別・年代別・地区別】

性別でみると、「市役所」が女性で63.9%と男性に比べて多くなっています。

年齢別でみると、「保育所・幼稚園・こども園・学校」が30～39歳で24.4%、40～49歳で19.3%と他の年齢と比べて多くなっています。

地区別でみると、「市の広報誌」が金島地区と小野上地区で、60%を超えています。

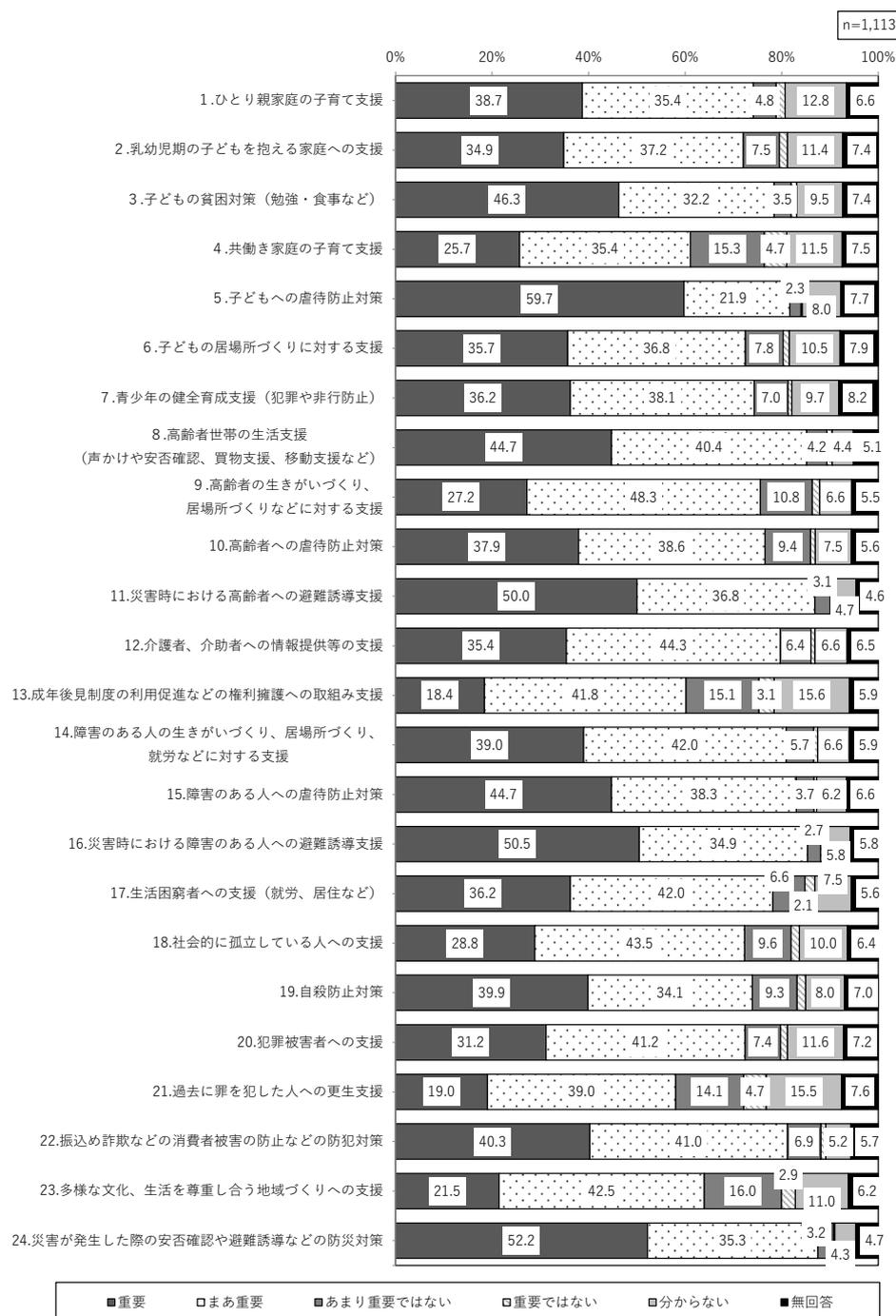
	n: 回答者数 / 単位: %	同居の家族	同居していない家族	親戚	友人・知人	周囲に暮らす人	職場の人	市役所	社会福祉協議会	医療機関	保育所・幼稚園・こども園・学校	民生委員児童委員
性別	男性(n=478)	10.7	0.0	36.2	37.0	42.7	25.5	54.4	30.5	33.9	38.5	21.5
	女性(n=618)	6.6	0.0	40.6	33.0	49.0	25.7	63.9	39.5	38.0	49.5	31.6
	その他・答えたくない(n=6)	50.0	0.0	33.3	50.0	66.7	33.3	66.7	66.7	50.0	50.0	33.3
年齢別	18～29歳(n=53)	39.6	11.3	1.9	9.4	0.0	18.9	11.3	3.8	7.5	9.4	1.9
	30～39歳(n=78)	23.1	12.8	1.3	10.3	1.3	16.7	11.5	0.0	3.8	24.4	0.0
	40～49歳(n=140)	23.6	6.4	2.1	12.9	5.0	15.0	11.4	5.0	3.6	19.3	0.7
	50～59歳(n=153)	19.6	9.8	3.3	18.3	7.2	16.3	15.0	5.2	4.6	2.0	0.7
	60～69歳(n=234)	23.1	8.5	5.6	22.2	14.5	8.5	9.0	9.4	4.3	1.7	2.1
	70歳以上(n=443)	21.9	12.9	9.7	25.7	22.1	2.9	19.4	14.7	9.3	1.1	7.9
地区別	洪川地区(n=287)	19.5	10.5	2.4	16.7	8.7	11.8	14.6	9.4	7.0	6.6	4.5
	金島地区(n=78)	25.6	14.1	0.0	25.6	10.3	3.8	20.5	11.5	7.7	6.4	3.8
	古巻地区(n=147)	19.0	7.5	6.8	21.8	14.3	6.1	14.3	4.8	4.8	5.4	1.4
	豊秋地区(n=90)	28.9	12.2	7.8	24.4	11.1	6.7	16.7	12.2	3.3	4.4	5.6
	伊香保地区(n=38)	21.1	10.5	5.3	13.2	15.8	13.2	13.2	13.2	7.9	2.6	5.3
	小野上地区(n=25)	32.0	8.0	4.0	16.0	24.0	4.0	12.0	16.0	8.0	8.0	12.0
	子持地区(n=161)	27.3	12.4	10.6	21.7	14.9	10.6	14.9	14.9	6.2	6.2	0.6
	赤城地区(n=149)	23.5	9.4	6.7	20.1	19.5	9.4	14.1	7.4	8.1	4.7	7.4
北橘地区(n=128)	24.2	10.9	9.4	22.7	18.0	10.2	11.7	5.5	4.7	5.5	3.1	
	n: 回答者数 / 単位: %	NPO・ボランティア団体	障害福祉なんでも相談室	地域包括支援センター	市の広報誌	社会福祉協議会の広報紙	インターネット	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	その他	得ていない	無回答	
性別	男性(n=478)	28.7	42.5	28.5	16.9	33.5	36.2	41.2	31.2	23.6	2.7	
	女性(n=618)	45.1	55.7	40.9	19.4	43.2	51.0	57.4	39.8	32.7	1.6	
	その他・答えたくない(n=6)	50.0	66.7	33.3	33.3	33.3	66.7	50.0	66.7	33.3	0.0	
年齢別	18～29歳(n=53)	1.9	0.0	1.9	17.0	1.9	22.6	11.3	0.0	28.3	1.9	
	30～39歳(n=78)	1.3	2.6	3.8	43.6	3.8	30.8	11.5	2.6	14.1	0.0	
	40～49歳(n=140)	0.7	2.1	2.1	45.7	15.0	24.3	12.9	0.7	12.9	1.4	
	50～59歳(n=153)	0.7	3.3	4.6	51.6	18.3	19.0	17.0	2.0	13.1	1.3	
	60～69歳(n=234)	2.1	1.3	5.1	57.7	29.1	11.5	25.2	1.3	5.6	1.7	
	70歳以上(n=443)	1.4	1.6	9.9	56.9	31.4	3.8	32.7	1.4	3.8	3.2	
地区別	洪川地区(n=287)	1.0	1.4	5.6	48.8	18.5	13.6	20.2	2.8	12.2	2.4	
	金島地区(n=78)	2.6	0.0	5.1	62.8	25.6	9.0	24.4	1.3	3.8	1.3	
	古巻地区(n=147)	1.4	2.0	8.8	57.8	23.1	13.6	23.8	1.4	6.1	1.4	
	豊秋地区(n=90)	0.0	3.3	10.0	58.9	31.1	11.1	21.1	2.2	6.7	1.1	
	伊香保地区(n=38)	2.6	0.0	5.3	47.4	23.7	10.5	18.4	2.6	13.2	0.0	
	小野上地区(n=25)	0.0	0.0	12.0	64.0	40.0	0.0	28.0	0.0	8.0	8.0	
	子持地区(n=161)	0.6	1.2	5.6	50.9	25.5	15.5	17.4	0.0	6.8	1.9	
	赤城地区(n=149)	1.3	2.0	6.7	47.0	27.5	12.1	30.2	0.7	6.7	4.7	
北橘地区(n=128)	3.1	2.3	3.1	48.4	18.8	15.6	34.4	0.0	10.9	0.0		

## 6. 福祉に関する施策について

### (1)福祉に関する施策の重要度

渋川市の福祉施策に感じる重要度の現在の評価については、『重要』の割合が、子ども関係では「5. 子どもへの虐待防止対策」が59.7%、高齢者関係では「11. 災害時における高齢者への避難誘導支援」が50.0%、障害者関係では「16. 災害時における障害のある人への避難誘導支援」が50.5%、福祉関係では「24. 災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策」が52.2%となっています。

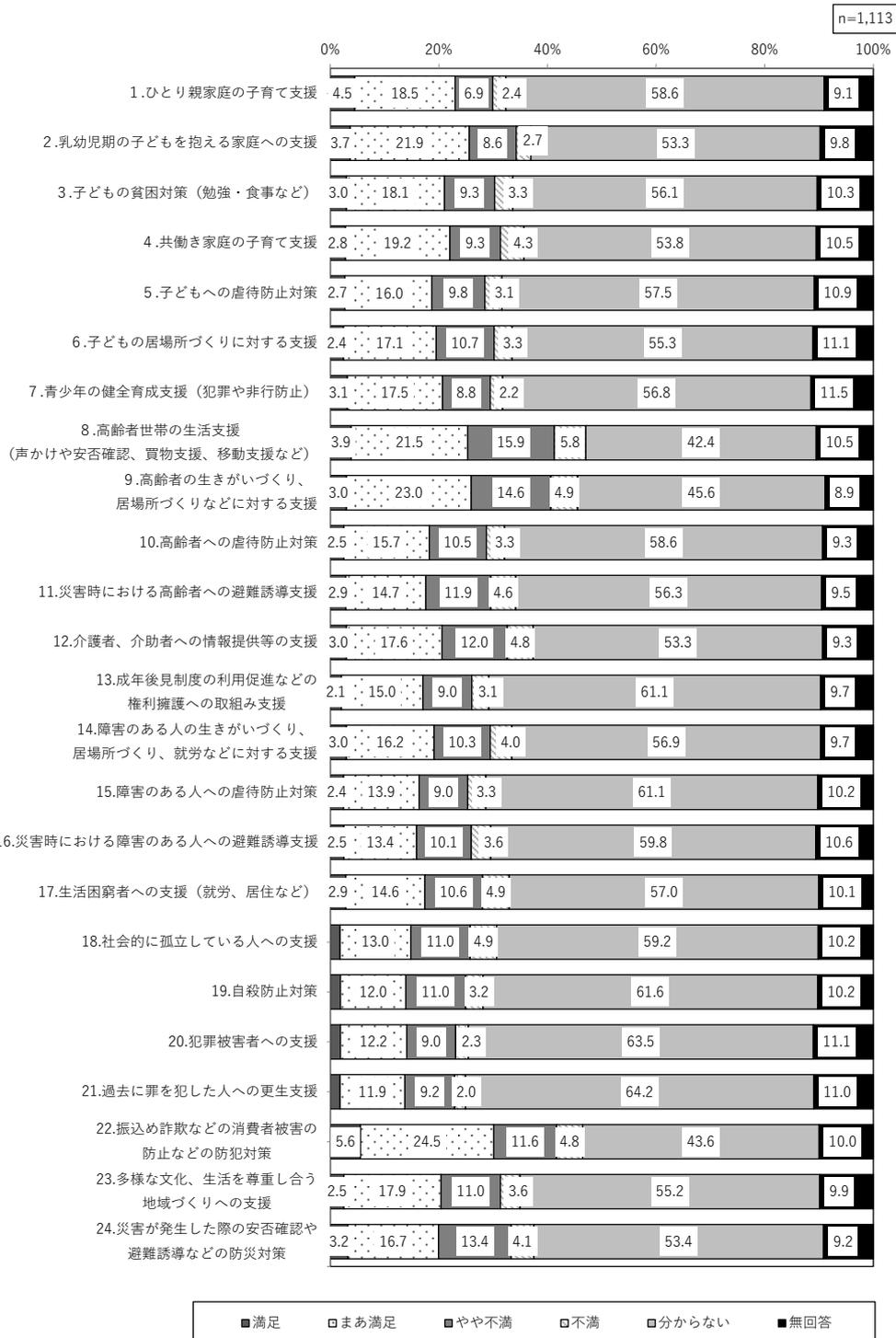
#### 問 31 次の渋川市の施策に関してあなたが感じる重要度を教えてください。(それぞれ番号に○)



## (2)福祉に関する施策の満足度

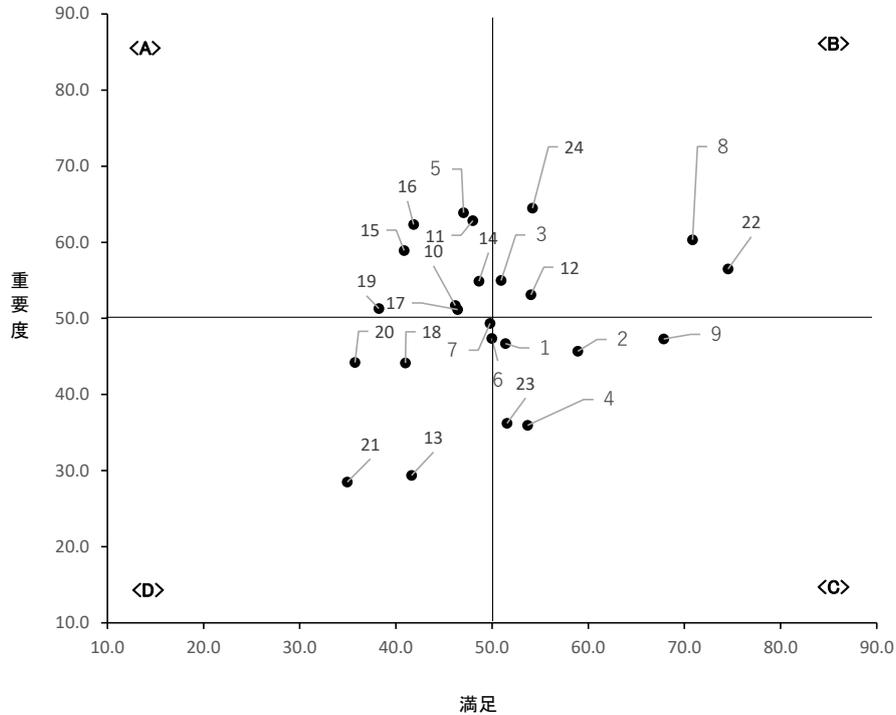
渋川市の施策に感じる満足度の現在の評価については、『満足』（「満足」と「まあ満足」の合計）をみると、子ども関係では「2.乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援」が25.6%、高齢者関係では「9.高齢者の生きがいづくり、居場所づくりなどに対する支援」が26.0%、障害者関係では「14.障害のある人の生きがいづくり、居場所づくり、就労などに対する支援」が19.2%、福祉関係では「22.振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策」が30.1%となっています。

問 32 次の渋川市の施策に関してあなたが感じる満足度を教えてください。(それぞれ番号に○)



### (3)福祉に関する施策の現状の評価(今後の重要性)と(満足度)の分析

「現状の評価（重要度）」の回答割合から「重要」を100点、「まあ重要」を75点、「あまり重要ではない」を50点、「重要ではない」を25点、「分からない」を0点として点数化、また、「現状の評価（満足度）」の回答割合から「満足」を100点、「まあ満足」を75点、「やや不満」を50点、「不満」を25点、「分からない」を0点として点数化し、偏差値化すると次の散布図になります。



番号凡例	
子ども関係	1.ひとり親家庭の子育て支援
	2.乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援
	3.子どもの貧困対策(勉強・食事など)
	4.共働き家庭の子育て支援
	5.子どもへの虐待防止対策
	6.子どもの居場所づくりに対する支援
	7.青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)
高齢者関係	8.高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買物支援、移動支援など)
	9.高齢者の生きがいづくり、居場所づくりなどに対する支援
	10.高齢者への虐待防止対策
	11.災害時における高齢者への避難誘導支援
	12.介護者、介助者への情報提供等の支援
	13.成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取組み支援
障害者関係	14.障害のある人の生きがいづくり、居場所づくり、就労などに対する支援
	15.障害のある人への虐待防止対策
	16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
福祉全般	17.生活困窮者への支援(就労、居住など)
	18.社会的に孤立している人への支援
	19.自殺防止対策
	20.犯罪被害者への支援
	21.過去に罪を犯した人への更生支援
	22.振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策
	23.多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援
	24.災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策

**第一象限（A）：満足度が低く優先度が高い**

重要度が高いものの現在の満足度が低いため、最も優先的に取り組むことを期待されている施策群。

満足度が低く優先度が高い象限に属す施策群には、「5. 子どもへの虐待防止対策」、「10. 高齢者への虐待防止対策」、「11. 災害時における高齢者への避難誘導支援」、「14. 障害のある人の生きがいづくり、居場所づくり、就労などに対する支援」、「15. 障害のある人への虐待防止対策」、「16. 災害時における障害のある人への避難誘導支援」、「17. 生活困窮者への支援（就労、居住など）」、「19. 自殺防止対策」が属しています。

**第二象限（B）：満足度が高く重要度が高い**

優先度が高いものの現在の満足度も高いため、現状の水準を維持しつつもさらなる充実が期待されている施策群。

満足度が高く優先度が高い象限に属す施策群には「3. 子どもの貧困対策（勉強・食事など）」、「8. 高齢者世帯の生活支援（声かけや安否確認、買物支援、移動支援など）」、「12. 介護者、介助者への情報提供等の支援」、「22. 振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策」、「24. 災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策」が属していますが、これは一定の満足度があるものの、今後もさらなる対策を行って欲しいという期待が優先度として反映されていることが考えられます。

**第三象限（C）：満足度が高く優先度が低い**

優先度が低いものの現在の満足度が高いため、ある程度の満足が得られている施策群。

満足度が高く優先度が低い象限には「1. ひとり親家庭の子育て支援」、「2. 乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援」、「4. 共働き家庭の子育て支援」、「6. 子どもの居場所づくりに対する支援」、「9. 高齢者の生きがいづくり、居場所づくりなどに対する支援」、「23. 多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援」が属しています。

**第四象限（D）：満足度が低く優先度も低い**

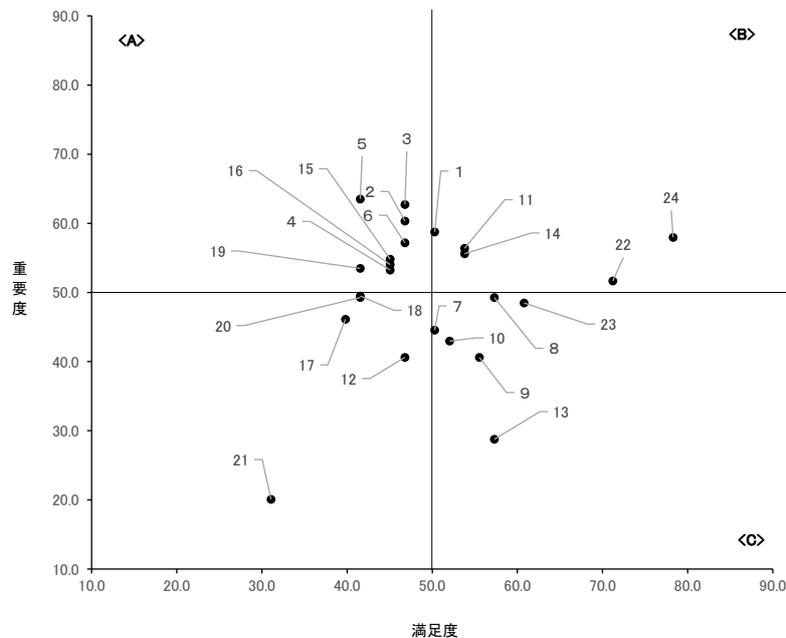
優先度が低いものの現在の満足度も低い施策群。

満足度が低く優先度も低い象限には、「7. 青少年の健全育成支援（犯罪や非行防止）」、「13. 成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取組み支援」、「18. 社会的に孤立している人への支援」、「20. 犯罪被害者への支援」、「21. 過去に罪を犯した人への更生支援」が属しています。

## 【年齢別】

<18～29 歳>

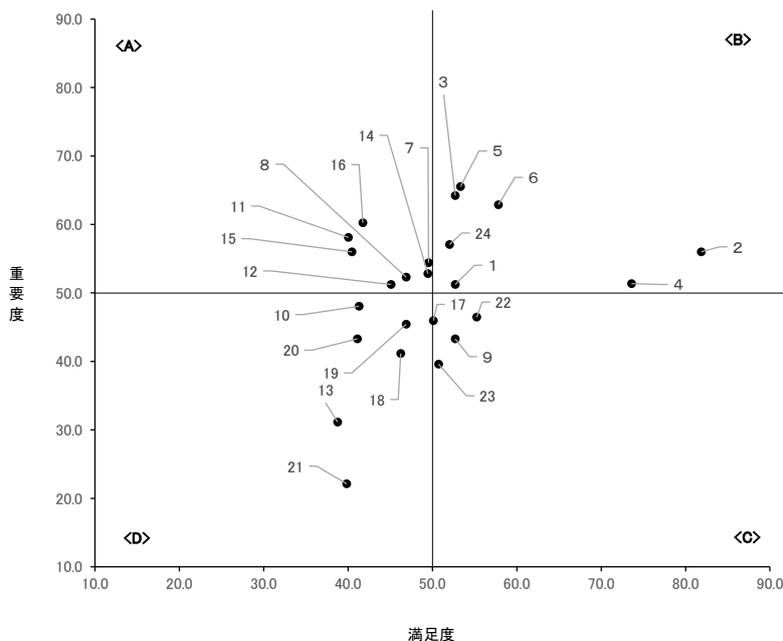
最優先施策群である第一象限には、「2. 乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援」、「3. 子どもの貧困対策（勉強・食事など）」、「4. 共働き家庭の子育て支援」、「5. 子どもへの虐待防止対策」、「6. 子どもの居場所づくりに対する支援」、「15. 障害のある人への虐待防止対策」、「16. 災害時における障害のある人への避難誘導支援」、「19. 自殺防止対策」が属しています。



<A>第一象限
2.乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援
3.子どもの貧困対策(勉強・食事など)
4.共働き家庭の子育て支援
5.子どもへの虐待防止対策
6.子どもの居場所づくりに対する支援
15.障害のある人への虐待防止対策
16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
19.自殺防止対策
<B>第二象限
1.ひとり親家庭の子育て支援
11.災害時における高齢者への避難誘導支援
14.障害のある人の生きがいづくり、居場所づくり、就労などに対する支援
22.振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策
24.災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策
<C>第三象限
7.青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)
8.高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買物支援、移動支援など)
9.高齢者の生きがいづくり、居場所づくりなどに対する支援
10.高齢者への虐待防止対策
13.成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取り組み支援
23.多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援
<D>第四象限
12.介護者、介助者への情報提供等の支援
17.生活困窮者への支援(就労、居住など)
18.社会的に孤立している人への支援
20.犯罪被害者への支援
21.過去に罪を犯した人への更生支援

<30～39 歳>

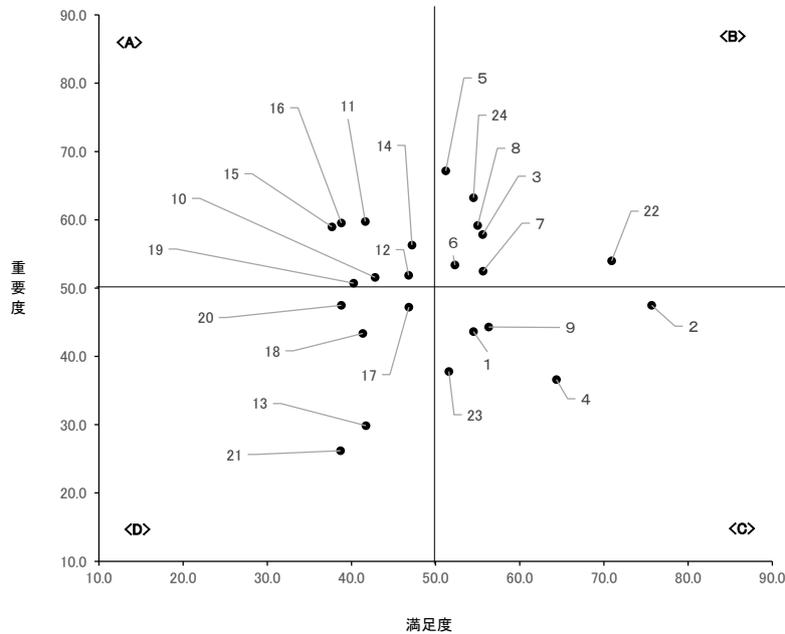
最優先施策群である第一象限には、「7. 青少年の健全育成支援（犯罪や非行防止）」、「8. 高齢者世帯の生活支援（声かけや安否確認、買物支援、移動支援など）」、「11. 災害時における高齢者への避難誘導支援」、「12. 介護者、介助者への情報提供等の支援」、「14. 障害のある人の生きがいつくり、居場所づくり、就労などに対する支援」、「15. 障害のある人への虐待防止対策」、「16. 災害時における障害のある人への避難誘導支援」が属しています。



<b>&lt;A&gt;第一象限</b>	
7.青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)	
8.高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買物支援、移動支援など)	
11.災害時における高齢者への避難誘導支援	
12.介護者、介助者への情報提供等の支援	
14.障害のある人の生きがいつくり、居場所づくり、就労などに対する支援	
15.障害のある人への虐待防止対策	
16.災害時における障害のある人への避難誘導支援	
<b>&lt;B&gt;第二象限</b>	
1.ひとり親家庭の子育て支援	
2.乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援	
3.子どもの貧困対策(勉強・食事など)	
4.共働き家庭の子育て支援	
5.子どもへの虐待防止対策	
6.子どもの居場所づくりに対する支援	
24.災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策	
<b>&lt;C&gt;第三象限</b>	
9.高齢者の生きがいつくり、居場所づくりなどに対する支援	
17.生活困窮者への支援(就労、居住など)	
22.振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策	
23.多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援	
<b>&lt;D&gt;第四象限</b>	
10.高齢者への虐待防止対策	
13.成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取り組み支援	
18.社会的に孤立している人への支援	
19.自殺防止対策	
20.犯罪被害者への支援	
21.過去に罪を犯した人への更生支援	

<40～49 歳>

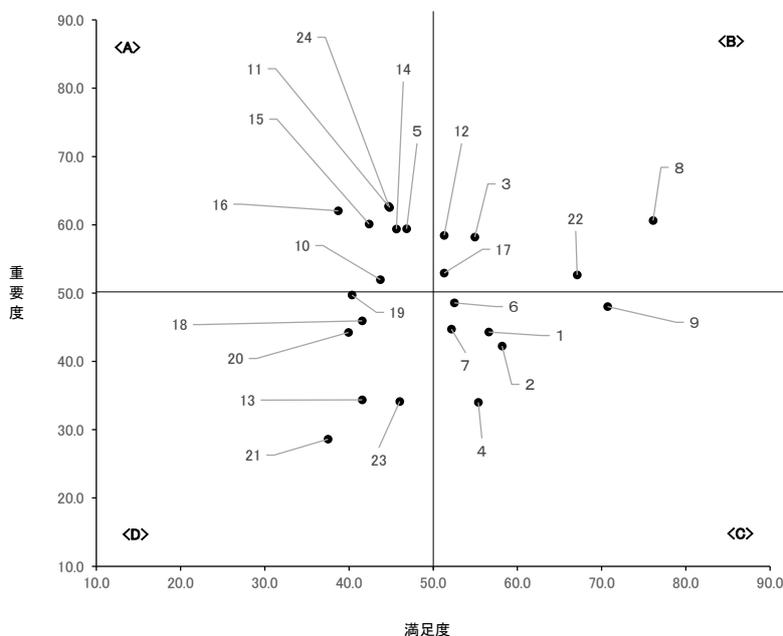
最優先施策群である第一象限には、「10. 高齢者への虐待防止対策」、「11. 災害時における高齢者への避難誘導支援」、「12. 介護者、介助者への情報提供等の支援」、「14. 障害のある人の生きがいつくり、居場所づくり、就労などに対する支援」、「15. 障害のある人への虐待防止対策」、「16. 災害時における障害のある人への避難誘導支援」、「19. 自殺防止対策」が属しています。



<A>第一象限
10.高齢者への虐待防止対策
11.災害時における高齢者への避難誘導支援
12.介護者、介助者への情報提供等の支援
14.障害のある人の生きがいつくり、居場所づくり、就労などに対する支援
15.障害のある人への虐待防止対策
16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
19.自殺防止対策
<B>第二象限
3.子どもの貧困対策(勉強・食事など)
5.子どもへの虐待防止対策
6.子どもの居場所づくりに対する支援
7.青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)
8.高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買物支援、移動支援など)
22.振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策
24.災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策
<C>第三象限
1.ひとり親家庭の子育て支援
2.乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援
4.共働き家庭の子育て支援
9.高齢者の生きがいつくり、居場所づくりなどに対する支援
23.多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援
<D>第四象限
13.成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取り組み支援
17.生活困窮者への支援(就労、居住など)
18.社会的に孤立している人への支援
20.犯罪被害者への支援
21.過去に罪を犯した人への更生支援

<50～59 歳>

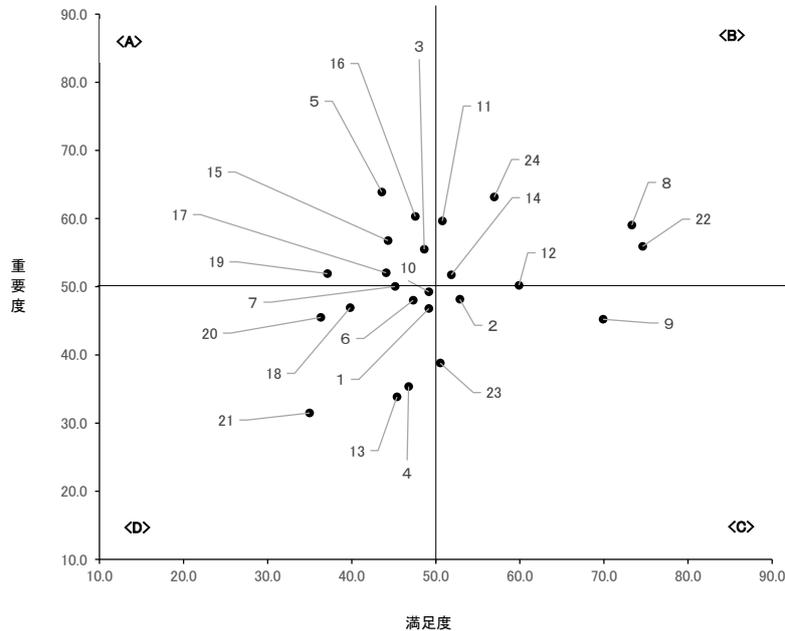
最優先施策群である第一象限には、「5. 子どもへの虐待防止対策」、「10. 高齢者への虐待防止対策」、「11. 災害時における高齢者への避難誘導支援」、「14. 障害のある人の生きがいつくり、居場所づくり、就労などに対する支援」、「15. 障害のある人への虐待防止対策」、「16. 災害時における障害のある人への避難誘導支援」、「24. 災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策」が属しています。



<A>第一象限
5.子どもへの虐待防止対策
10.高齢者への虐待防止対策
11.災害時における高齢者への避難誘導支援
14.障害のある人の生きがいつくり、居場所づくり、就労などに対する支援
15.障害のある人への虐待防止対策
16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
24.災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策
<B>第二象限
3.子どもの貧困対策(勉強・食事など)
8.高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買物支援、移動支援など)
12.介護者、介助者への情報提供等の支援
17.生活困窮者への支援(就労、居住など)
22.振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策
<C>第三象限
1.ひとり親家庭の子育て支援
2.乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援
4.共働き家庭の子育て支援
6.子どもの居場所づくりに対する支援
7.青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)
9.高齢者の生きがいつくり、居場所づくりなどに対する支援
<D>第四象限
13.成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取り組み支援
18.社会的に孤立している人への支援
19.自殺防止対策
20.犯罪被害者への支援
21.過去に罪を犯した人への更生支援
23.多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援

<60～69 歳>

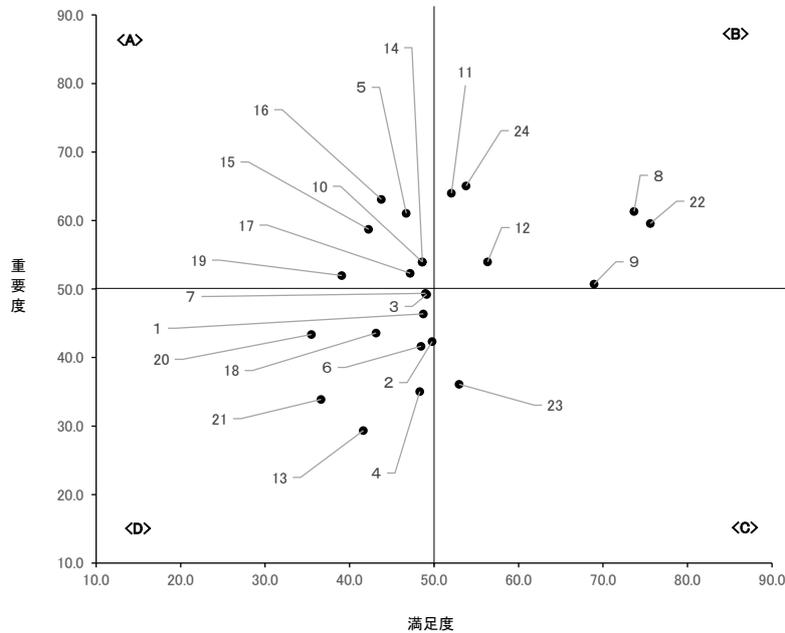
最優先施策群である第一象限には、「3. 子どもの貧困対策（勉強・食事など）」、「5. 子どもへの虐待防止対策」、「15. 障害のある人への虐待防止対策」、「16. 災害時における障害のある人への避難誘導支援」、「17. 生活困窮者への支援（就労、居住など）」、「19. 自殺防止対策」が属しています。



<A>第一象限
3.子どもの貧困対策(勉強・食事など)
5.子どもへの虐待防止対策
15.障害のある人への虐待防止対策
16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
17.生活困窮者への支援(就労、居住など)
19.自殺防止対策
<B>第二象限
8.高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買物支援、移動支援など)
11.災害時における高齢者への避難誘導支援
12.介護者、介助者への情報提供等の支援
14.障害のある人の生きがいつくり、居場所つくり、就労などに対する支援
22.振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策
24.災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策
<C>第三象限
2.乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援
9.高齢者の生きがいつくり、居場所つくりなどに対する支援
23.多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援
<D>第四象限
1.ひとり親家庭の子育て支援
4.共働き家庭の子育て支援
6.子どもの居場所つくりに対する支援
7.青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)
10.高齢者への虐待防止対策
13.成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取組み支援
18.社会的に孤立している人への支援
20.犯罪被害者への支援
21.過去に罪を犯した人への更生支援

<70歳以上>

最優先施策群である第一象限には、「5. 子どもへの虐待防止対策」、「10. 高齢者への虐待防止対策」、「14. 障害のある人の生きがいつくり、居場所づくり、就労などに対する支援」、「15. 障害のある人への虐待防止対策」、「16. 災害時における障害のある人への避難誘導支援」、「17. 生活困窮者への支援（就労、居住など）」、「19. 自殺防止対策」が属しています。

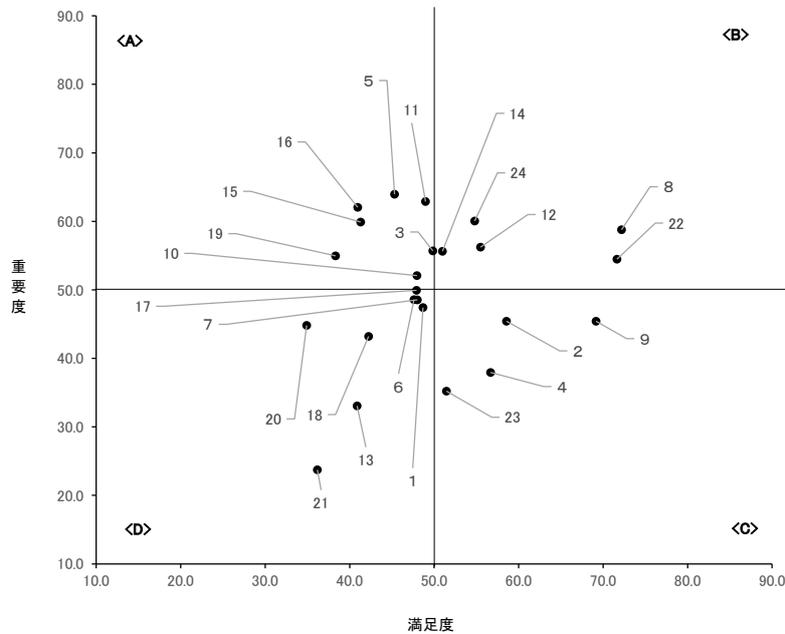


<A>第一象限
5.子どもへの虐待防止対策
10.高齢者への虐待防止対策
14.障害のある人の生きがいつくり、居場所づくり、就労などに対する支援
15.障害のある人への虐待防止対策
16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
17.生活困窮者への支援(就労、居住など)
19.自殺防止対策
<B>第二象限
8.高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買物支援、移動支援など)
9.高齢者の生きがいつくり、居場所づくりなどに対する支援
11.災害時における高齢者への避難誘導支援
12.介護者、介助者への情報提供等の支援
22.振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策
24.災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策
<C>第三象限
23.多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援
<D>第四象限
1.ひとり親家庭の子育て支援
2.乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援
3.子どもの貧困対策(勉強・食事など)
4.共働き家庭の子育て支援
6.子どもの居場所づくりに対する支援
7.青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)
13.成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取り組み支援
18.社会的に孤立している人への支援
20.犯罪被害者への支援
21.過去に罪を犯した人への更生支援

## 【地区別】

### ＜渋川地区＞

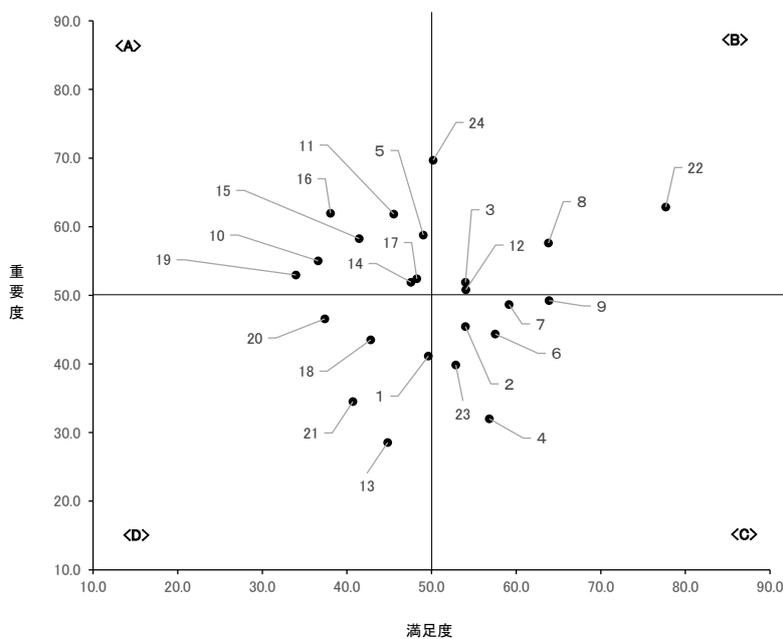
最優先施策群である第一象限には、「3. 子どもの貧困対策（勉強・食事など）」、「5. 子どもへの虐待防止対策」、「10. 高齢者への虐待防止対策」、「11. 災害時における高齢者への避難誘導支援」、「15. 障害のある人への虐待防止対策」、「16. 災害時における障害のある人への避難誘導支援」、「19. 自殺防止対策」が属しています。



<p>&lt;A&gt; 第一象限</p> <p>3. 子どもの貧困対策（勉強・食事など）</p> <p>5. 子どもへの虐待防止対策</p> <p>10. 高齢者への虐待防止対策</p> <p>11. 災害時における高齢者への避難誘導支援</p> <p>15. 障害のある人への虐待防止対策</p> <p>16. 災害時における障害のある人への避難誘導支援</p> <p>19. 自殺防止対策</p>
<p>&lt;B&gt; 第二象限</p> <p>8. 高齢者世帯の生活支援（声かけや安否確認、買物支援、移動支援など）</p> <p>12. 介護者、介助者への情報提供等の支援</p> <p>14. 障害のある人の生きがいづくり、居場所づくり、就労などに対する支援</p> <p>22. 振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策</p> <p>24. 災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策</p>
<p>&lt;C&gt; 第三象限</p> <p>2. 乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援</p> <p>4. 共働き家庭の子育て支援</p> <p>9. 高齢者の生きがいづくり、居場所づくりなどに対する支援</p> <p>23. 多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援</p>
<p>&lt;D&gt; 第四象限</p> <p>1. ひとり親家庭の子育て支援</p> <p>6. 子どもの居場所づくりに対する支援</p> <p>7. 青少年の健全育成支援（犯罪や非行防止）</p> <p>13. 成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取組み支援</p> <p>17. 生活困窮者への支援（就労、居住など）</p> <p>18. 社会的に孤立している人への支援</p> <p>20. 犯罪被害者への支援</p> <p>21. 過去に罪を犯した人への更生支援</p>

<金島地区>

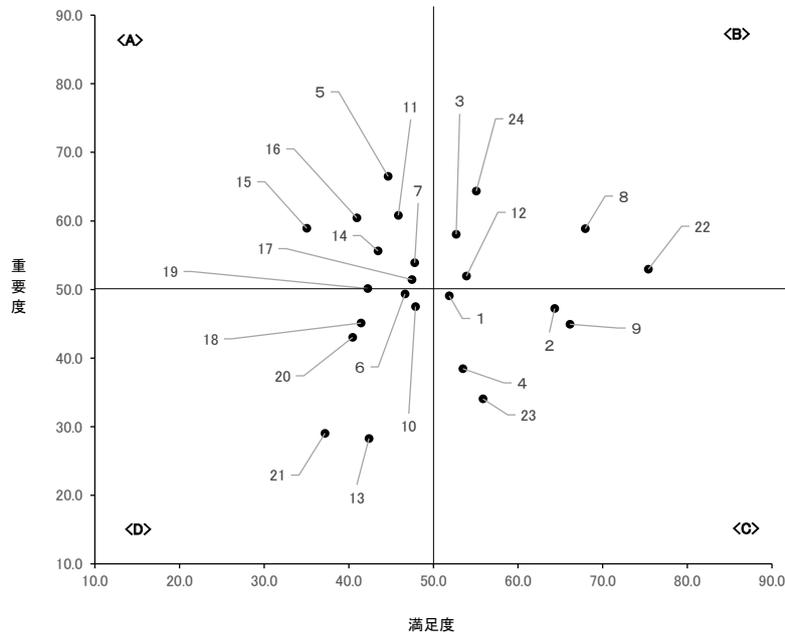
最優先施策群である第一象限には、「5. 子どもへの虐待防止対策」、「10. 高齢者への虐待防止対策」、「11. 災害時における高齢者への避難誘導支援」、「14. 障害のある人の生きがいきづくり、居場所づくり、就労などに対する支援」、「15. 障害のある人への虐待防止対策」、「16. 災害時における障害のある人への避難誘導支援」、「17. 生活困窮者への支援（就労、居住など）」、「19. 自殺防止対策」が属しています。



<A> 第一象限
5. 子どもへの虐待防止対策
10. 高齢者への虐待防止対策
11. 災害時における高齢者への避難誘導支援
14. 障害のある人の生きがいきづくり、居場所づくり、就労などに対する支援
15. 障害のある人への虐待防止対策
16. 災害時における障害のある人への避難誘導支援
17. 生活困窮者への支援（就労、居住など）
19. 自殺防止対策
<B> 第二象限
3. 子どもの貧困対策（勉強・食事など）
8. 高齢者世帯の生活支援（声かけや安否確認、買物支援、移動支援など）
12. 介護者、介助者への情報提供等の支援
22. 振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策
24. 災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策
<C> 第三象限
2. 乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援
4. 共働き家庭の子育て支援
6. 子どもの居場所づくりに対する支援
7. 青少年の健全育成支援（犯罪や非行防止）
9. 高齢者の生きがいきづくり、居場所づくりなどに対する支援
23. 多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援
<D> 第四象限
1. ひとり親家庭の子育て支援
13. 成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取組み支援
18. 社会的に孤立している人への支援
20. 犯罪被害者への支援
21. 過去に罪を犯した人への更生支援

<古巻地区>

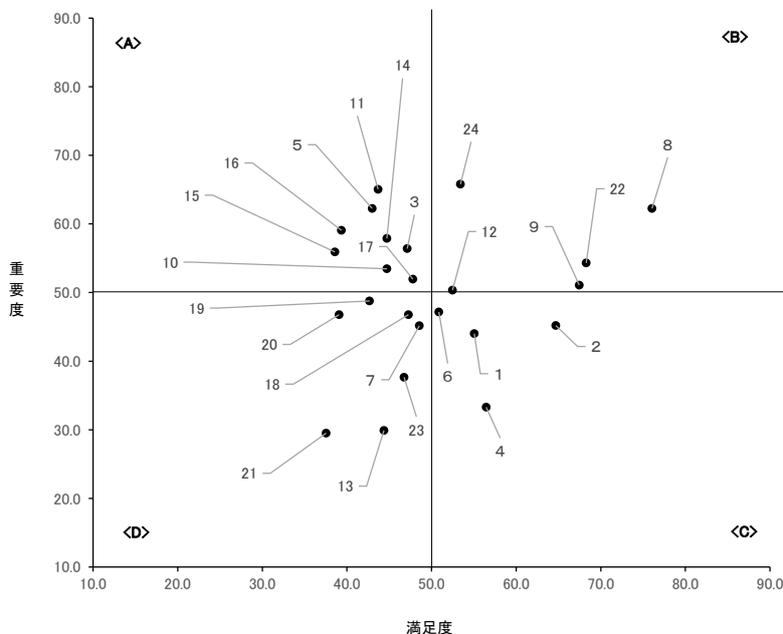
最優先施策群である第一象限には、「5.子どもへの虐待防止対策」、「7.青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)」、「11.災害時における高齢者への避難誘導支援」、「14.障害のある人の生きがいつくり、居場所づくり、就労などに対する支援」、「15.障害のある人への虐待防止対策」、「16.災害時における障害のある人への避難誘導支援」、「17.生活困窮者への支援(就労、居住など)」、「19.自殺防止対策」が属しています。



<A>第一象限
5.子どもへの虐待防止対策
7.青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)
11.災害時における高齢者への避難誘導支援
14.障害のある人の生きがいつくり、居場所づくり、就労などに対する支援
15.障害のある人への虐待防止対策
16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
17.生活困窮者への支援(就労、居住など)
19.自殺防止対策
<B>第二象限
3.子どもの貧困対策(勉強・食事など)
8.高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買物支援、移動支援など)
12.介護者、介助者への情報提供等の支援
22.振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策
24.災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策
<C>第三象限
1.ひとり親家庭の子育て支援
2.乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援
4.共働き家庭の子育て支援
9.高齢者の生きがいつくり、居場所づくりなどに対する支援
23.多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援
<D>第四象限
6.子どもの居場所づくりに対する支援
10.高齢者への虐待防止対策
13.成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取組み支援
18.社会的に孤立している人への支援
20.犯罪被害者への支援
21.過去に罪を犯した人への更生支援

<豊秋地区>

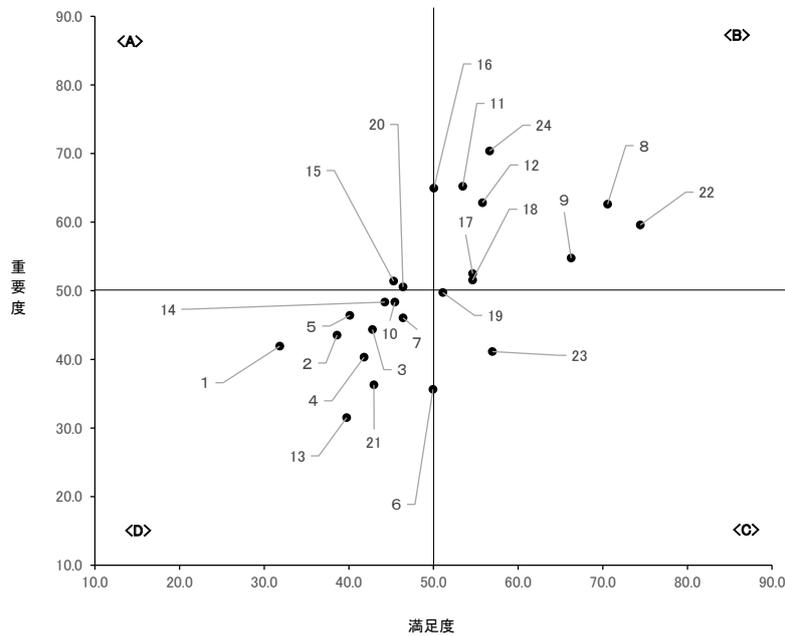
最優先施策群である第一象限には、「3. 子どもの貧困対策（勉強・食事など）」、「5. 子どもへの虐待防止対策」、「10. 高齢者への虐待防止対策」、「11. 災害時における高齢者への避難誘導支援」、「14. 障害のある人の生きがいがづくり、居場所づくり、就労などに対する支援」、「15. 障害のある人への虐待防止対策」、「16. 災害時における障害のある人への避難誘導支援」、「17. 生活困窮者への支援（就労、居住など）」が属しています。



<A>第一象限
3.子どもの貧困対策(勉強・食事など)
5.子どもへの虐待防止対策
10.高齢者への虐待防止対策
11.災害時における高齢者への避難誘導支援
14.障害のある人の生きがいがづくり、居場所づくり、就労などに対する支援
15.障害のある人への虐待防止対策
16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
17.生活困窮者への支援(就労、居住など)
<B>第二象限
8.高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買物支援、移動支援など)
9.高齢者の生きがいがづくり、居場所づくりなどに対する支援
12.介護者、介助者への情報提供等の支援
22.振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策
24.災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策
<C>第三象限
1.ひとり親家庭の子育て支援
2.乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援
4.共働き家庭の子育て支援
6.子どもの居場所づくりに対する支援
<D>第四象限
7.青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)
13.成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取組み支援
18.社会的に孤立している人への支援
19.自殺防止対策
20.犯罪被害者への支援
21.過去に罪を犯した人への更生支援
23.多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援

<伊香保地区>

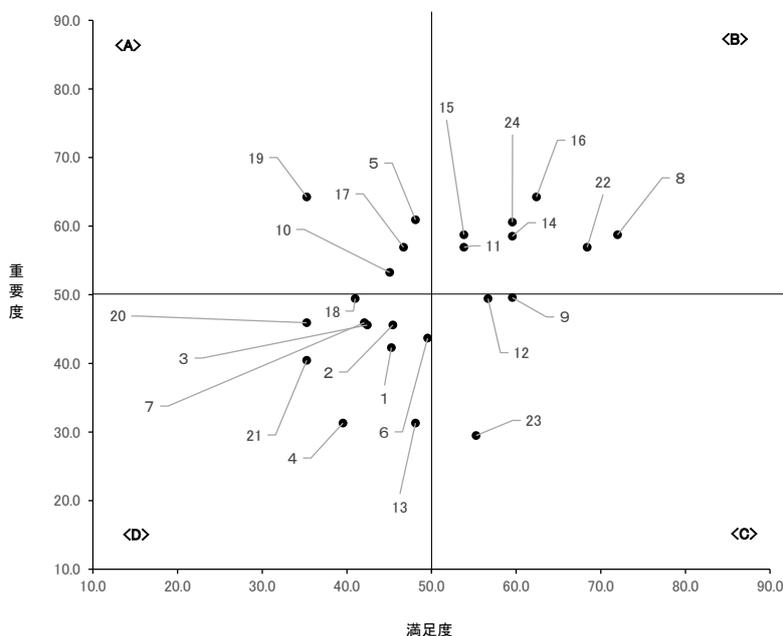
最優先施策群である第一象限には、「15. 障害のある人への虐待防止対策」、「20. 犯罪被害者への支援」が属しています。



<A>第一象限
15.障害のある人への虐待防止対策
20.犯罪被害者への支援
<B>第二象限
8.高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買物支援、移動支援など)
9.高齢者の生きがいつくり、居場所づくりなどに対する支援
11.災害時における高齢者への避難誘導支援
12.介護者、介助者への情報提供等の支援
16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
17.生活困窮者への支援(就労、居住など)
18.社会的に孤立している人への支援
22.振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策
24.災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策
<C>第三象限
19.自殺防止対策
23.多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援
<D>第四象限
1.ひとり親家庭の子育て支援
2.乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援
3.子どもの貧困対策(勉強・食事など)
4.共働き家庭の子育て支援
5.子どもへの虐待防止対策
6.子どもの居場所づくりに対する支援
7.青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)
10.高齢者への虐待防止対策
13.成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取り組み支援
14.障害のある人の生きがいつくり、居場所づくり、就労などに対する支援
21.過去に罪を犯した人への更生支援

<小野上地区>

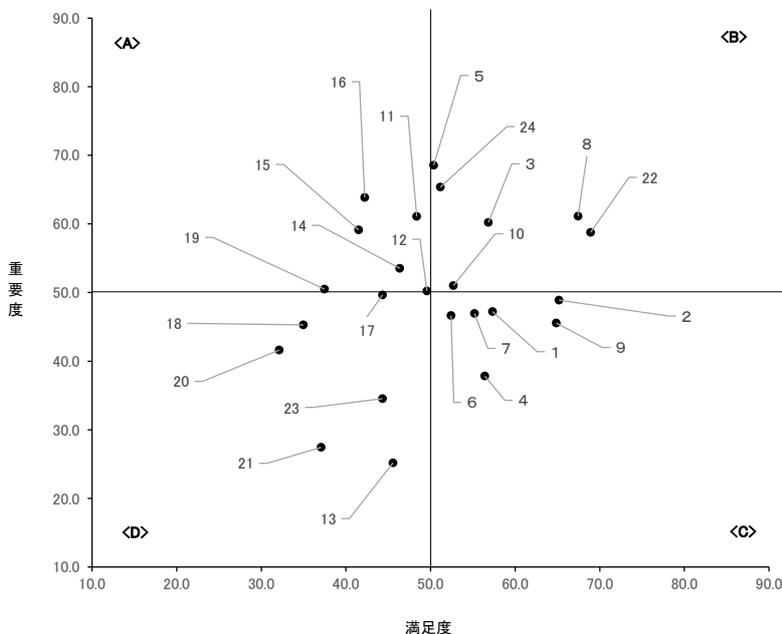
最優先施策群である第一象限には、「5. 子どもへの虐待防止対策」、「10. 高齢者への虐待防止対策」、「17. 生活困窮者への支援（就労、居住など）」、「19. 自殺防止対策」が属しています。



<A>第一象限
5.子どもへの虐待防止対策
10.高齢者への虐待防止対策
17.生活困窮者への支援(就労、居住など)
19.自殺防止対策
<B>第二象限
8.高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買物支援、移動支援など)
11.災害時における高齢者への避難誘導支援
14.障害のある人の生きがいづくり、居場所づくり、就労などに対する支援
15.障害のある人への虐待防止対策
16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
22.振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策
24.災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策
<C>第三象限
9.高齢者の生きがいづくり、居場所づくりなどに対する支援
12.介護者、介助者への情報提供等の支援
23.多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援
<D>第四象限
1.ひとり親家庭の子育て支援
2.乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援
3.子どもの貧困対策(勉強・食事など)
4.共働き家庭の子育て支援
6.子どもの居場所づくりに対する支援
7.青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)
13.成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取り組み支援
18.社会的に孤立している人への支援
20.犯罪被害者への支援
21.過去に罪を犯した人への更生支援

<子持地区>

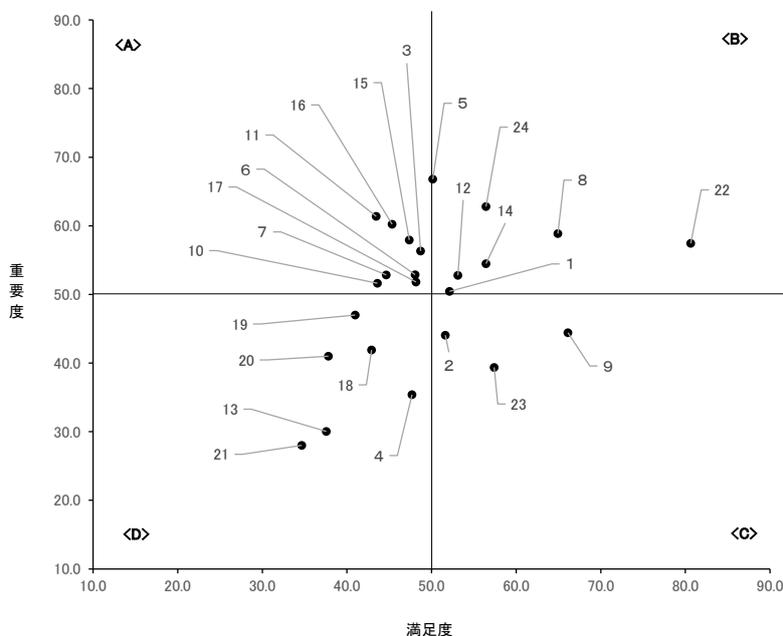
最優先施策群である第一象限には、「11. 災害時における高齢者への避難誘導支援」、「12. 介護者、介助者への情報提供等の支援」、「14. 障害のある人の生きがいつくり、居場所づくり、就労などに対する支援」、「15. 障害のある人への虐待防止対策」、「16. 災害時における障害のある人への避難誘導支援」、「19. 自殺防止対策」が属しています。



<A>第一象限
11.災害時における高齢者への避難誘導支援
12.介護者、介助者への情報提供等の支援
14.障害のある人の生きがいつくり、居場所づくり、就労などに対する支援
15.障害のある人への虐待防止対策
16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
19.自殺防止対策
<B>第二象限
3.子どもの貧困対策(勉強・食事など)
5.子どもへの虐待防止対策
8.高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買物支援、移動支援など)
10.高齢者への虐待防止対策
22.振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策
24.災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策
<C>第三象限
1.ひとり親家庭の子育て支援
2.乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援
4.共働き家庭の子育て支援
6.子どもの居場所づくりに対する支援
7.青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)
9.高齢者の生きがいつくり、居場所づくりなどに対する支援
<D>第四象限
13.成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取組み支援
17.生活困窮者への支援(就労、居住など)
18.社会的に孤立している人への支援
20.犯罪被害者への支援
21.過去に罪を犯した人への更生支援
23.多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援

<赤城地区>

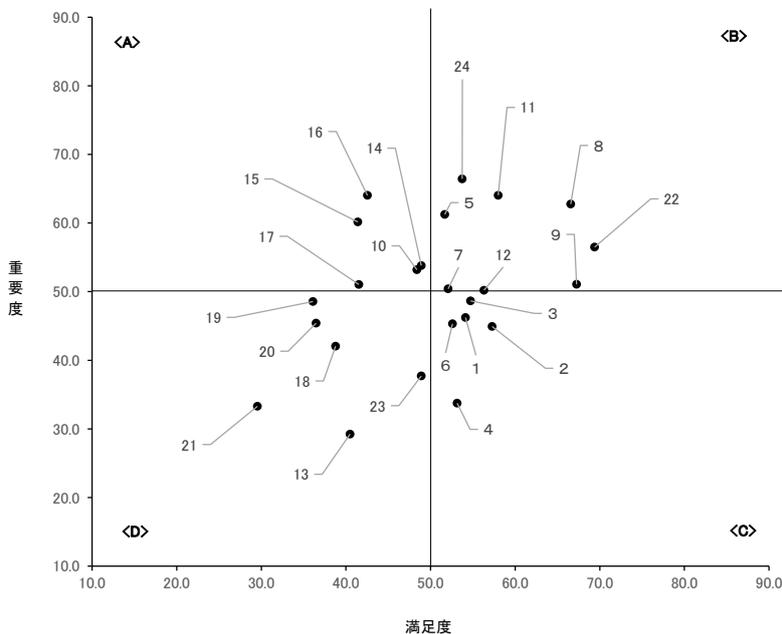
最優先施策群である第一象限には、「3. 子どもの貧困対策（勉強・食事など）」、「6. 子どもの居場所づくりに対する支援」、「7. 青少年の健全育成支援（犯罪や非行防止）」、「10. 高齢者への虐待防止対策」、「11. 災害時における高齢者への避難誘導支援」、「15. 障害のある人への虐待防止対策」、「16. 災害時における障害のある人への避難誘導支援」、「17. 生活困窮者への支援（就労、居住など）」が属しています。



<A>第一象限
3.子どもの貧困対策(勉強・食事など)
6.子どもの居場所づくりに対する支援
7.青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)
10.高齢者への虐待防止対策
11.災害時における高齢者への避難誘導支援
15.障害のある人への虐待防止対策
16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
17.生活困窮者への支援(就労、居住など)
<B>第二象限
1.ひとり親家庭の子育て支援
5.子どもへの虐待防止対策
8.高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買物支援、移動支援など)
12.介護者、介助者への情報提供等の支援
14.障害のある人の生きがいづくり、居場所づくり、就労などに対する支援
22.振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策
24.災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策
<C>第三象限
2.乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援
9.高齢者の生きがいづくり、居場所づくりなどに対する支援
23.多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援
<D>第四象限
4.共働き家庭の子育て支援
13.成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取組み支援
18.社会的に孤立している人への支援
19.自殺防止対策
20.犯罪被害者への支援
21.過去に罪を犯した人への更生支援

<北橘地区>

最優先施策群である第一象限には、「10. 高齢者への虐待防止対策」、「14. 障害のある人の生きがいつくり、居場所づくり、就労などに対する支援」、「15. 障害のある人への虐待防止対策」、「16. 災害時における障害のある人への避難誘導支援」、「17. 生活困窮者への支援（就労、居住など）」が属しています。



<A>第一象限
10.高齢者への虐待防止対策
14.障害のある人の生きがいつくり、居場所づくり、就労などに対する支援
15.障害のある人への虐待防止対策
16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
17.生活困窮者への支援(就労、居住など)
<B>第二象限
5.子どもへの虐待防止対策
7.青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)
8.高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買物支援、移動支援など)
9.高齢者の生きがいつくり、居場所づくりなどに対する支援
11.災害時における高齢者への避難誘導支援
12.介護者、介助者への情報提供等の支援
22.振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策
24.災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策
<C>第三象限
1.ひとり親家庭の子育て支援
2.乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援
3.子どもの貧困対策(勉強・食事など)
4.共働き家庭の子育て支援
6.子どもの居場所づくりに対する支援
<D>第四象限
13.成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取組み支援
18.社会的に孤立している人への支援
19.自殺防止対策
20.犯罪被害者への支援
21.過去に罪を犯した人への更生支援
23.多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援

<各地区の最優先課題一覧>

	<A>第一象限に該当する項目
渋川地区	3.子どもの貧困対策(勉強・食事など)、5.子どもへの虐待防止対策
	10.高齢者への虐待防止対策、11.災害時における高齢者への避難誘導支援
	15.障害のある人への虐待防止対策、16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
	19.自殺防止対策
金島地区	5.子どもへの虐待防止対策、10.高齢者への虐待防止対策
	11.災害時における高齢者への避難誘導支援
	14.障害のある人の生きがいづくり、居場所づくり、就労などに対する支援
	15.障害のある人への虐待防止対策、16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
	17.生活困窮者への支援(就労、居住など)、19.自殺防止対策
古巻地区	5.子どもへの虐待防止対策、7.青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)
	11.災害時における高齢者への避難誘導支援
	14.障害のある人の生きがいづくり、居場所づくり、就労などに対する支援
	15.障害のある人への虐待防止対策、16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
	17.生活困窮者への支援(就労、居住など)、19.自殺防止対策
豊秋地区	3.子どもの貧困対策(勉強・食事など)、5.子どもへの虐待防止対策
	10.高齢者への虐待防止対策、11.災害時における高齢者への避難誘導支援
	14.障害のある人の生きがいづくり、居場所づくり、就労などに対する支援
	15.障害のある人への虐待防止対策、16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
	17.生活困窮者への支援(就労、居住など)
伊香保地区	15.障害のある人への虐待防止対策、20.犯罪被害者への支援
小野上地区	5.子どもへの虐待防止対策、10.高齢者への虐待防止対策
	17.生活困窮者への支援(就労、居住など)、19.自殺防止対策
子持地区	11.災害時における高齢者への避難誘導支援、12.介護者、介助者への情報提供等の支援
	14.障害のある人の生きがいづくり、居場所づくり、就労などに対する支援
	15.障害のある人への虐待防止対策、16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
	19.自殺防止対策
赤城地区	3.子どもの貧困対策(勉強・食事など)、6.子どもの居場所づくりに対する支援
	7.青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)、10.高齢者への虐待防止対策
	11.災害時における高齢者への避難誘導支援、15.障害のある人への虐待防止対策
	16.災害時における障害のある人への避難誘導支援、17.生活困窮者への支援(就労、居住など)
北橘地区	10.高齢者への虐待防止対策
	14.障害のある人の生きがいづくり、居場所づくり、就労などに対する支援
	15.障害のある人への虐待防止対策、16.災害時における障害のある人への避難誘導支援
	17.生活困窮者への支援(就労、居住など)

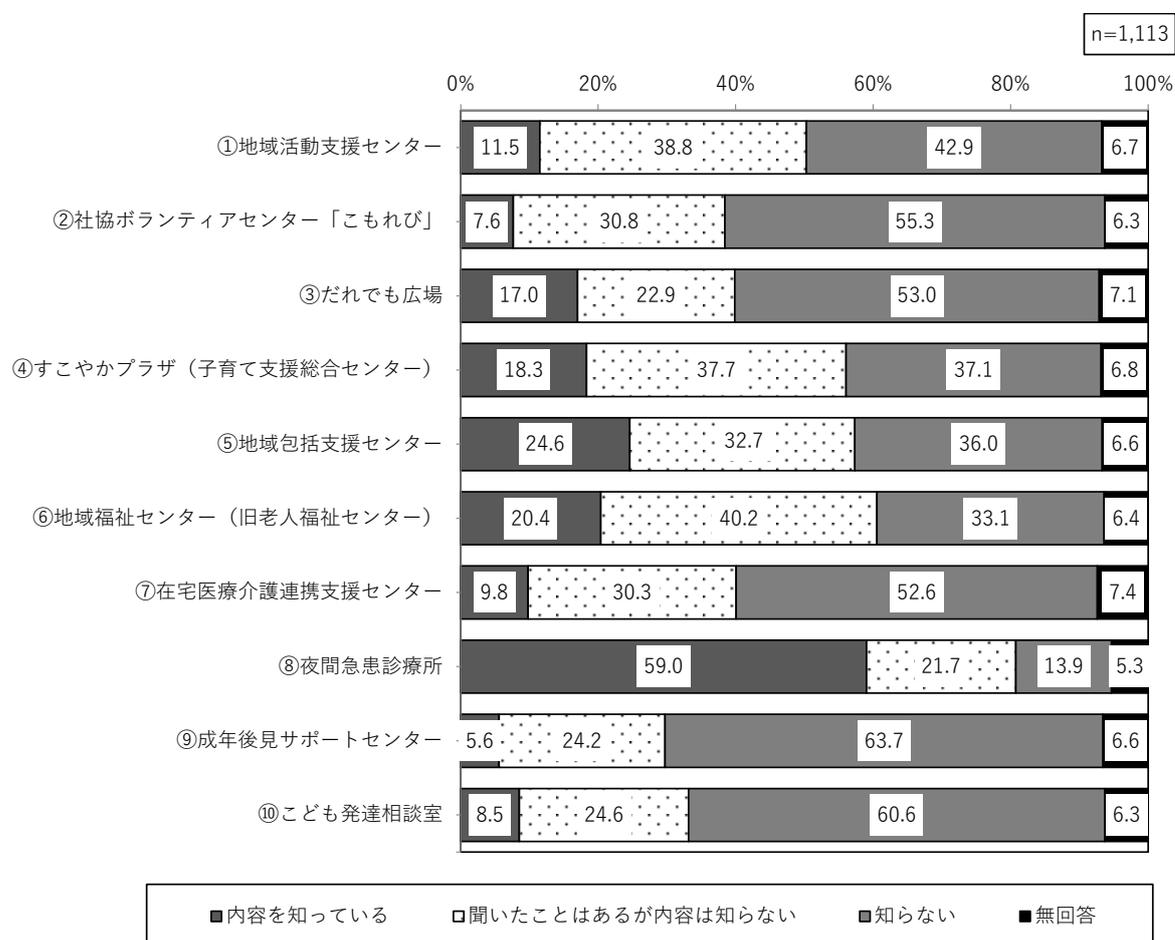
## 7. 地域福祉について あなたが知っていること

### (1) 地域福祉施設について

地域福祉に関わりのある渋川市の施設などについては、『内容を知っている』の割合が、「⑧夜間急患診療所」が59.0%と最も多く、次いで「⑤地域包括支援センター」が24.6%、「⑥地域福祉センター（旧老人福祉センター）」が20.4%となっています。

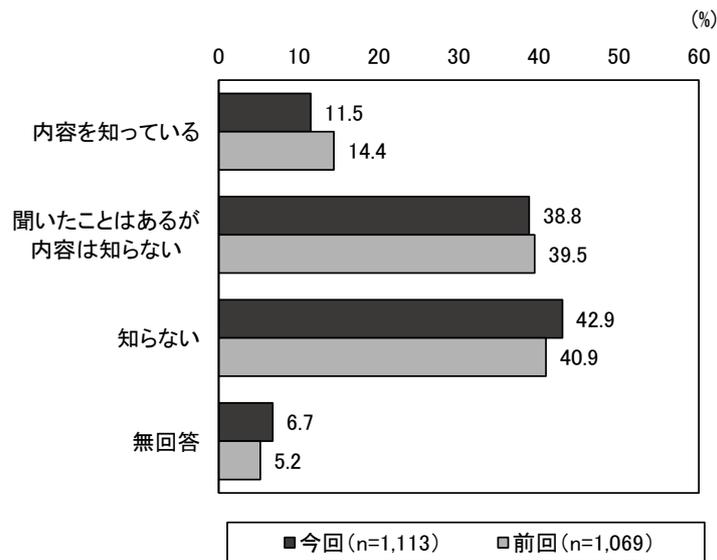
『知らない』の割合は、「⑨成年後見サポートセンター」が63.7%と最も多く、次いで「⑩子ども発達相談室」が60.6%、「②社協ボランティアセンター「こもれび」」が55.3%となっています。

問 33 あなたは、(①地域活動支援センター ～ ⑩子ども発達相談室)の地域福祉に関わりのある渋川市内の施設などをご存じですか。(それぞれ番号に○)



### ① 地域活動支援センター

前回調査と比較すると、「内容を知っている」が2.9ポイント減少し、「知らない」が2ポイント増加しています。

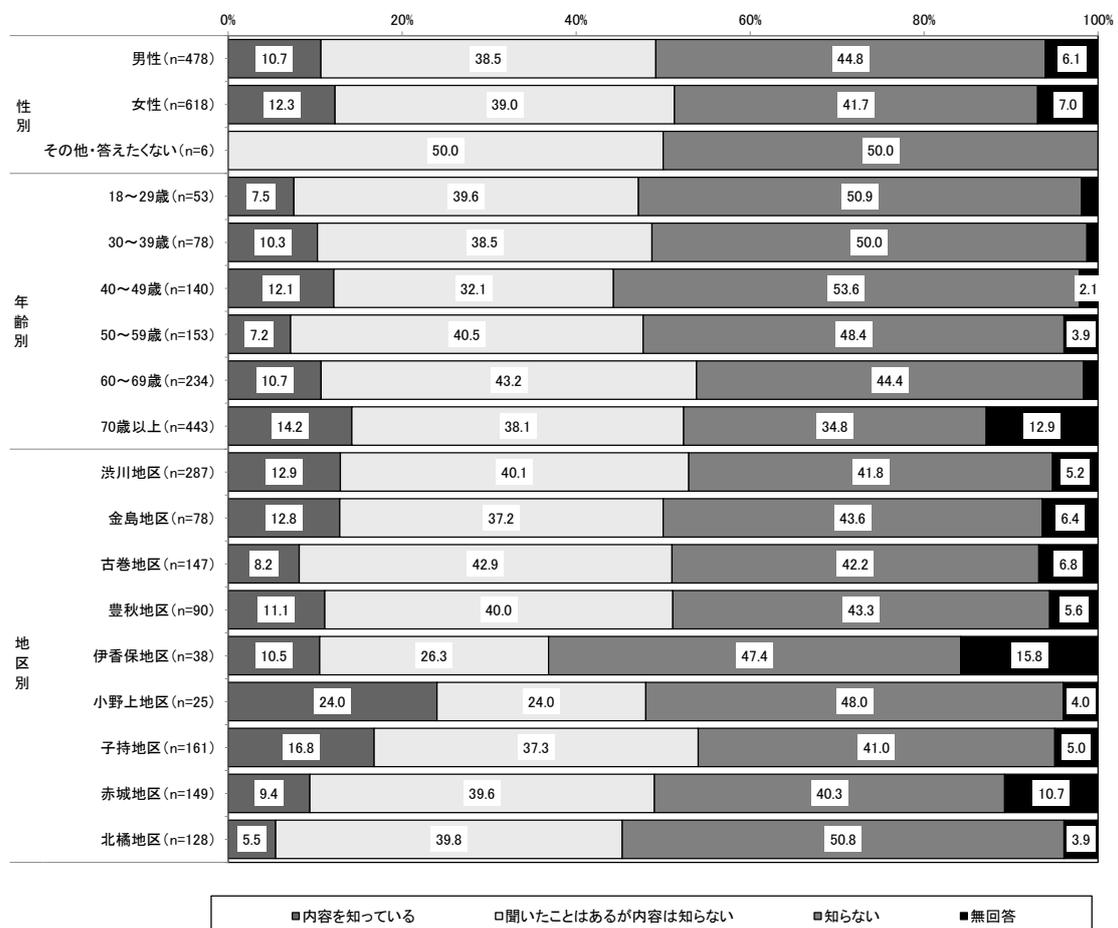


### 【性別・年代別・地区別】

性別で見ると、ほぼ同様の傾向となっています。

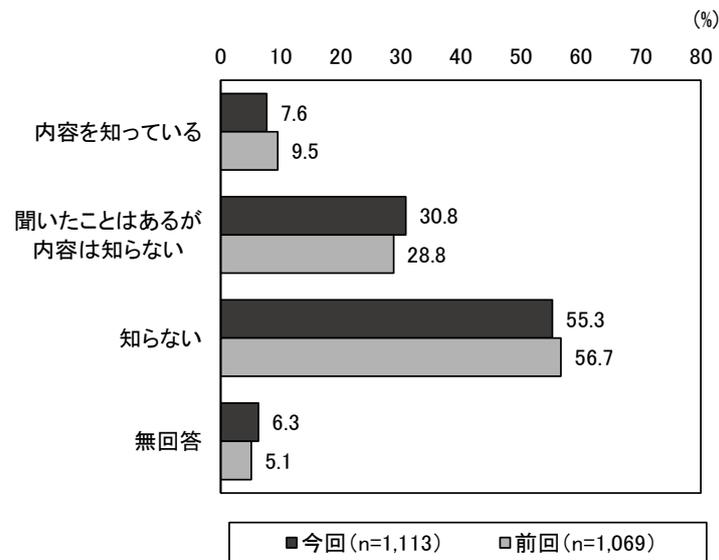
年齢別で見ると、「知らない」が年齢が高くなるにしたがって少なくなる傾向が見られます。

地区別で見ると、「知っている」が小野上地区で24.0%と他の地区と比べて多くなっています。



## ② 社協ボランティアセンター「こもれび」

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

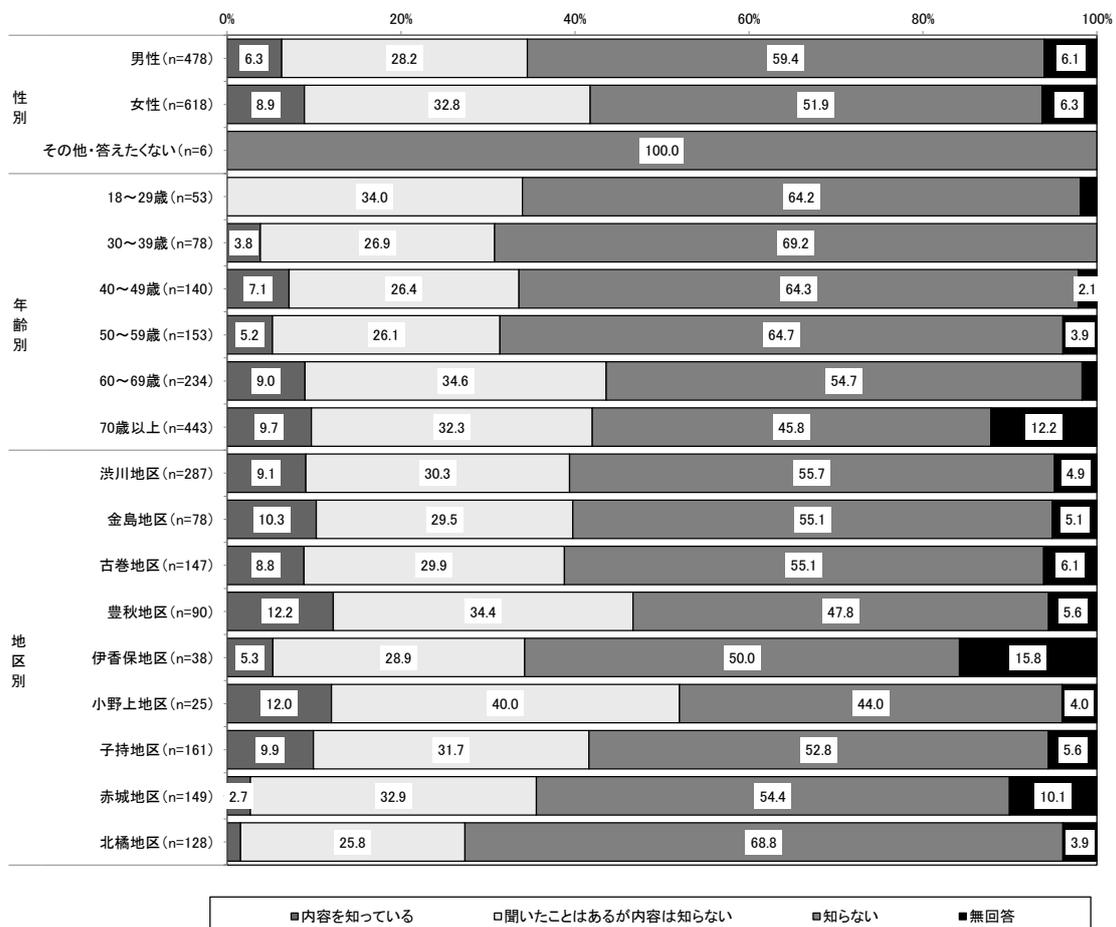


### 【性別・年代別・地区別】

性別で見ると、ほぼ同様の傾向となっています。

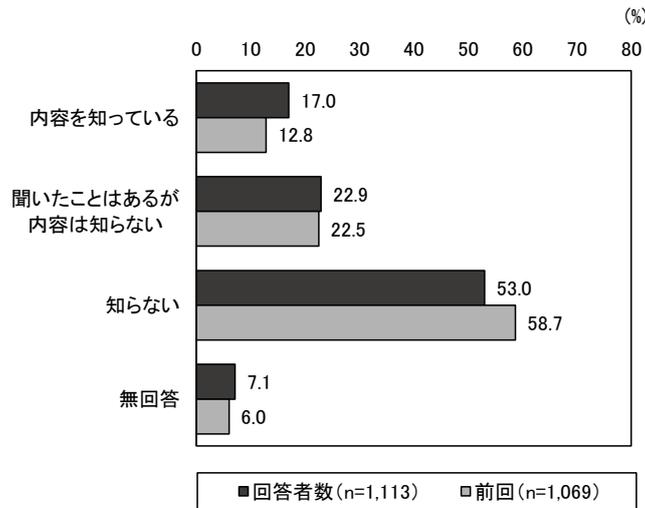
年齢別で見ると、年齢が高くなるにしたがって認知度も高くなる傾向が見られます。

地区別で見ると、「知っている」が金島地区、豊秋地区、小野上地区で10%以上と他の地区と比べて多くなっています。



### ③ だれでも広場

前回調査と比較すると、「内容を知っている」が4.2ポイント増加し、「知らない」が5.7ポイント減少しています。

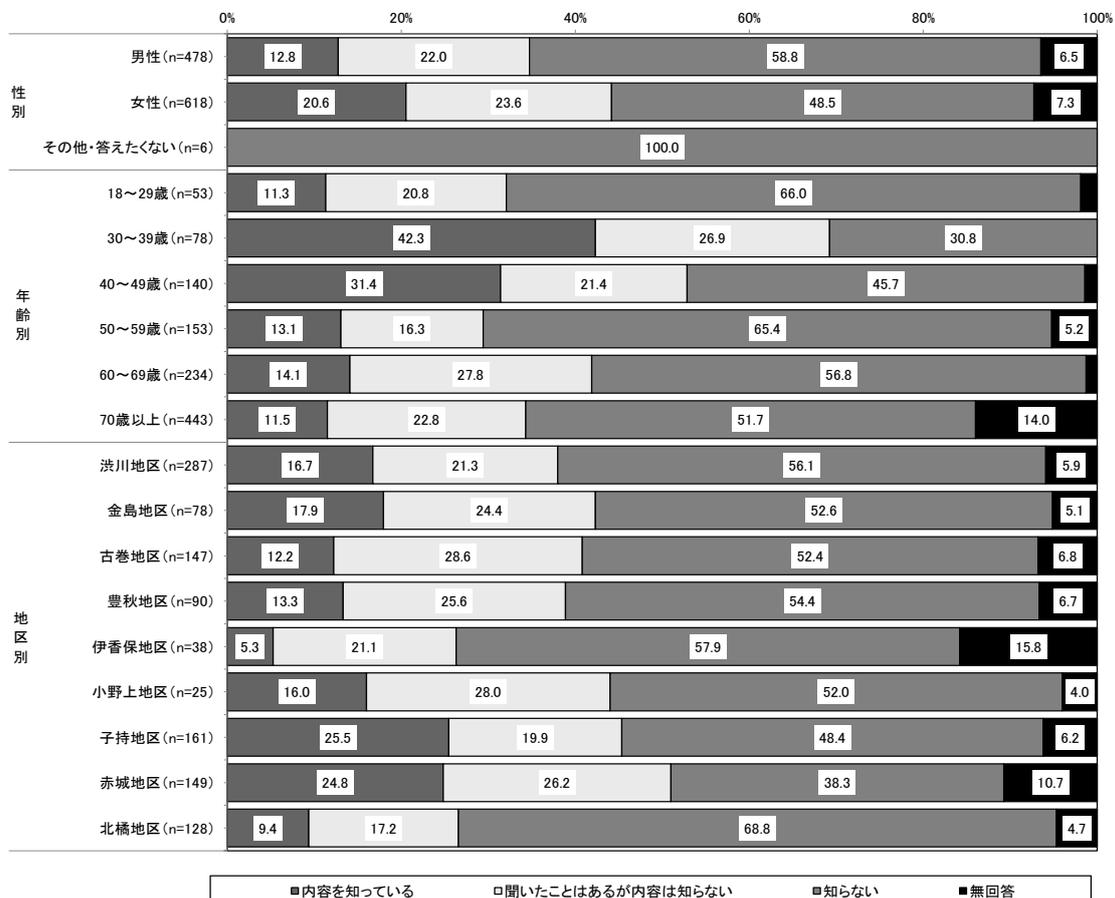


#### 【性別・年代別・地区別】

性別で見ると、「内容を知っている」が女性で20.6%と、男性に比べて多くなっています。

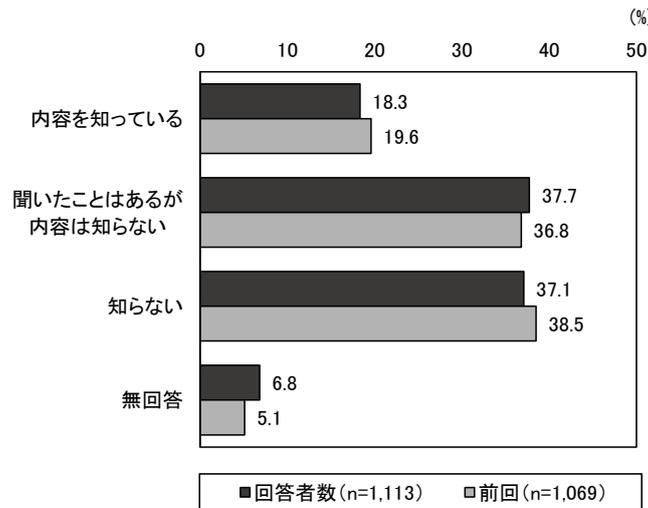
年齢別で見ると、「内容を知っている」が30～39歳で42.3%と他の年齢と、比べて多くなっています。

地区別で見ると、「内容を知っている」が子持地区と赤城地区で20%以上と、他の地区と比べて多くなっています。



#### ④ すこやかプラザ(子育て支援総合センター)

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

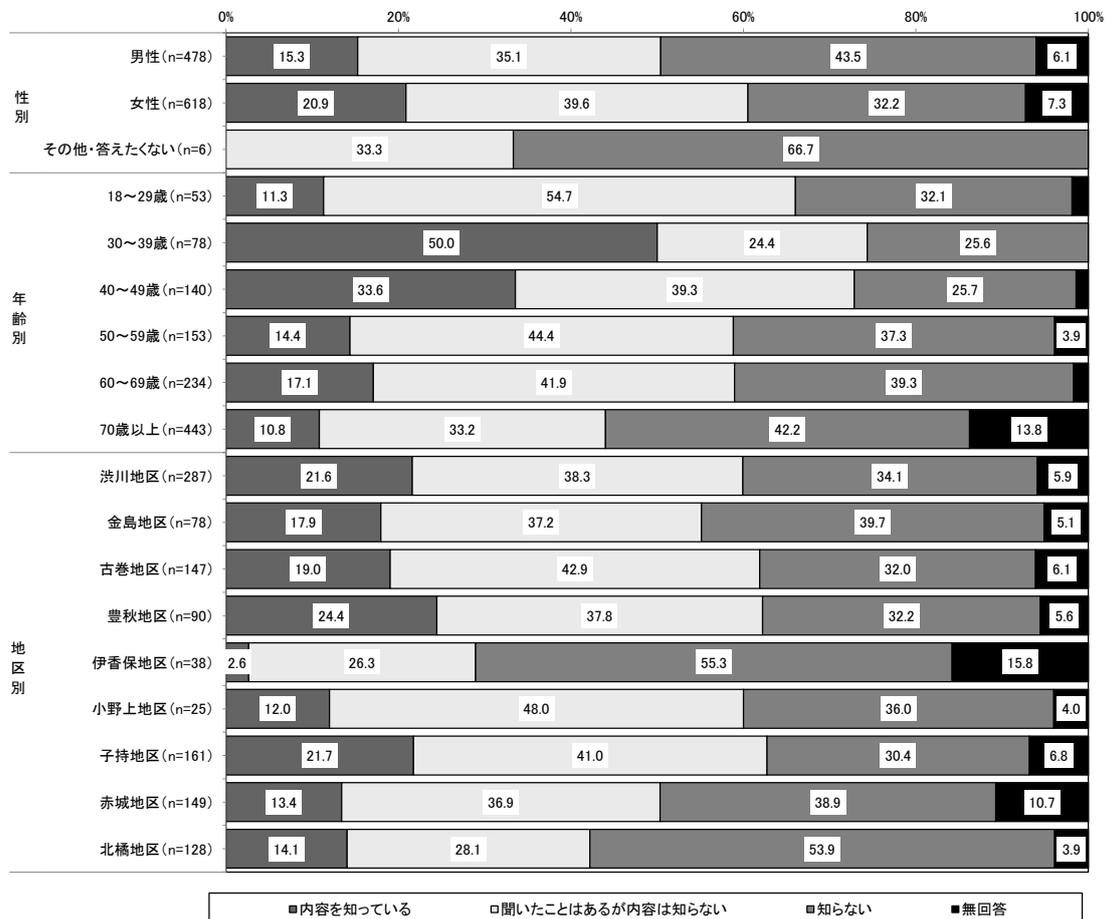


#### 【性別・年代別・地区別】

性別で見ると、「内容を知っている」が女性で20.9%と、男性に比べて多くなっています。

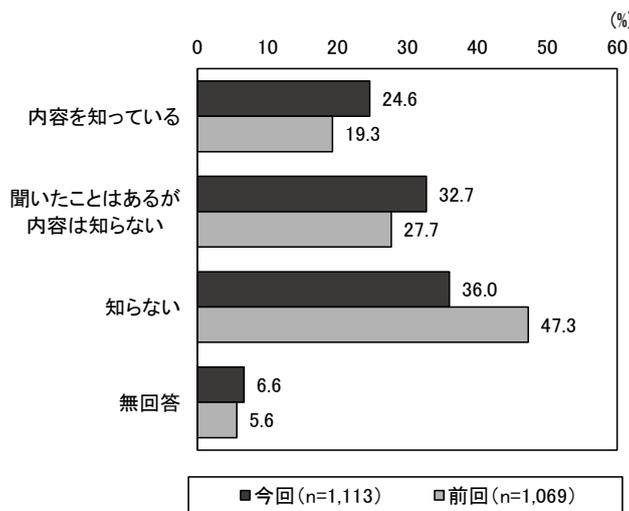
年齢別で見ると、「内容を知っている」が30～39歳で50.0%と他の年齢と、比べて多くなっています。

地区別で見ると、「内容を知っている」が渋川地区、豊秋地区、子持地区で20%以上と、他の地区と比べて多くなっています。



### ⑤ 地域包括支援センター

前回調査と比較すると、「内容を知っている」が5.3ポイント増加しています。

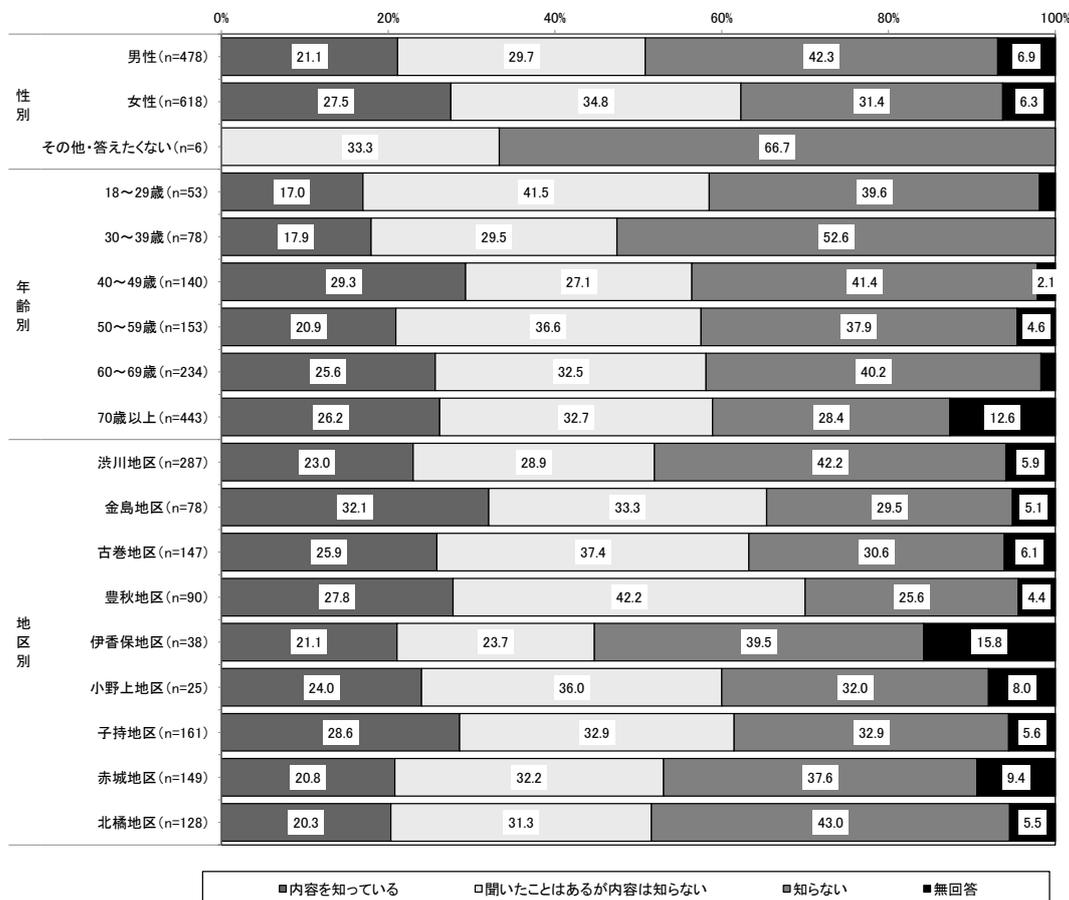


#### 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、「聞いたことはあるが内容は知らない」が女性で34.8%と、男性に比べて多くなっています。

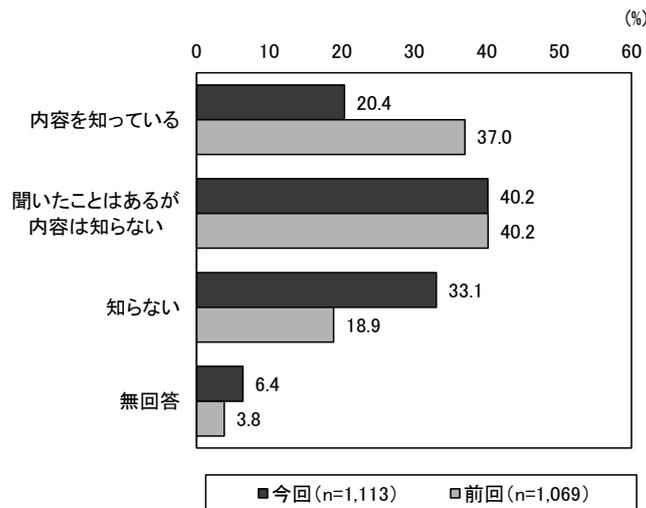
年齢別でみると、「内容を知っている」が40～49歳で約30%と他の年齢と、比べて多くなっています。

地区別でみると、「内容を知っている」が金島地区で32.1%と、他の地区と比べて多くなっています。



## ⑥ 地域福祉センター(旧老人福祉センター)

前回調査と比較すると、「内容を知っている」が16.6ポイント減少し、「知らない」が14.2ポイント増加しています。

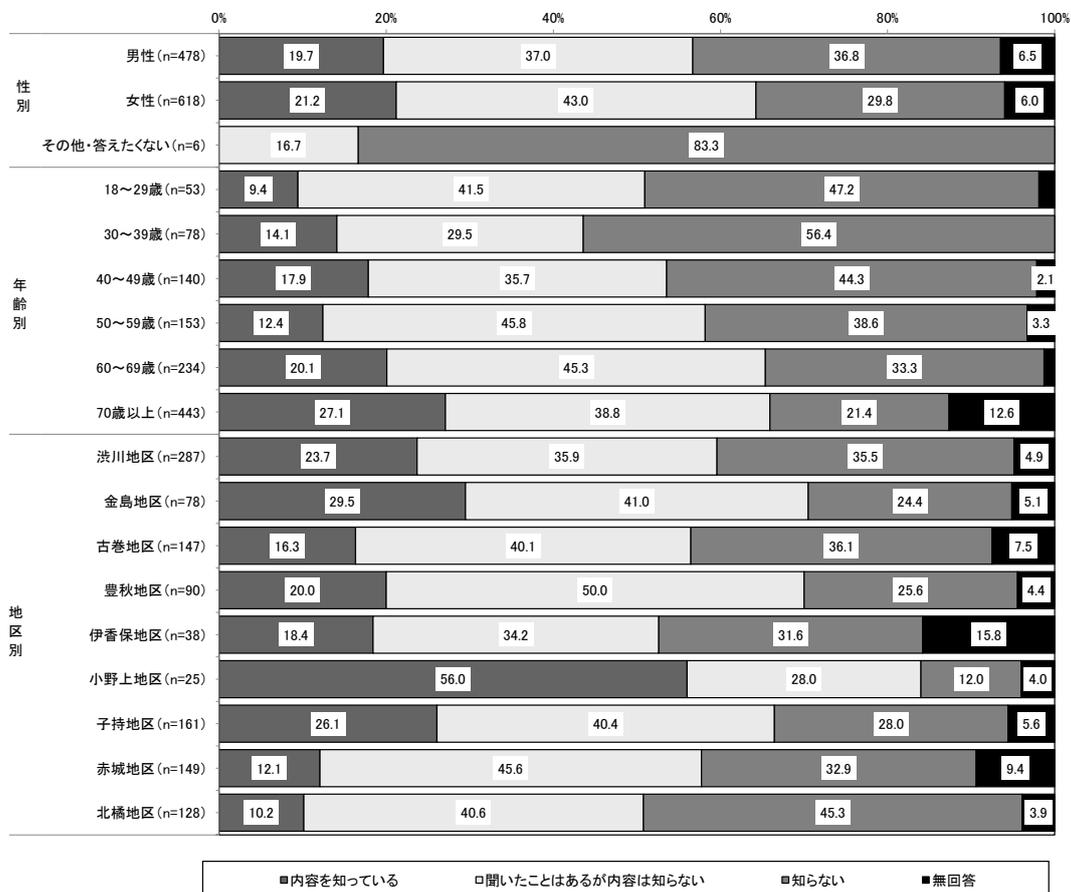


### 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、「聞いたことはあるが内容は知らない」が女性で43.0%と、男性に比べて多くなっています。

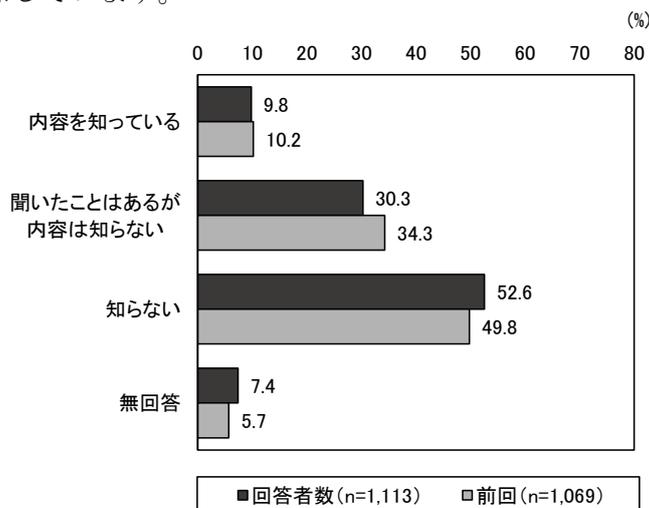
年齢別でみると、「内容を知っている」が70歳以上で27.1%と他の年齢と、比べて多くなっています。

地区別でみると、「内容を知っている」が小野上地区で56.0%と、他の地区と比べて多くなっています。



## ⑦ 在宅医療介護連携支援センター

前回調査と比較すると、「聞いたことはあるが内容は知らない」が4.0ポイント減少し、「知らない」が2.8ポイント増加しています。

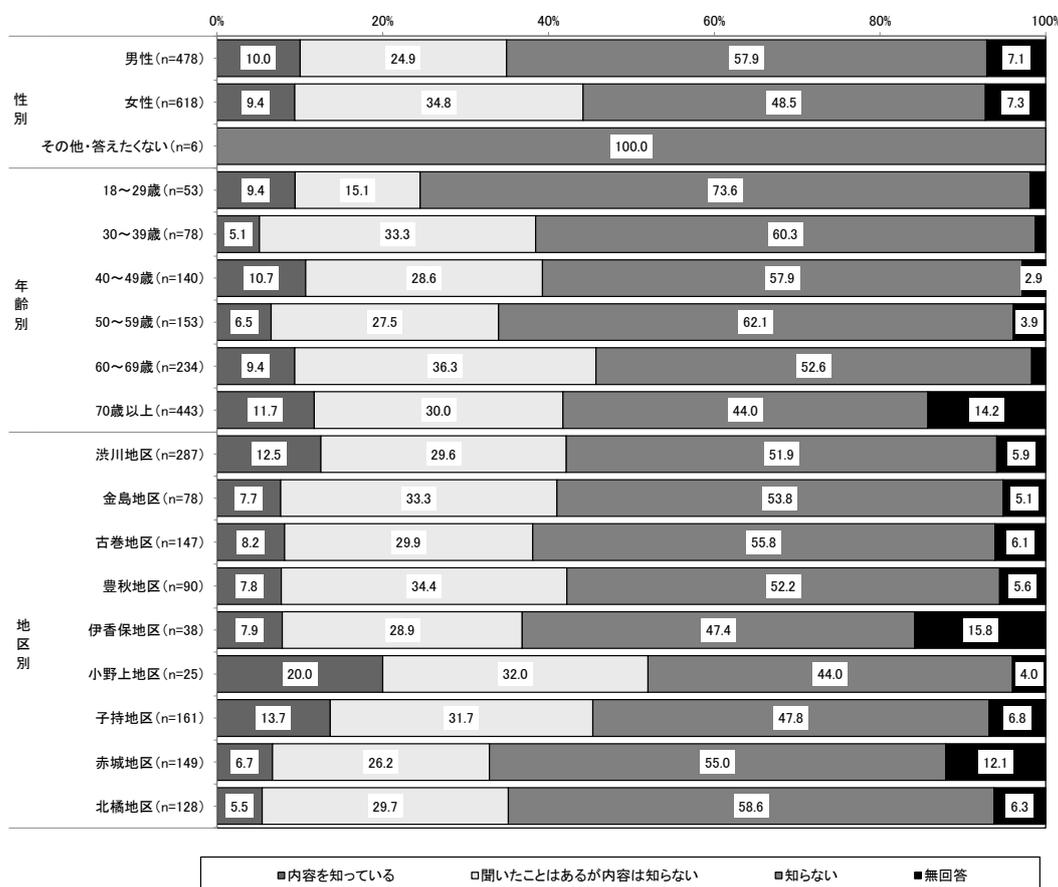


### 【性別・年代別・地区別】

性別で見ると、「聞いたことはあるが内容は知らない」が女性で34.8%と、男性に比べて多くなっています。

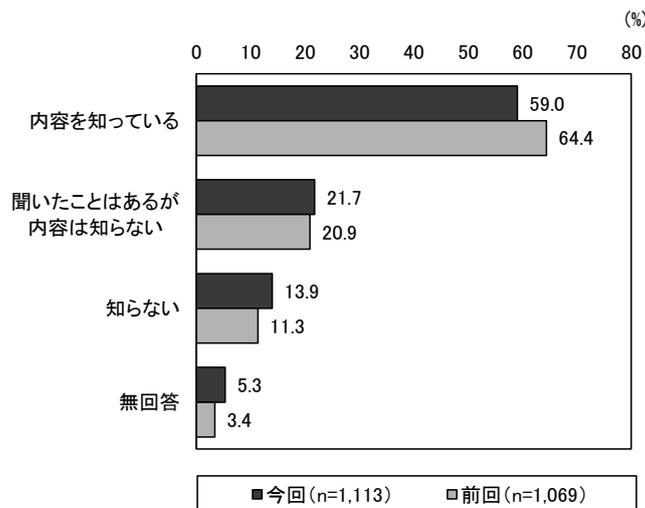
年齢別で見ると、「聞いたことはあるが内容は知らない」が60～69歳で36.3%と他の年齢と、比べて多くなっています。

地区別で見ると、「内容を知っている」が小野上地区で20.0%と、他の地区と比べて多くなっています。



## ⑧ 夜間急患診療所

前回調査と比較すると、「内容を知っている」が5.4ポイント減少しています。

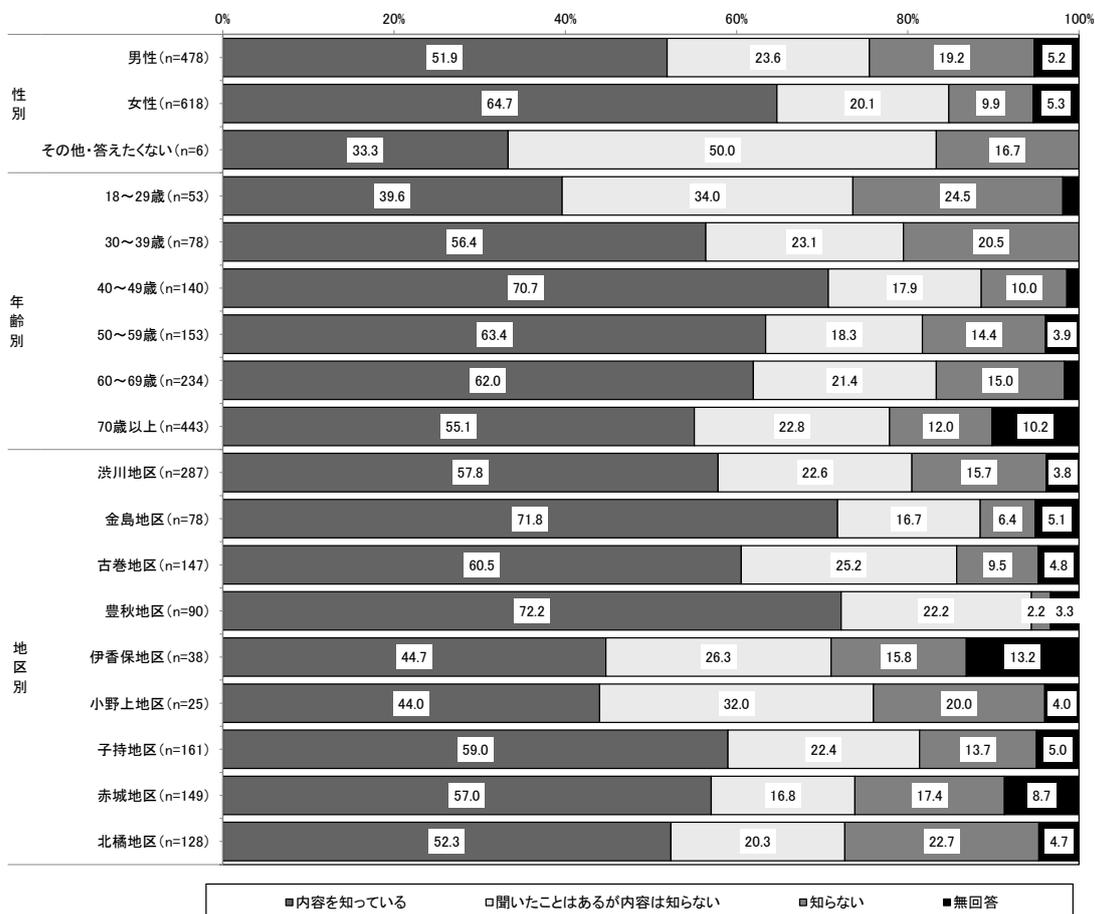


### 【性別・年代別・地区別】

性別で見ると、「内容を知っている」が女性で64.7%と、男性に比べて多くなっています。

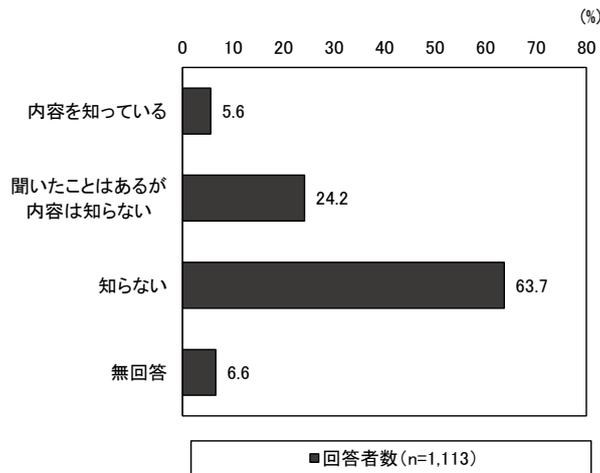
年齢別で見ると、「内容を知っている」が40～49歳で70.7%と他の年齢と、比べて多くなっています。

地区別で見ると、「内容を知っている」が金島地区、豊秋地区で70%以上と、他の地区と比べて多くなっています。



### ⑨ 成年後見サポートセンター

認知度については、「内容を知っている」が5.6%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が24.2%となっています。※新設項目のため、今回データのみ掲載しています。

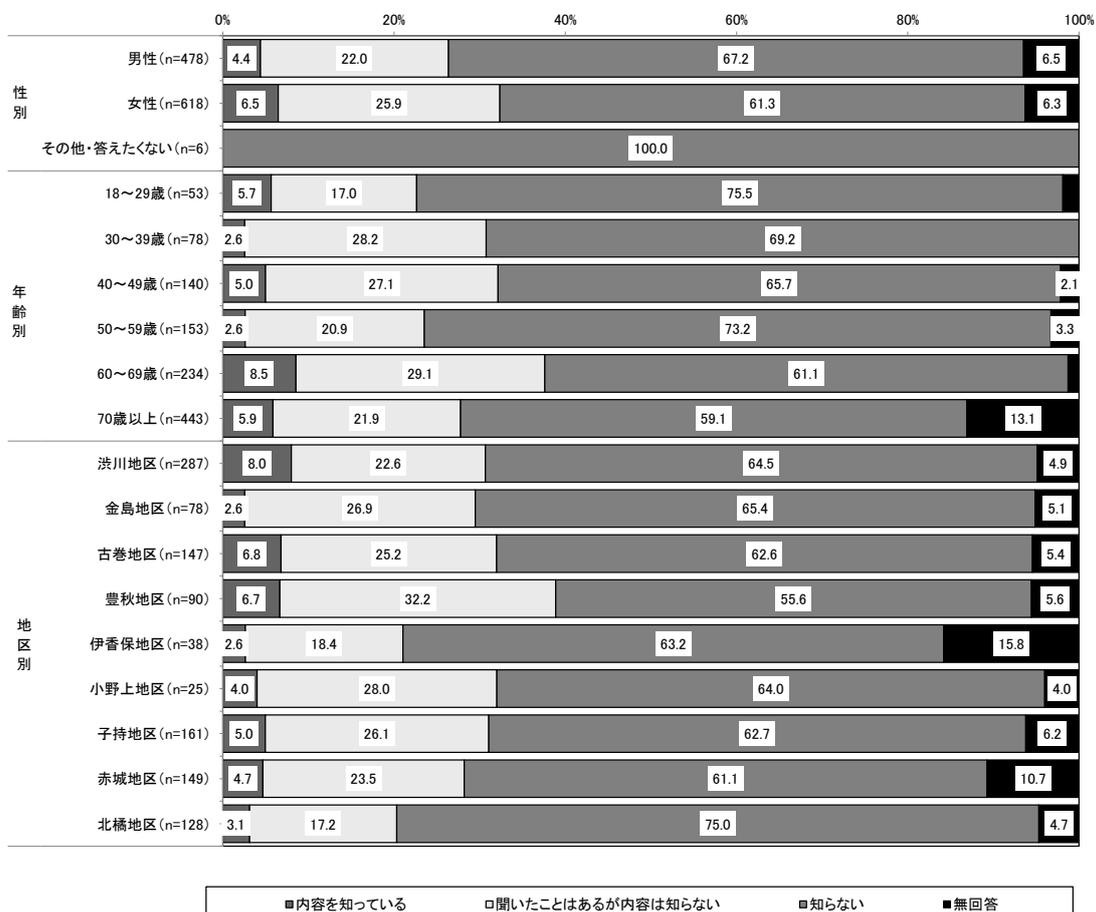


#### 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、ほぼ同様の傾向となっています。

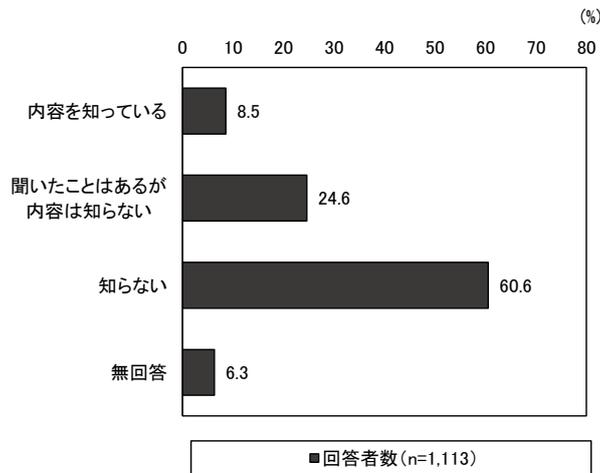
年齢別でみると、「内容を知っている」が60～69歳で8.5%と他の年齢と、比べて多くなっています。

地区別でみると、「内容を知っている」が渋川地区で8.0%と、他の地区と比べて多くなっています。



## ⑩ こども発達相談室

認知度については、「内容を知っている」が8.5%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が24.6%となっています。※新設項目のため、今回データのみ掲載しています。

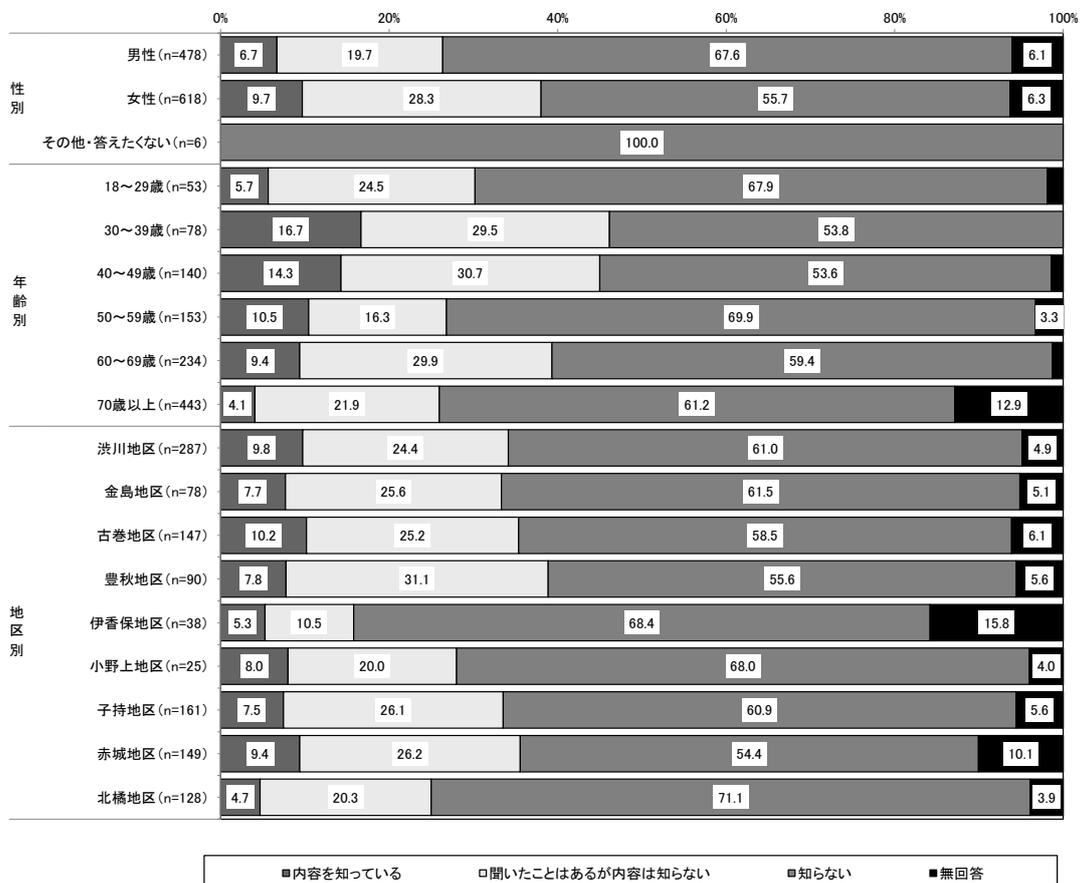


### 【性別・年代別・地区別】

性別で見ると、「聞いたことはあるが内容は知らない」が女性で28.3%と、男性に比べて多くなっています。

年齢別で見ると、年齢が高くなるにしたがって認知度が低くなる傾向が見られます。

地区別で見ると、「聞いたことはあるが内容は知らない」が豊秋地区で31.1%と、他の地区と比べて多くなっています。

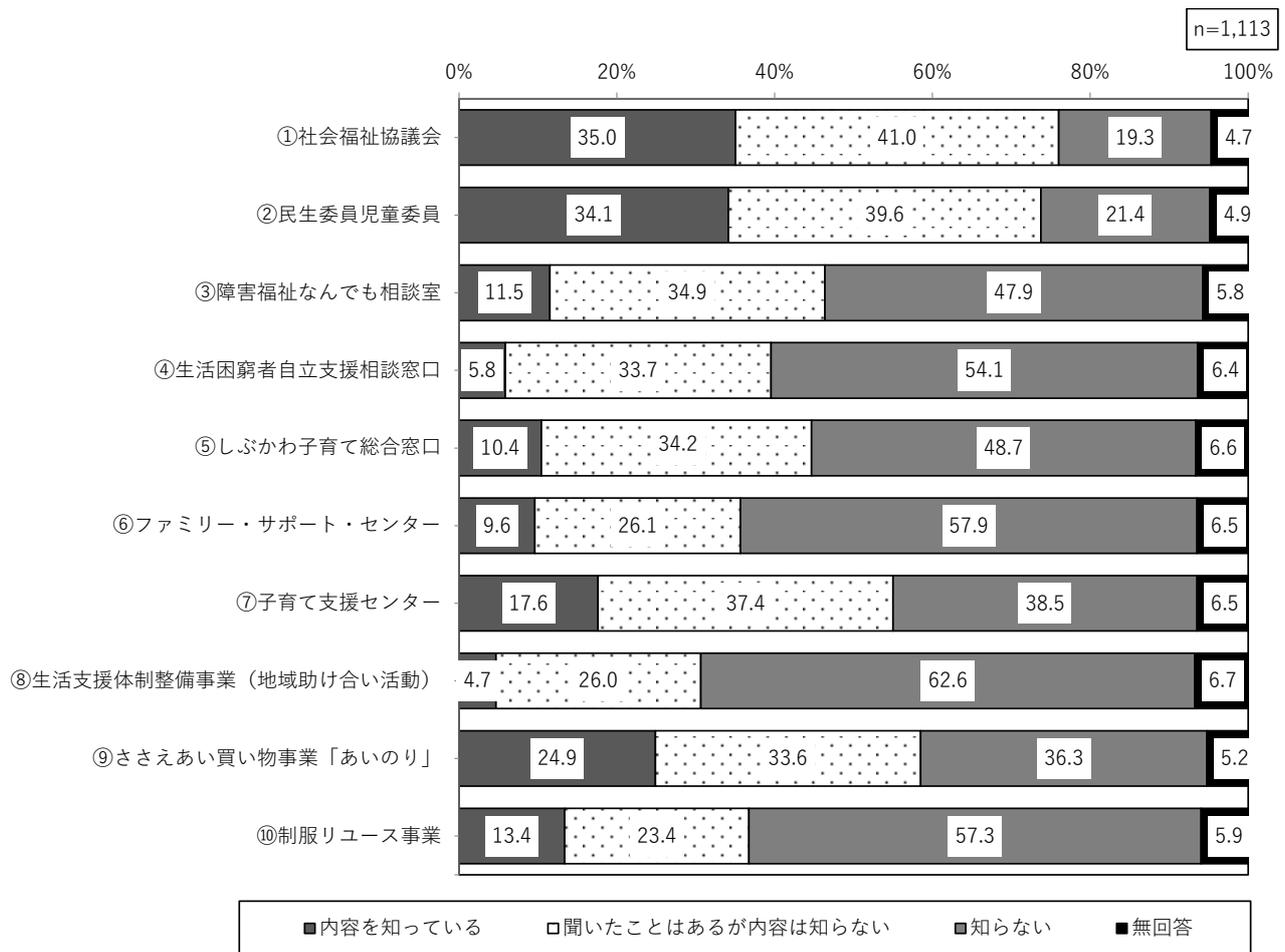


## (2)地域福祉の取り組み・組織について

地域福祉に関わりのある渋川市の施設などについては、『内容を知っている』の割合が、「①社会福祉協議会」が35.0%と最も多く、次いで「②民生委員児童委員」が34.1%、「⑨ささえあい買い物事業「あいのり」」が24.9%となっています。

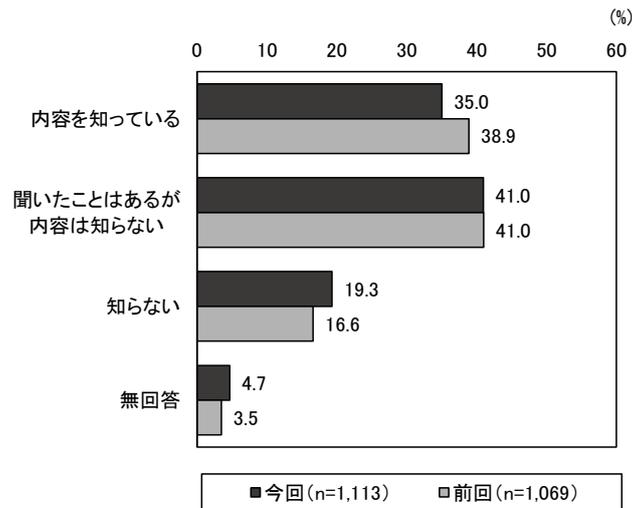
『知らない』の割合は、「⑧生活支援体制整備事業（地域助け合い活動）」が62.6%と最も多く、次いで「⑥ファミリー・サポート・センター」が57.9%、「⑩制服リユース事業」が57.3%となっています。

**問 34 あなたは、(①社会福祉協議会 ～ ⑩制服リユース事業)の地域福祉に関わりのある行政及び渋川市社会福祉協議会の取り組み・組織についてご存じですか。(それぞれ番号に○)**



## ① 社会福祉協議会

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

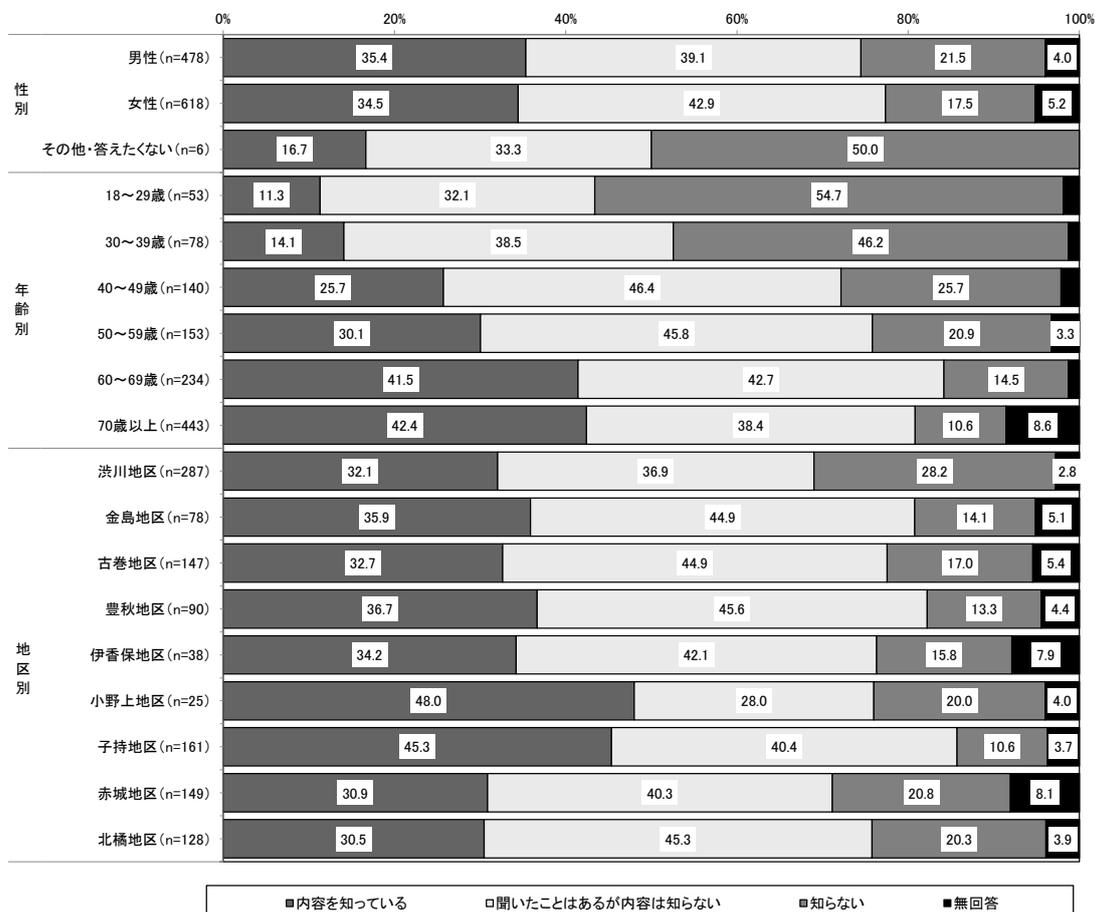


### 【性別・年代別・地区別】

性別で見ると、ほぼ同様の傾向となっています。

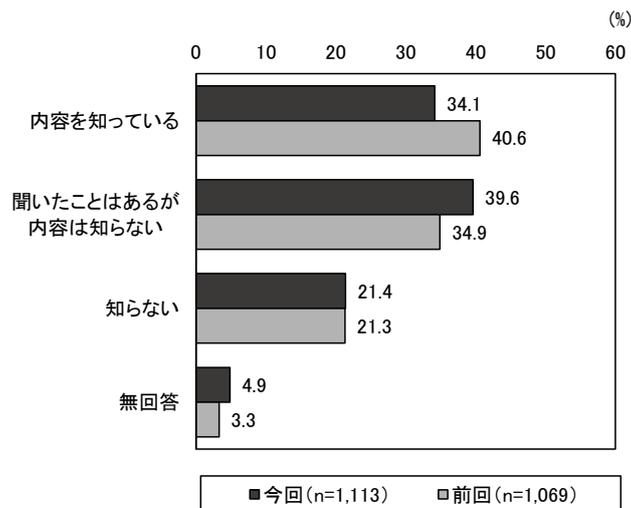
年齢別で見ると、「内容を知っている」が60～69歳、70歳以上で40%以上と、他の年齢と比べて多くなっています。

地区別で見ると、「内容を知っている」が小野上地区で48.0%と、他の地区と比べて多くなっています。



## ② 民生委員児童委員

前回調査と比較すると、「内容を知っている」が6.5ポイント減少しています。

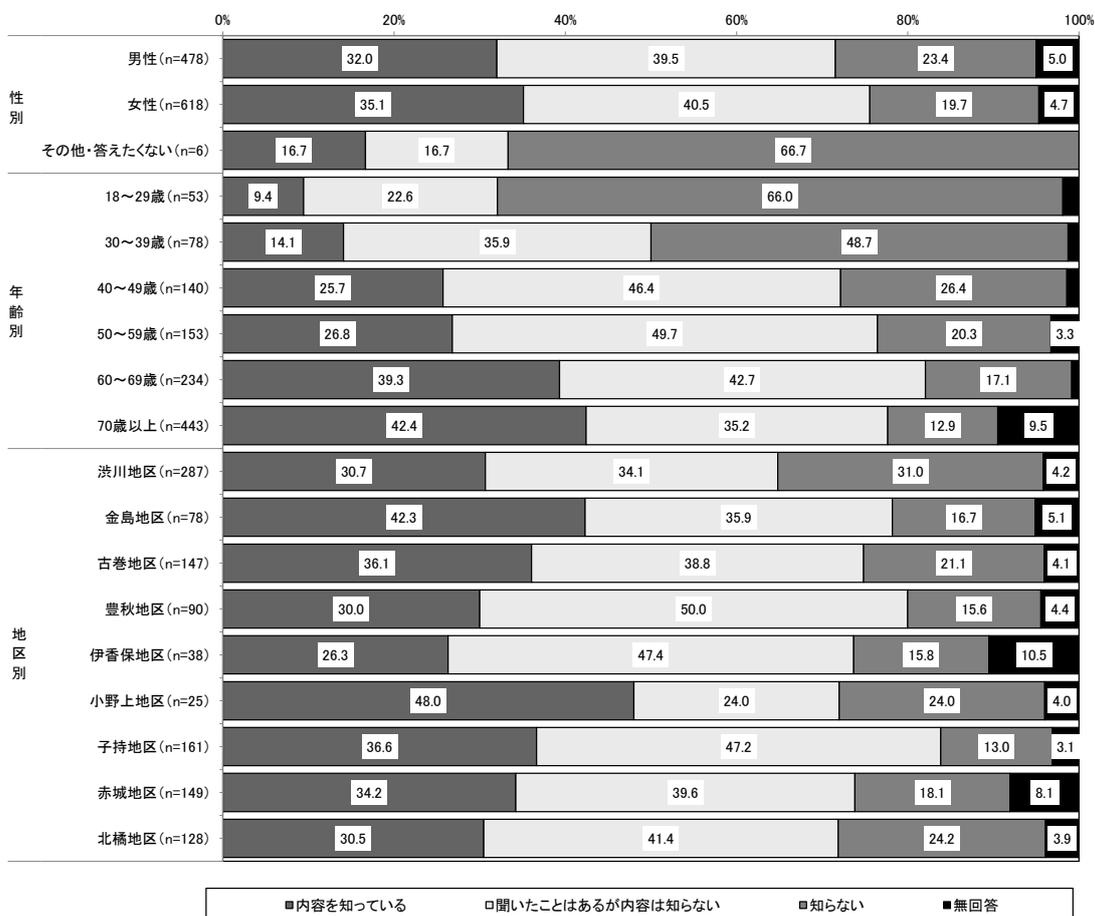


### 【性別・年代別・地区別】

性別で見ると、ほぼ同様の傾向となっています。

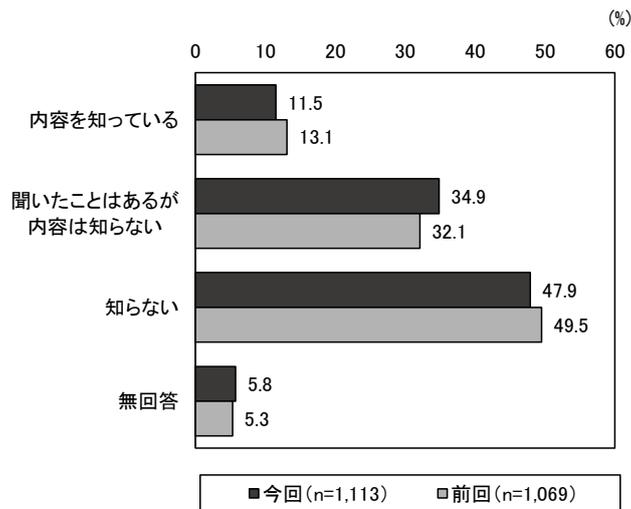
年齢別で見ると、年齢が高くなるにしたがって認知度が高くなる傾向が見られます。

地区別で見ると、「内容を知っている」が小野上地区で48.0%と、他の地区と比べて多くなっています。



### ③ 障害福祉なんでも相談室

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

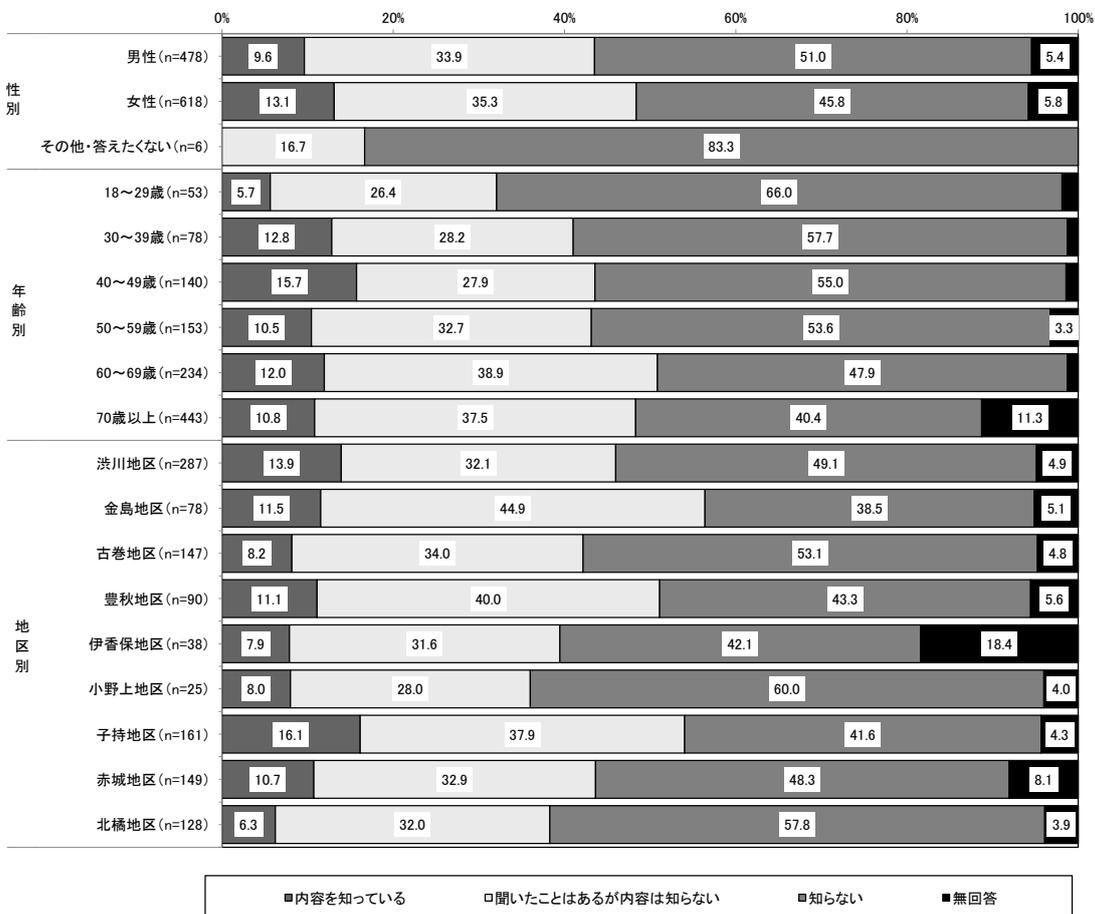


#### 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、ほぼ同様の傾向となっています。

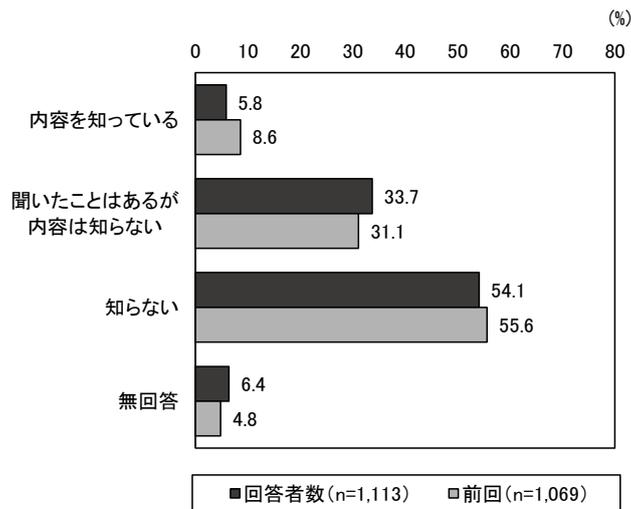
年齢別でみると、「内容を知っている」が40～49歳で15.7%と他の年齢と比べて多くなっています。

地区別でみると、「内容を知っている」が子持地区で16.1%と、他の地区と比べて多くなっています。



#### ④ 生活困窮者自立支援相談窓口

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

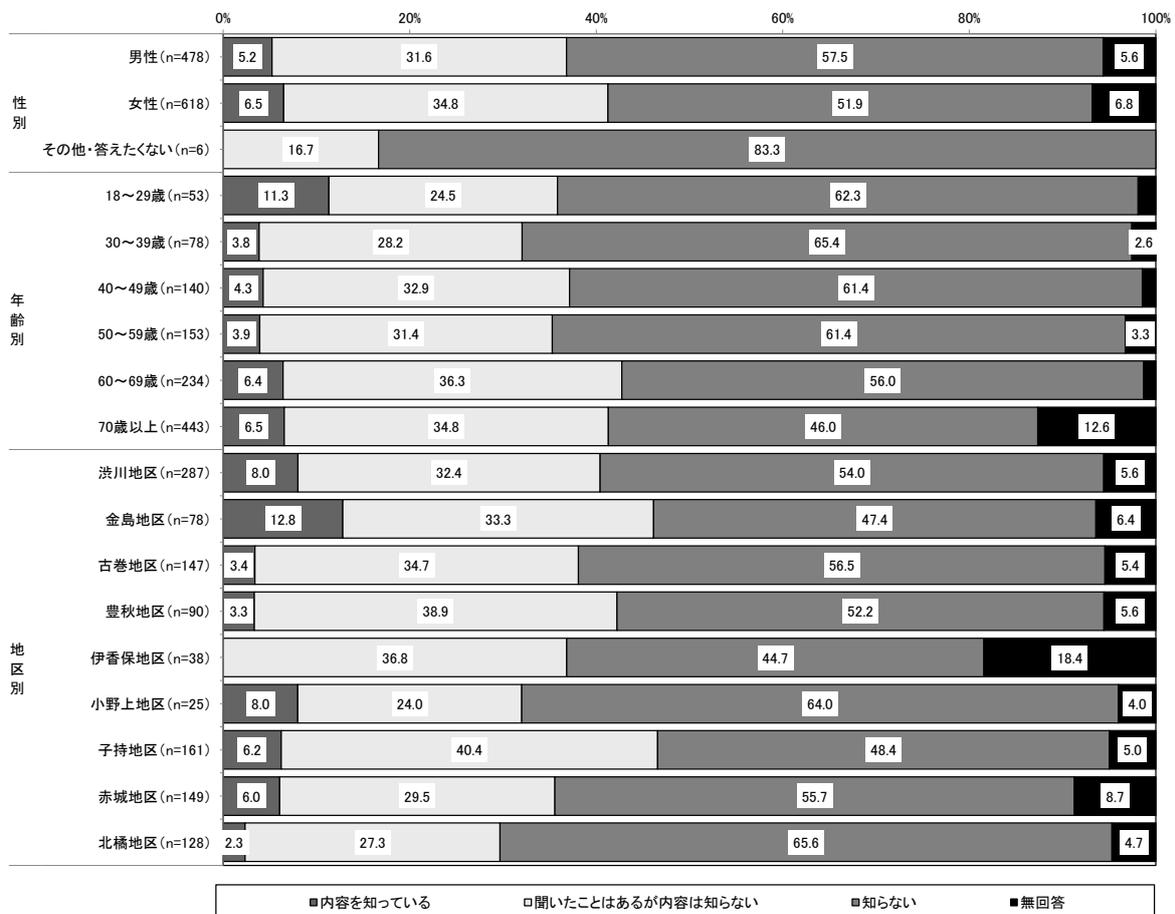


#### 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、ほぼ同様の傾向となっています。

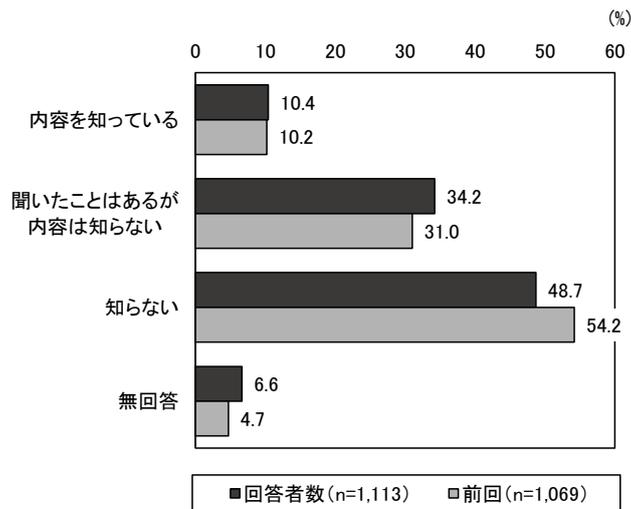
年齢別でみると、ほとんどの年齢で「知らない」が50%以上と、認知度は低くなっています。

地区別でみると、「内容を知っている」が金島地区で12.8%と、他の地区と比べて多くなっています。



### ⑤ しづかわ子育て総合窓口

前回調査と比較すると、「知らない」が5.5ポイント減少しています。

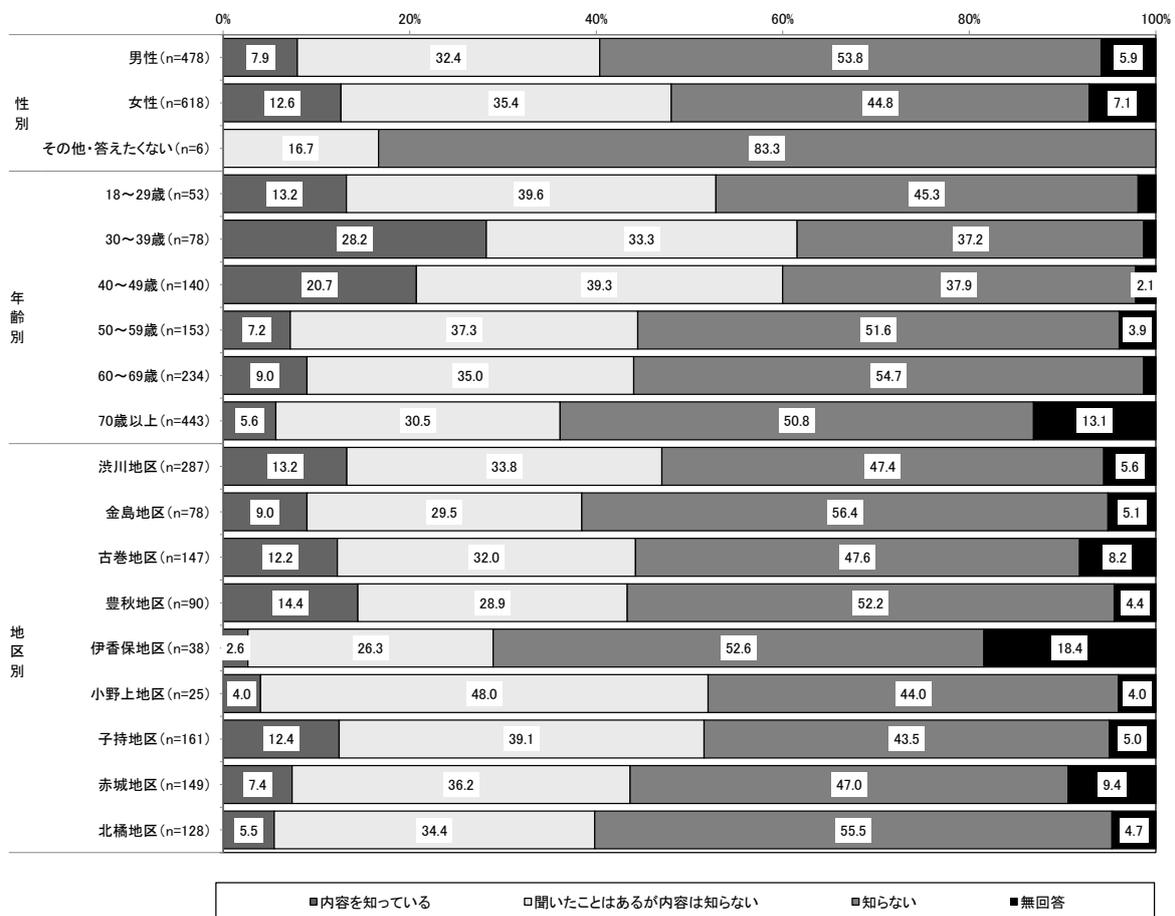


#### 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、ほぼ同様の傾向となっています。

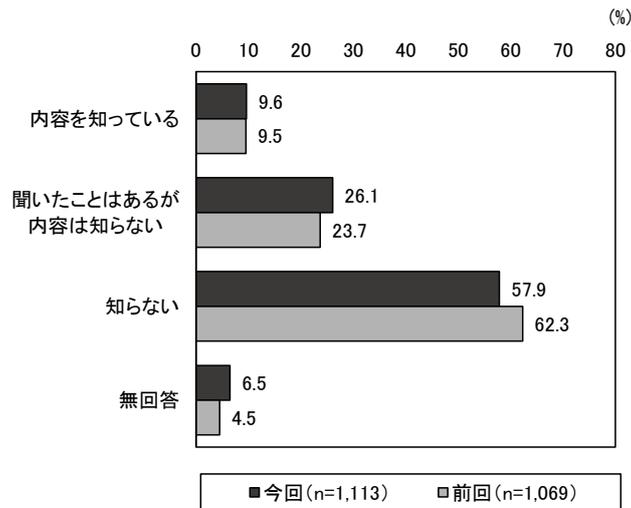
年齢別でみると、「内容を知っている」が30～39歳で28.2%と、他の年齢と比べて多くなっています。

地区別でみると、「聞いたことはあるが内容は知らない」が小野上地区で48.0%と、他の地区と比べて多くなっています。



## ⑥ ファミリー・サポート・センター

前回調査と比較すると、「知らない」が4.4ポイント減少しています。

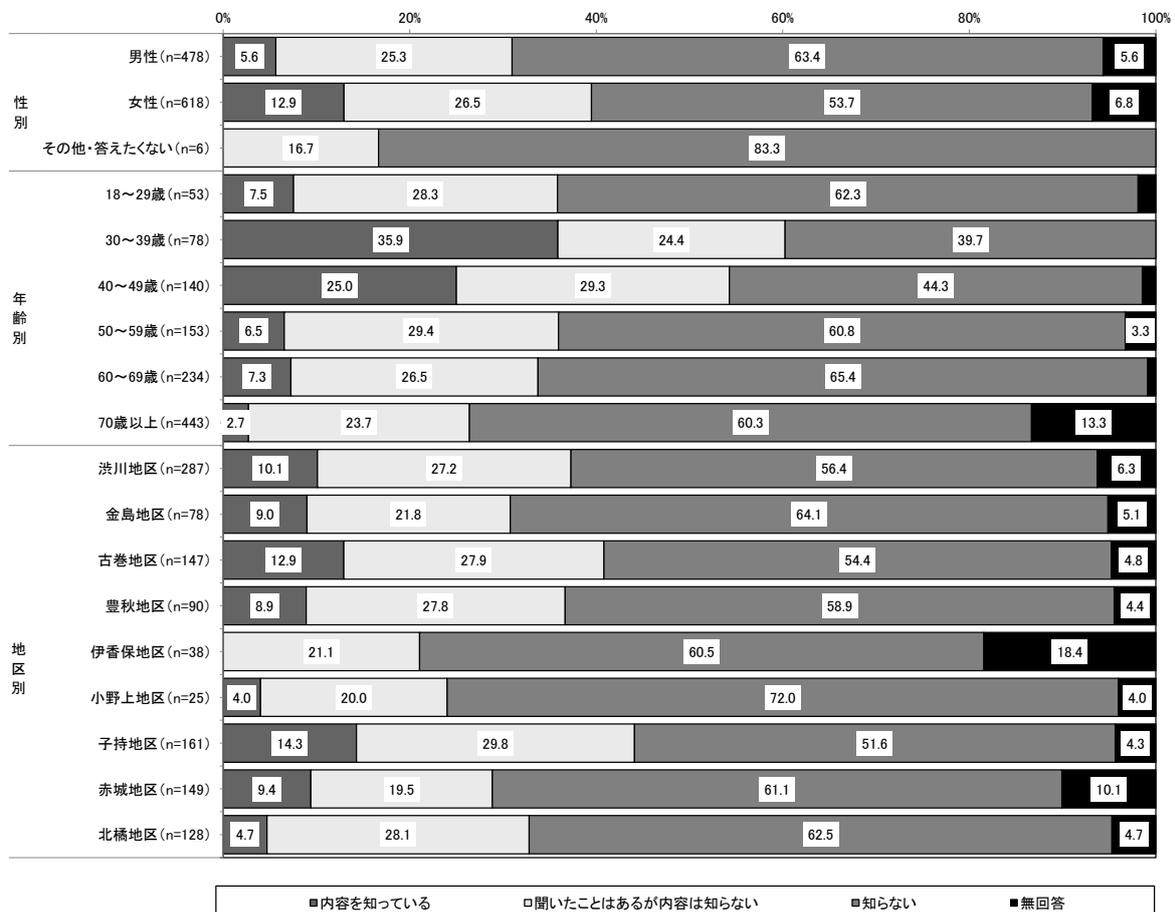


### 【性別・年代別・地区別】

性別で見ると、ほぼ同様の傾向となっています。

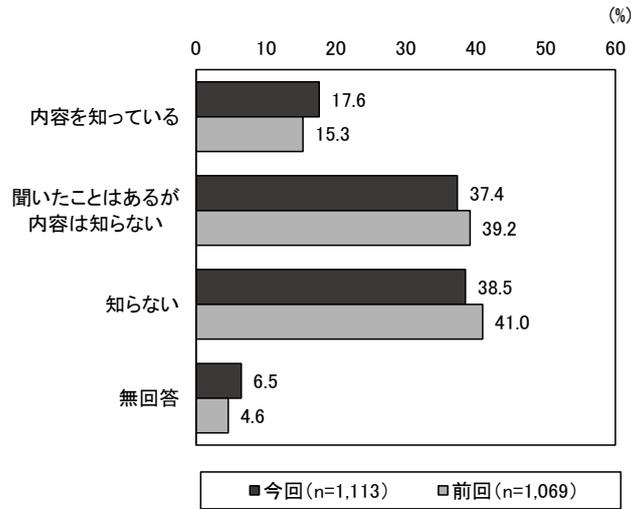
年齢別で見ると、「内容を知っている」が30～39歳で35.9%と、他の年齢と比べて多くなっています。

地区別で見ると、「内容を知っている」が渋川地区、古巻地区、子持地区で10%以上と、他の地区と比べて多くなっています。



## ⑦ 子育て支援センター

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

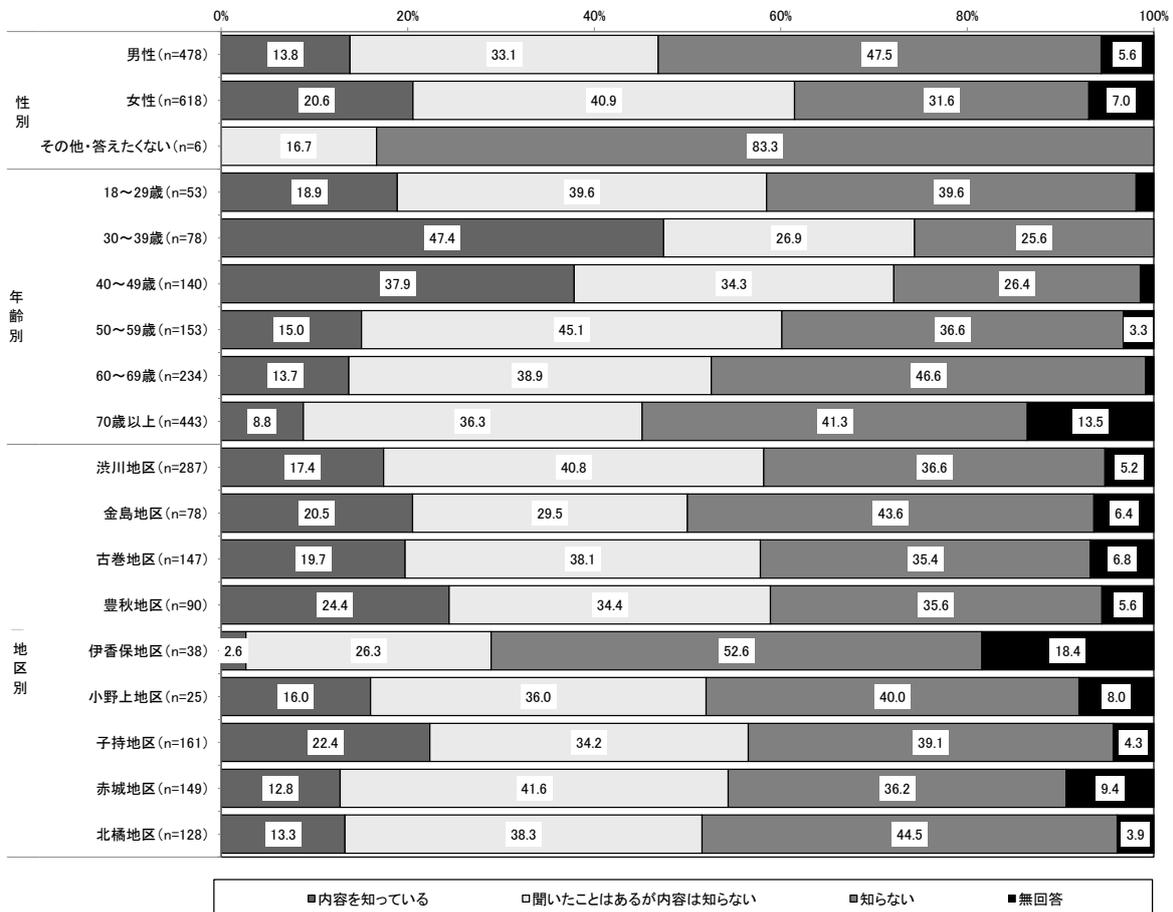


### 【性別・年代別・地区別】

性別で見ると、「内容を知っている」が女性で20.6%と男性と比べて多くなっています。

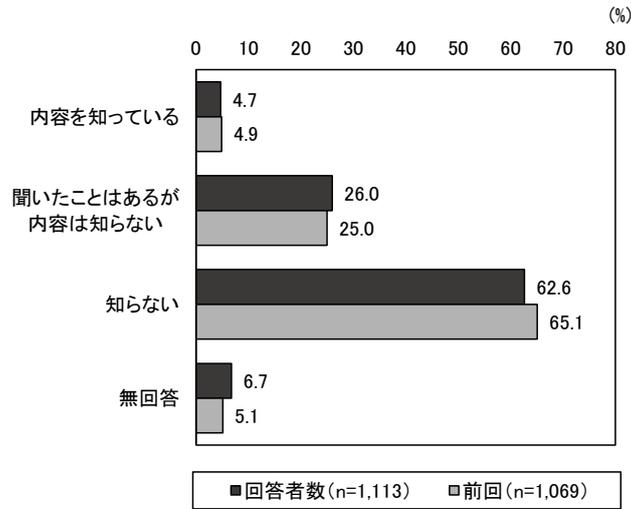
年齢別で見ると、「内容を知っている」が30～39歳で47.4%、40～49歳で37.9%と、他の年齢と比べて多くなっています。

地区別で見ると、「内容を知っている」が金島地区、豊秋地区、子持地区で20%以上と、他の地区と比べて多くなっています。



### ⑧ 生活支援体制整備事業(地域助け合い活動)

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

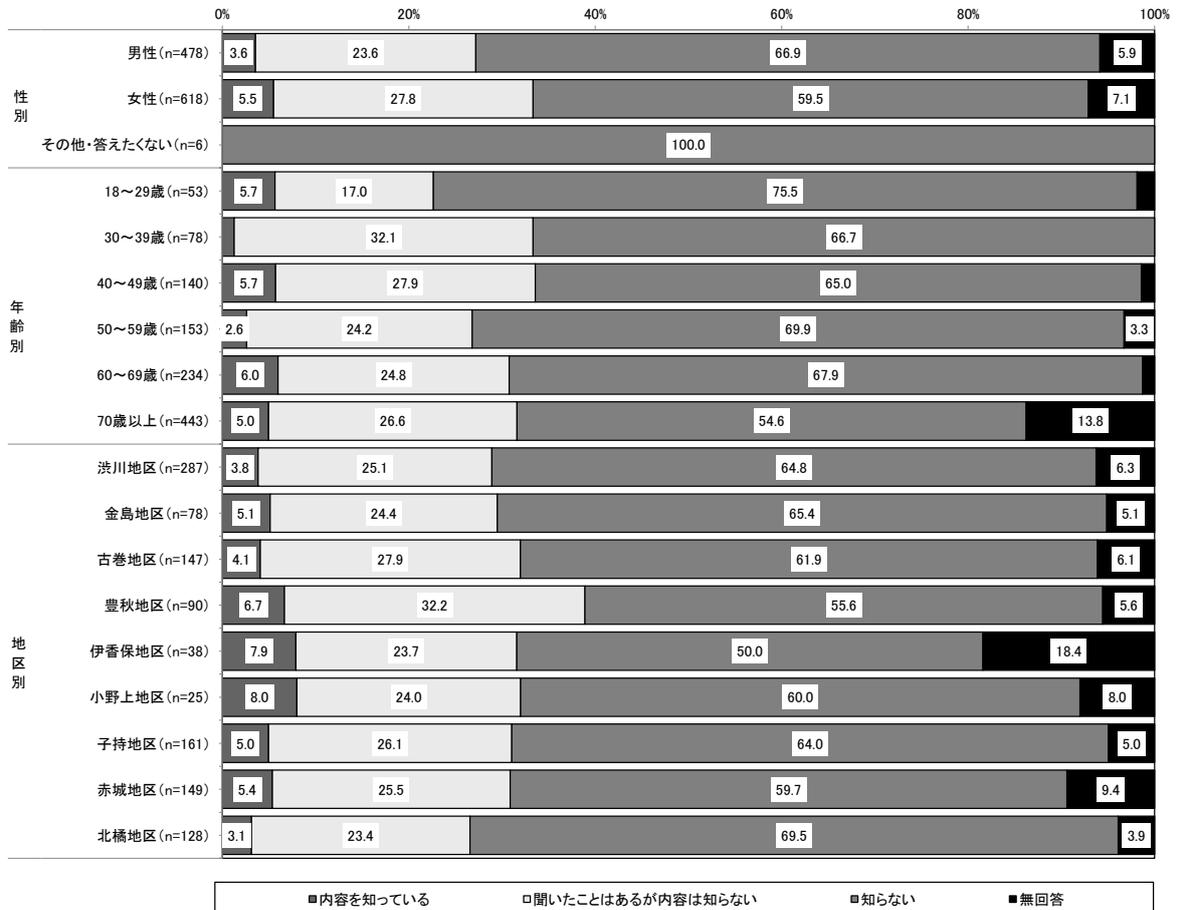


#### 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、ほぼ同様の傾向となっています。

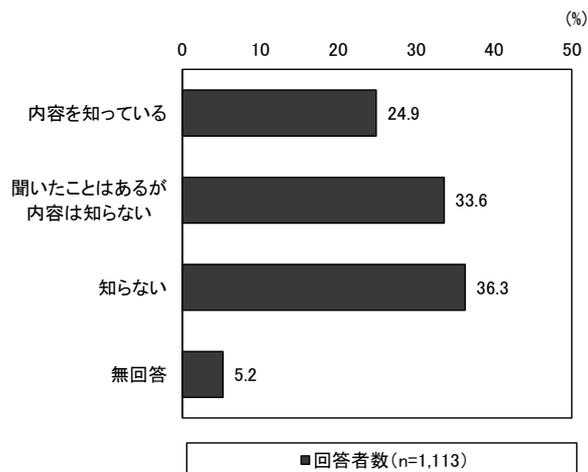
年齢別でみると、どの年齢も「知らない」が50%以上と、認知度は低くなっています。

地区別でみると、ほぼ同様の傾向となっています。



### ⑨ ささえあい買い物事業「あいのり」

認知度については、「内容を知っている」が 24.9%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が 33.6%となっています。※新設項目のため、今回データのみ掲載しています。

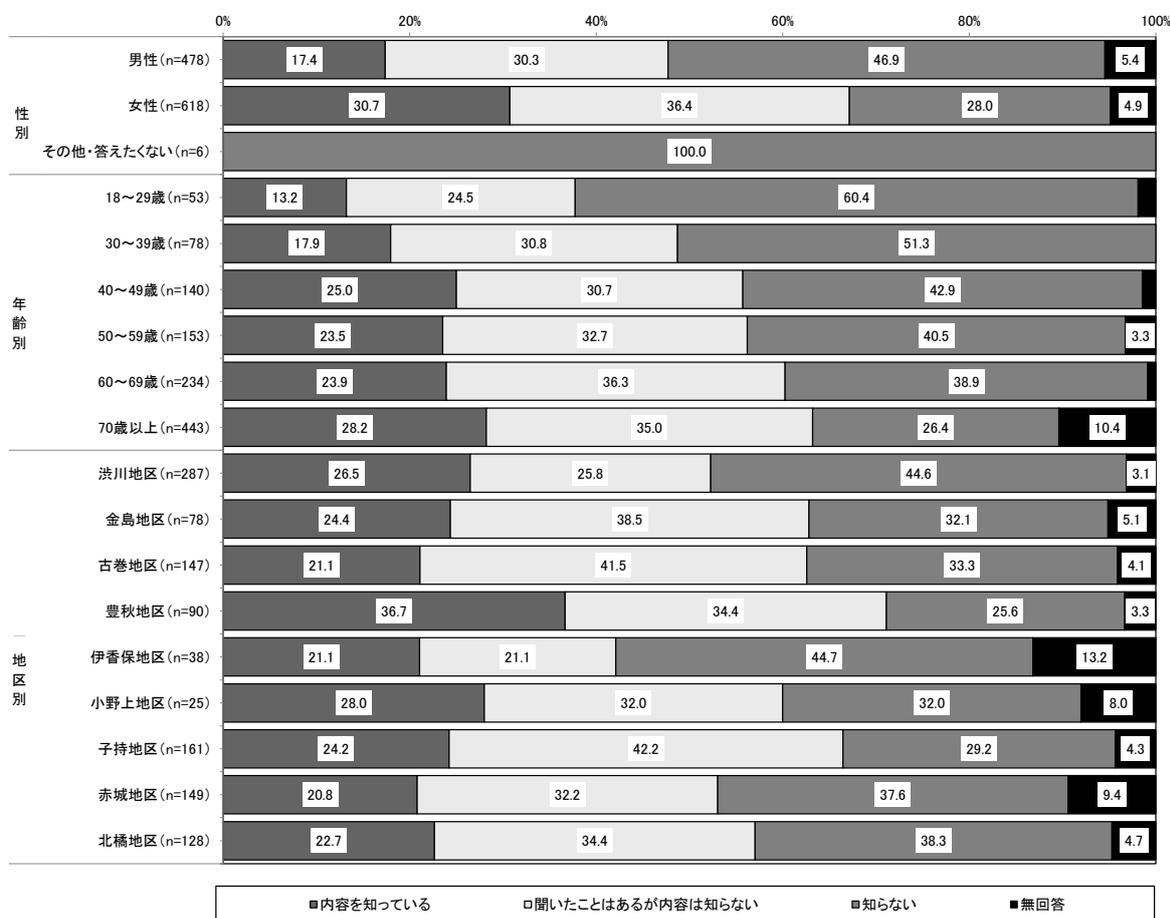


### 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、「内容を知っている」が女性で 30.7%と男性と比べて多くなっています。

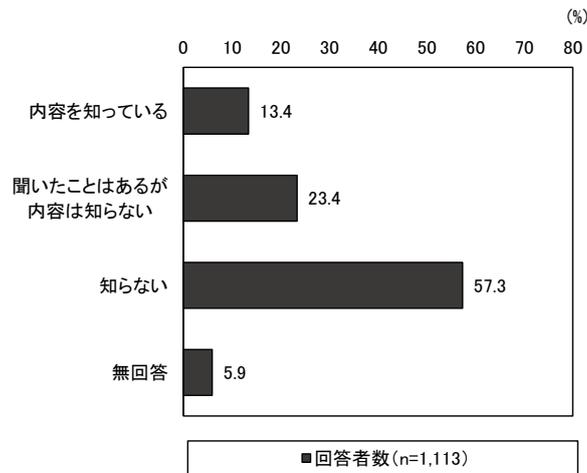
年齢別でみると、年齢が高くなるにしたがって認知度が高くなる傾向が見られます。

地区別でみると、「内容を知っている」が豊秋地区で 36.7%と、他の地区と比べて多くなっています。



## ⑩ 制服リユース事業

認知度については、「内容を知っている」が 13.4%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が 23.4%となっています。※新設項目のため、今回データのみ掲載しています。

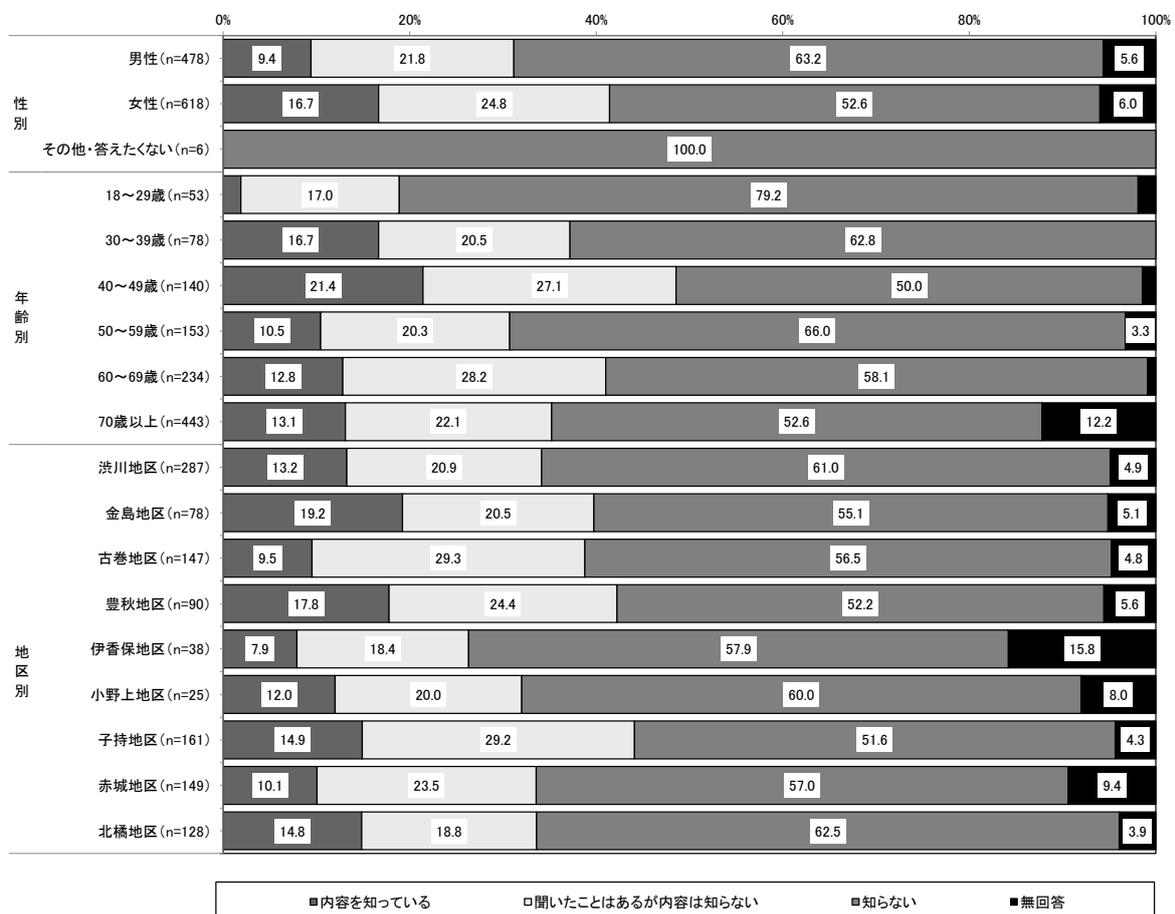


### 【性別・年代別・地区別】

性別で見ると、「内容を知っている」が女性で 16.7%と男性と比べて多くなっています。

年齢別で見ると、「内容を知っている」が 40～49 歳で 21.4%と他の年齢と比べて多くなっています。

地区別で見ると、「内容を知っている」が金島地区、豊秋地区で 10%後半と、他の地区と比べて多くなっています。

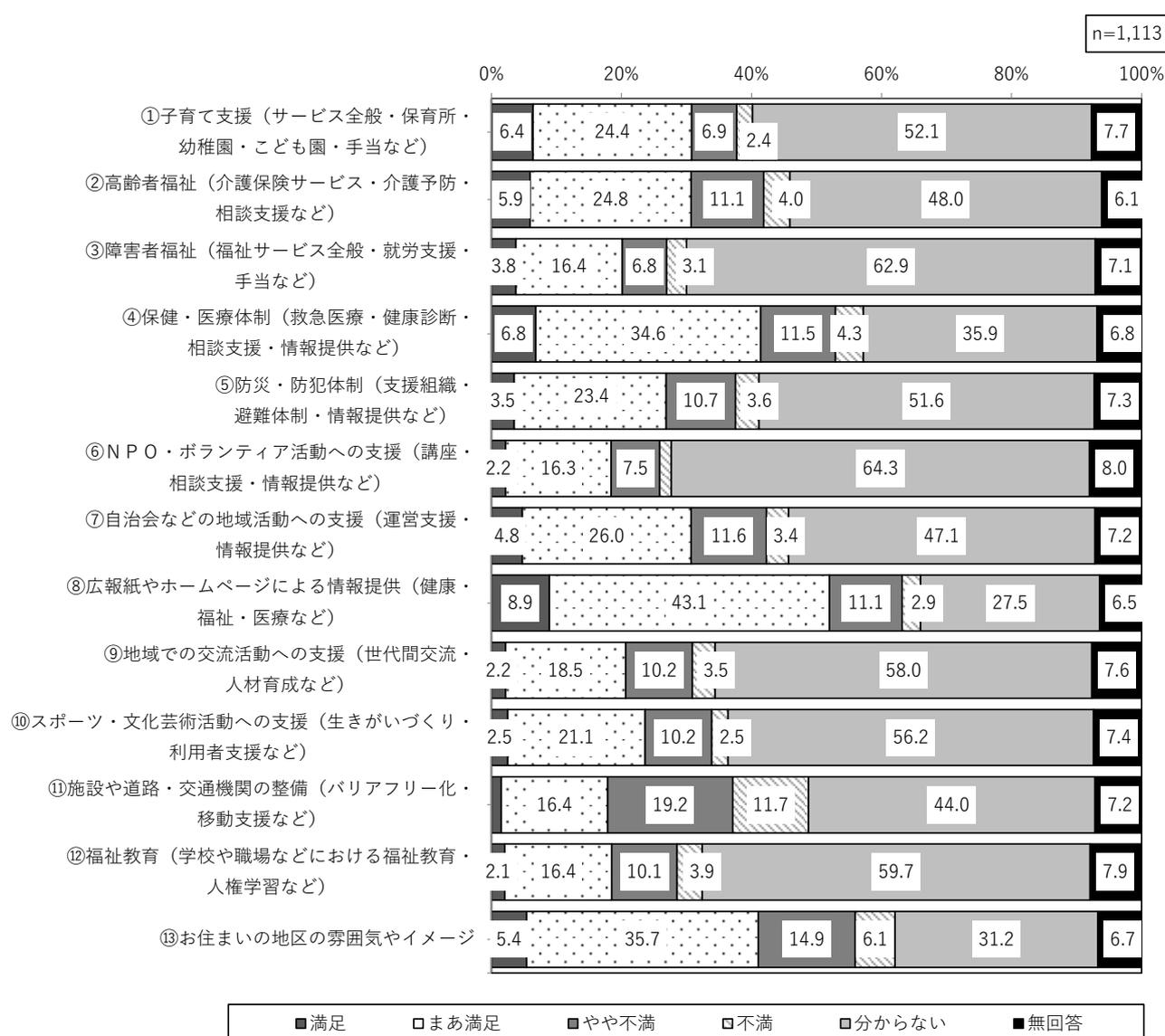


## 8. 地域福祉に関する施策について

### (1) 地域福祉に関する施策の満足度

地域福祉に関する施策の現状の評価については、『満足』（「満足」と「まあ満足」の合計）を見ると、「⑧広報紙やホームページによる情報提供（健康・福祉・医療など）」が52.0%と最も多く、次いで「④保健・医療体制（救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など）」が41.4%、「⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ」が41.1%となっています。

問 35 行政及び渋川市社会福祉協議会の(①子育て支援(サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など)～⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ)地域福祉に関する施策について現状の評価を教えてください。(それぞれ番号に○)



(2)福祉サービス・事業で良いと思うもの

問 36 行政及び渋川市社会福祉協議会で実施している福祉サービスや事業で良いと思うものはありますか。(自由回答)

内容	性別	年齢	職業	居住地区
買い物弱者支援、タクシー券支給	男性	70 歳以上	無職	豊秋地区
渋川の施設にお世話になって 16 年たちます。つい最近夫婦ともに卒寿となりました。これまで他人事と考えていたことが自分自身に降りかかっています。いろいろな人たちにお世話になり支えて支えていただいています。現役で働いていた日々を思い出しています。	女性	70 歳以上	無職	渋川地区
買い物支援、だれでも広場	男性	60～69 歳	農業	赤城地区
社会福祉協議会の実施している活動に、積極的に目を向けていないので分からないですが、不満を感じる事も多く、事業が多すぎて、情報発信を含めうまく稼働していないのではないのでしょうか。	男性	70 歳以上	アルバイト・パート	赤城地区
ささえあい買物事業「あいのり」を利用している人を見かける事があります。とても良いことだと思います。	男性	70 歳以上	無職	子持地区
「あいのり」などの買い物弱者を助ける事業。リュックを背負って歩いている年寄りを見ると自分も車に乗れなくなったら歩くのだと思う。	男性	70 歳以上	アルバイト・パート	金島地区
デイサービスなどの老人福祉センターの運営	男性	60～69 歳	農業	小野上地区
訪問介護の支援	男性	60～69 歳	アルバイト・パート	古巻地区
福祉車両のレンタル	女性	50～59 歳	会社員・公務員	豊秋地区
グランドゴルフの遊び	女性	70 歳以上	無職	小野上地区
だれでも広場	男性	40～49 歳	会社員・公務員	豊秋地区
上箱田の区で集めたペットボトルキャップ支所の社会福祉協議会へ持っていき、その先へ納めていただいております。年間 130 キロ集まります。もう 10 年以上続けております。(今年度は 150 キロになりそうです)	女性	70 歳以上	家事専業 (主婦・夫を含む)	北橋地区
私の子供が今後渋川市に転入予定で、保育園の利用を検討中しています。渋川市は 0 歳から保育料が無償を伺っている。その点は有難いと感じています。	男性	60～69 歳	自営業・自由業	渋川地区
だれでも広場の学習スペース、だれでも広場のひきこもり支援	男性	50～59 歳	会社員・公務員	子持地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
事業の内容が全て見える化されていないので、情報が全て記載されている冊子を各家庭に配ってほしいです。実施して下さっている事業で悪い・いらぬと思う事業はありません。ただどの世代の人にも分かる様な情報提供の方法を分かりやすくしてほしいです。	女性	40～49 歳	会社員・公務員	豊秋地区
民生委員さんの個別訪問で声掛けや安否確認に感謝です。ありがとうございます。	女性	70 歳以上	無職	渋川地区
クーポンの配布、保育の完全無償化ありがたいです。クーポンがスーパー等でも使えればより良いです。	女性	18～29 歳	会社員・公務員	古巻地区
半日ボランティアの方々から時々日用品が届きます。大変ありがたいと思っております。子持地区で電話ボランティアをさせていただき、同年代の方に安否確認で日々の暮らしが少々見えるようで 70～90 代のお話がとても勉強になり、同情したり感動したりしています。シルバー人材センターに登録し、年に 1.2 回仕事をいただく中でも人との関わりで得るものも沢山あります。	女性	70 歳以上	その他	古巻地区
制服リユース、成年後見センター	男性	50～59 歳	会社員・公務員	金島地区
色々なことが分からなく利用しない人が多いと思います。又、誰に聞くのかが分からない人がいます。めんどくさいという人もいます。	男性	60～69 歳	自営業・自由業	豊秋地区
活動内容が見えてこないように感じます。	男性	70 歳以上	無職	赤城地区
敷島駅前場がボランティアの人たちにより庶民的で美しくなったのは良かったと思います。	女性	70 歳以上	無職	赤城地区
“あいのり”自宅がスーパーに近くても買い物に困っている人は使ってください、と言われても、もっと宣伝した方が良いのでは…と思いました。とても良い方法を思いました。	女性	70 歳以上	家事専業 (主婦・夫を含む)	渋川地区
鮎の会食会、バスハイク等の事業が楽しく経験しました。感謝しております。	女性	70 歳以上	無職	渋川地区
デイサービス、ヘルパー事業	男性	60～69 歳	会社員・公務員	小野上地区
制服リユース事業。中学、高校だけでなく、幼稚園、保育園の制服もあって良いと思います。さらに成人スーツ、礼服など渋川市民全体が利用できたらもっと良いと思います。	男性	40～49 歳	会社員・公務員	北橋地区
年 1 回のバザーを実施していますので、非常にありがたいです。	女性	70 歳以上	無職	渋川地区
タクシー利用券、暮らし応援クーポン券、灯油購入補助	男性	50～59 歳	アルバイト・パート	渋川地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
だれでも広場はよく利用させていただいており感謝です。関係者の方々の愛ある取り組みの数々にいつも感動しております。これからも明るく楽しくjoyのエネルギーを循環していただけると嬉しいです。	女性	40～49歳	アルバイト・パート	赤城地区
誰に頼ればよいのか分からないときがあります。頼りになる人や窓口があるとよいと思います。	その他・答えたくない	50～59歳	アルバイト・パート	古巻地区
地域包括センターがとても迅速に対応してくれる。	男性	70歳以上	無職	子持地区
制服リユースについて知りませんでした。このアンケートで知りました。高額な上、卒業後必要なくなるので、リユースが広がると良いと思います。	女性	50～59歳	農業	子持地区
あいのり、敬老大会	女性	60～69歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	子持地区
障がい者自立支援	男性	40～49歳	会社員・公務員	子持地区
粗大ごみの回収をしていますが、社会福祉協議会の人にも現場に来たり、広報に載せてくれたりして、良い思います。	男性	60～69歳	自営業・自由業	北橋地区
行っているサービスや事業を把握しておりません。広報誌以外にもわかりやすい情報手段を考えて欲しいです。(渋川市社会福祉協議会が何をどこまで行っているかわからないので、基本的事業などについて記載した冊子を各家庭に配布して欲しいです。	男性	60～69歳	無職	豊秋地区
無料法律相談	男性	60～69歳	自営業・自由業	金島地区
渋川市の紙おむつ給付・布団丸洗いサービス・理美容サービスは、とても助かっております。	男性	50～59歳	アルバイト・パート	渋川地区
子供が少ないので子育て支援サービスは良いと思います。	女性	無回答	無回答	渋川地区
暮らし応援クーポンが良い	女性	40～49歳	会社員・公務員	北橋地区
福祉のあし	男性	40～49歳	無職	赤城地区
なんでも相談	女性	40～49歳	無職	赤城地区
今回の調査で活動内容が沢山有る事を知りました。ありがとうございます。事業についてはもっと周知して欲しいと思います。	男性	60～69歳	農業	赤城地区
広報紙が配布されニュースを知ることができました。	男性	70歳以上	農業	金島地区
あいのり	男性	40～49歳	会社員・公務員	豊秋地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
バザー	女性	70 歳以上	家事専業 (主婦・夫を 含む)	豊秋地区
何をどう実施しているのか、わかりやすく、アピールする必要があると思います。直接関わりがないと関心もないので、興味を持てるように、と思います。良いと思うことが浮かばないのです。	女性	60～69 歳	家事専業 (主婦・夫を 含む)	古巻地区
生活支援体制事業 地域福祉事業	男性	70 歳以上	無職	金島地区
赤城町の「だれでも広場」は本当に過ごし易く、楽しく遊べる素晴らしい施設です。(渋川市内の子育て支援センターは規律が少し厳しく、スタッフの対応も形式的で居心地が良いとは感じません。)	女性	30～39 歳	アルバイト・ パート	北橋地区
私は、64 才の男性です。仕事をしながら、食事、私用事など全部自分でしております。障害を持っていると、どうしても差別を受けているように感じます。教育も満足に受けられませんでした。社会に出て独学で色々な資格を取りました。全部実費です。会社を休んで資格を取りました。やっと高校生の学力があると認めてもらいました。45 年間がかかりました。仕事をしながら学ぶ事は大変でした。私は、苦しい時も楽しい時も妻と過ごしてきました。	男性	60～69 歳	会社員・公 務員	金島地区
日常生活の中で移動手段を持たない人にとって福祉バス「福祉のあし」を市内巡回していただけることはとても役立ち便利だと思います。	女性	50～59 歳	アルバイト・ パート	子持地区
免許返納者向けタクシー券はいいと思います。家族が乗せてくれる人は良いが、頼れる者がいない人にはうれしい制度だと思います。この他、入学時に制服一式を用意するのは金銭的負担も高かったので、制服リユース事業も良いと思います。	女性	60～69 歳	アルバイト・ パート	北橋地区
広報しぶかわ、社協しぶかわ、身近な話題や内容が多く素晴らしいと思っています。皆さまの頑張りが感じられます。	女性	70 歳以上	家事専業 (主婦・夫を 含む)	金島地区
あいのり	男性	40～49 歳	会社員・公 務員	北橋地区
地域福祉全投に心よせてます。	男性	70 歳以上	無職	豊秋地区
・だれでも広場の活動。利用者自身がサービスの受け手としてだけでなく活動に協力することが出来ると感じます。 ・介護予防サポーターの育成と活動の支援	女性	60～69 歳	会社員・公 務員	古巻地区
防災無線は役に立っています。もっとよく聞こえるように工夫をして欲しいと思います。	男性	70 歳以上	無職	古巻地区

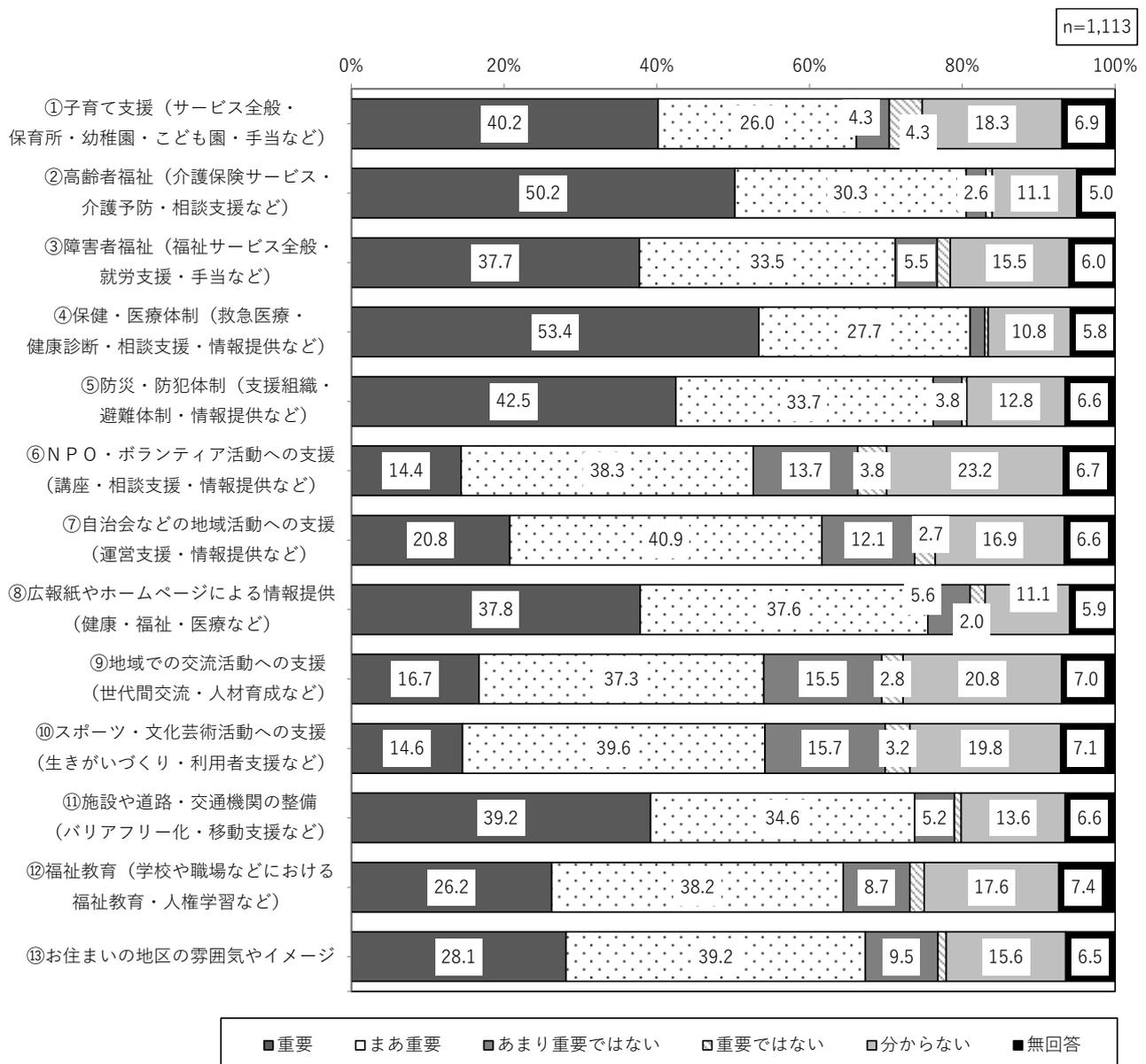
内容	性別	年齢	職業	居住地区
防災無線は役に立っている。もっとよく聞こえるように、声の通る、例えば女子に発声して欲しい。	男性	70歳以上	無職	古巻地区
あいのりサービスは足替わりに良いのですが、細かく利用しやすいといいです。半田の辺スーパー中小売店遠いので利用しやすいといいです。あいのりは仕方ないのですが、コロナになって対応が難しい状況ですが、ありがたいと思います。	女性	40～49歳	アルバイト・パート	古巻地区
バスの運行、あいのりなどのサービス	女性	60～69歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	北橋地区
子育て支援以外の福祉事業も拡充して欲しいと感じます。	女性	40～49歳	会社員・公務員	北橋地区
金婚式ご夫婦の表彰や高齢者向けの事業等は、高齢者にとっては、喜ばれていると感じます。敬老祝品等の配布、金額面では大変かと思いますが、1年に1回老いても元気が出る祝賀ではないでしょうか。	男性	70歳以上	無職	子持地区
・花壇の整備 ・ラジオ体操 ・だれでも広場	女性	70歳以上	家事専業 (主婦・夫を含む)	子持地区
90歳になるので、タクシー券を沢山いただいているのがありがたいです。(半田は市の行事に遠いのでとても助かっています。)	女性	70歳以上	無職	古巻地区
秋にいつもバザーを開催していました。コロナにより2～3年くらい中止ですね。私は寄付する布を作ったり、家では使わないものを集めておいたりしていました。また再開してほしいものです。	女性	70歳以上	無職	古巻地区
だれでも広場は良く利用します。子供たちも自由に遊ぶことが出来て楽しそうです。大人もリラクゼーションルームがあって有難いです。子育て支援総合センターも利用したことがあるのですが、施設はキレイで良いと思うのですが、ルールが少し厳しいように思います。(例)子供たちがエアトラックを逆走してしまったら注意されてしまいました。もちろん安全のためということは理解しているのですが、注意の仕方を工夫していただいたり、子供たちが自由に遊べる場所があるといいなと思いました。例えばエアトラックに矢印テープを貼るといのはどうでしょうか？ルールを子供たちにも分かりやすく伝える時は優しくお願いします。	女性	30～39歳	会社員・公務員	古巻地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
買い物支援事業	女性	60～69 歳	家事専業 (主婦・夫を 含む)	子持地区
夜間診療は度々利用させていただき有難いです。	男性	30～39 歳	会社員・公 務員	渋川地区
どのような活動を行っているか、具体的なことが分からないので、情報発信を積極的に実施して欲しいです。	男性	60～69 歳	会社員・公 務員	渋川地区
友愛訪問等、独居の方々とのふれあい活動、タクシー券、「あいのり」はコロナ対策でも便利に使えている。	女性	60～69 歳	家事専業 (主婦・夫を 含む)	渋川地区
あいのりはとても良いサービスだと思います。	男性	30～39 歳	会社員・公 務員	古巻地区
だれでも広場。制服リユース事業。あいのり。	男性	40～49 歳	会社員・公 務員	子持地区
あいのりは良いと事業だと思います。	男性	70 歳以上	無職	古巻地区
一人暮らし、高齢者への確認訪問	男性	60～69 歳	会社員・公 務員	金島地区
移動販売のとくしまるが近所へ来た時に、子供(小学生)が友達と利用させてもらうことがあります。子供が自分たちだけで行けるお店が近くにないので、とくしまるは”自分で行き、選んで買う”ことが出来るので良い経験になっています。時間のお手間をかけてしまい申し訳なく思いますが、対応していただき感謝しています。	女性	30～39 歳	会社員・公 務員	豊秋地区
会の運営の為の施設の貸し出し	女性	40～49 歳	会社員・公 務員	子持地区
サービス事業	男性	70 歳以上	無職	子持地区
障害施設の多さ	男性	70 歳以上	無職	渋川地区
ボランティア活動に参加している友人が多く頭が下がります。年下の方がなかなか活動に参加しない所もあり、消滅してしまう町内もあるようです。増々、継続拡大するために活動への支援を望みます。	女性	60～69 歳	家事専業 (主婦・夫を 含む)	金島地区
たまに配布されている温泉券やお買物券はありがたいです。	女性	40～49 歳	会社員・公 務員	古巻地区
渋川福祉協議会の場所が分かりません。	女性	60～69 歳	アルバイト・ パート	渋川地区

### (3)地域福祉に関する施策の重要度

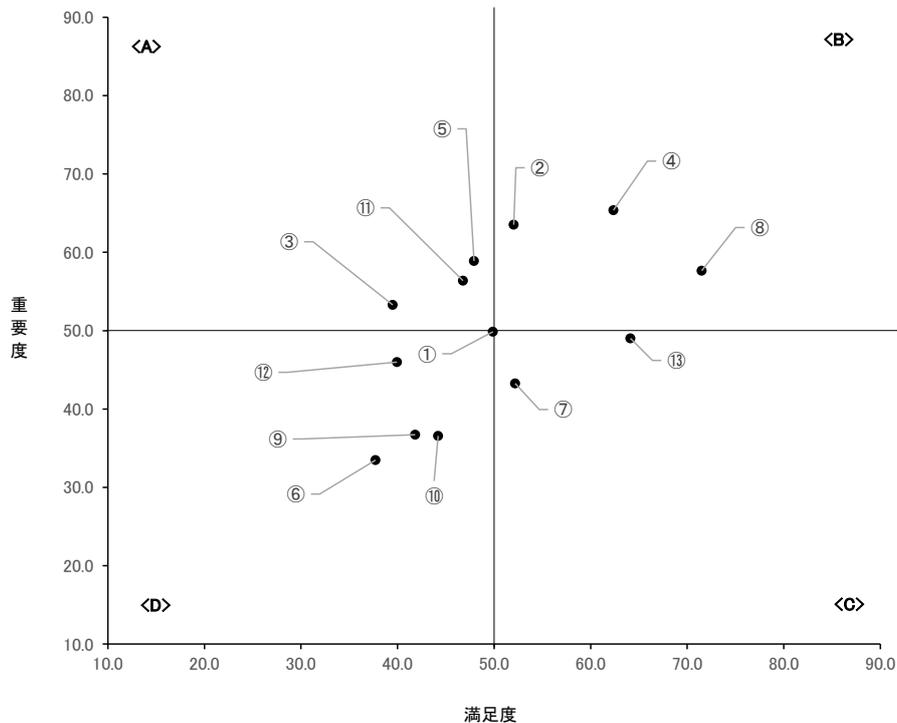
地域福祉に関する施策の今後の重要性については、『重要』の割合が、「④保健・医療体制（救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など）」が53.4%と最も多く、次いで「②高齢者福祉（介護保険サービス・介護予防・相談支援など）」が50.2%、「⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）」が42.5%となっています。

問 37 行政及び渋川市社会福祉協議会の(①子育て支援(サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など)～ ⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ)地域福祉に関する施策について、あなたにとっての今後の重要性を教えてください。(それぞれ番号に○)



#### (4)地域福祉に関する施策の現状の評価(今後の重要性)と(満足度)の分析

「現状の評価（重要度）」の回答割合から「重要」を100点、「まあ重要」を75点、「あまり重要ではない」を50点、「重要ではない」を25点、「分からない」を0点として点数化、また、「現状の評価（満足度）」の回答割合から「満足」を100点、「まあ満足」を75点、「やや不満」を50点、「不満」を25点、「分からない」を0点として点数化し、偏差値化すると次の散布図になります。



番号凡例
①子育て支援(サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など)
②高齢者福祉(介護保険サービス・介護予防・相談支援など)
③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
④保健・医療体制(救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など)
⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
⑥NPO・ボランティア活動への支援(講座・相談支援・情報提供など)
⑦自治会などの地域活動への支援(運営支援・情報提供など)
⑧広報紙やホームページによる情報提供(健康・福祉・医療など)
⑨地域での交流活動への支援(世代間交流・人材育成など)
⑩スポーツ・文化芸術活動への支援(生きがいづくり・利用者支援など)
⑪施設や道路・交通機関の整備(バリアフリー化・移動支援など)
⑫福祉教育(学校や職場などにおける福祉教育・人権学習など)
⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ

**第一象限（A）：満足度が低く優先度が高い**

重要度が高いものの現在の満足度が低いため、最も優先的に取り組むことを期待されている施策群。

満足度が低く優先度が高い象限に属す施策群には、「③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）」、「⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）」、「⑩施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）」が属しています。

**第二象限（B）：満足度が高く重要度が高い**

優先度が高いものの現在の満足度も高いため、現状の水準を維持しつつもさらなる充実が期待されている施策群。

満足度が高く優先度が高い象限に属す施策群には「②高齢者福祉（介護保険サービス・介護予防・相談支援など）」、「④保健・医療体制（救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など）」、「⑧広報紙やホームページによる情報提供（健康・福祉・医療など）」が属していますが、これは一定の満足度があるものの、今後もさらなる対策を行って欲しいという期待が優先度として反映されていることが考えられます。

**第三象限（C）：満足度が高く優先度が低い**

優先度が低いものの現在の満足度が高いため、ある程度の満足が得られている施策群。

満足度が高く優先度が低い象限には「⑦自治会などの地域活動への支援（運営支援・情報提供など）」、「⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ」が属しています。

**第四象限（D）：満足度が低く優先度も低い**

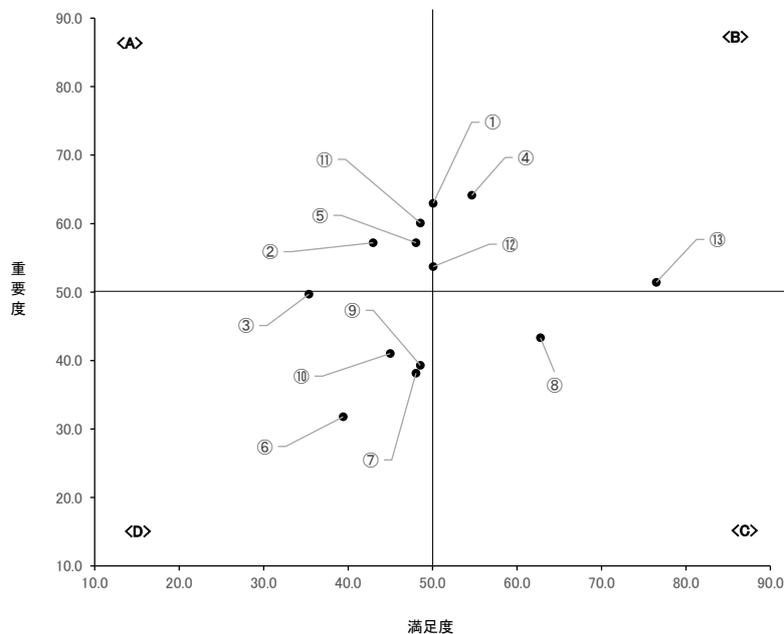
優先度が低いものの現在の満足度も低い施策群。

満足度が低く優先度も低い象限には、「①子育て支援（サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など）」、「⑥NPO・ボランティア活動への支援（講座・相談支援・情報提供など）」、「⑨地域での交流活動への支援（世代間交流・人材育成など）」、「⑩スポーツ・文化芸術活動への支援（生きがいがづくり・利用者支援など）」、「⑫福祉教育（学校や職場などにおける福祉教育・人権学習など）」が属しています。

## 【年齢別】

<18～29 歳>

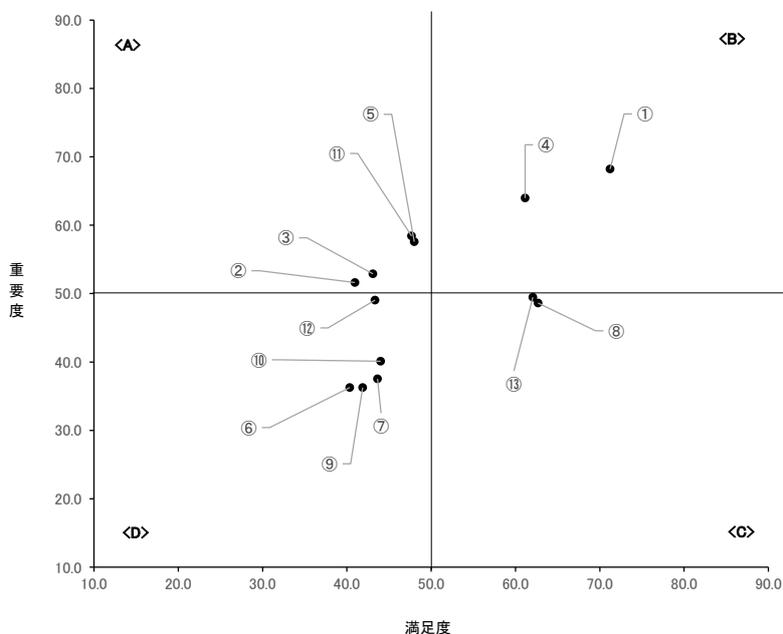
最優先施策群である第一象限には、「②高齢者福祉（介護保険サービス・介護予防・相談支援など）」、「⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）」、「⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）」が属しています。



<A> 第一象限
②高齢者福祉(介護保険サービス・介護予防・相談支援など)
⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
⑪施設や道路・交通機関の整備(バリアフリー化・移動支援など)
<B> 第二象限
①子育て支援(サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など)
④保健・医療体制(救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など)
⑫福祉教育(学校や職場などにおける福祉教育・人権学習など)
⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ
<C> 第三象限
⑧広報紙やホームページによる情報提供(健康・福祉・医療など)
<D> 第四象限
③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
⑥NPO・ボランティア活動への支援(講座・相談支援・情報提供など)
⑦自治会などの地域活動への支援(運営支援・情報提供など)
⑨地域での交流活動への支援(世代間交流・人材育成など)
⑩スポーツ・文化芸術活動への支援(生きがいづくり・利用者支援など)

<30～39 歳>

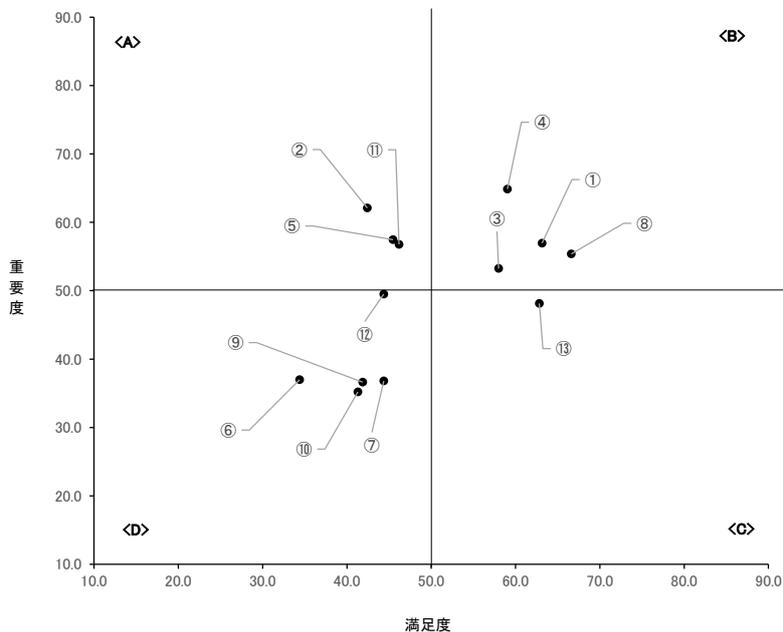
最優先施策群である第一象限には、「②高齢者福祉（介護保険サービス・介護予防・相談支援など）」、「③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）」、「⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）」、「⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）」が属しています。



<A> 第一象限
② 高齢者福祉（介護保険サービス・介護予防・相談支援など）
③ 障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）
⑤ 防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）
⑪ 施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）
<B> 第二象限
① 子育て支援（サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など）
④ 保健・医療体制（救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など）
<C> 第三象限
⑧ 広報紙やホームページによる情報提供（健康・福祉・医療など）
⑬ お住まいの地区の雰囲気やイメージ
<D> 第四象限
⑥ NPO・ボランティア活動への支援（講座・相談支援・情報提供など）
⑦ 自治会などの地域活動への支援（運営支援・情報提供など）
⑨ 地域での交流活動への支援（世代間交流・人材育成など）
⑩ スポーツ・文化芸術活動への支援（生きがいきづくり・利用者支援など）
⑫ 福祉教育（学校や職場などにおける福祉教育・人権学習など）

<40～49 歳>

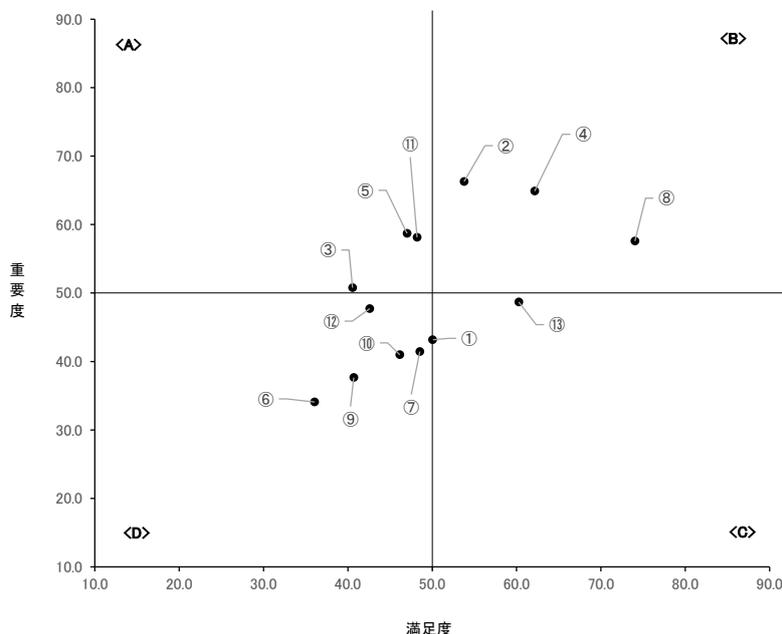
最優先施策群である第一象限には、「②高齢者福祉（介護保険サービス・介護予防・相談支援など）」、「⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）」、「⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）」が属しています。



<A> 第一象限
②高齢者福祉（介護保険サービス・介護予防・相談支援など）
⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）
⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）
<B> 第二象限
①子育て支援（サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など）
③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）
④保健・医療体制（救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など）
⑧広報紙やホームページによる情報提供（健康・福祉・医療など）
<C> 第三象限
⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ
<D> 第四象限
⑥NPO・ボランティア活動への支援（講座・相談支援・情報提供など）
⑦自治会などの地域活動への支援（運営支援・情報提供など）
⑨地域での交流活動への支援（世代間交流・人材育成など）
⑩スポーツ・文化芸術活動への支援（生きがいがづくり・利用者支援など）
⑫福祉教育（学校や職場などにおける福祉教育・人権学習など）

<50～59 歳>

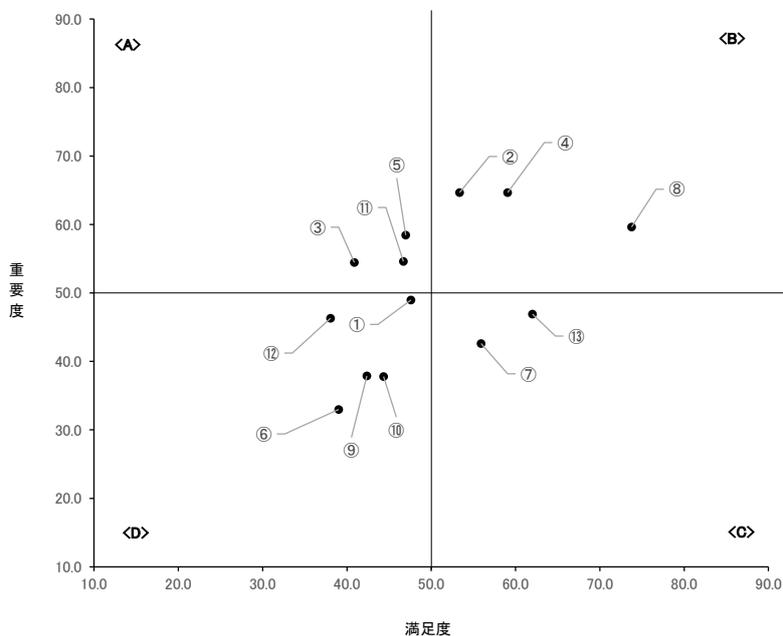
最優先施策群である第一象限には、「③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）」、「⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）」、「⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）」が属しています。



<A> 第一象限
③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）
⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）
⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）
<B> 第二象限
②高齢者福祉（介護保険サービス・介護予防・相談支援など）
④保健・医療体制（救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など）
⑧広報紙やホームページによる情報提供（健康・福祉・医療など）
<C> 第三象限
①子育て支援（サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など）
⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ
<D> 第四象限
⑥NPO・ボランティア活動への支援（講座・相談支援・情報提供など）
⑦自治会などの地域活動への支援（運営支援・情報提供など）
⑨地域での交流活動への支援（世代間交流・人材育成など）
⑩スポーツ・文化芸術活動への支援（生きがいがづくり・利用者支援など）
⑫福祉教育（学校や職場などにおける福祉教育・人権学習など）

<60～69 歳>

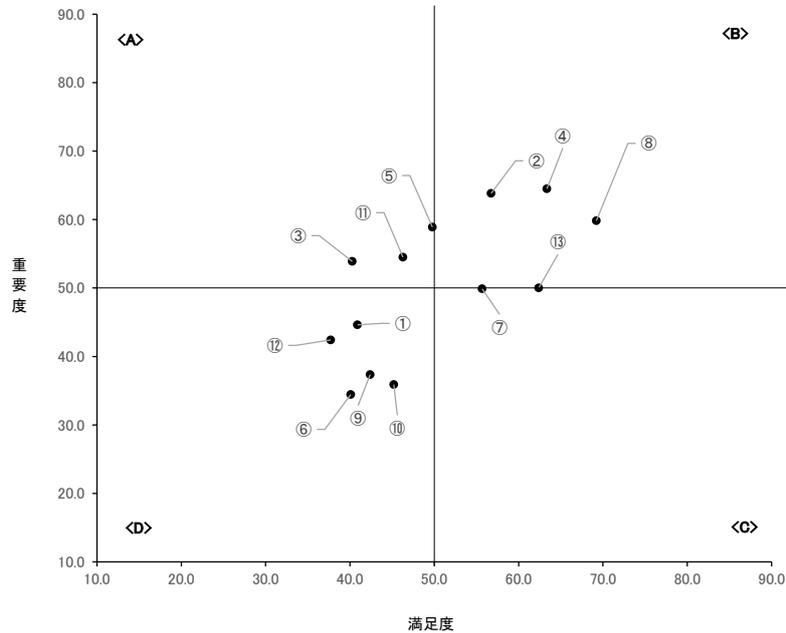
最優先施策群である第一象限には、「③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）」、「⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）」、「⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）」が属しています。



<A> 第一象限
③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）
⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）
⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）
<B> 第二象限
②高齢者福祉（介護保険サービス・介護予防・相談支援など）
④保健・医療体制（救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など）
⑧広報紙やホームページによる情報提供（健康・福祉・医療など）
<C> 第三象限
⑦自治会などの地域活動への支援（運営支援・情報提供など）
⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ
<D> 第四象限
①子育て支援（サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など）
⑥NPO・ボランティア活動への支援（講座・相談支援・情報提供など）
⑨地域での交流活動への支援（世代間交流・人材育成など）
⑩スポーツ・文化芸術活動への支援（生きがいきり・利用者支援など）
⑫福祉教育（学校や職場などにおける福祉教育・人権学習など）

<70 歳以上>

最優先施策群である第一象限には、「③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）」、「⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）」、「⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）」が属しています。

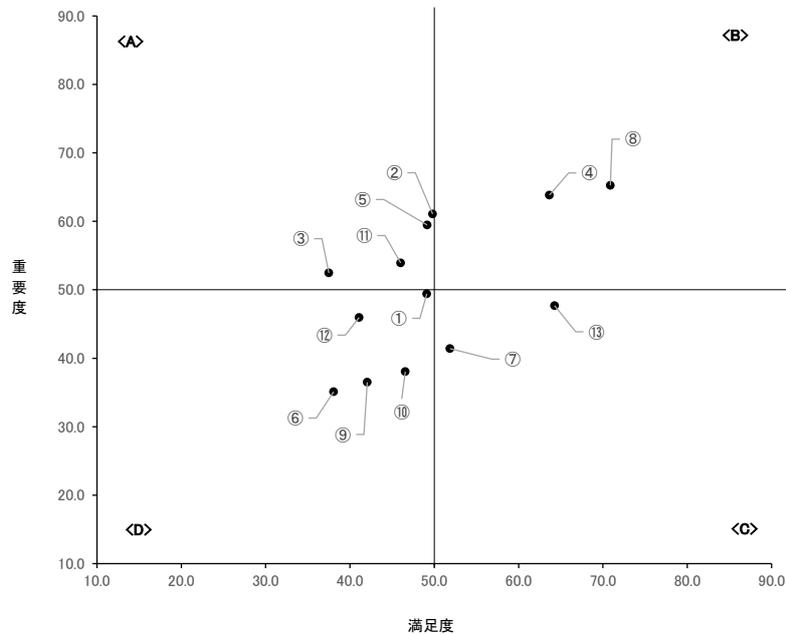


<A> 第一象限
③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）
⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）
⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）
<B> 第二象限
②高齢者福祉（介護保険サービス・介護予防・相談支援など）
④保健・医療体制（救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など）
⑧広報紙やホームページによる情報提供（健康・福祉・医療など）
⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ
<C> 第三象限
⑦自治会などの地域活動への支援（運営支援・情報提供など）
<D> 第四象限
①子育て支援（サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など）
⑥NPO・ボランティア活動への支援（講座・相談支援・情報提供など）
⑨地域での交流活動への支援（世代間交流・人材育成など）
⑩スポーツ・文化芸術活動への支援（生きがいきり・利用者支援など）
⑫福祉教育（学校や職場などにおける福祉教育・人権学習など）

## 【地区別】

### ＜渋川地区＞

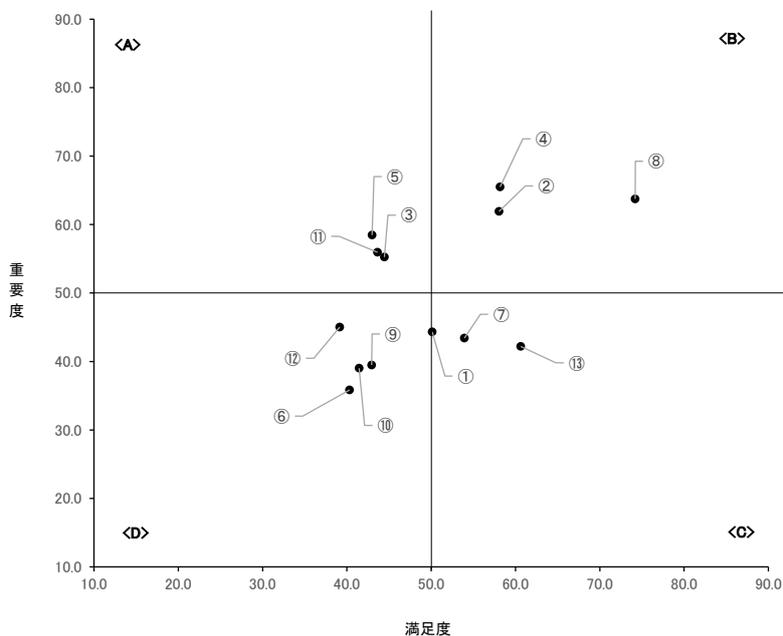
最優先施策群である第一象限には、「②高齢者福祉（介護保険サービス・介護予防・相談支援など）」、「③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）」、「⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）」、「⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）」が属しています。



＜A＞第一象限
②高齢者福祉（介護保険サービス・介護予防・相談支援など）
③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）
⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）
⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）
＜B＞第二象限
④保健・医療体制（救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など）
⑧広報紙やホームページによる情報提供（健康・福祉・医療など）
＜C＞第三象限
⑦自治会などの地域活動への支援（運営支援・情報提供など）
⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ
＜D＞第四象限
①子育て支援（サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など）
⑥NPO・ボランティア活動への支援（講座・相談支援・情報提供など）
⑨地域での交流活動への支援（世代間交流・人材育成など）
⑩スポーツ・文化芸術活動への支援（生きがいづくり・利用者支援など）
⑫福祉教育（学校や職場などにおける福祉教育・人権学習など）

<金島地区>

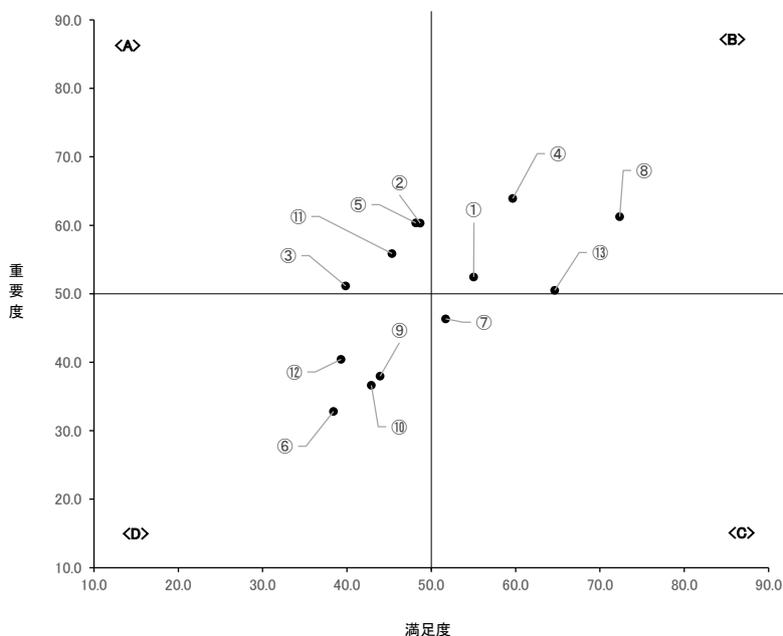
最優先施策群である第一象限には、「③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）」、「⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）」、「⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）」が属しています。



<A>第一象限
③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
⑪施設や道路・交通機関の整備(バリアフリー化・移動支援など)
<B>第二象限
②高齢者福祉(介護保険サービス・介護予防・相談支援など)
④保健・医療体制(救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など)
⑧広報紙やホームページによる情報提供(健康・福祉・医療など)
<C>第三象限
①子育て支援(サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など)
⑦自治会などの地域活動への支援(運営支援・情報提供など)
⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ
<D>第四象限
⑥NPO・ボランティア活動への支援(講座・相談支援・情報提供など)
⑨地域での交流活動への支援(世代間交流・人材育成など)
⑩スポーツ・文化芸術活動への支援(生きがいづくり・利用者支援など)
⑫福祉教育(学校や職場などにおける福祉教育・人権学習など)

<古巻地区>

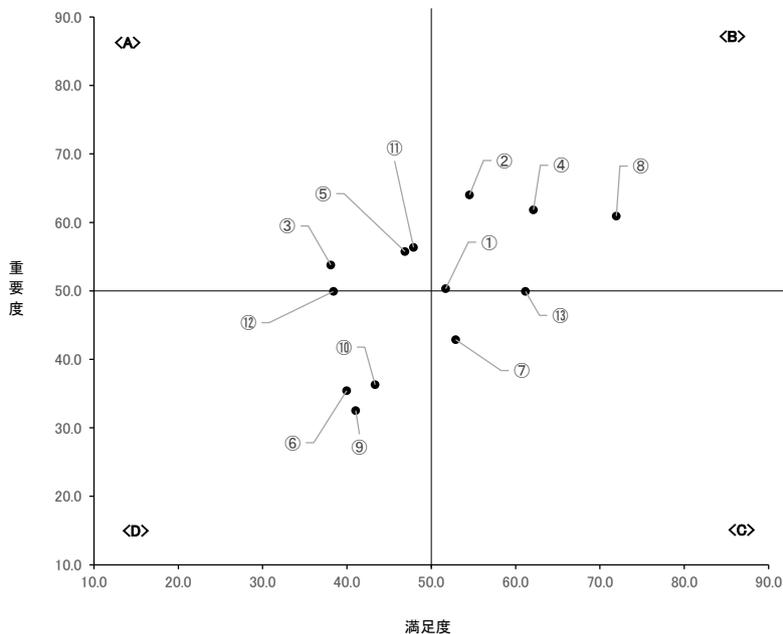
最優先施策群である第一象限には、「②高齢者福祉（介護保険サービス・介護予防・相談支援など）」、「③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）」、「⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）」、「⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）」が属しています。



<A>第一象限
②高齢者福祉(介護保険サービス・介護予防・相談支援など)
③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
⑪施設や道路・交通機関の整備(バリアフリー化・移動支援など)
<B>第二象限
①子育て支援(サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など)
④保健・医療体制(救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など)
⑧広報紙やホームページによる情報提供(健康・福祉・医療など)
⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ
<C>第三象限
⑦自治会などの地域活動への支援(運営支援・情報提供など)
<D>第四象限
⑥NPO・ボランティア活動への支援(講座・相談支援・情報提供など)
⑨地域での交流活動への支援(世代間交流・人材育成など)
⑩スポーツ・文化芸術活動への支援(生きがいづくり・利用者支援など)
⑫福祉教育(学校や職場などにおける福祉教育・人権学習など)

<豊秋地区>

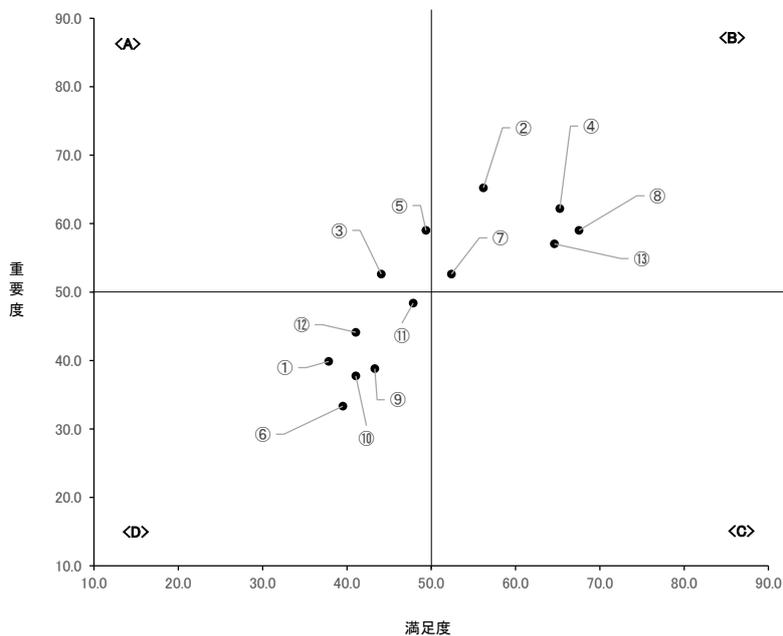
最優先施策群である第一象限には、「③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）」、「⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）」、「⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）」が属しています。



<A>第一象限
③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
⑪施設や道路・交通機関の整備(バリアフリー化・移動支援など)
<B>第二象限
①子育て支援(サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など)
②高齢者福祉(介護保険サービス・介護予防・相談支援など)
④保健・医療体制(救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など)
⑧広報紙やホームページによる情報提供(健康・福祉・医療など)
<C>第三象限
⑦自治会などの地域活動への支援(運営支援・情報提供など)
⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ
<D>第四象限
⑥NPO・ボランティア活動への支援(講座・相談支援・情報提供など)
⑨地域での交流活動への支援(世代間交流・人材育成など)
⑩スポーツ・文化芸術活動への支援(生きがいがづくり・利用者支援など)
⑫福祉教育(学校や職場などにおける福祉教育・人権学習など)

<伊香保地区>

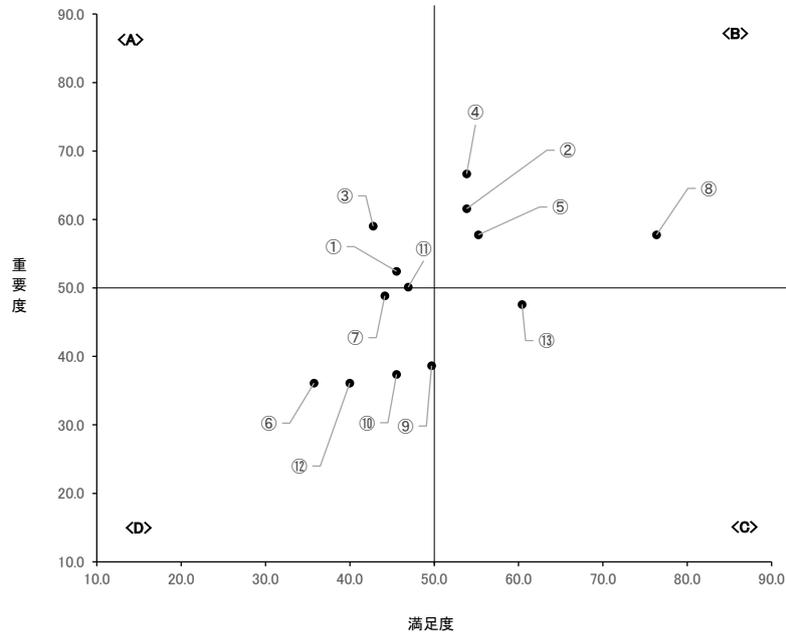
最優先施策群である第一象限には、「③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）」、「⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）」が属しています。



<A>第一象限
③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
<B>第二象限
②高齢者福祉(介護保険サービス・介護予防・相談支援など)
④保健・医療体制(救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など)
⑦自治会などの地域活動への支援(運営支援・情報提供など)
⑧広報紙やホームページによる情報提供(健康・福祉・医療など)
⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ
<C>第三象限
<D>第四象限
①子育て支援(サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など)
⑥NPO・ボランティア活動への支援(講座・相談支援・情報提供など)
⑨地域での交流活動への支援(世代間交流・人材育成など)
⑩スポーツ・文化芸術活動への支援(生きがいづくり・利用者支援など)
⑪施設や道路・交通機関の整備(バリアフリー化・移動支援など)
⑫福祉教育(学校や職場などにおける福祉教育・人権学習など)

<小野上地区>

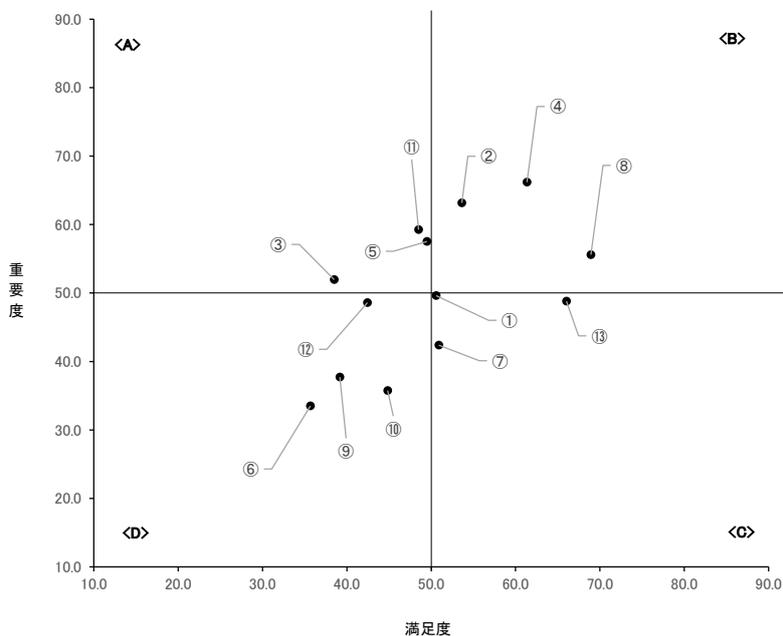
最優先施策群である第一象限には、「①子育て支援（サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など）」、「③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）」、「⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）」が属しています。



<A>第一象限
①子育て支援（サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など）
③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）
⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）
<B>第二象限
②高齢者福祉（介護保険サービス・介護予防・相談支援など）
④保健・医療体制（救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など）
⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）
⑧広報紙やホームページによる情報提供（健康・福祉・医療など）
<C>第三象限
⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ
<D>第四象限
⑥NPO・ボランティア活動への支援（講座・相談支援・情報提供など）
⑦自治会などの地域活動への支援（運営支援・情報提供など）
⑨地域での交流活動への支援（世代間交流・人材育成など）
⑩スポーツ・文化芸術活動への支援（生きがいつくり・利用者支援など）
⑫福祉教育（学校や職場などにおける福祉教育・人権学習など）

<子持地区>

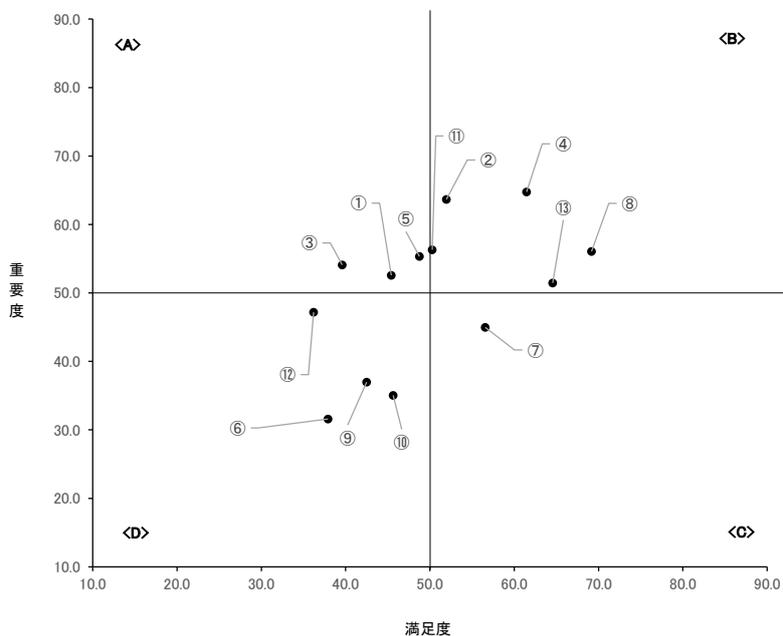
最優先施策群である第一象限には、「③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）」、「⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）」、「⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）」が属しています。



<A>第一象限
③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
⑪施設や道路・交通機関の整備(バリアフリー化・移動支援など)
<B>第二象限
②高齢者福祉(介護保険サービス・介護予防・相談支援など)
④保健・医療体制(救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など)
⑧広報紙やホームページによる情報提供(健康・福祉・医療など)
<C>第三象限
①子育て支援(サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など)
⑦自治会などの地域活動への支援(運営支援・情報提供など)
⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ
<D>第四象限
⑥NPO・ボランティア活動への支援(講座・相談支援・情報提供など)
⑨地域での交流活動への支援(世代間交流・人材育成など)
⑩スポーツ・文化芸術活動への支援(生きがいづくり・利用者支援など)
⑫福祉教育(学校や職場などにおける福祉教育・人権学習など)

<赤城地区>

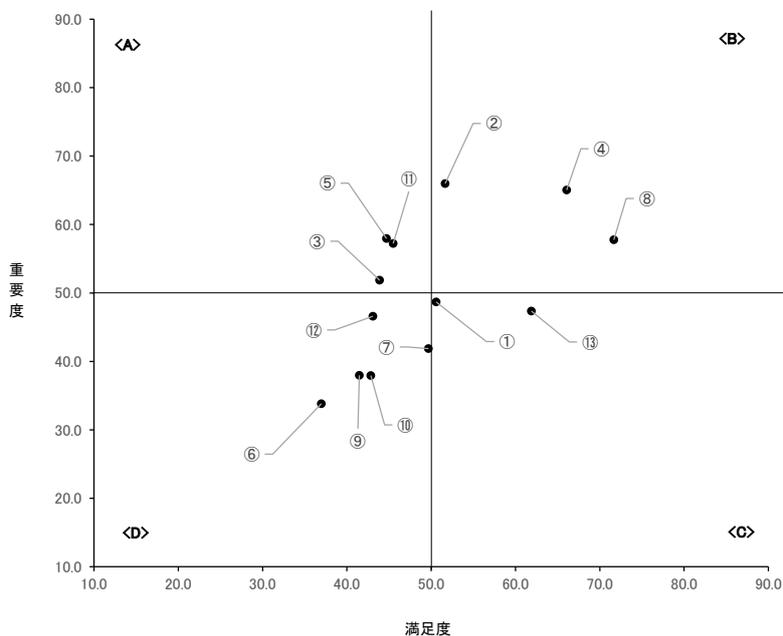
最優先施策群である第一象限には、「①子育て支援（サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など）」、「③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）」、「⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）」が属しています。



<A>第一象限
①子育て支援（サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など）
③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）
⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）
<B>第二象限
②高齢者福祉（介護保険サービス・介護予防・相談支援など）
④保健・医療体制（救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など）
⑧広報紙やホームページによる情報提供（健康・福祉・医療など）
⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）
⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ
<C>第三象限
⑦自治会などの地域活動への支援（運営支援・情報提供など）
<D>第四象限
⑥NPO・ボランティア活動への支援（講座・相談支援・情報提供など）
⑨地域での交流活動への支援（世代間交流・人材育成など）
⑩スポーツ・文化芸術活動への支援（生きがいつくり・利用者支援など）
⑫福祉教育（学校や職場などにおける福祉教育・人権学習など）

<北橘地区>

最優先施策群である第一象限には、「③障害者福祉（福祉サービス全般・就労支援・手当など）」、「⑤防災・防犯体制（支援組織・避難体制・情報提供など）」、「⑪施設や道路・交通機関の整備（バリアフリー化・移動支援など）」が属しています。



<A>第一象限
③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
⑪施設や道路・交通機関の整備(バリアフリー化・移動支援など)
<B>第二象限
②高齢者福祉(介護保険サービス・介護予防・相談支援など)
④保健・医療体制(救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など)
⑧広報紙やホームページによる情報提供(健康・福祉・医療など)
<C>第三象限
①子育て支援(サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など)
⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ
<D>第四象限
⑥NPO・ボランティア活動への支援(講座・相談支援・情報提供など)
⑦自治会などの地域活動への支援(運営支援・情報提供など)
⑨地域での交流活動への支援(世代間交流・人材育成など)
⑩スポーツ・文化芸術活動への支援(生きがいづくり・利用者支援など)
⑫福祉教育(学校や職場などにおける福祉教育・人権学習など)

<各地区の最優先課題一覧>

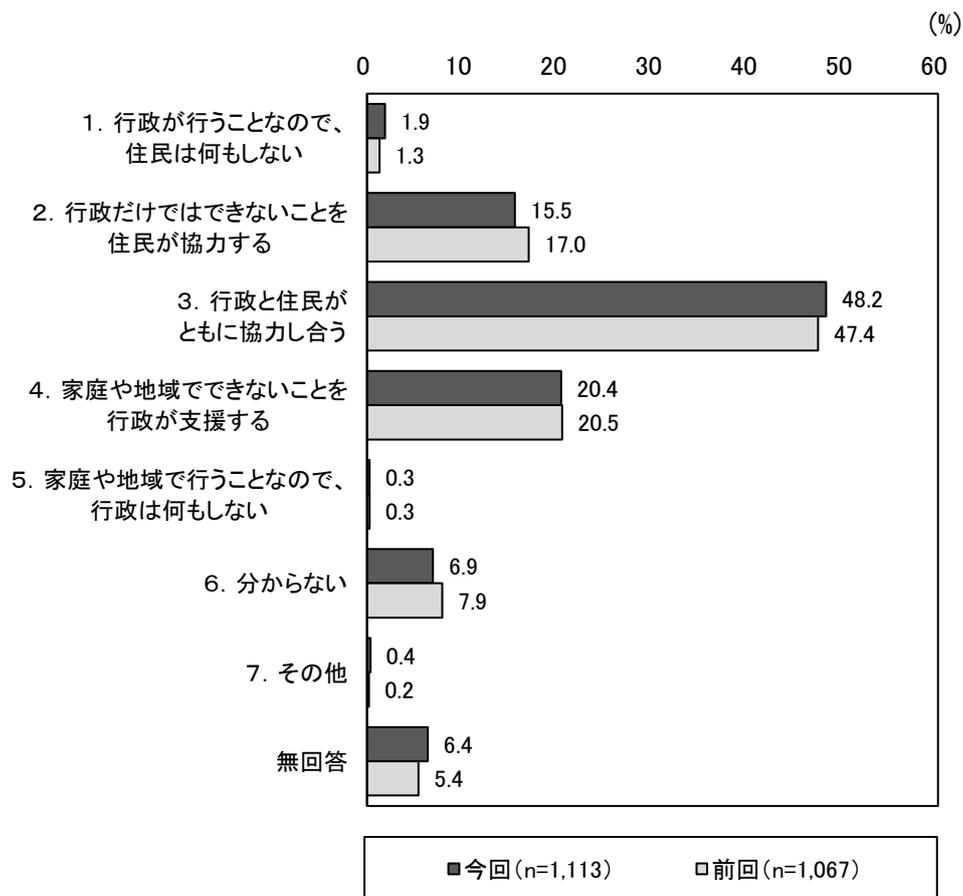
	<A>第一象限に該当する項目
渋川地区	②高齢者福祉(介護保険サービス・介護予防・相談支援など)
	③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
	⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
	①施設や道路・交通機関の整備(バリアフリー化・移動支援など)
金島地区	③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
	⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
	①施設や道路・交通機関の整備(バリアフリー化・移動支援など)
	②高齢者福祉(介護保険サービス・介護予防・相談支援など)
古巻地区	③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
	⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
	①施設や道路・交通機関の整備(バリアフリー化・移動支援など)
	③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
豊秋地区	⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
	①施設や道路・交通機関の整備(バリアフリー化・移動支援など)
	③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
	⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
伊香保地区	③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
	⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
	①子育て支援(サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など)
	③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
小野上地区	①施設や道路・交通機関の整備(バリアフリー化・移動支援など)
	③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
	⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
	③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
子持地区	⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
	①施設や道路・交通機関の整備(バリアフリー化・移動支援など)
	③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
	①子育て支援(サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など)
赤城地区	③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
	⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
	③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
	⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
北橋地区	③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)
	⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)
	①施設や道路・交通機関の整備(バリアフリー化・移動支援など)
	③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)

### (5)行政と地域住民の関係

行政と地域住民の関係については、「行政と住民がともに協力し合う」が48.2%と最も多く、次いで「家庭や地域でできないことを行政が支援する」が20.4%、「行政だけではできないことを住民が協力する」が15.5%となっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。

**問 38 地域福祉を進めて行くうえで、行政と地域住民の関係は、基本的にどのようにあるべきだと思いますか。(1つに○)**

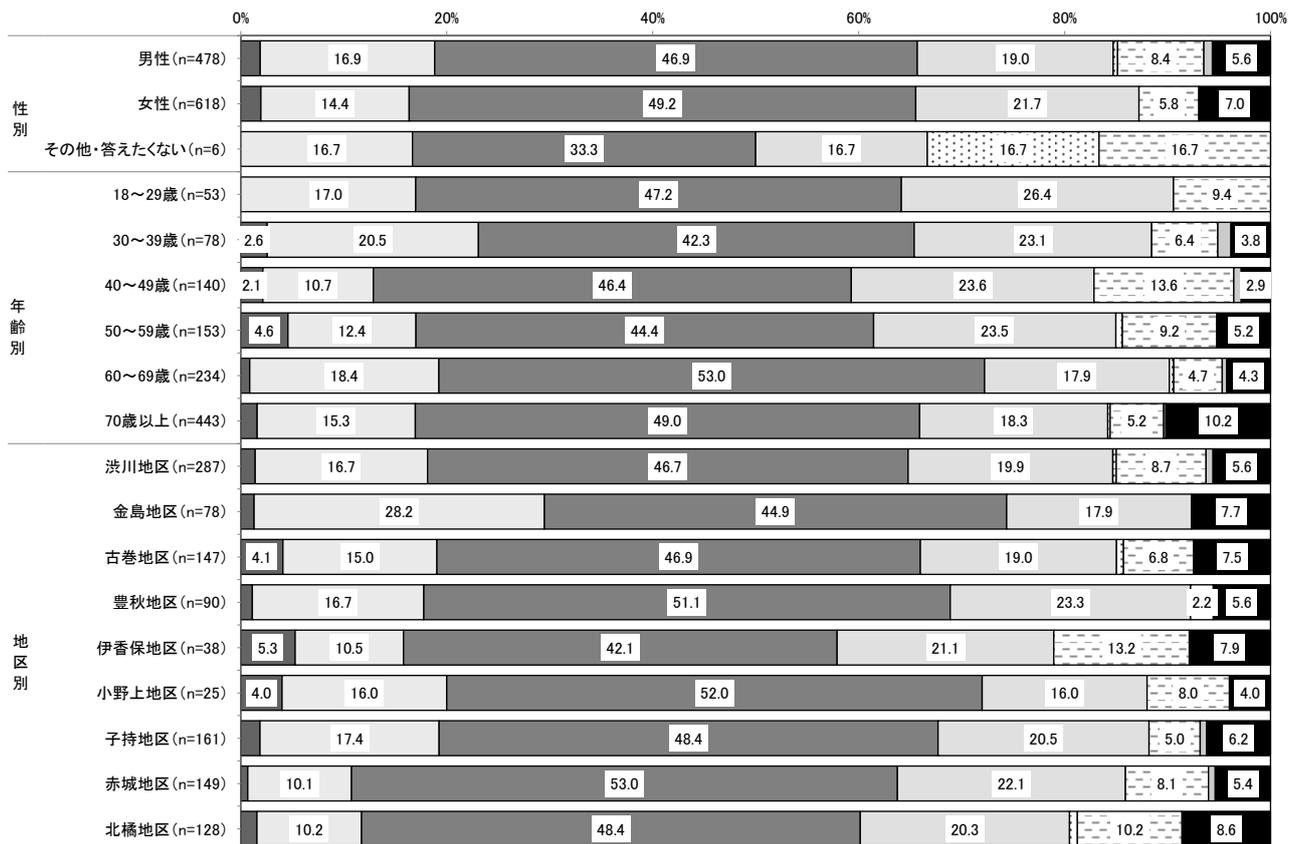


### 【性別・年代別・地区別】

性別でみると、ほぼ同様の傾向となっています。

年齢別でみると、いずれの年齢でも「行政と住民がともに協力し合う」が40%以上となっています。

地区別でみると、「行政だけではできないことを住民が協力する」が金島地区で28.2%と、他の地区に比べて多くなっています。



行政が行うことなので、住民は何もしない     
  行政だけではできないことを住民が協力する     
  行政と住民がともに協力し合う  
 家庭や地域でできないことを行政が支援する     
  家庭や地域で行うことなので、行政は何もしない     
  分からない  
 その他     
 無回答

(6)生活での困りごと

問 39 地域で生活していくうえで、困っていることがありましたらご自由にお書きください。(自由回答)

内容	性別	年齢	職業	居住地区
年で免許証を返したため、買い物、医者へ行く足に困っています。	女性	70歳以上	無職	古巻地区
近年地域住民の自主意識が強く感じられ、協調共同、支えあいの意識が薄らいできているのではないかと感じます。これからの地域コミュニティ活動が懸念されます。	男性	70歳以上	無職	豊秋地区
福祉について地域全体で考えることが必要だと感じます。	男性	30～39歳	会社員・公務員	渋川地区
自分が今まで住んだ事がない所に住むことになると公共交通に関する情報が分からなくなることが心配です。	女性	40～49歳	その他	豊秋地区
独り住まいなので孤独を感じることがあります。妻は老人施設入所中なので一人で生活をしており、話し相手もおりません。	男性	70歳以上	無回答	赤城地区
高齢者になり、運転免許返納するにあたり、非常に買い物に不便になると感じます。バスも本数がない。予約バスは大正橋までなので不便です。	男性	70歳以上	無職	北橋地区
子どもが遠方で暮らしているため老後が心配です。	女性	60～69歳	アルバイト・パート	赤城地区
少子化	男性	60～69歳	農業	赤城地区
高齢者が安心して歩ける歩道が整備されていないと感じます。	女性	70歳以上	無職	渋川地区
子どもから高齢者まで誰でも集える公園等があるとよいと思います。	女性	40～49歳	会社員・公務員	豊秋地区
子どもたちが登下校する通学路において、横断歩道の設置、防犯灯の設置する等して安全確保に努めて欲しいと思います。	女性	30～39歳	アルバイト・パート	古巻地区
地域コミュニティを醸成、維持することはとても難しいと思います。	女性	50～59歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	古巻地区
生活困窮者への家事支援等	男性	50～59歳	会社員・公務員	渋川地区
公共交通機関が不便だと感じます。高齢者などの“足”が「あいのり」事業だけでは少ない気がします。歩けるのに外出できない人も多いのではないのでしょうか。	女性	50～59歳	アルバイト・パート	渋川地区
高齢者のため雑木雑草の管理が困難です。移動するにも不便を感じます。	女性	70歳以上	アルバイト・パート	北橋地区
病院への通院や買い物をするための移動手段に不便を感じます。	無回答	無回答	無回答	無回答

内容	性別	年齢	職業	居住地区
高齢者や子どもの交通マナーを徹底して欲しいです。	女性	30～39 歳	その他	古巻地区
今後、年を取り、免許を返納したら、今の渋川のバス事情では生活を維持するのは大変だろうと思います。	女性	60～69 歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	古巻地区
運転免許を返納してから移動すること、特に医者への通院や買い物が大変になりました。	男性	70 歳以上	無職	子持地区
私は車に乗れないので、バス停までも遠く医者に行くのも大変です。	女性	70 歳以上	無職	小野上地区
誰もが利用できる公園の整備に力を入れて欲しいです。草刈りなど、沼尾川親水公園とても良い公園なのですが、遊具が使えなくてとても残念に感じます。	女性	30～39 歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	金島地区
若い人と話す機会がない。昔が良かったとは思わないが、話す機会はあったかもしれない。	女性	70 歳以上	その他	赤城地区
運転免許証返納後、現在のタクシーでは足りないのもっと移動手段を増やすか、移動販売や店を増やしてもらいたいです。	男性	50～59 歳	会社員・公務員	金島地区
廃墟となった住宅が年々増えてたり、環境面や防犯面などで問題があるため困っております。	男性	60～69 歳	農業	小野上地区
車イスで移動しやすい公園や道路が少ないと感じます	女性	50～59 歳	会社員・公務員	豊秋地区
高齢化が進み独居老人が多くなる地域です。介護保険制度で利用できるサービス等を知らない人も多いと感じます。	女性	70 歳以上	家事専業 (主婦・夫を含む)	北橋地区
利用できる福祉サービスの情報を分かりやすく教えてほしいです	女性	50～59 歳	会社員・公務員	子持地区
高齢者や運転免許証を返納した人の買い物や病院等の送迎が大変になると思います。今後買物が出来る地域に引っ越しを考えることもあります。	女性	50～59 歳	自営業・自由業	赤城地区
地域福祉に関する情報が多いと思いますが、利用するための情報が少ないと思います。どのタイミングで、どのような動きをすると、どのような支援が受けられるの情報を明確にもらえたら嬉しいです。	女性	40～49 歳	会社員・公務員	豊秋地区
一人暮らし高齢者のため、一人で自宅を維持することが困難です。	女性	60～69 歳	アルバイト・パート	赤城地区
車が運転できなくなった場合の買い物等、移動手段	女性	60～69 歳	アルバイト・パート	北橋地区
車に乗れなくなった時の、生活を考えると不安。住居変更も視野に入れたいと思っている。	女性	60～69 歳	その他	金島地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
コロナ禍以降、近隣の人の交流がなく、ほとんどの行事中止ばかりです。一人暮らしの人は孤独感がより強くなっていると感じます。認知症防止のためにも、人と人の繋がり、コミュニケーションが大切だと思います。	女性	70歳以上	無職	子持地区
高齢者の一人暮らしでは、樹木の維持等も大変です。また、野良猫等に餌を与えてしまい、周囲にも迷惑をかけている事例があります。	女性	70歳以上	その他	古巻地区
地区の高齢化が進み地域コミュニティ活動を維持、運営することが難しくなっています。	女性	70歳以上	家事専業 (主婦・夫を含む)	渋川地区
高齢化が進み、自治会の役員を出来る人がだんだんいなくなってきた。免許を返納したら、移動のための手段がなく、買い物や医療機関までの通院に不便している。	女性	70歳以上	家事専業 (主婦・夫を含む)	古巻地区
高齢者の中に交通マナーの悪い人がいる。	男性	50～59歳	会社員・公務員	豊秋地区
高齢者の免許返納により、ゴミの運搬、処分が困難である。	女性	70歳以上	アルバイト・パート	豊秋地区
過疎化による人口減に伴う、特に子供たちの減少で学校の統廃合が進んでしまう。学校は地域の核なのでなくすべきではない。どんなに子供たちが少なくなっても。	男性	70歳以上	その他	赤城地区
高齢者ばかりの地域では道路の除草も対応できない。	女性	70歳以上	無職	北橋地区
在宅介護している人が買い物、病院に行くことができるとうれしいです。	女性	70歳以上	無職	豊秋地区
高齢者が多く、買い物弱者など日常の生活に支障があるように思います。移動スーパーがあればいいと思います。	男性	30～39歳	会社員・公務員	赤城地区
・目が良く見えないので信号に音声をつけて欲しい。 ・自宅から使える交通手段が欲しい。	女性	70歳以上	家事専業 (主婦・夫を含む)	北橋地区
子どもが遊べる綺麗な公園があったら良いなと思います。コロナ禍で子どもと出かけられないので室内で遊べる場所もあったら良いなと思います。	女性	30～39歳	アルバイト・パート	古巻地区
高齢化しているので、医療、買い物等で交通の便が悪く公共として交通のルートを設置を考えて欲しい。	男性	70歳以上	無職	赤城地区
高齢者が移動するために、近くにバス停が無い事です。少人数のバス等があると良いと思います。	男性	70歳以上	無職	渋川地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
高齢者にとって、買い物、その他の用事に必要な足がない。	男性	70歳以上	無職	渋川地区
・独居老人の方の家の冬場の雪かき。 ・小、中学生の通学路の草刈り。 ・地域の空き家問題(草や庭木が伸びてしまう)	男性	60～69歳	会社員・公務員	小野上地区
高齢者の交通手段の不足に困っている。	男性	50～59歳	会社員・公務員	金島地区
学校(あるいは職場)と家との往復以外の空間が地域の雰囲気を作ると感じています。みんな一緒にというのも時代にそぐわなくなっていると思いますので、地域コミュニティを構築するための選択の幅が広がるようなきっかけがもっとあったらいいなと思っています。	女性	40～49歳	アルバイト・パート	赤城地区
老後の生活を考えると不便な地域性や経済面を不安に思っている。	女性	40～49歳	会社員・公務員	赤城地区
福祉に関する支援事業をもっと詳しく知りたい。	女性	70歳以上	無職	子持地区
高齢者が増えるうえに、1人暮らしの人も増えます。各地域でもっと手厚い支援などがあれば良いと思います。高齢者だけでなく、貧困家庭にも手厚い支援があればよいと思います。きっと他の人に言えない悩みを抱える人は多いと思います。	女性	40～49歳	会社員・公務員	赤城地区
地域においてあまり交流がない。コロナでますます交流が減少している。地域での声かけを大切にしたい。	女性	60～69歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	子持地区
高齢者介護サービス。存在する制度について申請しなければサービスや介護が受けられないのではなく、予めもらえるべき補助や申請の種類も周知し、存在する申請書類等は市民に提示すべきと考える。申請しなければ受けられないものが多すぎる。	男性	70歳以上	無職	渋川地区
物価の高騰、年金の引き下げにより、今後の生活が不安です。	男性	60～69歳	無職	豊秋地区
高齢化のため自治会の活動が困難な地域がある。	女性	60～69歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	赤城地区
渋川市内にもマンパワーが眠っていると思います。どのような方法で個人がまちづくり、地域づくりに関わっていけるのか、明確なアナウンスがあると参加しやすくなると思います。	男性	40～49歳	会社員・公務員	渋川地区
地域住民が高齢者ばかりで防災をどのようにしたら考えてしまう。対策としては、自分自身で行動出来るよう、今何かしなければいけないか考え生活している。空き家ばかりで困る。	女性	70歳以上	無職	伊香保地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
私は81歳です。一人です。周りに一人暮らしの人が多くいます。認知の人でも仲良く暮らしていますが、ゴミ出しとか草刈りとかしてもらっています。10年先に前原団地を壊す話が出ています。この先不安があります。	女性	70歳以上	その他	渋川地区
将来の話ですが、仕事をやめたら、どこの組織、コミュニティも属さない可能性が高くなります。同じ町内に知り合い等がないです。	男性	40～49歳	会社員・公務員	古巻地区
子育て世代が少ない地域のため、育成活動が成り立たない、役員になる回数が多く負担が多い。	男性	40～49歳	会社員・公務員	金島地区
買い物にいくための交通手段が自家用車しかない。公共交通を充実して欲しい。	男性	60～69歳	会社員・公務員	古巻地区
今は困っていないのですが、子供に恵まれなかった為、老後ふたりでの生活となる予定です。困った時に気軽に頼れる(電話できる)部署、施設などの情報を発信していただくと嬉しいです。例えば冷蔵庫に貼れるマグネットシートのような型でいろいろな連絡先の一覧があるといいというときに検索せずにすぐ電話や相談出来ると良いと思います。	女性	40～49歳	自営業・自由業	渋川地区
現時点での困り事は実感をしていないが、今後10年、20年先を考えた時に、人口減少も含めて、地域生活の課題、困り事が増えていくものとする。持続可能な地域行政の実施を今から考える必要がある。	男性	18～29歳	会社員・公務員	赤城地区
高齢者ばかりの地域になってしまった。	男性	70歳以上	農業	渋川地区
高齢に伴い、自宅の維持管理が心配です。	男性	60～69歳	無職	渋川地区
障害者専用の駐車場に健常者が駐車している。	女性	60～69歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	渋川地区
高齢者食堂及び高齢者カフェが渋川の街の中にあればよいと思う。	男性	70歳以上	無職	赤城地区
バス停が遠く、電車の本数が少ない。	女性	40～49歳	無職	赤城地区
独居老人になり 周囲との交流が減少してしまった。心の寄り合える場所が欲しい。	男性	60～69歳	農業	赤城地区
高齢者で身体が不自由のため、地域の民生委員等による見守り等を実施して欲しい。	男性	70歳以上	無職	北橋地区
高齢者ばかりの地域になり、自治会活動に協力する人が少なくなっている。同じ地区に住みながら個人主義的な考えを持つ方が増え 自治会もなくて良いと考えている人が増えた。	男性	70歳以上	農業	金島地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
民生委員の選出に苦慮している地域が多いと思う。市及び国との問題もあると思うが、もう少し選出の方法やご苦労いただくための弁償金についても配慮が必要ではないか。	男性	70歳以上	その他	古巻地区
地域に高齢者世帯が多くなっている。見守り等に自治会が関わってもらいたい。	男性	70歳以上	無職	金島地区
災害時に避難場所として指定されている建物がとても古いです。避難しようと思える場所が自宅から遠いので、有事の時も避難しないと思います。避難所としての機能を果たせる基準を満たしている建物がどれ位あるのかチェックしてほしいと思います。	女性	30～39歳	アルバイト・パート	北橋地区
高齢者、障害者で家族の協力が出来ない人へのサービス(例えば買物や病院送迎等)をもっと増やすべきだと思います。	女性	50～59歳	会社員・公務員	豊秋地区
今は自分で運転出来るので買い物は行けるけど、将来は運転もできなくなる。	女性	50～59歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	古巻地区
親が障害をかかえる家族の支援がほとんどない。	女性	40～49歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	渋川地区
コロナの為、新しく引越した時、地区での集まりがなくなり、地域の方々とのコミュニケーションがとれない。	女性	60～69歳	会社員・公務員	子持地区
独居の方はそれぞれ相談がある様ですが、家で夫89歳、私も病気あり88歳です。独居の方よりも困る事がたくさんあります。	女性	70歳以上	無職	渋川地区
現在車でゴミ収集場所にゴミ出しに行っているが、将来、高齢化した際に、車の運転ができなくなったり、足腰が弱く歩く事が困難になった時ゴミ出しに行けるか不安である。防災行政無線がほとんど聞こえない。利根川の近くに住んでいるので河川の氾濫がとても心配である。自分の子どもが自分の家の敷地内で遊んでいるが、隣人から公園で遊べと言われる。公園も草だらけで公園横に民家が多いことから公園で遊べない。子供もコロナで我慢することも多くTVゲーム以外の遊び場所、内容に困っている。	女性	30～39歳	会社員・公務員	古巻地区
地域住民の交流がない。	男性	60～69歳	無職	赤城地区
子育て世代としては子どもへの医療提供体制をもう少し充実して欲しい。周囲の知人達も前橋方面まで子どもの受診に行っている人が多い。	男性	30～39歳	会社員・公務員	渋川地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
高齢者が移動する際に雑草が歩道まで浸食し、歩道が無くなってしまふ。	女性	40～49 歳	アルバイト・パート	北橘地区
困っているほどでもないかもしれませんが、ご近所さんをあいさつ以上の仲になれていない。10 年ほど前にこの地域に移動してきたのですが、なかなかなじめません。このままですと孤独な老後となりそうです。	女性	60～69 歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	北橘地区
となり組内の高齢化が進んでいつまで維持出来るか不安です。	女性	70 歳以上	アルバイト・パート	子持地区
今のところはこれといてないです。もう少し年をとったら必要になると思います。	女性	60～69 歳	アルバイト・パート	豊秋地区
高齢、病人もかかえ、通院や買物に交通の不便なこと。	女性	70 歳以上	家事専業 (主婦・夫を含む)	金島地区
高齢者の医療費負担が増加し、生活が心配です。	男性	70 歳以上	無職	赤城地区
一人暮らしで痴呆になっていて、デイサービスには行っても夜は一人なので火災などが心配です。	女性	60～69 歳	アルバイト・パート	渋川地区
住まいの確保。持ち家がないため、今後退職した際の住まいが確保出来るか。	女性	60～69 歳	会社員・公務員	古巻地区
今年主人を亡くし、お墓は来年の夏になりますが、その墓苑から家に帰る交通機関が不便で困っている。	女性	70 歳以上	無職	伊香保地区
高齢者の一人暮らしなので樹木の整理。地域との活動も参加出来るといいと思います。	女性	70 歳以上	自営業・自由業	渋川地区
高齢者の交通マナーが悪いと感じます。	女性	60～69 歳	アルバイト・パート	渋川地区
子どもが遊べる児童館等の施設が必要だと感じます。	男性	30～39 歳	会社員・公務員	渋川地区
共働き家庭の支援を充実させてほしいです。今、一番困っているのがコロナの関係で学校がクラス閉鎖になる場合があります。その時にコロナが理由なので、子どもの世話を親にも頼むことも出来ず、仕事を休むことになり困っています。	女性	30～39 歳	会社員・公務員	古巻地区
どこへ行くにも車を運転出来ない何とも出来ない。	女性	60～69 歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	子持地区
私の妻は 83 歳で車の運転が出来なくなり、病院への通院や買い物等の移動に困っています。	男性	70 歳以上	無職	赤城地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
高齢者ばかりの地域ですと、冬に雪が降っても行政の支援がないと除雪は困難です。	男性	70歳以上	農業	北橋地区
高齢の方の運転をやめさせたいが、交通手段に不安を感じやめてくれない。太田市や大泉町辺りでは、民間事業者の介護施設と協力して予約なしでドア TO ドアでの移動の利用が出来る。渋川もこれからなのだろうが、もっと利用性の良いシステムを作って欲しい。	女性	50～59歳	自営業・自由業	子持地区
用語解説を読み、知らないものが多かった。私だけかもしれないが、分かっていないことが生活を続けている毎日を不便にしている。	女性	40～49歳	その他	豊秋地区
近所に小売店が皆無な状況です。計画したうえで出張販売を実行していただけると嬉しいです	男性	70歳以上	無職	豊秋地区
・近所にお店がないため、買い物など車が運転出来なければ生活出来ない。 ・シルバーセンターの充実して欲しい。	男性	70歳以上	無職	赤城地区
高齢者の運転が危ないと感じます。	女性	18～29歳	会社員・公務員	伊香保地区
交通の利便性を高めるため、地域全体にバスが廻ってほしいです。	女性	70歳以上	家事専業 (主婦・夫を含む)	子持地区
優先駐車場の数が少なく、体に障害があっても交付証が発行される程ではない場合、どこへ行くにも負担が多くとても困る。	女性	40～49歳	会社員・公務員	豊秋地区
資源ゴミや危険物を出すのに、集積所まで遠く、今は車でいきますが、車に乗れなくなったらどうしようと悩んでいます。燃えるゴミを出す場所と同じところだと助かります。	女性	70歳以上	無職	北橋地区
歩道に段差があるためベビーカーで移動しづらい。	女性	30～39歳	会社員・公務員	渋川地区
今年3月より仕事を探していますが、なかなか見つからずハローワークに伺い相談をしていますが、現在のところ仕事が見つからない事でこの先の生活も考えると不安であり、悩んでいます。	男性	60～69歳	無職	渋川地区
私は現在85才で介護支援1で妻と2人で生活しています。これからの先の心配はいろいろあります。	男性	70歳以上	無職	金島地区
近所の空家の土地や畑の草刈りをしています。今は出来ても歳をとると出来なくなり将来が心配です。	男性	60～69歳	会社員・公務員	赤城地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
世代間交流事業の実施	女性	70歳以上	アルバイト・パート	子持地区
空き家問題	女性	30～39歳	アルバイト・パート	北橋地区
小学生等の子どもを2～3時間預けられる、特に夏休み4～5日預かってもらえる学童保育所が欲しいです。	女性	60～69歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	金島地区
子どもを連れて散歩をしたいが、半田地区に歩道がないところがあり、不満である。	女性	40～49歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	古巻地区
・何か困った事、近所の家の環境問題など、どこに相談したら良いかわからない。 ・子供の学校がはじまる前の時間(登校時間)が早い時の預かり施設が欲しい。	女性	30～39歳	会社員・公務員	赤城地区
子供を産みたい気持ちはあるがアパートでは手狭な為、土地を探しているがネット等では希望にそう場所が見つからず、もし行政の方で高齢の為、土地が管理できない等の情報が入るのであれば公表していただきたい。どこへ行けば知れるのか等も知りたい。	女性	40～49歳	会社員・公務員	古巻地区
渋川市に引越してまだ3年なので近くに住む人で相談できる人がいないことが不安です。困ったことに気軽に相談や交流できる場が増えたらうれしいです。	女性	30～39歳	アルバイト・パート	古巻地区
交通手段が車ではなくバスでの場合、バス代が高いです。	女性	60～69歳	アルバイト・パート	渋川地区

## 自由回答

渋川市内の地域福祉について、ご意見・ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。(自由回答)

<行政全般>	40 件
<福祉全般>	25 件
<子育て>	23 件
<特になし>	20 件
<高齢者>	16 件
<情報>	15 件
<激励・満足>	15 件
<交通・移動>	14 件
<アンケート>	11 件
<障害者支援>	9 件
<社協について>	3 件

※<特になし>は掲載しておりません。掲載は地域福祉に関連する項目のみとしております。

### <行政全般>

内容	性別	年齢	職業	居住地区
雨も雲も台風などのおそろしさも知らず渋川の土地の良さを他地区と比べて良い場所と考えています。役員の多くの方々のお世話もありがたいです。今頃になって体が自由にならずまわりの方々のお世話になりうれしいやら恥ずかしいやらの日々であります。何やらお分かりにくい事多々あり申し訳ありません。	女性	70 歳以上	無職	渋川地区
①子持城跡地→城の再現する。②白井を埼玉の川越のように再現する。③イニシャル D に関する全てを再現する。(清水石油をさらに)④市役所を1つに戻して。もう1つを渋川市企業が無料で使える、渋川市のモールを作る。→伊香保の帰りに県外の方がお金を落とす仕組みを作る。⇒①②③④を10年以内で完成し、渋川市にお金が入る流れを作り、若者が他から来るようにする。→結果「福祉」につながります。	男性	30～39 歳	会社員・公務員	渋川地区
本当に困っているのに声が出せない人への支援を考えて欲しい。	女性	60～69 歳	アルバイト・パート	赤城地区
どのような活動をしているか少し詳しく1人暮らしの人への配慮は必要と思います。人を頼むのも大変子供は30分以上かかるので。	女性	70 歳以上	無職	小野上地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
住民は実際に問題に直面しないと考えない。行政は、地域団体と密に話し合いを重ねて解決していくこと重要。住民は予算、経費等考えずに希望のみ言う。要望がある事は、そこに不満、不安があるから要望背景をみながら活動して欲しい。	男性	70 歳以上	アルバイト・パート	赤城地区
福祉の事がもっと知りたい。勉強したいと思います。防犯対策の取組強化をお願いします。	男性	70 歳以上	無職	古巻地区
夜間急患診療所が機能していないので改善して欲しい。良い先生の日もあるかもしれないが、私が行った時は 2 度診察してもらえなかった。①喘息発作で行ったところ、うちでは診られないと、他の病院の電話番号のみ教えてだけで帰された。他病院を受診し即入院となった。応急処置だけでも対応すべきではと思う。②幼児は診られないと前橋の夜間救急を受診するよう言われ、前橋夜間を受診したところ、なぜ洪川の人が前橋を受診するのかと怒られた。(診察はしてくれました。)	女性	40～49 歳	自営業・自由業	子持地区
婦人会、若妻会などがなくなり現在は「長寿会」だけとなりました。しかしながら、入会する人も少なく、コロナでお祭りも 3 年間中止となりました。そのため、地域のコミュニティーがなくなりました。コロナが終息したら年 1 回でいいので地区の集会所等を会場にして、ご婦人の方々にお声をかけて、お食事会・おしゃべりできる機会を地域で開催できれば嬉しいです。	女性	70 歳以上	家事専業 (主婦・夫を含む)	北橋地区
家族に頼らない、家族がいなくても不利益を最小限に抑える社会へとシステム転換になるようにする	女性	70 歳以上	アルバイト・パート	洪川地区
コロナが早く終息し、地域の行事、イベント、ボランティア活動が再開できますようお願いばかりです・	女性	70 歳以上	無職	洪川地区
地域によって福祉のサービスが偏っているように思う。人口の少ない地区は金銭的な補助や物質的な援助、例えば公共交通機関の便数減とかが限られている。人口減への抜本的な対策を実施して頂きたい。めに見えるような対策を考えるべきである。	男性	70 歳以上	その他	赤城地区
行政としての重点課題を市民と共有したうえで福祉の推進を計っていただきたいと思います。	男性	70 歳以上	無職	洪川地区
行政、社会福祉協議会の施策、運営について広報誌等で情報を得ているものの、そういうものかの程度で流してしまっているのが現状です。	男性	70 歳以上	無職	古巻地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
今回のクーポン券 1,000 円で 500 円何であんな複雑なことをするのか分かりません。素直に 500 円なら 500 円の券を使用できる方がずっとありがたく感じます。やっていることがわかりません。だれが考えているのか不思議。有難味がなくなる。役所の仕事だと思う。又、使用できる店が限られて密に。コロナ対策なのに変です。	女性	70 歳以上	家事専業 (主婦・夫を含む)	小野上地区
福祉教育が机上の論理で進んで行っているのではないか。人同士の交流が少なく“助”などに時間をさける気持ちが自然に湧いてこないのは、今の社会情勢が原因か。今回のアンケートは失礼ながら、我身に必要性が出ればいろいろと感心をもてるが、今は分からない事がほとんどで申し訳なく思う。情報も必要では有るが数多く理解するところまで、又、活用するまでに結びつかないのではないか。	女性	60～69 歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	洪川地区
市内でも空室、空き地が多いため、積極的に回収し運営してほしい。老人問題として高齢者低料金アパート、マンションを作って欲しい。また孤独死をなくす為、看護師付、コミュニティー広場付、時間ごとにカメラで確認するなど、いろんな方法を考えてほしい。洪川市の発展のため行政と住民(家庭)が話し合っ	女性	70 歳以上	無職	子持地区
コロナ禍で歩く人が近所でも増え、我が家も健康の為、歩きましたが通る車のスピードが早くヒヤッとすることがたびたびありやめました。歩道を増やし、お年寄りから子供まで健康維持のため歩き、見守りや近所との触れ合いが多少なりとも増えたら暮らし豊かな街になると思う。市民全体がより良い街になりますように。	男性	40～49 歳	会社員・公務員	北橋地区
色々な行事やイベント等をただ紹介する中では、なかなか参加するのに踏み出せない人もいるのではないかと思います。例えば、ひとりでも参加できますとか、スタッフがたくさんいますので心配せずに等、言葉が添えられていれば良いかと思	女性	60～69 歳	アルバイト・パート	古巻地区
地区活動の見える化を推進しなければ活動協力はできなくなって行くと思う。	男性	70 歳以上	農業	金島地区
空家、空地、一人暮らし等が最近多く見受けられるが、防犯、防災、等、近所や自治会までどう取り組むのか、市の方針を我々住民にわかりやすく説明をしていただきたい。	男性	70 歳以上	無職	子持地区
困っている人があっても、個人情報保護の観点から地域の人	男性	70 歳以上	その他	古巻地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
ボランティアや地域の事に興味はあるけれど、積極的に動けないので、参加しやすいシステムとかあったらうれしいです。 例えば、登録制バイトのようなかんじで登録しておいたらボランティア募集とかが送られてきて、可能だったら参加する、といったようなシステム、とにかく気軽に出来るのが良いです。	女性	30～39 歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	古巻地区
渋川市は、福祉は充実していると思います。市の財政大切にして欲しいです。	女性	70 歳以上	自営業・自由業	渋川地区
市内を歩いてみると側溝と道路の段差の多く、高齢者や障害者には移動しづらい	女性	70 歳以上	自営業・自由業	渋川地区
地域住民間交流等交互訪問等	男性	70 歳以上	無職	豊秋地区
仕事をしているので平日は難しいですが、土日など時間のあ る時に出来ることがあればボランティアに参加したいと思いま す。どこでどんな活動をしている団体があるのか、添付の資 料で調べて見たいと思いました。	女性	50～59 歳	会社員・公 務員	渋川地区
今回の意識調査において、地域福祉活動の実施内容につい て知らないことが多々ありました。自治会活動等において、 様々な事業に関わる機会を作る必要があると思いました。	男性	60～69 歳	会社員・公 務員	金島地区
市の職員がもっと個人宅へ訪問した方が良いと思う。積極的 に話を聞いてやったほうが良かれと思います。	その他・ 答えたく ない	50～59 歳	会社員・公 務員	渋川地区
渋川市と合併してからお金を使うものがよく分からない。市民 福祉の向上の為に使って欲しい。	女性	18～29 歳	会社員・公 務員	伊香保地区
沼田市の事例のように、どのような立場や障害を持つ人も、 仕事により社会とつながることができる飲食店みたいな場所 が欲しい。	女性	40～49 歳	会社員・公 務員	子持地区

#### <福祉全般>

内容	性別	年齢	職業	居住地区
渋川市内でも自分としてはわからない所だらけで困っていま す。買い物に行った時にセルフレジのやり方が出来ない時に 車いすの人や体とかいろんな所が不自由の人に説明するレ ジの人がそばにいて欲しいです。(今コロナだからちょっと無理 かもしれないけど)	女性	40～49 歳	その他	豊秋地区
こんな事は無理かと思いますが、今私は妻は入所して5年にな りますが独身者と同じで話し相手が欲しいです。施設に入 っていますが、なかなか面会することができません。	男性	70 歳以上	無回答	赤城地区
地域包括支援センターには、問題のある事例だけでなく取り 残される方がいない様、熱心に訪問も行って欲しい。	女性	60～69 歳	会社員・公 務員	渋川地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
LGBT についての取り組みが遅れていると感じる。その他に災害時にどこに逃げればいいのかも分からない。通行や避難時に活用できる街路灯の設置等も計画的に整備して欲しい。	女性	18～29 歳	会社員・公務員	渋川地区
地域福祉について、自分自身の不勉強に反省しております。これも不自由のない人生を送ってきたからかもしれません。	男性	70 歳以上	その他	豊秋地区
福祉は大切なことです。そのため、もっと地域に目を向け、今何がどれだけ、誰に必要なのかを考えての支援や手をかけてあげられる渋川市になればすごいと思います。	女性	40～49 歳	会社員・公務員	赤城地区
11 月より障がい児を対象とした施設を OPEN することになりました。渋川市は、障害児が通える場所がまだまだ少ないという声をたくさん聴きます。渋川市の子供たち、その家族が笑顔で楽しく暮らせるように私たちも活動しますので、支援をどうぞよろしくお願い致します。	女性	30～39 歳	会社員・公務員	渋川地区
コロナではありますが、地域福祉に関する情報を提供することで、もっと福祉を盛り上げて欲しい。	男性	40～49 歳	無職	赤城地区
社会福祉活動について、知らない事ばかりでした。広報誌をもっと良く読みます。広報もインパクトがないと心に残らない印刷の色がうすいのでスルーする事が多いです。簡潔、簡単明瞭にして下さい。その中で福祉で生きる楽しみをもつ。やる気を記す記事などがあると、福祉の充実にもつながると思います。	男性	60～69 歳	農業	赤城地区
地域福祉の担当であれ、なかろうと、市民の生活向上のため、誠意をもって、がんばってほしいと思います。	女性	60～69 歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	古巻地区
群馬県内で他の地域よりも力を入れている分野が違っているとニュースや新聞を見て感じています。誰が困っているのか、一番必要な援助は何なのかもっと真剣に考えるべきだと考えます。	女性	50～59 歳	会社員・公務員	豊秋地区
これまで福祉関連の施設を利用したことがありません。今後、いつ利用することになるのか分かりませんので、いつでも、気軽に相談できる様な場所があって欲しいと思います。	女性	70 歳以上	家事専業 (主婦・夫を含む)	金島地区
包括に務めている方が、その方の居住地区を担当する事に不安がある。他地域又は、学校区以外を担当して欲しい。今後利用するかもしれないので、知人だと相談しづらいと感じる。	女性	40～49 歳	アルバイト・パート	北橋地区
地域福祉を充実させ、誰にもやさしい住み良い町にしたいと思います。このアンケート自体は高齢者には読むだけでも疲れました。	女性	70 歳以上	その他	渋川地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
今は、自分で動けていますが不自由にならないと色々な福祉活動がどうなっているのかわからないです。これから色々調べて協力出来る事があればしていきたいと思っています。住みやすい渋川になりますように。	女性	70歳以上	家事専業 (主婦・夫を含む)	金島地区
福祉について、関心があるほうだと思っていたのですが、今回のアンケートで、いかに自分が何も知らなかったかがよく解りました。自分自身が活動するには体力的に、又、主人の介護しなければならぬので時間的にも制約があります。	女性	70歳以上	家事専業 (主婦・夫を含む)	金島地区
どんな支援を受けられるのかわからないので、正確な情報発信や説明ができる体制を整備して欲しい。	女性	60～69歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	北橋地区
生活困窮な人へもっと優しく対応すべきなのではないでしょうか。渋川市は、優しさに欠けているような感じがとてもします。人間対人間なので、物ではないので、もう少し心のある対応をしても良いのではないのかなと感じる事があります。	女性	30～39歳	会社員・公務員	赤城地区
私は、家に居る事が多く、地域福祉に関して、知りません。必要も無いと思っていました。地域福祉に携わったことのある人達は良くわかっているでしょうが 私のように家に居る人は知る機会がないです。	無回答	無回答	無回答	無回答
以前、市役所で福祉に関する制度に関する話しを聞きに行った際、対応した職員の態度があまりにも酷いもので悲しい気持ちになりました。人それぞれ性格もありますので態度に出てしまう事もあると思いますが、もう少し優しい気持ちで対応して頂けると、色々な方が相談しやすいのかなと思います。	女性	18～29歳	無職	赤城地区

### <子育て>

内容	性別	年齢	職業	居住地区
子育て支援センター(新しくできてから)を利用した時、部屋によって年齢別になっており母1人子3人では利用できなかった。乳児の部屋に幼女が入ろうとするとだめと言われ、何一つ遊ぶことが出来なかった。障害持ちの子は利用できないんだと感じた。ケースバイケースで相談の上利用可能にして欲しい。	女性	40～49歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	北橋地区
子育て支援で、他市町村で取り組んでいる高校生の医療費無料化を渋川市でも実施してほしいと思います。	男性	40～49歳	会社員・公務員	古巻地区
保育料の無料化はとても助かっています。子育て支援センターをよく利用していましたが、職員さんに色々相談が出来て良かったです。	女性	30～39歳	アルバイト・パート	豊秋地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
子供が渋川市に転入予定で保育料の無償化や新築に対して補助金が出るのと伺っている。子供にとっては有難いことだが、市民に対しての税金は今後高くなるのが心配。ましてや子供たちが年を取った時に市民税が高くなっているようでは困る。	男性	60～69 歳	自営業・自由業	渋川地区
渋川市内にも中学生・高校生を対象とした就労支援準備型の放課後デイサービスを作って欲しい。将来の就職に向けて準備を出来ることをなるべく早く身につけさせてあげたい。	女性	50～59 歳	会社員・公務員	北橋地区
以前、吉岡町に住んでいた時に「児童館」という施設があり、子供がよく利用していました。この施設のおかげで、子供同士、親同士のつながりが出来たと思っています。(※学童ではありません)このような施設の存在は特に小さな子供を育てる世代にはありがたいものであると思います。そしてそういった施設の充実(例えば市内に1ヶ所なのではなく、複数存在している。物理距離的に「行きやすい」と感じられるところにあること等)はこれからの世代に対する渋川市の魅力をアピールすることともなると思います(市の少子化対策の視点からも有用ではないでしょうか。)なお、このような施設は極端に設備等を整える必要はないと思います(子供は子供同士で集まれば、それで楽しく勝手に遊びを發明する。親は親同士でおしゃべりして充実感を感じる。重要なのはそういった「場所」が近場にあること)施設の新設も出来れば良いですが、例えば地区の住民センターのような施設の空き時間を活用する、という方法もあろうかと思えます。	男性	40～49 歳	会社員・公務員	豊秋地区
・高校生までの医療費無料化 ・交通弱者、移動手段がない人への支援	女性	40～49 歳	アルバイト・パート	豊秋地区
地域包括支援センターですが、総合的に支援しますとありますが、どこまでの範囲なのか分かりません。別居している老夫婦が片方アルツハイマー初期になったようで、夫婦間がうまくいっていないので別居家族(子ども)が頭を悩ませている所です。家族の相談窓口(支援センター以外)を増やして作った方が良いと思います。	男性	60～69 歳	自営業・自由業	古巻地区
県内の市町村で比較しても、渋川は子育てや生活するうえで暮らしやすいと思います。子育て世代に対してこれからも暮らしやすい市であって欲しいと思います。	女性	18～29 歳	会社員・公務員	古巻地区
渋川市に小児科や産婦人科を増やして欲しい。小児科が少ないのでかかりつけ医が見つげづらい。	女性	18～29 歳	会社員・公務員	古巻地区
学童の補助をしてほしい	女性	30～39 歳	アルバイト・パート	北橋地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
子供の貧困が増えているとテレビで見た。もしかしたら食事を3食とれていない子供が近くに居ないか心配だ。自分たちの子育て中ならば自分の子供を通じてわかる事もあったけど接する機会がまったく無いので子供食堂をぜひ開いてほしい。だからと言って親が仕事していて忙しく作るのが大変だからではなく、貧困の家庭の子供さんを支援するために。	女性	50～59歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	古巻地区
ひとり親家族の子育て支援についてですが、ひとり親だから支援が必要とひとくりにするのはどうかと思うところがあります。把握するのは難しいですが、ひとり親でも背景に助けられる親がいる。収入に困っていない人への支援より子供が多い親、親の収入が少ない子供への支援(お金だけではなく心の支援も)考えていただけたらと思います。それから高齢者についても外に出たがらない人も医療へつなげられる支援があったら嬉しいです。訪問医療の充実。同居家族がいても本人の意志が強く病院や介護支援につなげられず、困った経験をしています。同居家族がいるから気にかけてもらうことが減るのではなく、状況を聞いて情報をくれたり対応してくれる見守り支援が欲しいです。	女性	40～49歳	会社員・公務員	豊秋地区
子育て世代としては、こども発達相談室を開設していただいたのはとても嬉しく思います。ですが、きちんとした福祉制度があるにも関わらず、教育現場(保育園、幼稚園、学校)に何も浸透しておらず、教育者が療育を何も知らないように感じます。子供たちが過ごしやすい地域であって欲しいと思います。	男性	40～49歳	自営業・自由業	子持地区
子育てをしている家庭には、ありがたい事が多いと思うが 子どものいない人や高齢者は税金がどんどん上がって 不安な生活をしている人達がたくさんいると思う。若い人達が渋川市に住み続けて、もらえるようなところにして欲しい。	女性	30～39歳	アルバイト・パート	古巻地区
幼児期の子育て支援については手厚いと思ったが、小学校に入ると急に支援が手薄になる。学校と学童に丸投げではなく、学校以外の居場所となる施設(児童館)や相談先があると良いと思う。	女性	30～39歳	アルバイト・パート	古巻地区
自治会も高齢化が進み、自治会活動も限界を迎えている地域もあると思います。若い人の人口が増加する対策と子どもを育てやすい環境づくりに取り組んでもらいたい。	男性	60～69歳	自営業・自由業	渋川地区
物価高騰により家庭へのダメージが大きい中、子ども達の健康のためにも学校給食の見直しをしてほしい。(肉がひき肉多めになっているという話を聞いたため)改悪するのではなく、子ども第一に考えて予算を追加できないものなののでしょうか。	女性	30～39歳	会社員・公務員	渋川地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
乳児を連れていった時の授乳室がほしい(本庁舎)赤ちゃんのオムツ替えのトイレはあるが、大人のオムツ替え出来るトイレがないので設置して欲しい。福祉証がもらえると思う人に、案内が出来るような(通知)をして欲しい。高齢者でもなく、障害の程度が低い人は、相談できることも知らないと思われるので その人達をすくえる制度が欲しい。	女性	60～69 歳	アルバイト・パート	伊香保地区
給食費が不足しているのかと新聞記事を見て気になりました。無償化を続けるより、その分、学校備品費やタブレットへお金をまわしてもらいたかった。現行の機器は故障が多すぎます。もっといいタブレットが入ればいいと思います。市内に旧町村の体育館が沢山あるのだから、その一角にボルダリング等の室内遊具を設置していくと、子どもを育ててとても有難いです。(子育て世帯も増加するのではないのでしょうか?)市の人口を増やすのはもちろん高齢者福祉も大切ですが、子育て福祉、児童福祉に特に力を入れていく必要があると思います。	男性	30～39 歳	会社員・公務員	渋川地区
高齢者への福祉も必要ですが、小さい子どもが自分の意思で生きていけるようになるまで虐待やいじめで辛い思いをしないような、まして死んでしまう事がないような世の中にしないといけないと思います。	男性	30～39 歳	会社員・公務員	北橋地区
これから子育てしていく予定なので子育て支援や子育て中の人々がコミュニケーションをとれる場が増えたらうれしいです。	女性	30～39 歳	アルバイト・パート	古巻地区

### <高齢者>

内容	性別	年齢	職業	居住地区
”老々介護”をしている人がいても市で把握出来ていない。困っていても本人が「困っている」と言えない人もいる。それを調査して”困っていても言えない人”に手を差し伸べて下さい。	男性	50～59 歳	会社員・公務員	金島地区
公共施設の空きスペースを高齢者が集う場所として利用する、例えば、内職程度の手仕事しながら、コミュニケーションがとれる居場所などに活用してはどうだろうか。	女性	70 歳以上	家事専業 (主婦・夫を含む)	北橋地区
私は前原団地に住んでいます。一人暮らしの高齢者が多いです。一人一人に福祉の声が届いたらもっと楽しく一日を過ごすことが出来る気がします。	女性	70 歳以上	その他	渋川地区
一人暮らしのゴミ出しについて、特に高齢者で車の無い状態の人に対して市の清掃車(軽トラくらい)の援助がほしい。自己申告してもらい、各家庭を周り収集して欲しい。	女性	70 歳以上	無職	子持地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
介護保険における要介護認定に時間がかかりすぎるように思います。	女性	60～69 歳	無職	北橋地区
渋川市内の地域福祉にあてはまるか分かりませんが、在宅高齢者福祉サービスの《生活援助食事サービス》について対象者が、市内在住で疾病等により調理ができない 65 歳以上の高齢者世帯に限るのは、いかがなものでしょうか。在宅介助者は、65 歳未満であるならば、生活の為、就労している（パート・アルバイトでも）人が多く、時間も限られ介護者に朝・昼・晩食事を作るのは、大変な労力です。65 歳未満でもサービスが、受けられるようには、ならないのでしょうか。在宅介護の現状に合っていないと感じています。	男性	50～59 歳	アルバイト・パート	渋川地区
高齢化のため、ボランティア活動が出来なくなった事、自分の出来る事があつたら活動したいと思います。	女性	70 歳以上	家事専業 （主婦・夫を含む）	豊秋地区
高齢者(1 人ぐらし)宅に救急自動連絡装置の様な物が有つたらと思います。	女性	70 歳以上	家事専業 （主婦・夫を含む）	渋川地区
地域福祉はとても関心がありますが高齢のため参加出来ません。是非とも力を入れていただきたいと思います。行政と住民が協力して住みよい社会を期待しています。	女性	70 歳以上	無回答	北橋地区
特養等施設の安全管理について、現状を実際に確認して必要な指導を行っていただきたい。真に支援が必要な人が必要な支援を受ける事が出来る仕組みづくりをお願い致します。	女性	60～69 歳	会社員・公務員	古巻地区
どこにどんな老人が住んでいるのか知って欲しい。	女性	60～69 歳	アルバイト・パート	渋川地区
皆忙しいでしょうがボランティア・町内の役員に一声呼びかけて、地域での見守りをして欲しいです。主人・息子 2 人も他界しての独居老人は何時も悲しく寂しく何の希望も無く生活していくことさえ大変です。	女性	70 歳以上	無職	渋川地区
要介護などになった時、どんな支援が受けられるのか等の申請に行った時、一覧表にしたものを配布していただけると有難い。過去に夫がアルツハイマーになった時、人から聞いて受けられる支援の度に何度も申請に行ったが、（一つの書類で済むものを何度も市役所に足を運んだ）全部の申請が済んでから一覧表を渡された。	女性	70 歳以上	無職	渋川地区
もっともっとお年寄りを大切にしたい。何でも出来る事があつたらしてやりたい。こんなことが自然に出来る社会に！！	女性	60～69 歳	家事専業 （主婦・夫を含む）	金島地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
高齢になった時、個々困り感は違うと思うので、各々に合ったきめ細やかな支援、サービスが迅速に行われる事を望みます。気力、体力も衰えてくるので、担当者の支援が心強くなってくると思います。	女性	60～69 歳	アルバイト・パート	渋川地区

<情報>

内容	性別	年齢	職業	居住地区
情報を積極的に流して欲しい。	男性	70 歳以上	無職	渋川地区
今回このアンケートが来るまで、地域の事や行政のサービスについて考えた事やボランティア等もやった事もないので知らない事ばかりでした。行政からのお知らせももらってはいたけれどいろいろ思う事もなく受け取っていました。地域にも目を向けるきっかけにしたいと思いました。	女性	60～69 歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	赤城地区
ラインなどで情報をもらうほうが見る。仕事で家に居る時間が少ないため、広報はあまり見る機会が無い。	女性	30～39 歳	その他	古巻地区
市の地域福祉の施策がどの様に行われているのかを、ほとんど知らない為、あまり参考になる意見も言えない。もっと市民にどのような施設・支援があるのかわかる様にして頂きたいと思えます。	女性	60～69 歳	会社員・公務員	子持地区
広報誌は意味がない。その予算で巡回、見回り等の人員を確保し直接訪問などした方が良い。役所の人員を削減しても良いのでシルバーや退職者など、時間に余裕のある人の巡回が良い。役所は各課で仕事が細かすぎるので仕事量が多くなってしまい職員が不足と言っているが、責任逃れ部分など余分な仕事を減らせば減員出来る。いまのままの各広報誌では見る人がいると思えない。	男性	50～59 歳	その他	赤城地区
市で行っている地域福祉の施策や市民が受けられる福祉サービスなどの全体像が分かりづらいため、福祉ハンドブック的なものを作成して配布して欲しい。	男性	60～69 歳	農業	小野上地区
定期的に情報発信されているのですが、小冊子等すぐはどうすれば良いかわかるものが欲しいです。(今回の巻末資料のようなものを拡充したイメージ、例えばマニュアル等、完全版的なもの)	男性	60～69 歳	無職	古巻地区
いずれの支援センターも、広報や情報発信が乏しいのでは、わからない人も多いと思う。	女性	60～69 歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	渋川地区
どのような福祉活動があるのか皆に分かりやすい様に提供していただきたいです。そうすれば各々出来る活動に参加できるのではないのでしょうか。	女性	60～69 歳	会社員・公務員	小野上地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
地域福祉について渋川市と他自治体を比較した情報が欲しい。たとえば、前橋市と渋川市での違いとか。	男性	40～49 歳	会社員・公務員	渋川地区
全体的に知らないことばかりです。もっと認知してもらえたいがあればよいと思います。	女性	30～39 歳	会社員・公務員	赤城地区
福祉相談の場所がわからない人は、どこに連絡したら分からない。	女性	60～69 歳	アルバイト・パート	渋川地区

#### < 激励・満足 >

内容	性別	年齢	職業	居住地区
渋川市に任せます。お願いします。自分は見守るだけです。宜しく。住めば都ですね。自分余生を送ります。	男性	60～69 歳	その他	渋川地区
満足しています。	女性	70 歳以上	農業	赤城地区
福祉これからもよろしくお願いします。	女性	70 歳以上	無職	金島地区
本人が重度の痴呆症になって、専門の医療機関へ令和 2 年 11 月に入院させていただき、各方面の方々の大変お世話になりました。感謝ばかりです。	女性	70 歳以上	その他	子持地区
日頃大変お世話になっております。今後ますます高齢者の時代になっていきますが、私も又、高齢者として面倒をおかけすると思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。	女性	70 歳以上	自営業・自由業	渋川地区
おかげさまで家族4世代すこやかに安心して暮らすことができしております。ありがとうございます。これからも支援が必要な方が声を上げやすい環境を整えていただければ嬉しいです。誰もが安心して生きられることは私たちの使命だと思っていますので。意識調査に回答させていただき、とても勉強になりました。	女性	40～49 歳	アルバイト・パート	赤城地区
他の市町村と比べ充実しています。ただし、制度を知っている事が前提となっています。	男性	40～49 歳	会社員・公務員	子持地区
このアンケートを拝見して初めて知る支援や団体がほとんどでした。市民の為に多くのサポートを用意して下さいありがとうございます。渋川市は市民への思いやりが深く、とても住みやすいです。コロナのワクチン接種の速さには驚きました！クーポン券もどのお店で使おうかと楽しみが増えました。市役所の方々の対応も優しく、渋川に引っ越してきて正解でした。いつも市民の生活を考えてくださり感謝しています。大変な時期が続きますが、皆さまもご自愛ください。	女性	40～49 歳	自営業・自由業	渋川地区
東日本の時、千羽ツルを被災地に送ってもらった。感謝しました。	男性	70 歳以上	無職	金島地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
がんばって下さい。	男性	70歳以上	農業	渋川地区
よくやっていると思う。	女性	70歳以上	無職	渋川地区
子持村は自然に恵まれ行政も良いので住み良いと思います。	女性	70歳以上	無職	子持地区
ボランティアには感謝しています。	女性	70歳以上	無職	豊秋地区
日々の業務お疲れ様です。これからも渋川市に住み続けたいと考えているので、よりよい地域づくりのため、宜しくお願いします。住民として出来ることはしたいと考えています	女性	30～39歳	会社員・公務員	古巻地区
お疲れ様です。日頃の取り組みに感謝しております。	女性	40～49歳	アルバイト・パート	子持地区

### <交通・移動>

内容	性別	年齢	職業	居住地区
行動する交通がない。	男性	70歳以上	無職	渋川地区
内容	性別	年齢	職業	居住地区
これから日本は世界でも例を見ない超老人社会になろうとしています。これをどう乗り切るか世界の注目の的になっています。交通アクセスの利便性は重要だと考えます。老人が病院、買い物、施設に行くために、こまめな小型バスの運行はこれから必要になるでしょう。	男性	60～69歳	無職	北橋地区
巡回バスが複数の線で使えるように工夫していただくと高齢者の免許返還が安心して行えるので検討をお願いします。(前橋の富士見方面では電話予約で巡回してくれるようです。)	女性	60～69歳	会社員・公務員	渋川地区
半田に住んで9年目。現在は車で買い物に行けるが、間もなく免許返納しなければと思いますが、近くにスーパーもなく不安です。また、この辺りは高齢者が集うような所はなく、何か考えないとこれまた不安です。近くに住む親族は高崎の大きな施設の車が玄関まで迎えに来てくれ喜んで週2回通ってます。渋川にもあると思いますが身体を動かし、おいしいものを安価で食べお風呂に入って帰ってくるそうです。渋川市にも他にない良い所が沢山あり、益々住みやすい町になるようお願い致します。	女性	70歳以上	その他	古巻地区
コミュニティバスの利用状況がわからない。希望するが利用していないのではないかと。せまい市道にタウンバスが多く走っていて乗っていないのが、多く危険ではないかと。必要時に合わないで利用していない人の声を聞くことがある。	女性	70歳以上	家事専業 (主婦・夫を含む)	伊香保地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
車社会となってから、バス利用客が減ったためか、土日祝日でも病気になる事もあると思うが、通常でも少ない交通機関のバス運行がないのは免許返納後、一人暮らしの人にとっては困ることが多いと思う。子持地区に住んでいるが、巡回バス(どこをどのように走っているか？バス停はどこにあるか？知らない)広報等で改めて知らせを載せてくれたらありがたいと思う。	女性	70歳以上	無職	子持地区
今後、タクシーなどを買い物に利用する可能性があるためタクシーを利用しやすく(料金含めて)してもらいたい。	男性	60～69歳	会社員・公務員	古巻地区
赤城地区にもデマンドバスが欲しい。	女性	40～49歳	無職	赤城地区
市内巡回バス「福祉のあし」は必要な方たちにとってはとてもべんりだと思うので、もっと巡回コースを市内全域に広げられると良いと感じます。	女性	50～59歳	アルバイト・パート	子持地区
スーパーなどに買い物に行く支援と共に、移動スーパー等に力をいれて欲しい。	女性	18～29歳	学生	古巻地区
沼田市に比べて送迎支援が少ない(乗り合いバスなど)のではないかと感じる。	女性	40～49歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	渋川地区
タクシー利用客は大変助かっています。病院通いが多いので5ヶ月位で終わってしまいます。もう少しいただけるととても助かります。	男性	70歳以上	その他	渋川地区
現在は車を運転しておりますが、年齢が高くなった時は心配です。	女性	70歳以上	家事専業 (主婦・夫を含む)	金島地区
車の免許を返納したら全く行動出来ない(目的の場所のどこにも行けない)地域に住んでいるので巡回バス等の充実をお願いしたい。敷島駅周辺を活性化してもらいたい(スーパー、食堂、喫茶店など)そして駅周辺に、お稽古事やデイサービスに行かなくても、人と交流できる場所を設けて欲しい。子持地区の商業地域集積する周辺に色んなものを集結(例えば医療、遊園地、フィットネス、福祉等)させて楽しめて遊べて、相談も出来て交流も出来る。そんな施設を作って欲しいです。	女性	60～69歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	子持地区

#### <アンケート>

内容	性別	年齢	職業	居住地区
高齢者ばかりの町では正直言って福祉は回りません。若い人がくる街づくりが必要です。(職場や住まいなど)…アンケートの冊子の構成が良くないと感じます。用語解説はアンケートの前にあると良いと思います。	男性	50～59歳	会社員・公務員	渋川地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
「QRコードを使用したアンケート調査でも良いのではないですか」全ての年齢の人を対象には出来ないと思いますが、スマホをもっていない人の方が少ない現状を考えると、郵送は遅れているのではと思いました。切手代、紙代、集計等の人件費の削減になると思いました。QRコードは一例にすぎませんがもっとITを活用した方法がお得ではないでしょうか。	女性	50～59歳	会社員・公務員	北橋地区
今後より高齢化が進むであろう地域で、渋川地区以外に目を向けたことはあるのか？放置であり情報もくわしいことはHPなど、高齢者が知るわけがない。こんなアンケートをとるのであれば、しっかり意見として取り入れ改善に努めるべき。雪が降ったらボランティア等、赤城地区方面に行かせたり、頭を使うべき。何も意味を持たせないアンケートであれば紙のムダなので、今後送らないで頂きたい。別のところにかけるべきお金ではないか、全体で考えるべき。	女性	30～39歳	会社員・公務員	赤城地区
市民の年代によつてのアンケートはやはり必要だと思います。	女性	50～59歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	古巻地区
用語解説 1-21 しぶかわ広報に毎回 1 つずつ紹介してもらつと多くの人があるチャンスが増え、困っている人も助かる人がいるのではないのでしょうか？知る機会がないのものがあつます。	女性	60～69歳	家事専業 (主婦・夫を含む)	古巻地区
だらだらと同じ様な内容のアンケートが長すぎ、最後は飽きる。忙しい中のアンケートはせめて 3 ページ程度が良い。	男性	40～49歳	自営業・自由業	渋川地区
用語解説は最後でなく最初の頁にあつてほしかった。とにかく知らないことがあり過ぎて答えるのが難しかった。それに問 1 2 のように LCT とか LGBTQ は分かりにくい。もう少し分かりよい言葉が良かった。最後の用語解説で分かりました。カタカナ文字が多い。	女性	70歳以上	無職	古巻地区
今回のアンケートについて、金を使つても、専門で実績のある、コンサルタントをお願いして、中身の濃い、結果が生きるアンケートをお願いしたい 今回のアンケートで何が良く弱点はなんだつたか分かりますか？効率の良い結果で、将来に生かされますよう、願つています。	男性	60～69歳	会社員・公務員	赤城地区
こういうアンケート自体、行政の自己満足のためではないか。	男性	60～69歳	無回答	渋川地区
ネットでの回答もできるようにしていただきたい。	女性	40～49歳	会社員・公務員	渋川地区

<障害者支援>

内容	性別	年齢	職業	居住地区
うちは会社経営をしているので個人の履歴書を見る機会がありますが障害者に簡単にお金が市から払われているのに驚きます。ひとり親家庭にも支援が手厚いのか仕事にも真剣味が足りない気がします 特に障害者はよく調査して支援してほしいです	女性	60～69 歳	自営業・自由業	豊秋地区
数年前の事ですが、ある病院でのこと。障害者と思われる人と付き添いの人が来院され、付き添いの人が障害者に対してものすごい口調で叱りとばしていました。障害者の方は体調が悪くてきているのに加え、大勢の人の前でどなられてどんなに心細くみじめな思いだったか。障害者に関わる方の品性、思慮に関する教育をして欲しいと思います。	女性	70 歳以上	家事専業 (主婦・夫を含む)	渋川地区
59 歳の夫、脳出血により7年間左半身麻痺で未だ社会復帰できずにいますが、思うように体が動かない絶望感で暗いです。デイサービスを利用して介護サービスでの年寄りばかりと嘆いています。その場では「若いんだから」と周りに言われるみたいで、そういわれてもうまくできず、思うように出来ず、いやになってしまうようです。前向きになれるよう推すのですが、かえってふさぎ込んで周り(家内)にも悪循環です。福祉的にも本人が踏み込める何かがあると助かります。※介護サービス受けるにあたり「会議」と称してケアマネなど家訪問に時間を費やすのも、子供の教育にかかる家には大変苦痛でした。「ご家族」とはいえ逆に煩わしくなってしまう時があります。病気ひとつで本当に狂う家庭はあると聞いたことがあります。変に納得しました。※加齢による介護なども遠くはない未来で、意識して普段生活を送るようにしています。逆に自分の子どもにも孫活できるよう健やかにいたいと思うようになりました。	女性	40～49 歳	アルバイト・パート	古巻地区
圧倒的に老人ホーム・老人介護施設は沢山ありますが、障害者施設があまりにも少なすぎる。もっと増やしてほしい。用語解説が最後に書いてあるのを知らなかった(案内がない)	女性	50～59 歳	無職	豊秋地区
私は体が不自由なので、地域福祉は知ることが出来ません。廻りとの付き合いができません。体が不自由に動かすが出来ませんので人様と付き合いはいたしておりません。	女性	70 歳以上	無回答	北橋地区
渋川医療センターが休日外科の当番医であったが、コロナ禍の為か、断られ市外の他院を紹介された。何の為の当番医かと大変疑問に思った。歩行者、車等運転者の為にも市内の横断歩道の白線をしっかり塗り直してほしい。	女性	50～59 歳	無職	金島地区

内容	性別	年齢	職業	居住地区
交付証の発行条件を見直して欲しい。マニュアルにとらわれずに、目で見て考えていただけないでしょうか。困っている人は多くいると思いますが、“決まり”が最優先になっている気がして、助けが必要な人に手がまわっていない現実を多く見ます。	女性	40～49 歳	会社員・公務員	豊秋地区

#### <社協について>

内容	性別	年齢	職業	居住地区
社会福祉協議会の趣旨が市民に理解されているかが疑問がある。	男性	70 歳以上	無職	赤城地区
社会福祉協議会で車いすを借りました。きれいで使用方法も丁寧に教えていただき大変助かりました。手続きも簡単だったので、何かあれば次回も借りたいと思っています。	女性	40～49 歳	アルバイト・パート	北橋地区
社会福祉協議会の意味がない。	男性	60～69 歳	無職	赤城地区

## 第2期茨川市地域福祉計画・第3次茨川市地域福祉活動計画 策定のための市民意識調査

ご協力をお願いします

市民の皆様には、日ごろから市政及び社会福祉協議会の活動について、ご理解とご協力をお願いいたします。

茨川市及び茨川市社会福祉協議会では、だれもが住みなれた地域で、安心して暮らせる「まちづくり」のため、市民・関係機関・行政が連携し、住民相互が助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりを目指して、平成31年3月に「茨川市地域福祉計画」の見直しを行い、「第2次茨川市地域福祉活動計画」を策定しました。

この計画の評価及び次期計画の策定に向けて、本調査を実施し、市民の皆様様の福祉観、地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、計画に反映していきたくないと考えているものです。

なお、回答につきましても無記名で行い、結果については、計画策定のための資料として活用し、個々の回答内容や個人情報情報が公表されることは一切ございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年9月

茨川市長 高木 勲  
茨川市社会福祉協議会長 萩原 進

<ご記入にあたってのお願い>

- ◆ご回答は、お送りした封筒のあて名ご本人にお願いします。
- ◆ご回答は、あてはまる答の番号を○で囲んでください。
- ◆回答する○の数はそれぞれ異なります。( )内のことわり書きに従ってご記入ください。  
( )がない場合、回答する○の数は1つです。
- ◆「その他」と回答した場合には、( )内に具体的な内容をご記入ください。
- ◆ご記入いただいた意識調査票は、(令和4年9月30日(金)までに、同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。
- ◆この調査に関するお問い合わせは、下記まで、お願いします。

<問い合わせ先>

茨川市 福祉部 地域包括ケア課 管理係 TEL : 0279-22-2250  
FAX : 0279-22-2327  
茨川市社会福祉協議会 総務企画課 TEL : 0279-25-0500  
FAX : 0279-25-1721

## 第2期茨川市地域福祉計画及び第3次茨川市地域福祉活動計画 策定にむけて

### 1 地域福祉とは

地域福祉とは、だれもが地域において安心して生きがいを持って生活が送れるよう、ともに支え合い、助け合う地域づくりを進めるとともに、市民・福祉関係団体・社会福祉協議会・行政などが相互に協力する仕組みを築くことです。

そのためには、地域のことをよく理解している地域住民自らの手による地域共生社会の実現が重要です。

### 2 地域福祉推進のために

地域福祉を推進していくには、市民・福祉関係団体・社会福祉協議会・行政などが、それぞれの役割の中で、お互いに力を合わせる関係をつくり、「自助・互助・共助・公助」を重層的に組み合わせた「地域ぐるみの福祉」の推進が重要となります。

近年多様化している生活課題の解決に向けては、「公助」である公的サービスだけでなく「互助」や「共助」の役割が大きくなっていきます。「互助」は、地域の中でのボランティアや地域活動、「共助」は制度化された地域ぐるみの助け合いや支え合いを意味しており、これらを推進していくためには市民の協力が不可欠となっております。

■「地域ぐるみの福祉」の推進イメージ



地域のことや、日ごろ感じる生活の課題などを一番よく知っている、地域の皆さんの参加と協力が不可欠となります。

日頃感じている課題や地域に対する意見をお聞かせください！

## あなたのことについて

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

1. 男性                      2. 女性                      3. その他、答えたくない

問2 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

1. 18～29歳                      2. 30～39歳                      3. 40～49歳  
4. 50～59歳                      5. 60～69歳                      6. 70歳以上

問3 あなたの職業を教えてください。(1つに○)

1. 会社員・公務員                      2. 農業                      3. 自営業・自由業                      4. アルバイト・パート  
5. 家事専業(主婦・夫を含む)                      6. 学生                      7. 無職                      8. その他( )

問4 あなたの現在の同居の家族構成を教えてください。(1つに○)

1. ひとり暮らし                      2. 夫婦のみ                      3. 親もしくは子(2世代)  
4. 親と子と孫(3世代)                      5. その他( )

問5 あなたは18歳未満の子を育てた経験がありますか。(1つに○)

1. 現在、子育て中                      2. 過去に子育て経験がある                      3. 子育て経験はない

問6 同居のご家族に介護や日常生活の支援が必要な人はいますか。(1つに○)

1. いる                      2. いない

問7 あなたのお住まいの地区を教えてください。(1つに○)

1. 茨川地区                      2. 金島地区                      3. 古巻地区  
4. 豊秋地区                      5. 伊香保地区                      6. 小野上地区  
7. 子持地区                      8. 赤城地区                      9. 北橘地区

問8 あなたは茨川市にお住まいになって何年ですか。

市町村合併で茨川市になった場合は旧町村の頃も含めてください。(1つに○)

1. 1年未満                      2. 1年以上5年未満                      3. 5年以上10年未満  
4. 10年以上20年未満                      5. 20年以上

## 地域でともに支え合う生活のために

問9 あなたは、現在周囲にお住まいの人とのような付き合いをしていますか。(1つに○)

1. 困ったときに助け合えるような親しい人がいる                      2. お互いに訪問し合う人がいる  
3. 立ち話のできる人がいる                      4. あいさつを交わす程度の人がいる  
5. ほとんど付き合いがない                      6. どんな人が住んでいるか分からない

問10 あなたは、今後周囲にお住まいの人との関わりをどのようにしたいですか。(1つに○)

1. とても親しくしたい                      2. ある程度は親しくしたい                      3. あまり親しくしたくない  
4. 親しくしたくない                      5. 分からない

問11 あなたは、現在周囲にお住まいの人が困っている時に、あなたができるのはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 日常の見守り・声かけ                      2. 話し相手                      3. 食事の支度  
4. 掃除・洗濯                      5. ごみ出し                      6. 買い物  
7. 子どもの送り迎え                      8. 子どもの預かり                      9. 外出時の付き添い  
10. 災害時の避難支援                      11. 電球や蛍光灯の交換                      12. 特にない  
13. その他( )

問12 あなたが困っている時に、周囲にお住まいの人にもしてもらいたいことはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 日常の見守り・声かけ                      2. 話し相手                      3. 食事の支度  
4. 掃除・洗濯                      5. ごみ出し                      6. 買い物  
7. 子どもの送り迎え                      8. 子どもの預かり                      9. 外出時の付き添い  
10. 災害時の避難支援                      11. 電球や蛍光灯の交換                      12. 特にない  
13. その他( )

問13 あなたは日常生活で不安を感じていることがありますか。(上位3つまでに○)

1. 自分や家族の健康                      2. 自分や家族の老後                      3. 乳幼児の育児  
4. 子どもの教育や将来                      5. 仕事                      6. 収入・生活費  
7. 家族間の問題                      8. 周囲に暮らす人との関係                      9. 住環境  
10. 防災・防犯                      11. その他( )                      12. 特にない

問14 あなたが日常生活で困った時、相談するのはどなた(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 同居の家族
2. 同居していない家族
3. 親戚
4. 友人・知人
5. 周囲に暮らす人
6. 職場の人
7. 市役所
8. 社会福祉協議会
9. 医療機関
10. 保育所・幼稚園・こども園・学校
11. 民生委員児童委員
12. NPO・ボランティア団体
13. 障害福祉なんでも相談室
14. 地域包括支援センター
15. 相談相手がいらない
16. 相談先が分からない
17. その他( )
18. 人には頼らない

問15 住民同士がお互いに助け合えるのは、どの範囲だと思いますか。(1つに○)

1. 周囲に暮らす人
2. 自治会
3. 小学校区
4. 中学校区
5. 旧市町村
6. 茨川市内
7. その他( )

問16 今後、地域のだれもが安心して生活するために、特に地域で取り組むべき課題は、どのようなものがあると思いますか。【上位3つまでに○】

1. 周囲に暮らす人とのコミュニケーション(あいさつなど)
2. 地域活動への参加(自治会・祭りなど)
3. 防災・防犯活動(地域の見守り・パトロールなど)
4. 若者と高齢者との交流(交流行事の企画など)
5. 地域活動の担い手育成(自治会役員など)
6. 高齢者や障害者の支援(日常の見守りなど)
7. 子育て世帯への支援(見守り・相談など)
8. 独居世帯への支援(見守り・家事手伝いなど)
9. 交通弱者への支援(外出時の付添いなど)
10. 買い物弱者への支援(買い物代行など)
11. 子ども・大人のいじめ問題(啓発・相談など)
12. 生活マナー問題(ごみ出し・ベントなど)
13. 民生委員児童委員と地域との関係(相談・情報共有など)
14. 災害時の避難体制(要援護者への支援など)
15. その他( )
16. 特に課題はない

問17 今後、地域のだれもが安心して生活するために、茨川市に必要なものには、どのようなものがあると思いますか。【上位3つまでに○】

1. だれもが立寄れる居場所づくり(コミュニティカフェ等)
2. 高齢者、障害者でも参加しやすいイベント、行事の開催
3. 障害者が利用できるトイレ等の情報地図の設置及び配布(ICTの利用を含む)
4. 移動手段を持たない人が利用できる公共交通の整備
5. 公共施設のバリアフリー化
6. 障害者に配慮した公衆トイレの設置
7. 外国人が利用できる楊示板、案内地図の設置及び配布(ICTの利用を含む)
8. LGB T Qに配慮した公共施設の整備及び情報の配布(ICTの利用を含む)
9. 社会的孤立を感じる人への相談窓口の設置
10. 就労支援のための研修の実施
11. その他( )

## 地域活動・ボランティア活動について

問18 あなたは現在、地域活動(自治会・子ども会育成会など)に参加していますか。(1つに○)

1. 参加している → 問18-1へ
2. 参加していない → 問18-2へ

問18-1 どのような地域活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自治会活動
2. 防災活動
3. 交通安全・防犯活動
4. 清掃・美化活動
5. 子どもの健全育成活動
6. スポーツや趣味・学習の活動
7. イベントへの参加
8. 高齢者に対する福祉活動
9. 募金への協力活動
10. その他( )

問18-2 地域活動に参加していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 参加したい活動がない
2. 参加方法が分からない
3. 仕事が忙しい
4. 家事や育児が忙しい
5. 家族の介護が忙しい
6. その他の活動をしているため(ボランティア活動等)
7. 活動するための費用がない
8. 一緒に参加する仲間がいらない
9. 以前不快な思いをした
10. 関心がない
11. その他( )
12. 理由はない

問19 あなたは、ボランティア活動に関心がありますか。(1つに○)

1. 関心がある
2. 関心がない

問20 あなたは現在、ボランティア活動に参加していますか。

1. 参加している → 問20-1へ
2. 参加していない → 問20-2へ

**問20-1** どのようなボランティア活動に参加していますか。〔あてはまるものすべてに○〕

1. 子育てに関する活動
2. 青少年の健全な育成に関する活動
3. 障害者に関する活動
4. 高齢者に関する活動
5. 自然・環境保護に関する活動
6. 人権・男女共同参画に関する活動
7. 文化・スポーツに関する活動
8. 地域交流・まちづくりに関する活動
9. 国際交流に関する活動
10. 防災・防犯・交通安全に関する活動
11. 災害救助・復興支援に関する活動
12. その他 ( )

**問20-2** ボランティア活動に参加していない理由を教えてください。〔あてはまるものすべてに○〕

1. 参加したい活動がない
2. 参加方法が分からない
3. 仕事が多い
4. 家事や育児が忙しい
5. 家族の介護が忙しい
6. その他の活動をしているため(自治会などの地域活動)
7. 活動するための費用がない
8. 一緒に参加する仲間が少ない
9. 以前不快な思いをした
10. 関心がない
11. その他 ( )
12. 理由はない

**問21** 今後、どんなボランティア活動に参加したいですか。〔あてはまるものすべてに○〕

1. 子育てに関する活動
2. 青少年の健全な育成に関する活動
3. 障害者に関する活動
4. 高齢者に関する活動
5. 自然・環境保護に関する活動
6. 人権・男女共同参画に関する活動
7. 文化・スポーツに関する活動
8. 地域交流・まちづくりに関する活動
9. 国際交流に関する活動
10. 防災・防犯・交通安全に関する活動
11. 災害救助・復興支援に関する活動
12. 有償ボランティア活動
13. その他 ( )
14. 参加したくない

**問22** 地域活動やボランティア活動に参加するうえで、行政または社会福祉協議会に支援してほしいことを教えてください。〔あてはまるものすべてに○〕

1. 活動できる拠点や場所の整備
2. 活動に関する情報提供
3. 人材・リーダーの育成
4. 活動に関する研修や講習会の開催
5. 有償ボランティア制度の導入
6. 交通費など実費の補助
7. 参加の呼びかけ
8. その他 ( )
9. 特になし

**地域での防災について**

**問23** あなたは、災害時の避難場所を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

**問24** あなたは、地域の自主防災組織を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

**問25** あなたは、周囲に暮らす人で、災害時に避難することができない人を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

**問26** あなたは、周囲に暮らす人で、災害時に避難支援が必要な人の手助けができますか。(1つに○)

1. できる
2. できない
3. 分からない

**問27** 災害時の支援や安否確認のために、プライバシーの保護に配慮しながら、個人の情報を地域で共有する必要性が高まっていますが、あなたはどのように考えますか。(1つに○)

1. 災害時のために必要である
2. 災害時に関わらず必要である
3. 個人情報問題があるため必要ない
4. 分からない
5. その他 ( )

**福祉に関する情報について**

**問28** あなたは、どのような福祉の情報に関心がありますか。〔あてはまるものすべてに○〕

1. 高齢者
2. 障害者
3. 子育て
4. 生活困窮
5. ボランティア
6. 地域
7. その他 ( )
8. 関心がない

**問29** あなたは、福祉の情報についてのどの程度満足していますか。(1つに○)

1. 満足
2. まあ満足
3. やや不満
4. 不満
5. 必要ない

**問30** あなたは、福祉の情報をどこから得ていますか。〔あてはまるものすべてに○〕

1. 同居の家族
2. 同居していない家族
3. 親戚
4. 友人・知人
5. 周囲に暮らす人
6. 職場の人
7. 市役所
8. 社会福祉協議会
9. 医療機関
10. 保育所・幼稚園・こども園・民生委員児童委員
11. NPO・ボランティア団体
12. 学校
13. 障害福祉なんでも相談室
14. 地域包括支援センター
15. 市の広報誌
16. 社会福祉協議会の広報紙
17. インターネット
18. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌
19. その他 ( )
20. 得ていない

### 福祉に関する施策について

問31 次の渋川市の施策に関してあなたが感じる重要度を教えてください。(それぞれ番号に○)

	現状の評価				
	重要	まあ重要	あまり重要ではない	重要ではない	分からない
子ども関係	1	2	3	4	5
1. ひとり親家庭の子育て支援	1	2	3	4	5
2. 乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援	1	2	3	4	5
3. 子どもの貧困対策(勉強・食事など)	1	2	3	4	5
4. 共働き家庭の子育て支援	1	2	3	4	5
5. 子どもへの虐待防止対策	1	2	3	4	5
6. 子どもの居場所づくりに対する支援	1	2	3	4	5
7. 青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)	1	2	3	4	5
8. 高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買物支援、移動支援など)	1	2	3	4	5
9. 高齢者の生きがいづくり、居場所づくりなどに対する支援	1	2	3	4	5
10. 高齢者への虐待防止対策	1	2	3	4	5
11. 災害時における高齢者への避難誘導支援	1	2	3	4	5
12. 介護者、介助者への情報提供等の支援	1	2	3	4	5
13. 成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取り組み支援	1	2	3	4	5
14. 障害のある人の生きがいづくり、居場所づくり、就労などに対する支援	1	2	3	4	5
15. 障害のある人への虐待防止対策	1	2	3	4	5
16. 災害時における障害のある人への避難誘導支援	1	2	3	4	5
17. 生活困窮者への支援(就労、居住など)	1	2	3	4	5
18. 社会的に孤立している人への支援	1	2	3	4	5
19. 自殺防止対策	1	2	3	4	5
20. 犯罪被害者への支援	1	2	3	4	5
21. 過去に罪を犯した人への更生支援	1	2	3	4	5
22. 振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策	1	2	3	4	5
23. 多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援	1	2	3	4	5
24. 災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策	1	2	3	4	5

問32 次の渋川市の施策に関してあなたが感じる満足度を教えてください。(それぞれ番号に○)

	現状の評価				
	満足	まあ満足	やや不満	不満	分からない
子ども関係	1	2	3	4	5
1. ひとり親家庭の子育て支援	1	2	3	4	5
2. 乳幼児期の子どもを抱える家庭への支援	1	2	3	4	5
3. 子どもの貧困対策(勉強・食事など)	1	2	3	4	5
4. 共働き家庭の子育て支援	1	2	3	4	5
5. 子どもへの虐待防止対策	1	2	3	4	5
6. 子どもの居場所づくりに対する支援	1	2	3	4	5
7. 青少年の健全育成支援(犯罪や非行防止)	1	2	3	4	5
8. 高齢者世帯の生活支援(声かけや安否確認、買物支援、移動支援など)	1	2	3	4	5
9. 高齢者の生きがいづくり、居場所づくりなどに対する支援	1	2	3	4	5
10. 高齢者への虐待防止対策	1	2	3	4	5
11. 災害時における高齢者への避難誘導支援	1	2	3	4	5
12. 介護者、介助者への情報提供等の支援	1	2	3	4	5
13. 成年後見制度の利用促進などの権利擁護への取り組み支援	1	2	3	4	5
14. 障害のある人の生きがいづくり、居場所づくり、就労などに対する支援	1	2	3	4	5
15. 障害のある人への虐待防止対策	1	2	3	4	5
16. 災害時における障害のある人への避難誘導支援	1	2	3	4	5
17. 生活困窮者への支援(就労、居住など)	1	2	3	4	5
18. 社会的に孤立している人への支援	1	2	3	4	5
19. 自殺防止対策	1	2	3	4	5
20. 犯罪被害者への支援	1	2	3	4	5
21. 過去に罪を犯した人への更生支援	1	2	3	4	5
22. 振込め詐欺などの消費者被害の防止などの防犯対策	1	2	3	4	5
23. 多様な文化、生活を尊重し合う地域づくりへの支援	1	2	3	4	5
24. 災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災対策	1	2	3	4	5



問37 行政及び渋川市社会福祉協議会の①～⑬の地域福祉に関する施策について、あなたにとっての今後の重要性を教えてください。(それぞれ番号に○)

	今後の重要性				
	重要	まあ重要	あまり重要ではない	重要ではない	
①子育て支援(サービス全般・保育所・幼稚園・こども園・手当など)	1	2	3	4	5
②高齢者福祉(介護保険サービス・介護予防・相談支援など)	1	2	3	4	5
③障害者福祉(福祉サービス全般・就労支援・手当など)	1	2	3	4	5
④保健・医療体制(救急医療・健康診断・相談支援・情報提供など)	1	2	3	4	5
⑤防災・防犯体制(支援組織・避難体制・情報提供など)	1	2	3	4	5
⑥NPO・ボランティア活動への支援(講座・相談支援・情報提供など)	1	2	3	4	5
⑦自治会などの地域活動への支援(運営支援・情報提供など)	1	2	3	4	5
⑧広報紙やホームページによる情報提供(健康・福祉・医療など)	1	2	3	4	5
⑨地域での交流活動への支援(世代間交流・人材育成など)	1	2	3	4	5
⑩スポーツ・文化芸術活動への支援(生きがいづくり・利用者支援など)	1	2	3	4	5
⑪施設や道路・交通機関の整備(バリアフリー化・移動支援など)	1	2	3	4	5
⑫福祉教育(学校や職場などにおける福祉教育・人権学習など)	1	2	3	4	5
⑬お住まいの地区の雰囲気やイメージ	1	2	3	4	5

問38 地域福祉を進めて行くうえで、行政と地域住民の関係は、基本的にどのようにあるべきだと思いますか。(1つに○)

1. 行政が行うことなので、住民は何もしない	2. 行政だけではできないことを住民が協力する
3. 行政と住民がともに協力し合う	4. 家庭や地域でできないことを行政が支援する
5. 家庭や地域で行うことなので、行政は何もしない	6. 分からない
7. その他( )	

問39 地域で生活していくうえで、困っていることがありますらご自由にお書きください。(自由回答)


渋川市内の地域福祉社について、ご意見・ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。


ご協力ありがとうございました。

内容をご確認のうえ、令和4年9月30日(金)までに、同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。  
なお、渋川市地域包括ケア課管理係でも直接受け付けております。



第2期渋川市地域福祉計画・第3次渋川市地域福祉活動計画  
策定のための市民意識調査 結果報告書

令和5年3月

発行 渋川市・社会福祉法人渋川市社会福祉協議会  
編集 渋川市 福祉部 地域包括ケア課  
〒377-8501 群馬県渋川市石原 80 番地  
電話：0279-22-2250  
社会福祉法人渋川市社会福祉協議会  
〒377-0008 群馬県渋川市渋川 1760 番地 1  
電話：0279-25-0500 (代表)